

世田谷区における外国人区民の意識・実態調査

— 報 告 書 —

令和2年3月

世 田 谷 区

はじめに

区は、全ての人が多様性を認め合い、人権が尊重される地域社会の実現を目指し、平成30年3月に「世田谷区多様性を認め合い男女共同参画と多文化共生を推進する条例」を制定いたしました。

また、平成31年3月には多文化共生施策を総合的かつ計画的に推進するため、「世田谷区多文化共生プラン」を策定いたしました。このプランは「誰もが共に参画・活躍でき、人権が尊重され、安心・安全に暮らせる多文化共生のまち せたがや」を基本理念としており、区は、この基本理念に則って様々な多文化共生施策に取り組んでいます。

区内の在住外国人人口は令和2年3月時点で約2万3千人となり、増加傾向が続いています。さらに、「出入国管理及び難民認定法」改正による外国人材の受入拡大の動きもあり、今後も益々増加していくことが想定されます。

こうした社会情勢や区の動向を踏まえ、区内在住の外国人の生活状況、並びに区に対しての満足度及びニーズを明らかにすることで、在住外国人の傾向を把握し、外国人支援策の充実を図る基礎資料とするため、このたび「世田谷区における外国人区民の意識・実態調査」を実施いたしました。

今回の調査結果を、多文化共生社会の実現に向けた地域づくりの推進に役立てるとともに、より一層の施策の充実に向けてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、お忙しい中ご回答いただきました区民の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和2年3月

世田谷区生活文化部
国際課

目 次

I. 概 要	1
I - 1. 調査目的	3
I - 2. 調査概要	3
(1) 調査地域	3
(2) 調査対象・対象数	3
(3) 調査方法	3
(4) 調査時期	3
(5) 調査機関	3
(6) 調査票	3
(7) 調査の項目	4
I - 3. 回収数・回収率	4
I - 4. 報告書の見方	5
I - 5. 設問別のクロス集計一覧	6
II. 調査結果	9
II - 1. あなた（回答者）について	11
(1) 性 別	11
(2) 年 齢	13
(3) 国籍・地域	15
(4) 日本での在留資格	18
(5) 日本での在住期間	19
(6) 世田谷区での在住期間	19
(7) 世田谷区に住む理由	21
(8) 住居形態	22
(9) 同居人	23
II - 2. ことばについて	24
(1) 不自由なく使えることば	24
(2) 日本語（話す・聞く・読む・書く）のレベル	25
(3) 日本語の勉強	38
II - 3. 日常生活について	43
(1) 世田谷区の住みやすさ	43
(2) 日本人との付き合い	45
(3) 日常生活での困りごと	46

(4) 偏見や差別	49
(5) 困りごとの相談先	52
(6) 情報の入手方法	54
(7) 行政からほしい情報	67
(8) 住居を探すときに困ったこと	70
(9) 病院を利用する際に困ったこと	72
(10) 出産や子育てで困ったこと	73
(11) 子どもを園・学校に通わせる（通わせた）うえで困ったこと	74
(12) 働くうえで困ったこと	75
(13) 避難場所認知度	76
(14) 災害時の対策	78
(15) 世田谷区に望む災害対策	80
(16) 外国人に対する生活支援の充実	81
(17) 外国人に対する偏見や差別の減少	85
II-4. 行政サービスについて	89
(1) 世田谷区役所利用時に困ったこと	89
(2) 世田谷区に期待する取組み	91
(3) 外国人向け出版物・サービス	95
(4) 利用したい外国人相談窓口	105
II-5. 交流活動について	110
(1) 交流活動の有無・希望	110
(2) している（してみたい）交流や活動	122
(3) 自治会・町会の加入状況	122
(4) 団体（コミュニティ・グループ）への参加状況	125
(5) 地域活動時に必要なサポート	128
III. その他	131
III-1. 世田谷区への意見要望（自由記述まとめ）	133
III-2. 調査票	137

I. 概 要

I. 概要

I-1. 調査目的

世田谷区在住の外国人の標準的な生活状況並びに、区に対しての満足度及びニーズを量的調査により明らかにすることで、在住外国人の傾向の把握、外国人支援策の充実を図るための基礎資料とする。

I-2. 調査概要

(1) 調査地域

世田谷区全域を調査地域とし、総合支所管内を単位として5地域（①世田谷・②北沢・③玉川・④砧・⑤烏山）に分類した。

(2) 調査対象・対象数

令和元年7月1日時点、世田谷区内に在住する18歳以上の外国籍区民2,000人。
5地域内訳
①世田谷：507人 ②北沢：456人 ③玉川：509人 ④砧：273人 ⑤烏山：255人
対象者の抽出方法は層化二段無作為抽出法とした。

(3) 調査方法

送付、回収とも郵便によるアンケート調査。

(4) 調査時期

令和元年9月20日（金）から同年10月11日（金）まで。

(5) 調査機関

株式会社ステージワン

(6) 調査票

日本語版の他、3言語（英語・中国語・ハングル）の調査票を準備した。
A4サイズ16ページ ※日本語版調査票巻末添付

(7) 調査の項目

①回答者の属性について

性別、年齢、国籍・地域、在留資格、在住期間、住居、家族など

②ことばについて

日本語能力、日本語の勉強方法や場所など

③日常生活について

住宅、医療、出産・子育て、教育、就労、災害、困りごと、情報入手方法、偏見や差別に関する事など

④行政サービスについて

区の外国人施策の認知度、行政サービスについてのニーズなど

⑤交流活動について

交流活動についての意識、属するコミュニティ、自治会や町会の加入状況など

I-3. 回収数・回収率

回収数・回収率などは以下の通りであった。

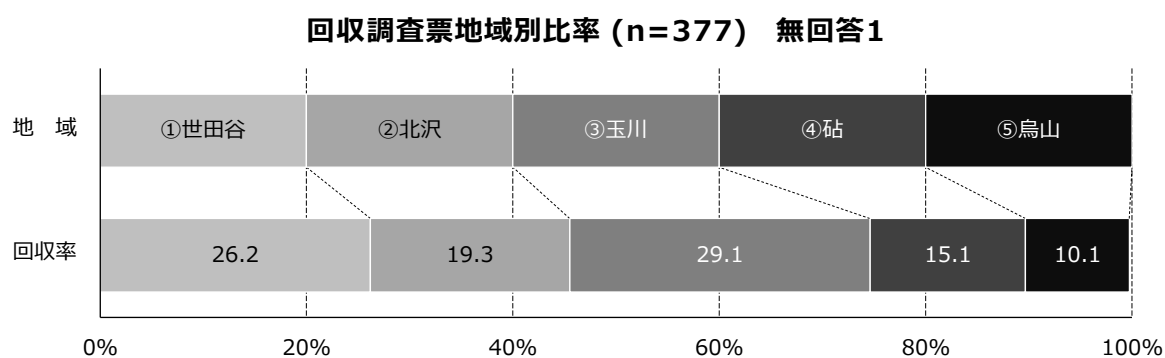
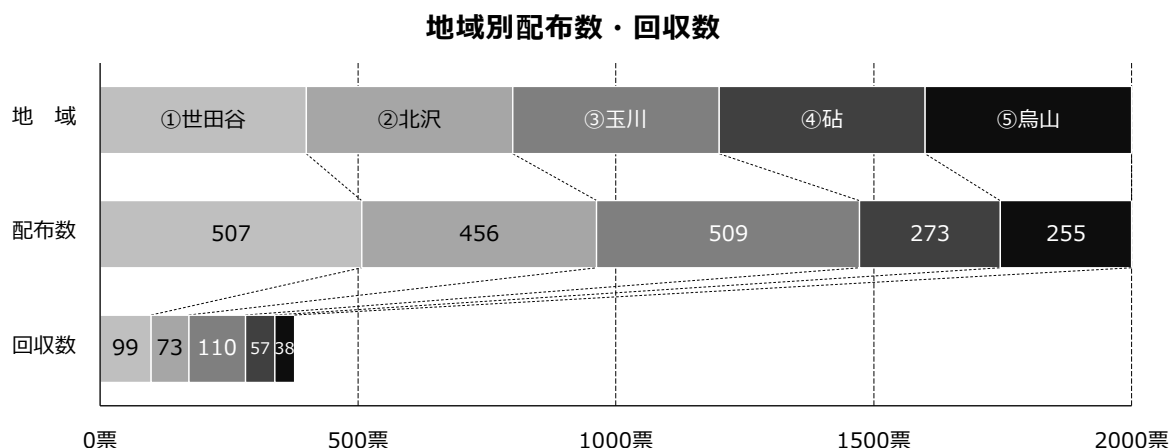
■全体配布数・回収数・回収率

	全 体	男 性	女 性	その他	性別記入なし
調査数	2,000	931	1,069	—	—
有効回収数	378	150	221	1	6
回収率 (%)	18.9	16.1	20.7	—	—

■地域別配布数・回収数・回収率

	(n) 割合 (%)	①世田谷	②北沢	③玉川	④砧	⑤烏山
配布数	2,000	507	456	509	273	255
(%)	100.0	25.4	22.8	25.5	13.7	12.8
回収数	378	99	73	110	57	38
(%)	100.0	26.2	19.3	29.1	15.1	10.1
調査票言語 日本語	193	55	37	50	32	18
英 語	130	32	28	41	18	11
中国語	32	9	6	11	3	3
ハングル	23	3	2	8	4	6
回収率 (%)	18.9	19.5	16.0	21.6	20.9	14.9

※回収数 378 及び調査票言語日本語数 193 には地域不明 1 を含めている。



I-4. 報告書の見方

本書の集計結果表記規則を以下に記載する。

- 調査対象者（母集団 N = 2,000）に対し、378 件の回答を得た。（n = 378）
表及びグラフ中の「n」は、各設問に対する回答者数として示す。
- 「n」を基に算出した回答率は「%」で表記し、小数点第 2 位を四捨五入している。そのため、内訳合計が全体の計に一致しないことがあるが、表記上は「100.0」としている。
- 各設問において回答が無かったものは「無回答」として、「n」に含めず、表外に数値として表記している（単純集計のみ）。なお、3 つ以内に○を付ける設問で、4 つ以上に○を付けて回答するなど、回答方法に誤りがある場合は「無効回答」とし、「無回答」に含めることとする。
- グラフ内割合表記において、全ての値について表記することを原則としているが、紙面制約上省略しているもの（0.0%など）が一部ある。
- クロス集計における「n」は、その設問における分析項目の無回答者数を含むため、内訳合計に一致しないことがある。
- クロス集計による分析において、分析軸の項目母数が 20 未満のものは、全体比率と顕著な差がある選択肢であっても本文中ではふれていないことがある。
- 複数回答可の設問における表及びグラフについて、回答件数の合計は「n」を超え、また回答比率の合計は 100.0%を超えた表記となっている。

I-5. 設問別のクロス集計一覧

本書では、調査結果に対し、『年齢』『居住地域』『国籍・地域』『在留資格』『在住期間』『回答調査票言語』の6つの項目の中から選んでクロス集計をかけたデータを掲載している。設問ごとのクロス集計内訳については以下の表のとおり。

補足1 国籍・地域については、F3 国籍・地域の回答肢のうち、件数が4件未満の国・地域を「その他」として計上している。

補足2 回答調査票言語については、日本語の調査票を用いて回答した場合を「日本語調査票」、それ以外の調査票を用いて回答した場合を「外国語調査票」として計上している。

設問	クロス集計					
	年齢	居住地域	国籍・地域	在留資格	在住期間	調査票言語
F1 性別		○	○			
F2 年齢		○	○			
F3 国籍・地域		○				
F4 日本での在留資格						
F5 日本での在住期間			○			
F6 世田谷区での在住期間			○			
F7 世田谷区に住む理由						
F8 住居形態						
F9 同居人						

設問	クロス集計					
	年齢	居住地域	国籍・地域	在留資格	在住期間	調査票言語
問1 不自由なく使えることば						
問2 日本語（話す・聞く・読む・書く）のレベル			○	○	○	○
問3 日本語の勉強			○	○	○	○
問3(A) 日本語の勉強をしたいか						
問3(B) 日本語の勉強をしない理由						

設 問	クロス集計					
	年 齢	居住地域	国籍・地域	在留資格	在住期間	調査票言語
問 4 世田谷区の住みやすさ			○			
問 5 日本人との付き合い						
問 6 日常生活での困りごと			○			
問 7 偏見や差別			○			
問 7(A) どのようなときに偏見や差別を感じたか			○			
問 8 困りごとの相談先			○			
問 9 情報の入手方法	○					
問 9(A) 普段利用している SNS						
問 10 行政からほしい情報	○			○		
問 11 住居を探すときに困ったこと			○			○
問 12 病院を利用する際に困ったこと						
問 13 出産や子育てで困ったこと						
問 14 子どもを園・学校に通わせる（通わせたい）うえで困ったこと						
問 15 働くうえで困ったこと						
問 16 避難場所認知度		○				○
問 17 災害時の対策						
問 18 世田谷区に望む災害対策						
問 19 外国人に対する生活支援の充実			○	○	○	○
問 20 外国人に対する偏見や差別の減少			○	○	○	○

設 問	クロス集計					
	年 齢	居住地域	国籍・地域	在留資格	在住期間	調査票言語
問 21 世田谷区役所利用時に困ったこと			○			
問 22 世田谷区に期待する取組み	○		○			
問 23 外国人向け出版物・サービス					○	
問 24 利用したい外国人相談窓口	○	○		○	○	○

設 問	クロス集計					
	年 齢	居住地域	国籍・地域	在留資格	在住期間	調査票言語
問 25 交流活動の有無・希望		○				
問 25-1 している（してみたい）交流や活動						
問 26 自治会・町会の加入状況	○	○			○	
問 27 団体（コミュニティ・グループ）への参加状況			○			
問 27(A) 参加しているコミュニティやグループについて						
問 28 地域活動時に必要なサポート			○			

II. 調查結果

Ⅱ 調査結果

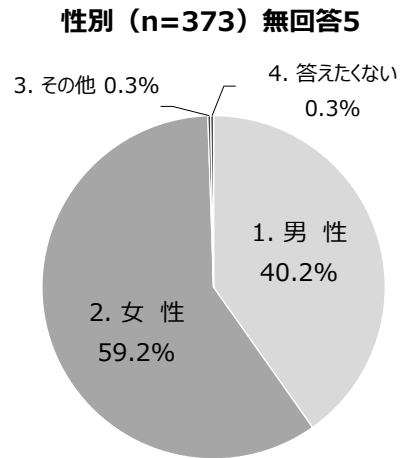
Ⅱ-1. あなた（回答者）について

(1) 性別 【F 1. あなたの性別はどれですか（1つに○）。】

■ 『性別』件数割合

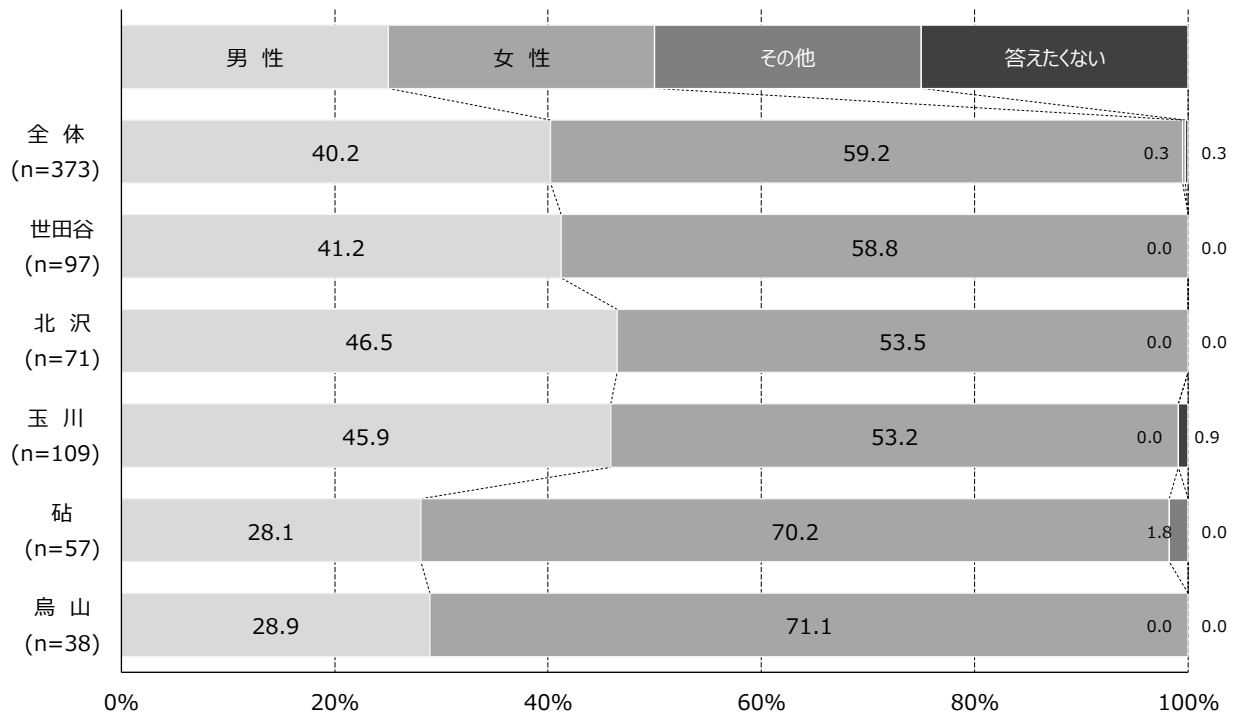
	件数	割合
1. 男性	150	40.2
2. 女性	221	59.2
3. その他	1	0.3
4. 答えたくない	1	0.3
全体	373	100.0

※無回答5



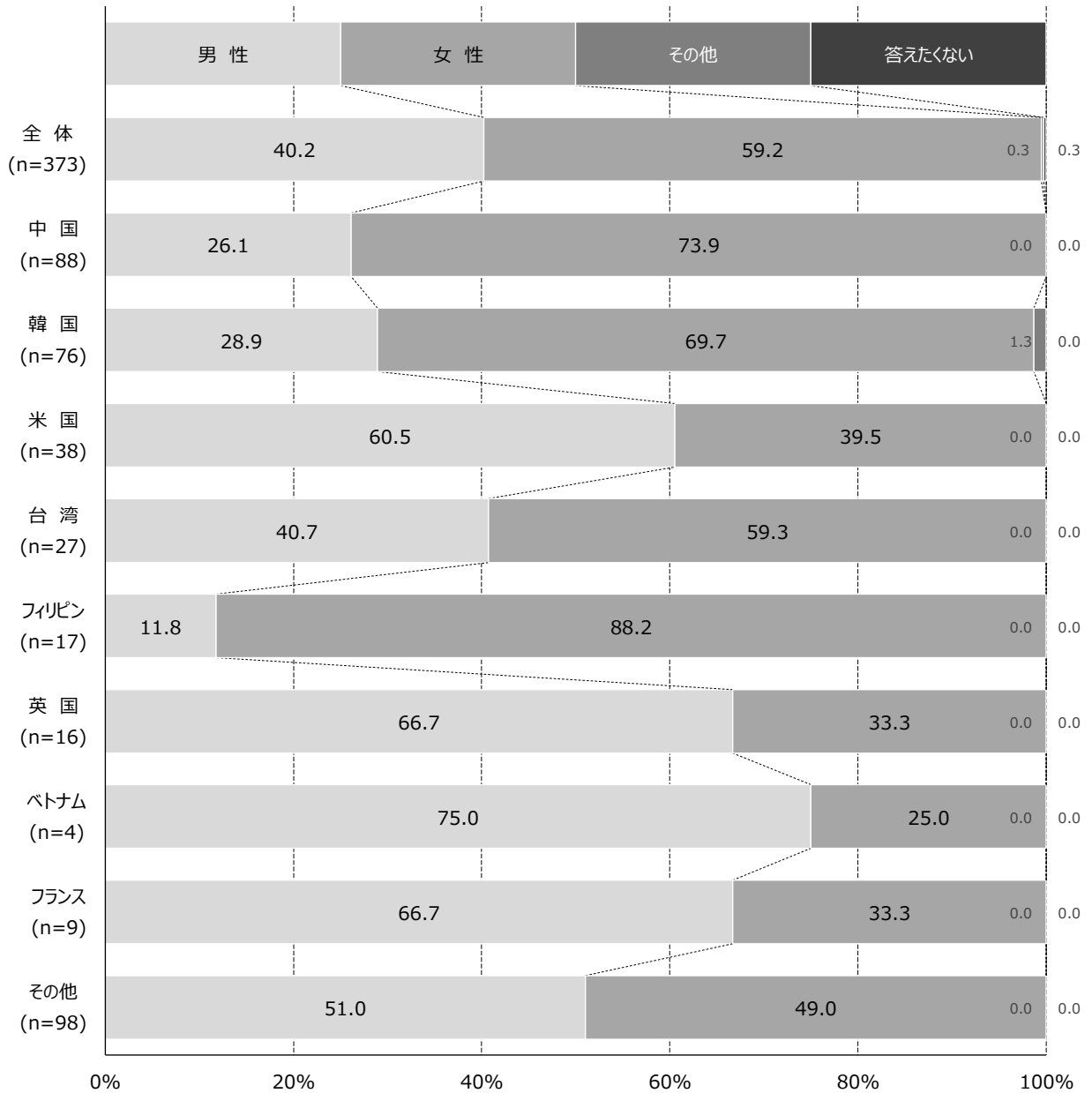
性別では、「男性」が150件・40.2%、「女性」が221件・59.2%と約4：6の割合で「女性」が多い。「その他」、「答えたくない」がともに1件・0.3%であった。

■ 『性別』居住地割合



性別の居住地では、「男性」でみると「北沢」の46.5%が最も高く、「砧」の28.1%が最も低かった。「女性」でみると「烏山」の71.1%が最も高く、「玉川」の53.2%が最も低かった。

■ 『性別』 国籍・地域割合



性別の国籍・地域別では、「米国」「英国」「ベトナム」「フランス」では「男性」の割合が「女性」より高く、「中国」「韓国」「台湾」「フィリピン」では「女性」の割合が高かった。「その他」では「男性」51.0%、「女性」49.0%である。

「男性」で割合が最も高いのが、「ベトナム」の75.0%、次いで「英国」「フランス」がともに66.7%、「米国」が60.5%と続いている。「女性」では、「フィリピン」の88.2%、「中国」が73.9%、「韓国」が69.7%、「台湾」が59.3%の順で高かった。

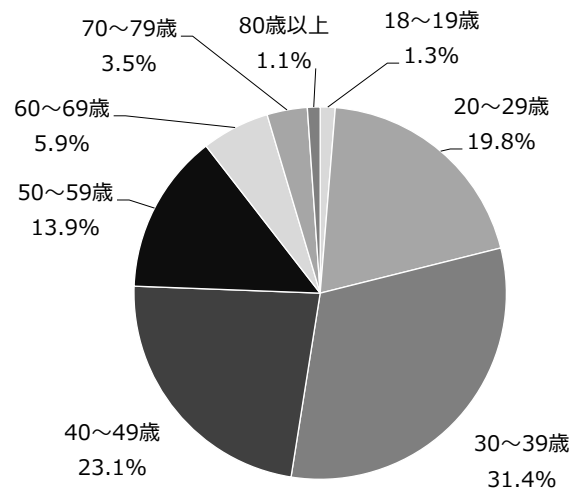
(2) 年 齢 【F 2. あなたの年齢はどれですか（1つに〇。）】

■ 『年齢』 件数割合

	件 数	割 合
1. 18～19 歳	5	1.3
2. 20～29 歳	74	19.8
3. 30～39 歳	117	31.4
4. 40～49 歳	86	23.1
5. 50～59 歳	52	13.9
6. 60～69 歳	22	5.9
7. 70～79 歳	13	3.5
8. 80 歳以上	4	1.1
全 体	373	100.0

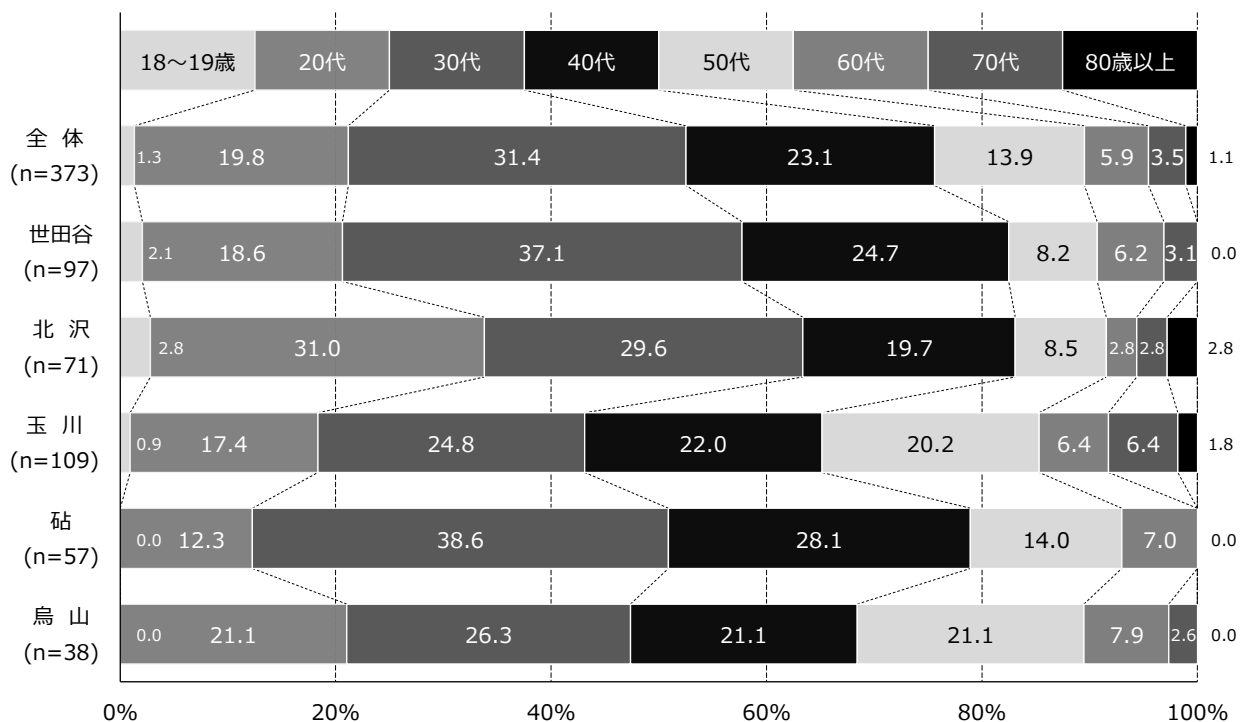
※無回答 5

年齢 (n=373) 無回答5



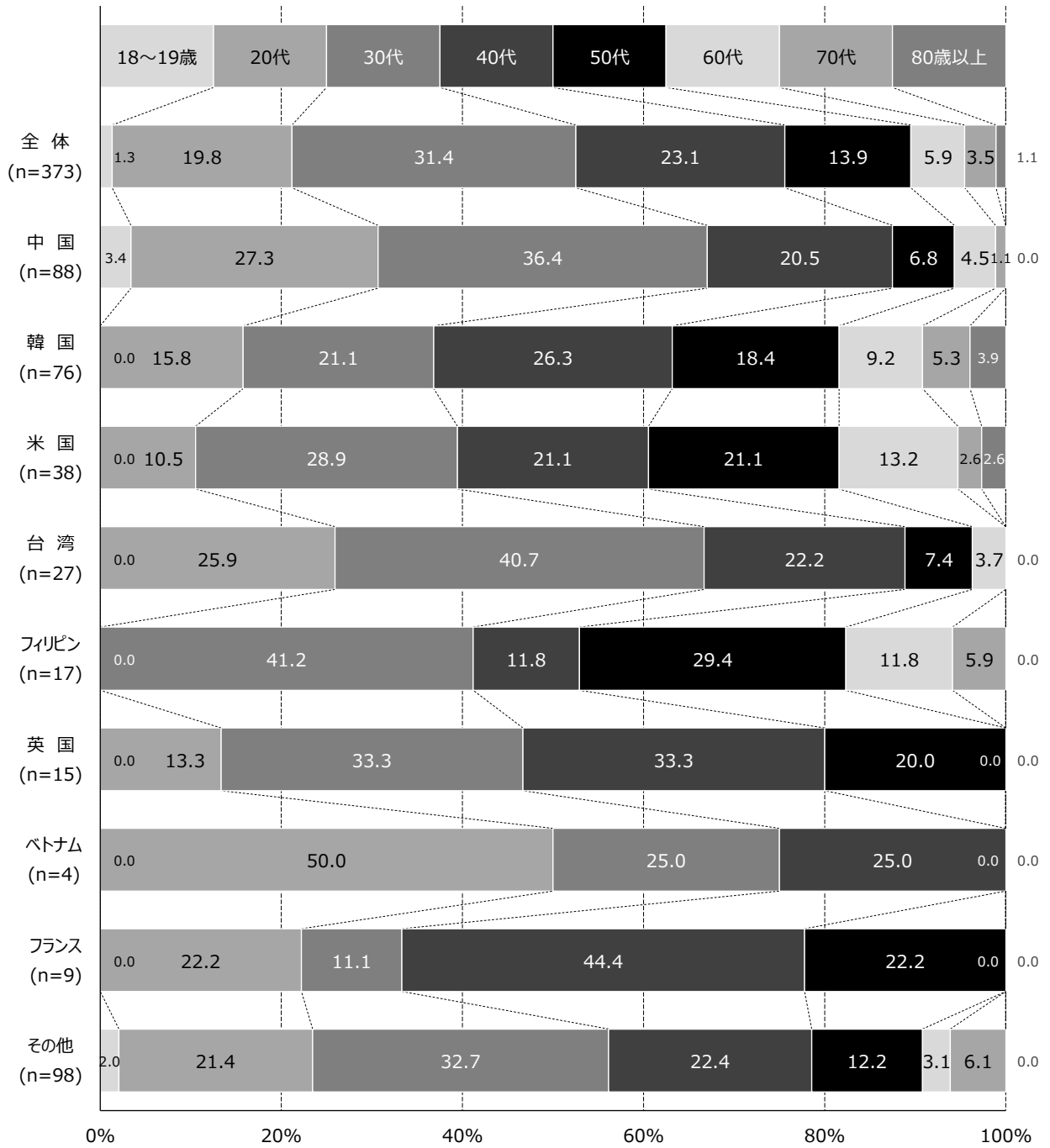
年齢では、「30～39 歳」が 117 件・31.4%と最も多く、「40～49 歳」が 86 件・23.1%、「20～29 歳」が 74 件・19.8%、「50～59 歳」が 52 件・13.9%と続いている。「18～19 歳」は 5 件・1.3%、「80 歳以上」は 4 件・1.1%であった。

■ 『年齢』 居住地割合



年齢の居住地別では、年齢帯で最も母数の多い「30代」で見ると、「砧」の38.6%が最も高く、次いで「世田谷」が37.1%であった。年齢帯で2番目に母数の多い「40代」でも、「砧」が28.1%、「世田谷」が24.7%の順で高かった。「北沢」では、「20代」が31.0%で最も高かった。

■ 『年齢』 国籍・地域割合



年齢の国籍・地域別では、最も母数の多い「中国」で「30代」36.4%、「20代」27.3%、「40代」20.5%の順で高く、「韓国」は「40代」26.3%、「30代」21.1%、「50代」18.4%の順で高い。

「20代」では、「中国」の27.3%、「30代」では、「フィリピン」の41.2%、「40代」では、「英国」の33.3%、「50代」では「フィリピン」の29.4%がそれぞれ最も高かった（n=10未満の国籍・地域を除く）。

「60代」以上の合算で見ると、「韓国」「米国」がともに18.4%で最も高かった。

(3) 国籍・地域 【F 3. あなたの国籍・地域はどれですか。】

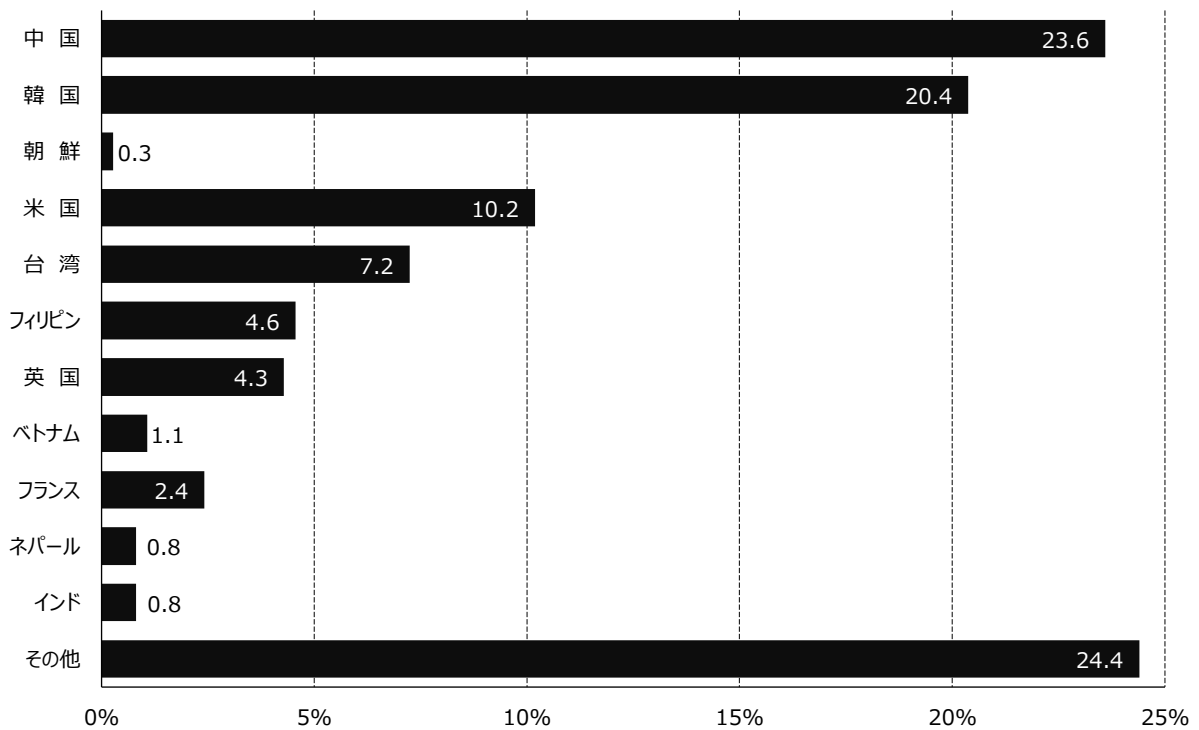
■『国籍・地域』件数割合

	件数	割合		件数	割合
1. 中国	88	23.6	7. 英国	16	4.3
2. 韓国	76	20.4	8. ベトナム	4	1.1
3. 朝鮮	1	0.3	9. フランス	9	2.4
4. 米国	38	10.2	10. ネパール	3	0.8
5. 台湾	27	7.2	11. インド	3	0.8
6. フィリピン	17	4.6	12. その他	91	24.4
			全体	373	100.0

※無回答5 ※「その他」91件には、国名回答辞退1件を含む

※上記の回答肢は、世田谷区在住外国人数の上位の国籍・地域を掲載している。

国籍・地域 (n=373) 無回答5



「中国」が88件・23.6%で最も多く、「韓国」が76件・20.4%、「米国」が38件・10.2%、「台湾」が27件・7.2%、「フィリピン」が17件・4.6%、「英国」が16件・4.3%と続いている。

■『国籍・地域』その他回答 91 件内、記述回答のあった 90 件の国籍・地域件数割合

	件数	割合		件数	割合
ドイツ	12	3.2	香港	3	0.8
イタリア	11	2.9	マレーシア	2	0.5
オーストラリア	6	1.6	シンガポール	2	0.5
カナダ	6	1.6	ブルガリア	2	0.5
インドネシア	5	1.3	スイス	2	0.5
タイ	5	1.3	スペイン	2	0.5
ニュージーランド	5	1.3	フィンランド	2	0.5
ロシア	5	1.3	他	20	5.4

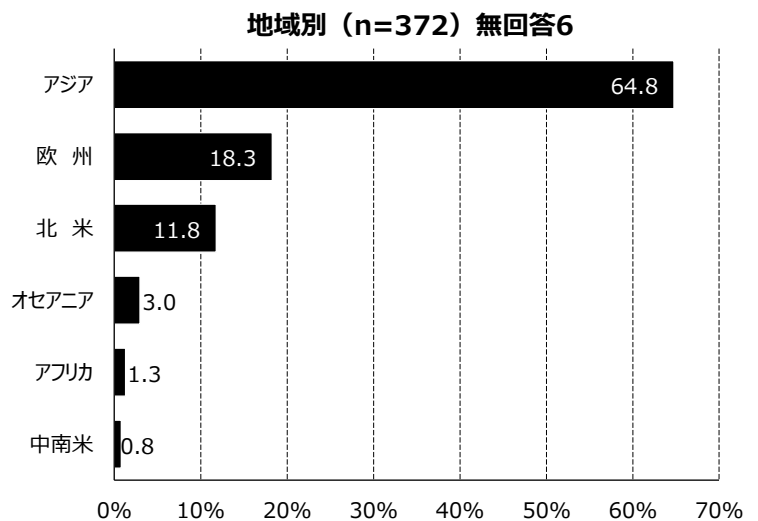
※割合は（n=373）で算出。

■全回答 372 件の地域別件数割合

	件数	割合
アジア	241	64.8
欧州	68	18.3
北米	44	11.8
オセアニア	11	3.0
アフリカ	5	1.3
中南米	3	0.8
合計	372	100.0

※無回答 6（国名回答辞退 1）を含む。

※割合は（n=372）で算出。



「その他」91 件のうち記述回答のあった 90 件では、「ドイツ」が 12 件で最も多く、「イタリア」11 件、「オーストラリア」「カナダ」がともに 6 件、「インドネシア」「タイ」「ニュージーランド」「ロシア」がともに 5 件と続いている。

六大州を想定した地域別では、「中国」「韓国」を含む「アジア」が 241 件・64.8%と特出しており、「英国」「ドイツ」「イタリア」を含む「欧州」が 68 件・18.3%、「米国」「カナダ」の「北米」が 44 件・11.8%と続いている。「オーストラリア」「ニュージーランド」の「オセアニア」は 11 件・3.0%、「アフリカ」は 5 件・1.3%、「中南米」は 3 件・0.8%であった。

■『国籍・地域』居住地域割合

居住地域	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		中国	韓国	米国	台湾	フィリピン	英国	ベトナム	フランス	その他
全体	372	23.7	20.4	10.2	7.3	4.6	4.3	1.1	2.4	26.1
世田谷	97	23.7	21.6	9.3	10.3	3.1	4.1	2.1	2.1	23.7
北沢	71	23.9	12.7	11.3	7.0	7.0	7.0	0.0	4.2	26.8
玉川	109	22.0	20.2	11.0	4.6	3.7	2.8	0.9	2.8	32.1
砧	57	24.6	24.6	14.0	3.5	5.3	3.5	1.8	0.0	22.8
烏山	38	26.3	26.3	2.6	13.2	5.3	5.3	0.0	2.6	18.4

※網掛けは各居住地域で割合が最も高い選択肢（「その他」は除く）。

国籍・地域の居住地域別では、「世田谷」で「中国」23.7%、「韓国」21.6%、「台湾」10.3%の順、「北沢」で「中国」23.9%、「韓国」12.7%、「米国」11.3%の順、「玉川」で「中国」22.0%、「韓国」20.2%、「米国」11.0%の順、「砧」で「中国」「韓国」ともに24.6%、「米国」14.0%の順、「烏山」で「中国」「韓国」ともに26.3%、「台湾」13.2%の順で割合が高かった。

■『国籍・地域』居住地域割合

居住地域	n	1	2	3	4	5	6
		アジア	欧州	北米	オセアニア	アフリカ	中南米
全体	371	65.0	18.1	11.9	3.0	1.3	0.8
世田谷	97	66.0	16.5	11.3	5.2	1.0	0.0
北沢	71	60.6	23.9	12.7	1.4	1.4	0.0
玉川	108	58.3	20.4	13.9	3.7	1.9	1.9
砧	57	71.9	12.3	14.0	1.8	0.0	0.0
烏山	38	78.9	13.2	2.6	0.0	2.6	2.6

※網掛けは各居住地域で割合が最も高い選択肢。

国籍・地域の居住地域別では、いずれの居住地域でも「アジア」の割合が最も高く、「烏山」で78.9%、「砧」で71.9%であった。「欧州」で見ると「北沢」の23.9%が最も高く、「北米」では「砧」の14.0%が最も高かった。

居住地域で最も母数の多い「玉川」では、「アジア」58.3%、「欧州」20.4%、「北米」13.9%の順であった。

（４）日本での在留資格 【F 4. あなたの日本での在留資格はどれですか（１つに○）。】

■ 『在留資格』件数割合

	件数	割合		件数	割合
1. 定住者	12	3.2	7. 留学	35	9.4
2. 日本人の配偶者等	51	13.7	8. 家族滞在	21	5.6
3. 永住者	116	31.2	9. 特定活動	7	1.9
4. 永住者の配偶者等	6	1.6	10. 技能	9	2.4
5. 特別永住者	25	6.7	11. 特定技能	1	0.3
6. 技術・人文知識・国際業務	75	20.2	12. その他	14	3.8
			全 体	372	100.0

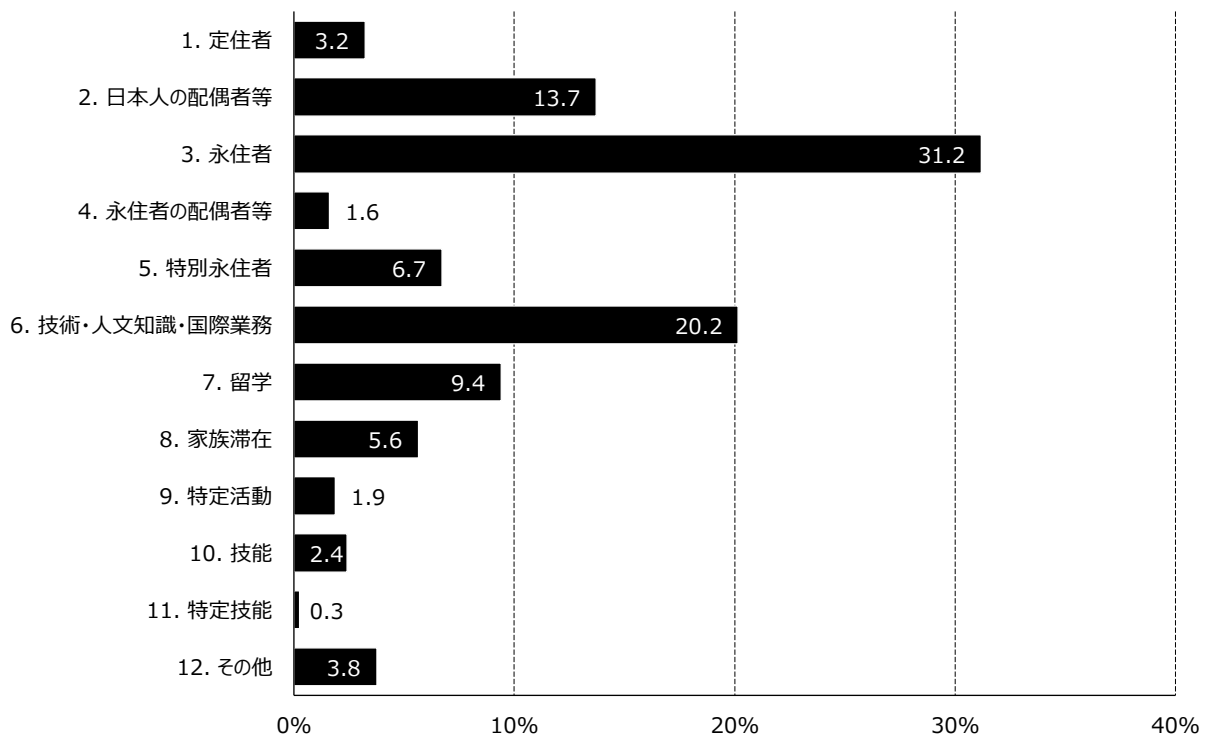
※無回答 6

■ 「その他」14件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
高度専門職	7	1.9	医療	1	0.3
教育	2	0.5	宗教	1	0.3

※割合は（n=372）で算出

在留資格（n=372）無回答6



日本での在留資格では、「永住者」が31.2%で最も高く、次いで「技術・人文知識・国際業務」が20.2%、「日本人の配偶者等」が13.7%、「留学」が9.4%と続いている。

(5) 日本での在住期間 【F 5. あなたは日本にどのくらいの期間住んでいますか。来日（転入・転出）を繰り返している場合は、日本に住んでいる期間の合計を教えてください（1つに〇）。】

(6) 世田谷区での在住期間 【F 6. あなたは世田谷区にどのくらいの期間住んでいますか。来日（転入・転出）を繰り返している場合は、世田谷区に住んでいる期間の合計を教えてください（1つに〇）。】

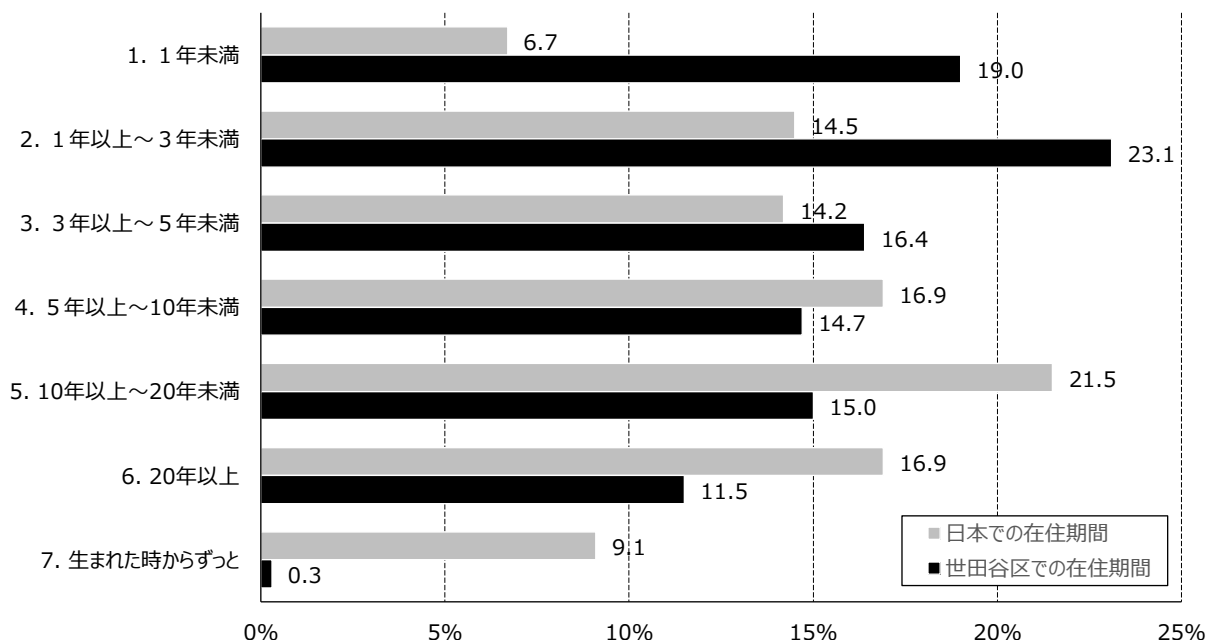
■ 『在住期間』 件数割合

	日本での在住期間		世田谷区での在住期間	
	件数	割合	件数	割合
1. 1年未満	25	6.7	71	19.0
2. 1年以上～3年未満	54	14.5	86	23.1
3. 3年以上～5年未満	53	14.2	61	16.4
4. 5年以上～10年未満	63	16.9	55	14.7
5. 10年以上～20年未満	80	21.5	56	15.0
6. 20年以上	63	16.9	43	11.5
7. 生まれた時からずっと	34	9.1	1	0.3
全体	372	100.0	373	100.0

※無回答 6

※無回答 5

在住期間 (n=372・373) 無回答6・5



日本在住期間では、「10年以上～20年未満」が80件・21.5%で最も多く、次に「5年以上～10年未満」、「20年以上」がともに16.9%であった。「生まれた時からずっと」は9.1%であった。

世田谷区在住期間では、「1年以上～3年未満」が86件・23.1%で最も多く、「1年未満」が19.0%と続いている。

■ 『日本在住期間』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	1	2	3	4	5	6	7
		1年未満	3年以上 1年未満	5年以上 3年未満	10年以上 5年未満	未 満 10 年 以 上 2 0 年	20年以上	と 生 ま れ た 時 か ら ず つ
全 体	372	6.7	14.5	14.2	16.9	21.5	16.9	9.1
中 国	88	6.8	17.0	14.8	22.7	21.6	14.8	2.3
韓 国	75	2.7	5.3	6.7	12.0	20.0	16.0	37.3
米 国	37	5.4	16.2	10.8	16.2	13.5	35.1	2.7
台 湾	27	7.4	18.5	14.8	22.2	29.6	7.4	0.0
フィリピン	17	0.0	23.5	0.0	5.9	47.1	23.5	0.0
英 国	16	12.5	12.5	31.3	6.3	18.8	12.5	6.3
ベトナム	4	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フランス	9	11.1	0.0	11.1	22.2	55.6	0.0	0.0
その他	98	10.2	15.3	20.4	17.3	17.3	17.3	2.0

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢。

■ 『世田谷区在住期間』 国籍・地域割合

		1	2	3	4	5	6	7
全 体	373	19.0	23.1	16.4	14.7	15.0	11.5	0.3
中 国	88	25.0	31.8	14.8	10.2	12.5	5.7	0.0
韓 国	75	13.3	20.0	14.7	16.0	13.3	21.3	1.3
米 国	38	7.9	34.2	5.3	18.4	15.8	18.4	0.0
台 湾	27	29.6	18.5	11.1	18.5	18.5	3.7	0.0
フィリピン	17	17.6	11.8	0.0	17.6	41.2	11.8	0.0
英 国	16	18.8	18.8	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0
ベトナム	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フランス	9	11.1	0.0	22.2	33.3	33.3	0.0	0.0
その他	98	21.4	16.3	25.5	14.3	12.2	10.2	0.0

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢。

日本在住期間の国籍・地域別でみると、母数の最も多い「中国」では、「5年以上～10年未満」が22.7%で最も高く、「10年以上～20年未満」が21.6%と続く。「韓国」では、「生まれた時からずっと」が37.3%と最も高い。「1年未満」でみると、「英国」の12.5%が最も高い。

世田谷区在住期間の国籍・地域別でみると、「中国」では、「1年以上～3年未満」が31.8%で最も高く、「韓国」では、「20年以上」が21.3%で最も高い。「1年未満」でみると、「台湾」の29.6%が最も高く、「生まれた時からずっと」では、「韓国」の1.3%のみで、他の国籍・地域は全て0.0%であった。

(7) 世田谷区に住む理由 【F7. 世田谷区に住むようになった理由は何ですか（主なもの3つ以内に○）。】

■『世田谷区に住む理由』件数割合

	件数	割合		件数	割合
1. 生まれた時から住んでいる	4	1.1	6. 友人・知人からの紹介	40	10.8
2. 交通が便利	101	27.2	7. たまたま住宅が見つかった	88	23.7
3. 職場や学校が近い	156	42.0	8. 職場や学校から決められた住宅だった	37	10.0
4. 友人・知人が多い	25	6.7	9. 行政サービスが充実している	11	3.0
5. 買い物に便利	30	8.1	10. その他	82	22.1
			全体	371	100.0

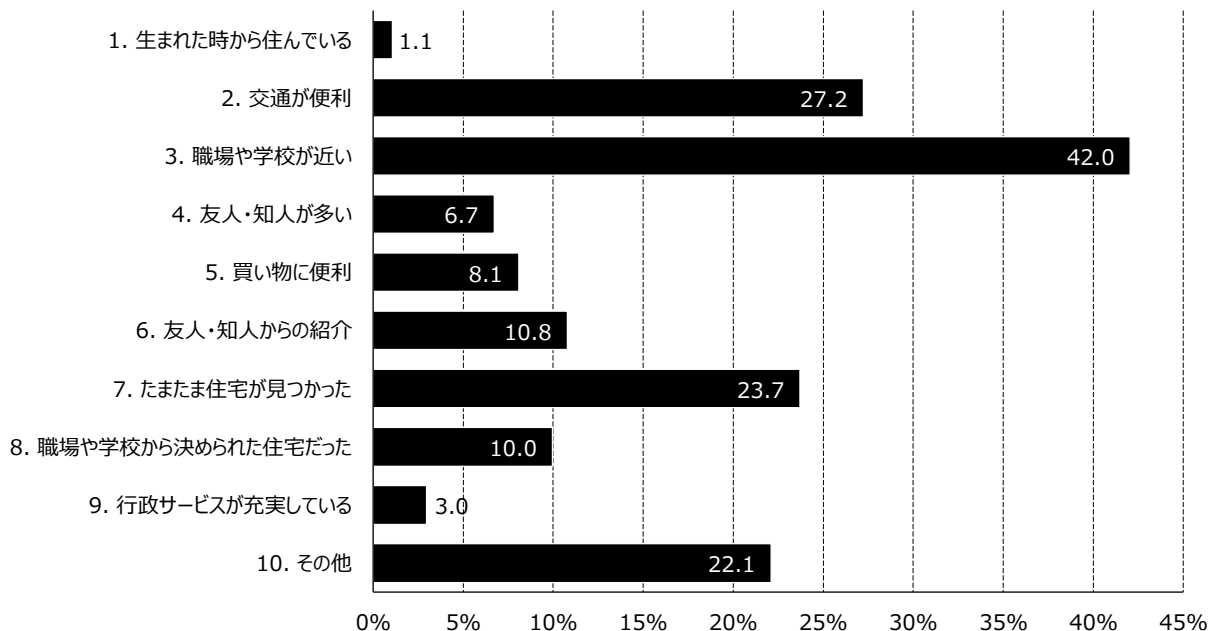
※無回答7 ※累計（n）：574／累計（%）：154.7

■「その他」82件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
環境、雰囲気、近隣施設	23	6.2	配偶者、家族の通勤、仕事、通学に便利	12	3.2
自身、配偶者、家族の実家	16	4.3	結婚、出産を契機に	8	2.2
配偶者、家族が住んでいた	13	3.5	配偶者、家族が決めた	3	0.8

※割合は（n=371）で算出

世田谷区に住む理由（n=371）無回答7



世田谷区に住む理由では、「職場や学校が近い」が156件・42.0%で最も多く、「交通が便利」が101件・27.2%、「たまたま住宅が見つかった」が88件・23.7%と続いている。「行政サービスが充実している」は11件・3.0%であった。「その他」には「環境、雰囲気、近隣施設」を世田谷区に住む理由として挙げた回答が23件あった。

(8) 住居形態 【F 8. あなたの住居はどれですか（1つに○）。】

■ 『住居形態』 件数割合

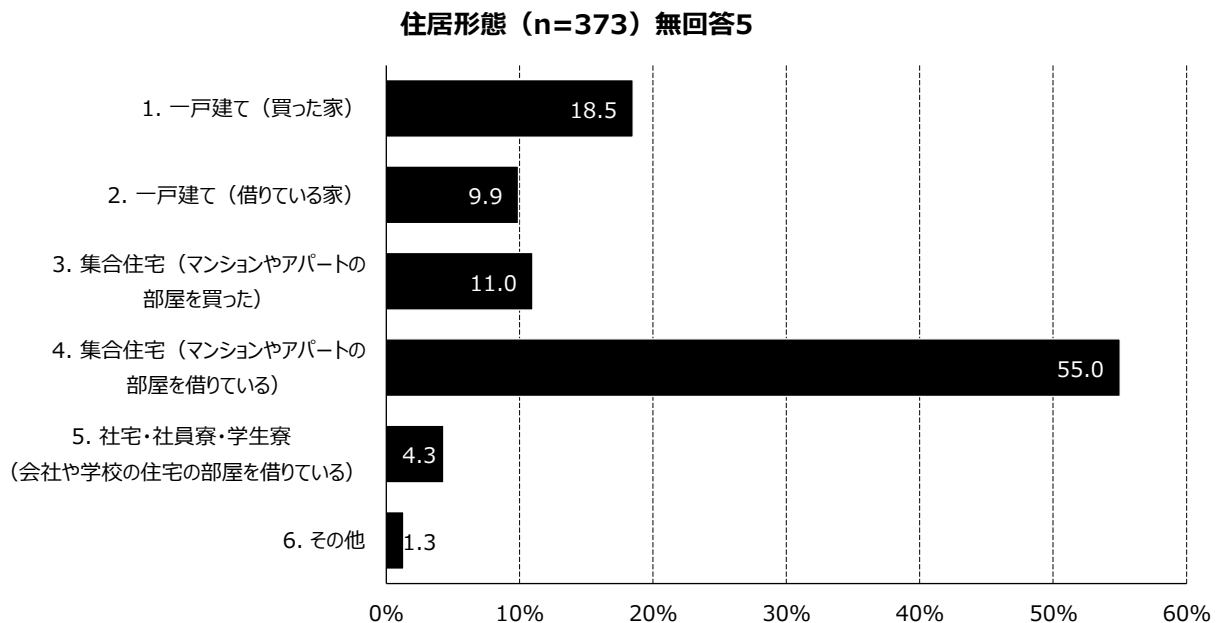
	件数	割合
一戸建て（買った家）	69	18.5
一戸建て（借りている家）	37	9.9
集合住宅（マンションやアパートの部屋を買った）	41	11.0
集合住宅（マンションやアパートの部屋を借りている）	205	55.0
社宅・社員寮・学生寮（会社や学校の住宅の部屋を借りている）	16	4.3
その他	5	1.3
全 体	373	100.0

※無回答 5

■ 「その他」 5 件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
修道院	1	0.3	シェアハウス	1	0.3

※割合は（n=373）で算出



住居形態では、「集合住宅（マンションやアパートの部屋を借りている）」が 205 件・55.0%で最も多く、次いで「一戸建て（買った家）」が 69 件・18.5%、「集合住宅（マンションやアパートの部屋を買った）」が 41 件・11.0%と続いている。

「その他」には、「修道院」、「シェアハウス」などの回答があった。

(9) 同居人 【F 9. あなたは現在だれと一緒に住んでいますか（あてはまるもの全てに○）。】

■『同居人』件数割合

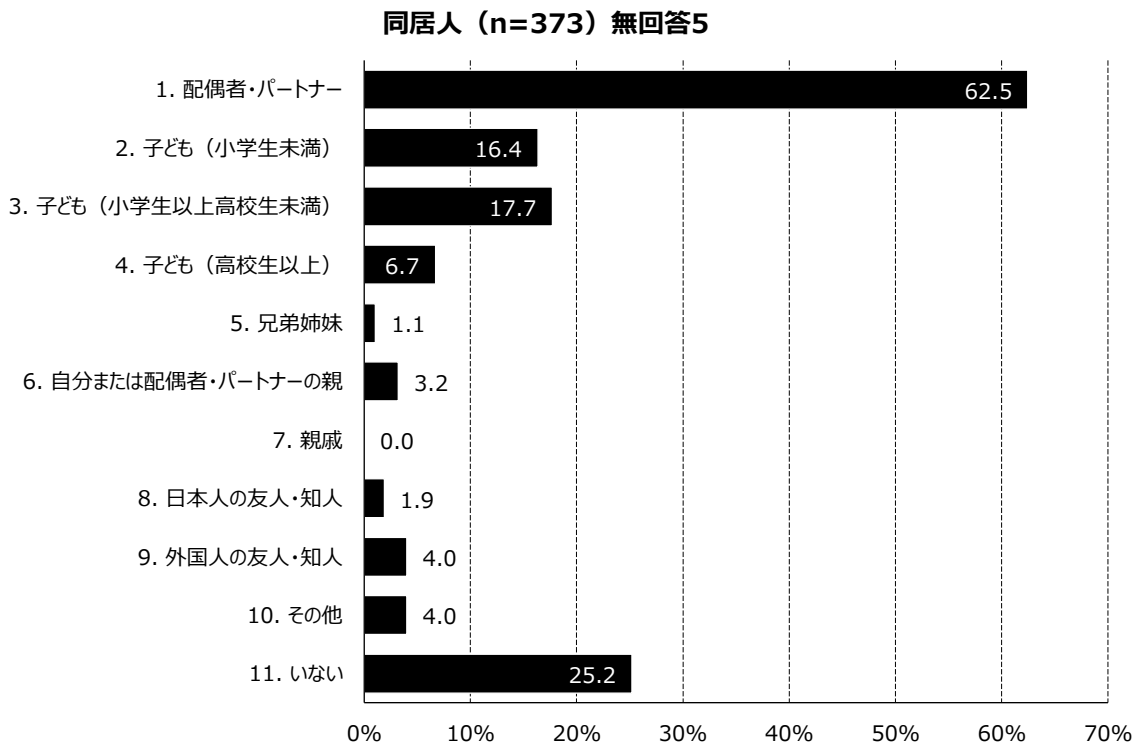
	件数	割合		件数	割合
1. 配偶者・パートナー	233	62.5	7. 親戚	0	0.0
2. 子ども（小学生未満）	61	16.4	8. 日本人の友人・知人	7	1.9
3. 子ども（小学生以上高校生未満）	66	17.7	9. 外国人の友人・知人	15	4.0
4. 子ども（高校生以上）	25	6.7	10. その他	15	4.0
5. 兄弟姉妹	4	1.1	11. いない	94	25.2
6. 自分又は配偶者・パートナーの親	12	3.2			
			全 体	373	100.0

※無回答5 ※累計（n）：532／累計（%）：142.6

■「その他」15件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
家族	6	1.6	ボーイフレンド、ガールフレンド	2	0.5

※割合は（n=373）で算出



同居人では、「配偶者・パートナー」が233件・62.5%と最も多く、次いで「子ども（小学生以上高校生未満）」が66件・17.7%、「子ども（小学生未満）」が61件・16.4%、「子ども（高校生以上）」25件・6.7%と続いており、近親者との同居の割合が高い。同居人は「いない」と回答した単身生活者は94件・25.2%であった。

II-2. ことばについて

(1) 不自由なく使えることば 【Q1. 日本語以外のことばのうち、不自由なく使えることばは何ですか（あてはまるもの全てに○）。】

■ 『不自由なく使えることば』 件数割合

	件数	割合		件数	割合
1. 英語	236	65.9	6. ドイツ語	15	4.2
2. 中国語	118	33.0	7. ベトナム語	4	1.1
3. 韓国・朝鮮語	62	17.3	8. フィリピン語	17	4.7
4. フランス語	24	6.7	9. その他	70	19.6
5. スペイン語	13	3.6			
			全 体	358	100.0

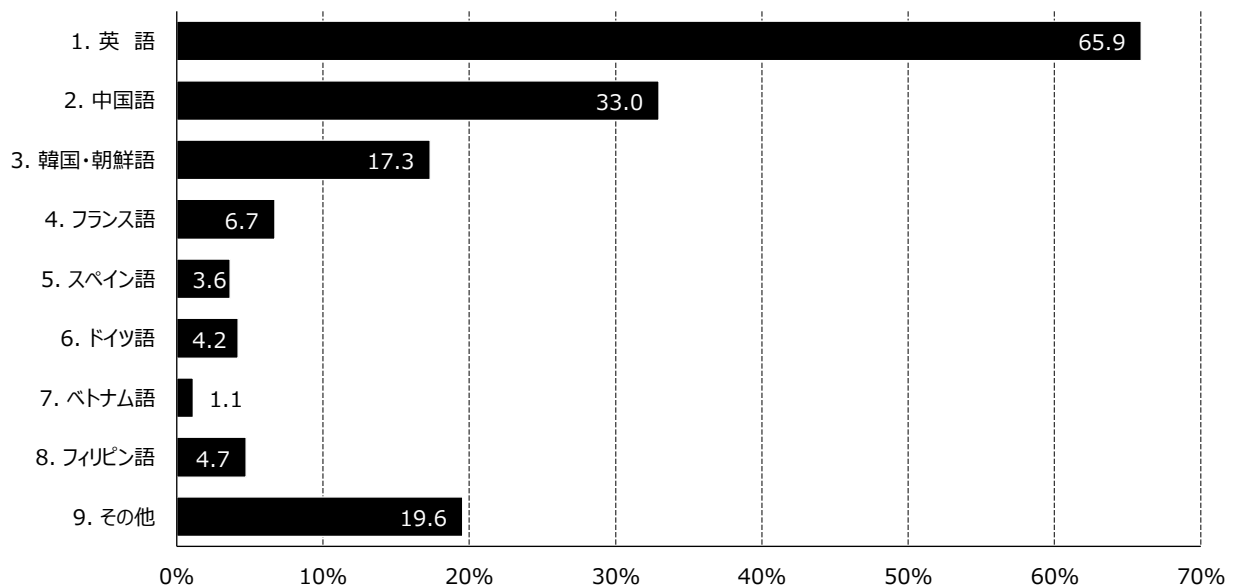
※無回答 20 ※累計 (n) : 559 / 累計 (%) : 156.1

■ 「その他」 70 件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
イタリア語	15	4.2	広東語	4	1.1
ロシア語	9	2.5	台湾語	3	0.8
インドネシア語	4	1.1	タイ語	3	0.8

※割合は (n=358) で算出

不自由なく使えることば (n=358) 無回答20



日本語以外で不自由なく使えることばでは、「英語」が236件・65.9%で最も多く、「中国語」が118件・33.0%、「韓国・朝鮮語」が62件・17.3%と続いている。「その他」の記述回答には「イタリア語」15件・4.2%、「ロシア語」9件・2.5%があった。

(2) 日本語（話す・聞く・読む・書く）のレベル 【Q2. あなたはどれくらい日本語ができますか（1つに〇。）】

■『日本語（話す・聞く・読む・書く）のレベル』件数割合

	話すこと		聞くこと		読むこと		書くこと	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. できる	147	41.2	150	42.5	130	37.5	110	32.0
2. だいたいできる	133	37.3	140	39.7	111	32.0	106	30.8
3. あまりできない	64	17.9	53	15.0	74	21.3	88	25.6
4. ほとんどできない	13	3.6	10	2.8	32	9.2	40	11.6
	357	100.0	353	100.0	347	100.0	344	100.0

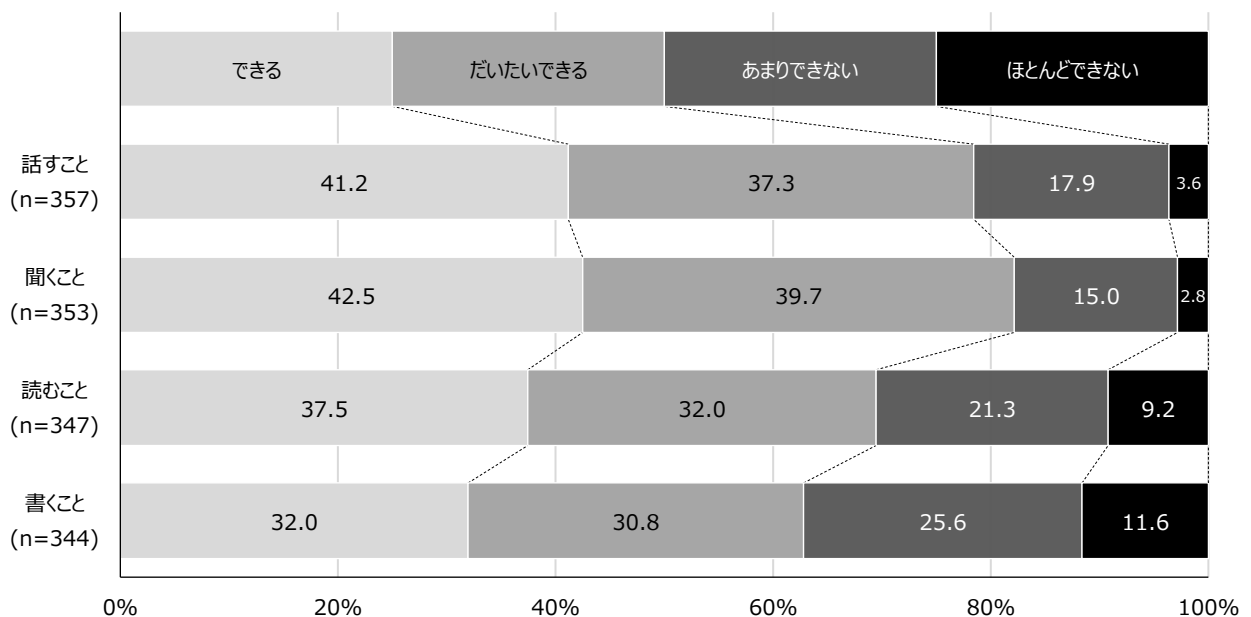
※無回答 21

※無回答 25

※無回答 31

※無回答 34

日本語（話す・聞く・読む・書く）のレベル

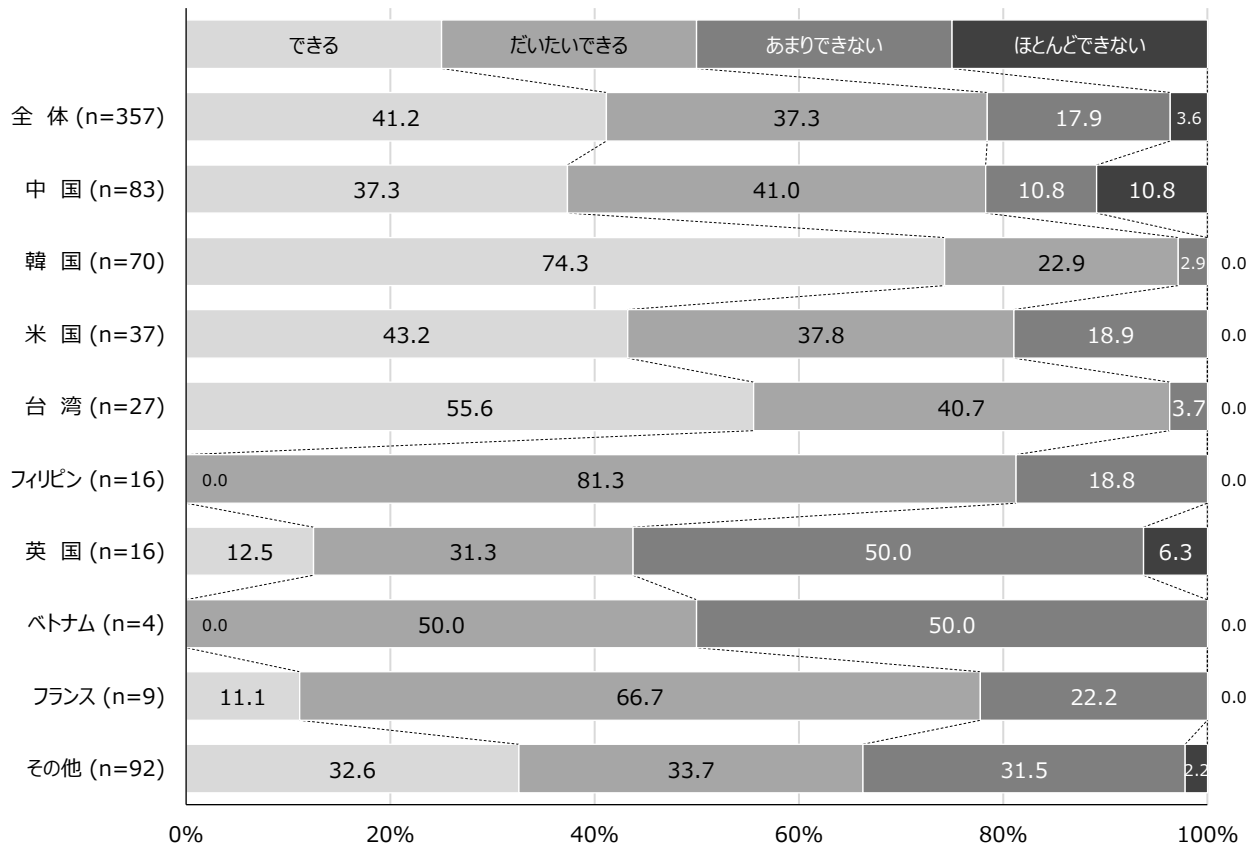


日本語（話す・聞く・読む・書く）のレベルでは、いずれも「できる」が最も多く、「できる」と「だいたいできる」の合算で見ると、「話すこと」78.5%、「聞くこと」82.2%、「読むこと」69.5%、「書くこと」62.8%であった。

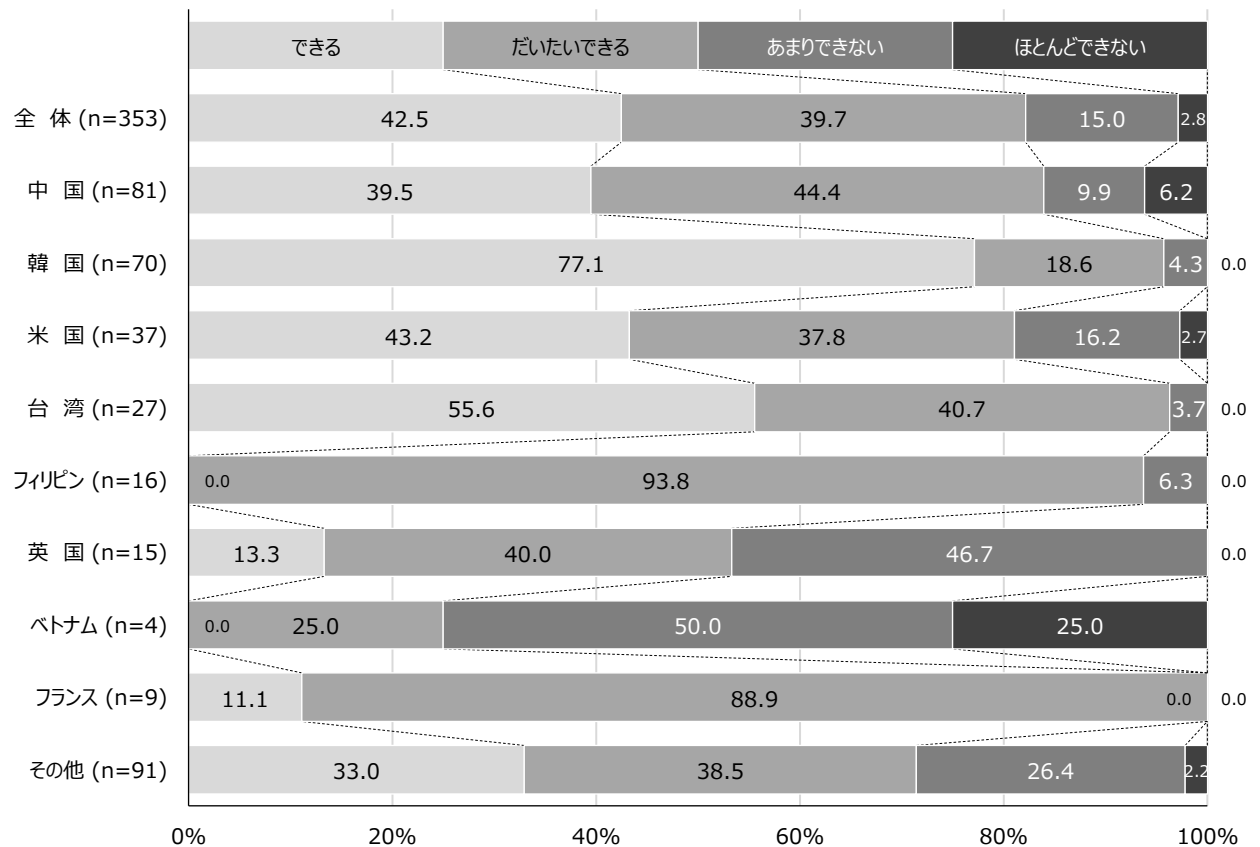
「できる」で見ると、「聞くこと」の42.5%が最も高く、「だいたいできる」では「聞くこと」の39.7%、「あまりできない」では「書くこと」の25.6%、「ほとんどできない」でも「書くこと」の11.6%が最も高い。

「読むこと」「書くこと」が「話すこと」「聞くこと」に比べ、日本語を習得するうえで難易度が高いことがうかがえる。

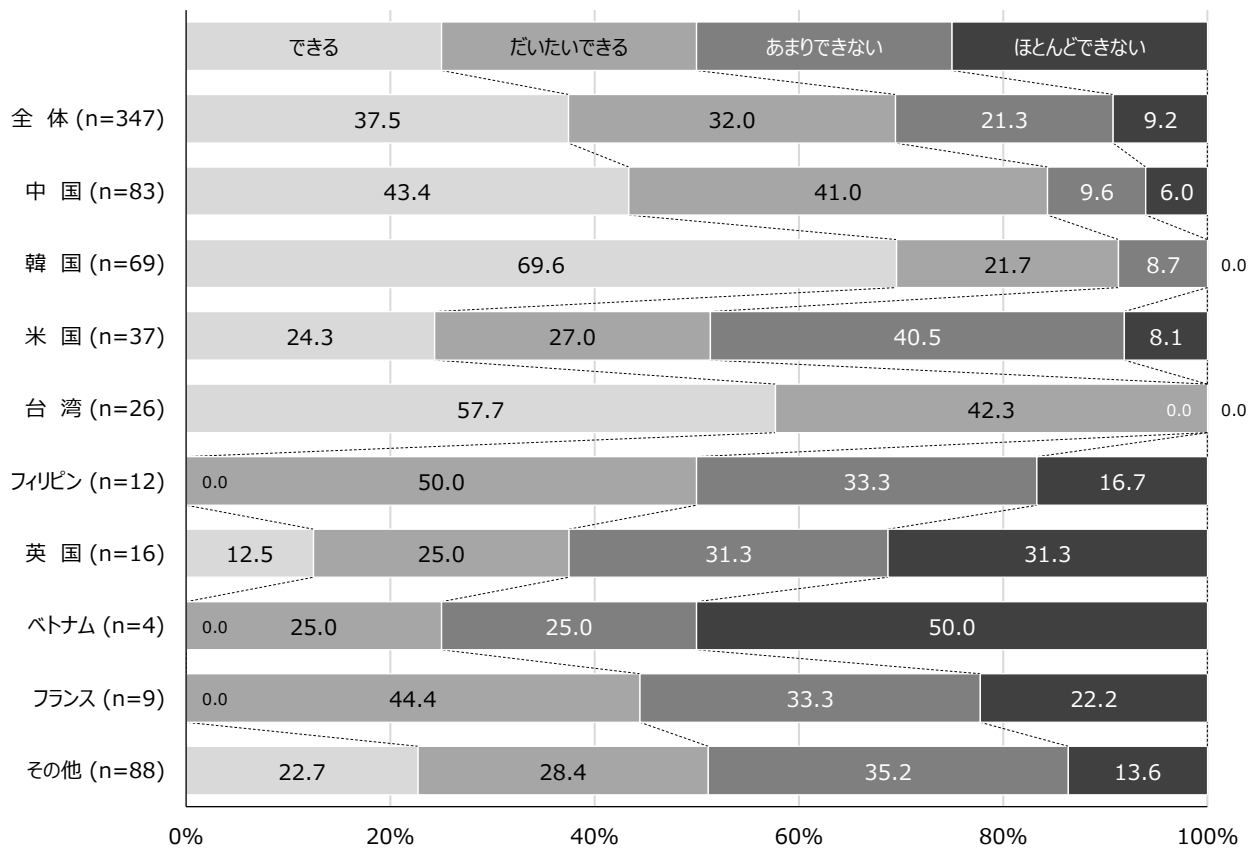
■ 『日本語能力<話すこと>』 国籍・地域割合



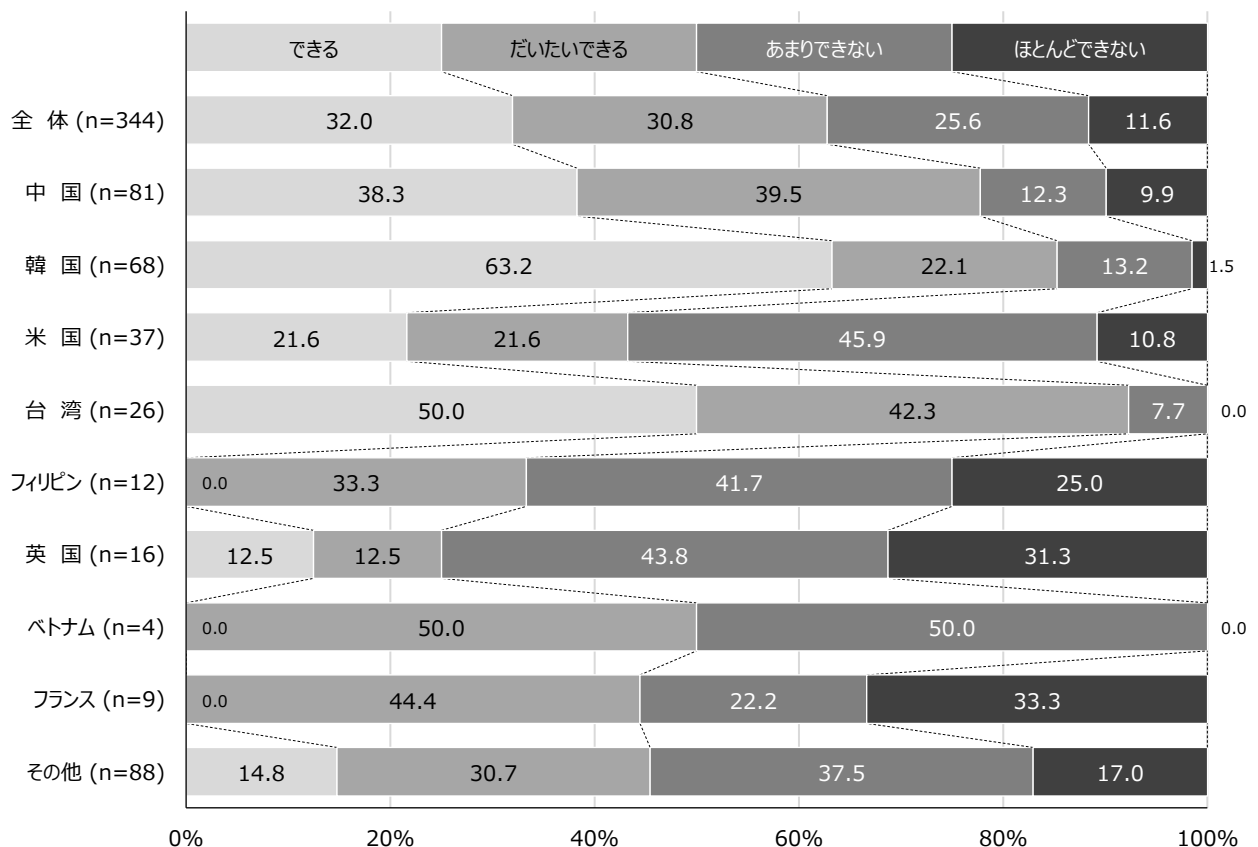
■ 『日本語能力<聞くこと>』 国籍・地域割合



■ 『日本語能力<読むこと>』 国籍・地域割合



■ 『日本語能力<書くこと>』 国籍・地域割合



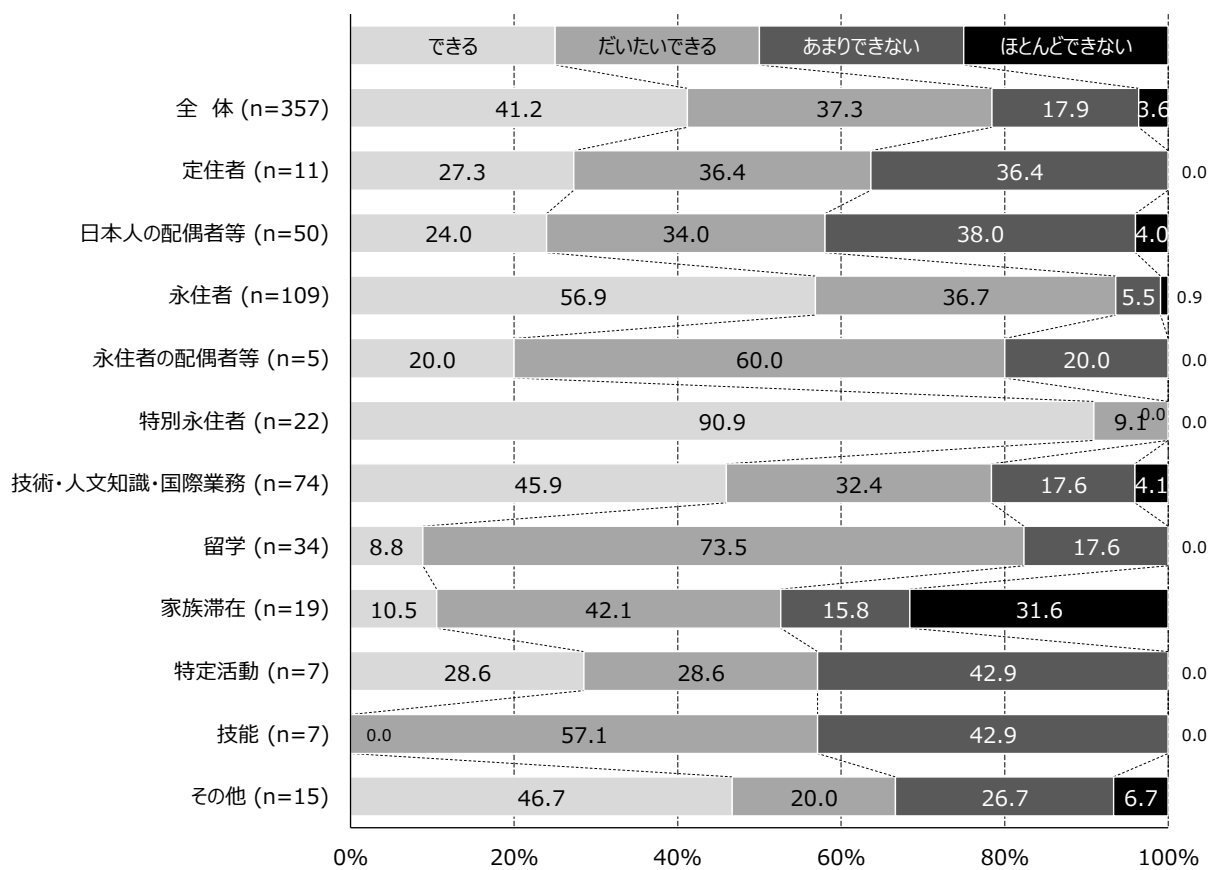
日本語能力<話すこと>の国籍・地域別では、「中国」で、「できる」37.3%、「だいたいできる」41.0%、「韓国」では、「できる」74.3%、「だいたいできる」22.9%、「米国」では、「できる」43.2%、「だいたいできる」37.8%、「台湾」では、「できる」55.6%、「だいたいできる」40.7%であり、「韓国」の「できる」の割合が特出しているのがうかがえる。また「ほとんどできない」では「中国」10.8%に対して、「韓国」「米国」「台湾」は0.0%であった。

日本語能力<聞くこと>では、「韓国」「台湾」で、「できる」「だいたいできる」の合算がそれぞれ95.7%・96.3%と『聞くこと』についての高い日本語能力が示された。「フィリピン」では、「できる」は0.0%であるが「だいたいできる」が93.8%と、高い割合となった。

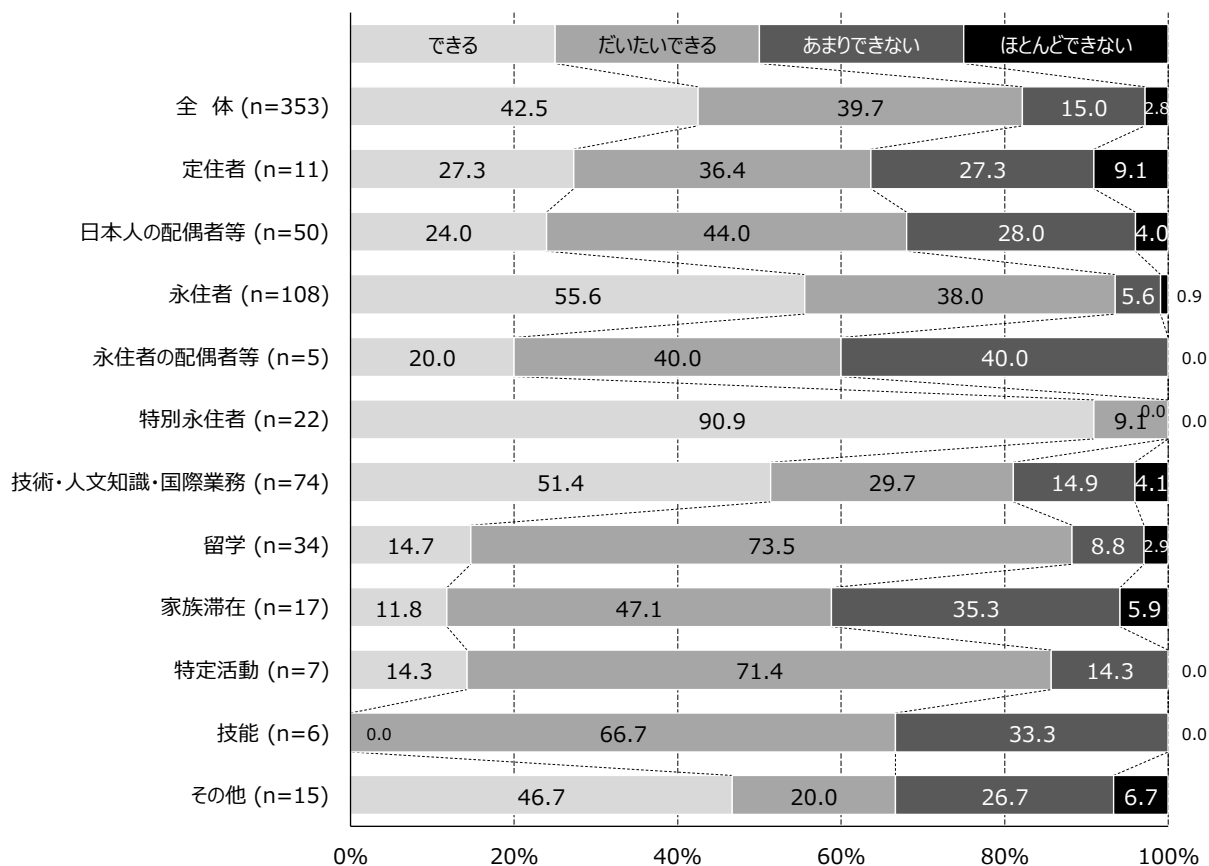
日本語能力<読むこと>では、「中国」「韓国」「台湾」で、「できる」「だいたいできる」の合算で<話すこと><聞くこと>同様に高い割合を示しているが、「米国」では「できる」24.3%、「だいたいできる」27.0%とかなり低い結果であり、「あまりできない」40.5%は特出している。

日本語能力<書くこと>でも、「韓国」63.2%、「台湾」50.0%が「できる」と回答している。「中国」は「できる」38.3%、「だいたいできる」39.5%、「あまりできない」12.3%、「ほとんどできない」は9.9%であった。

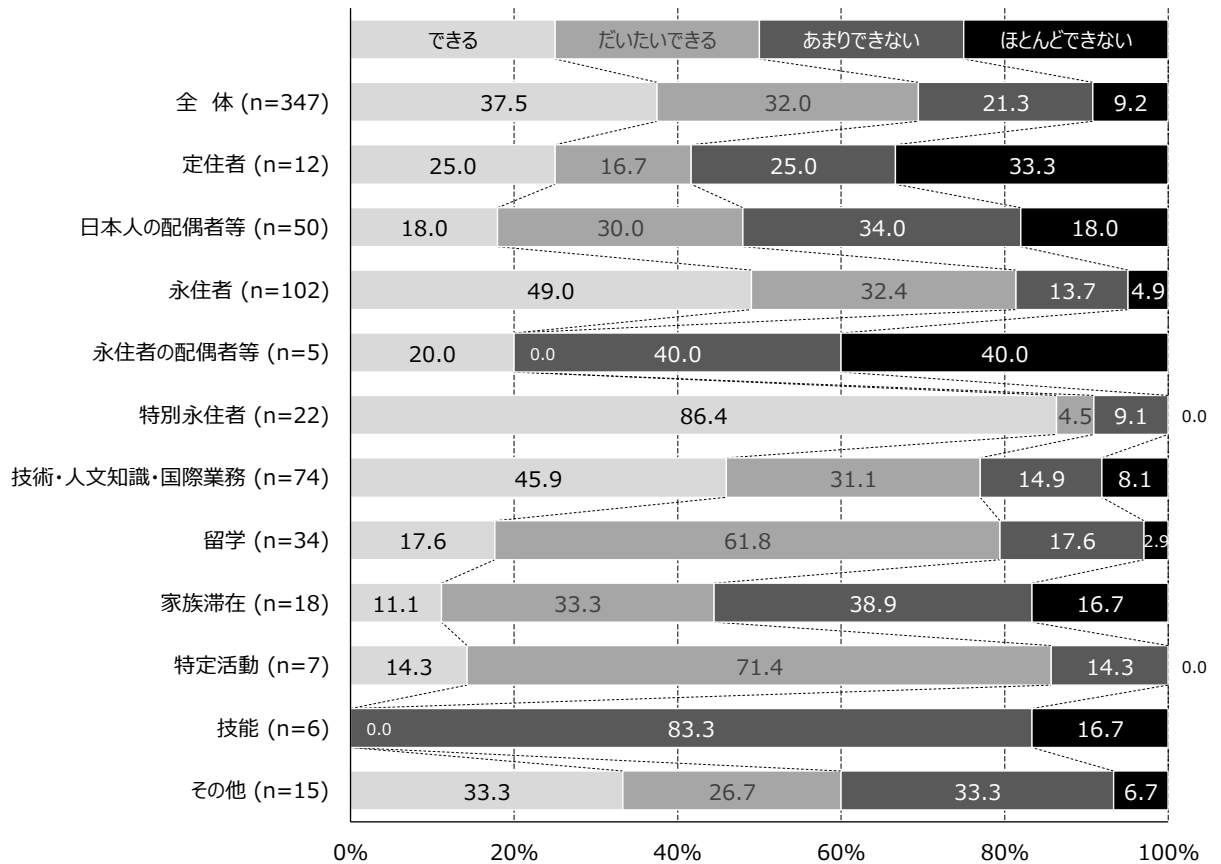
■ 『日本語能力<話すこと>』在留資格割合



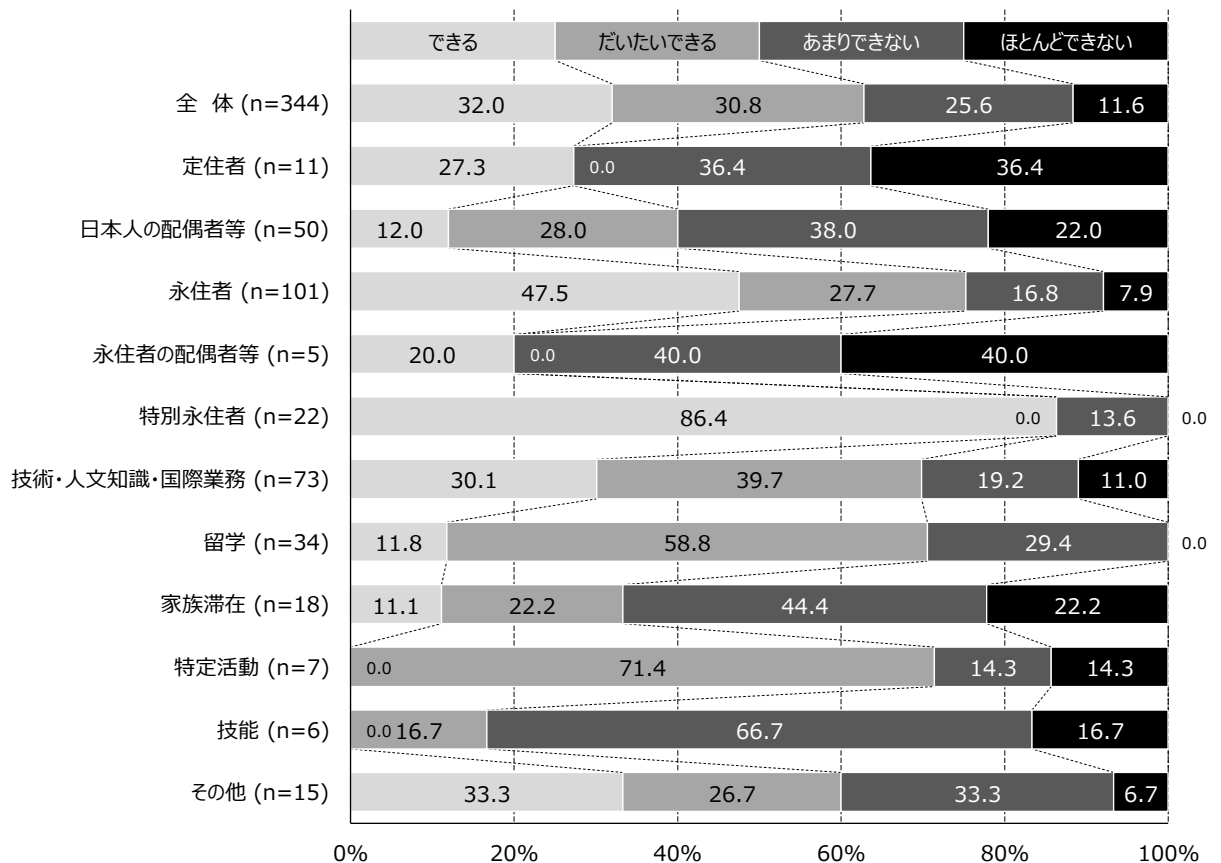
■ 『日本語能力<聞くこと>』在留資格割合



■ 『日本語能力<読むこと>』在留資格割合



■ 『日本語能力<書くこと>』在留資格割合



日本語能力<話すこと>の在留資格別では、「特別永住者」で、「できる」90.9%が特出しており、「だいたいできる」9.1%を合わせ全員が<話すこと>について高い能力を有している。最も母数の多い「永住者」でも、「できる」「だいたいできる」の合算が93.6%の高さであった。

「あまりできない」「ほとんどできない」の合算で最も高いのが、「家族滞在」の47.4%で半数近くが<話すこと>に関して苦慮していることがうかがえる。

日本語能力<聞くこと>では、<話すこと>同様に「特別永住者」で「できる」「だいたいできる」の合算が100.0%であった。

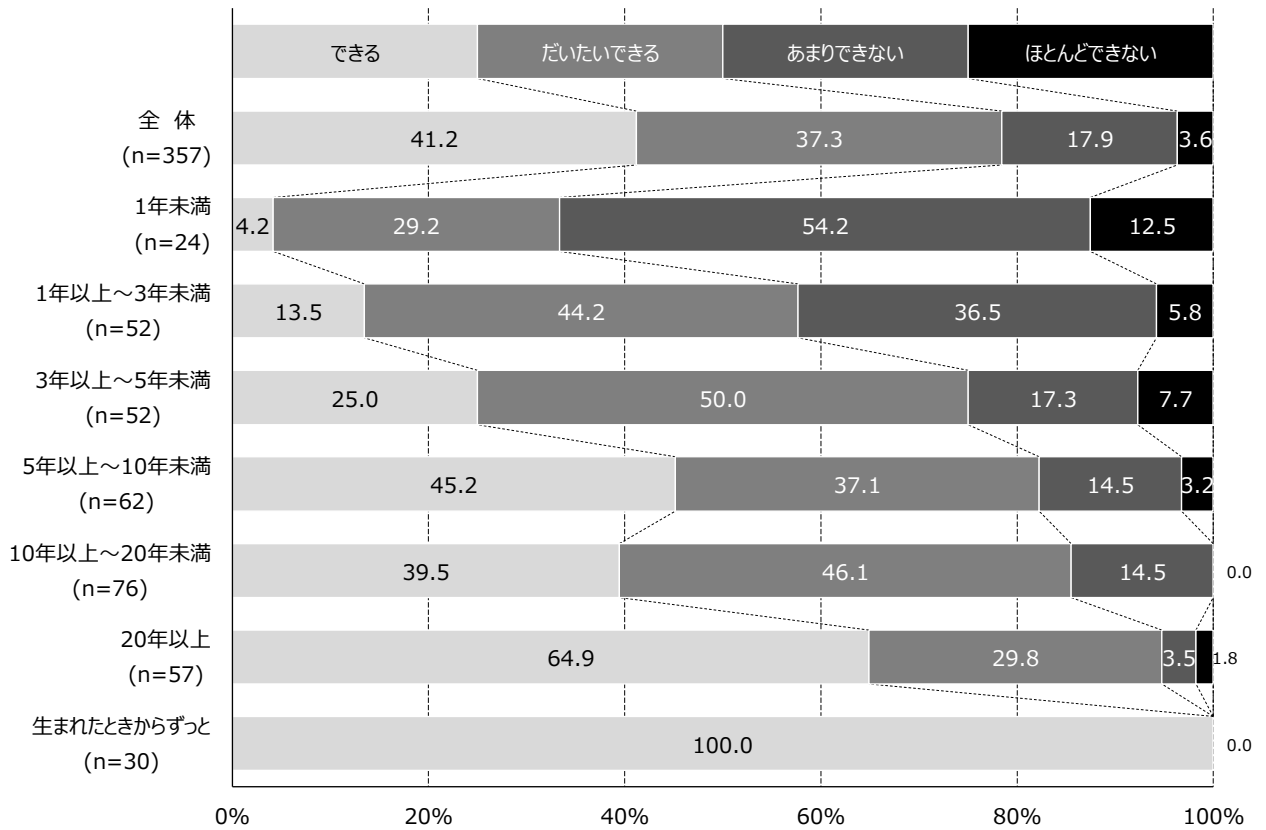
「あまりできない」「ほとんどできない」の合算でも、「家族滞在」の41.2%が最も高かった。

日本語能力<読むこと>でも、「特別永住者」の「できる」86.4%が特出している。「できる」で次に高いのが、「永住者」の49.0%であった。

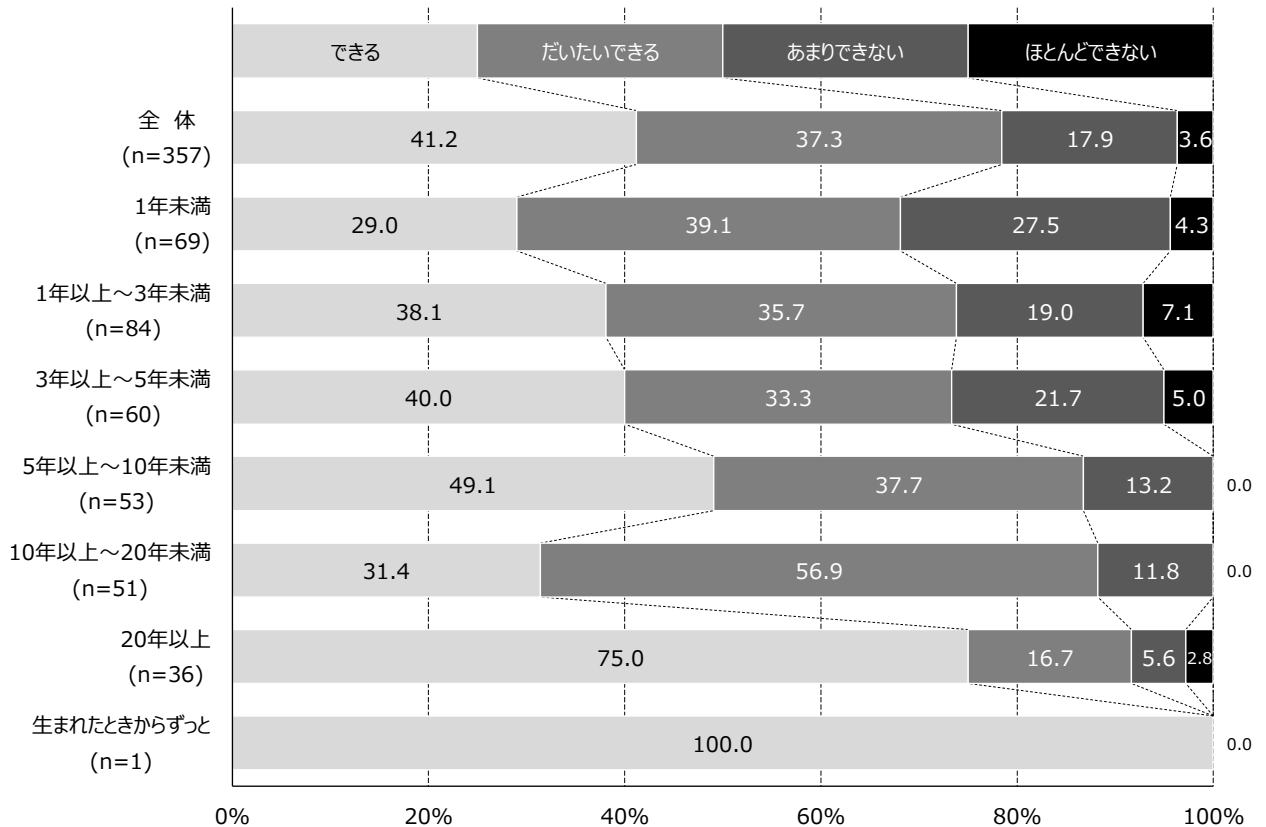
「あまりできない」「ほとんどできない」の合算で5割を超えているのは、「定住者」58.3%、「日本人の配偶者等」52.0%、「家族滞在」55.6%であった（n=10未満の在留資格を除く）。

日本語能力<書くこと>では、「できる」「だいたいできる」の合算で5割を超えているのが、「永住者」75.2%、「特別永住者」86.4%、「技術・人文知識・国際業務」69.8%、「留学」70.6%、「特定活動」71.4%、「その他」60.0%で他の在留資格では5割以下であった。

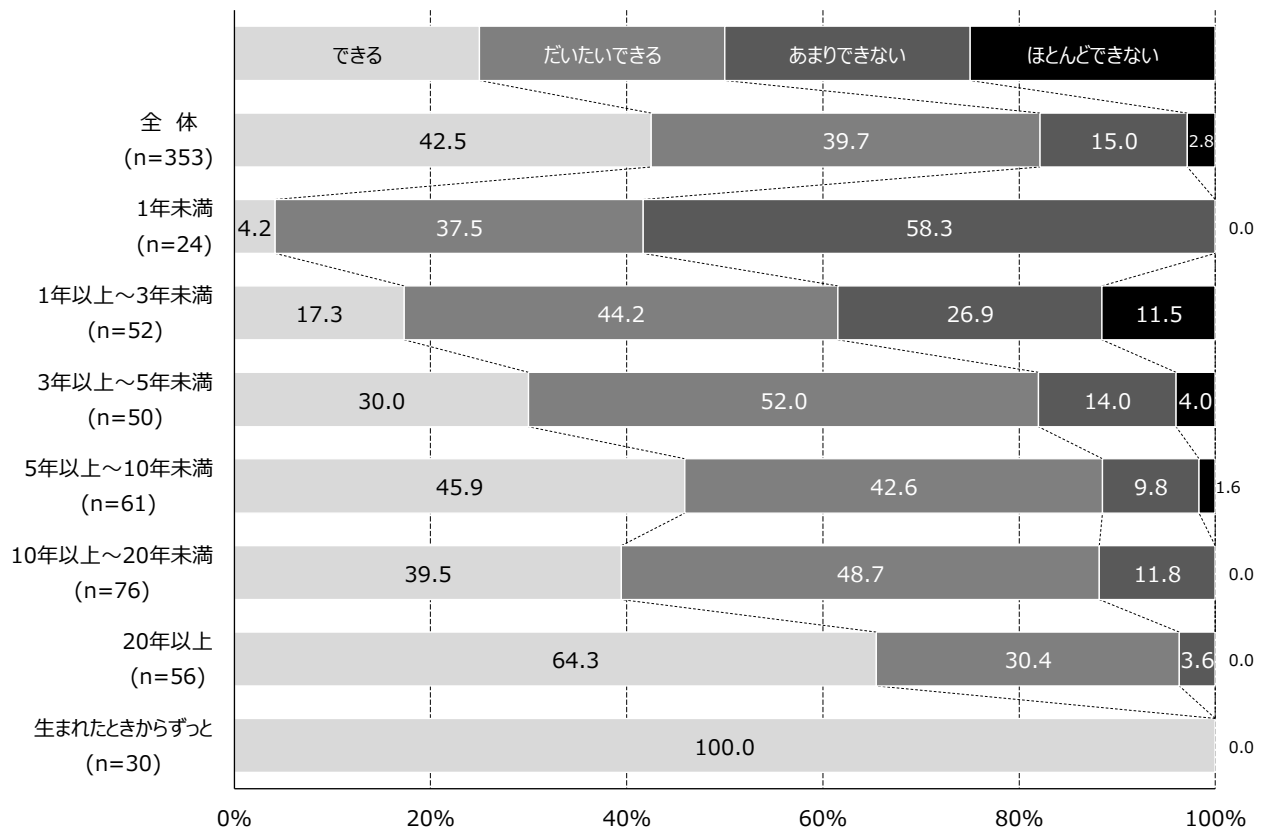
■ 『日本語能力<話すこと>』日本在住期間割合



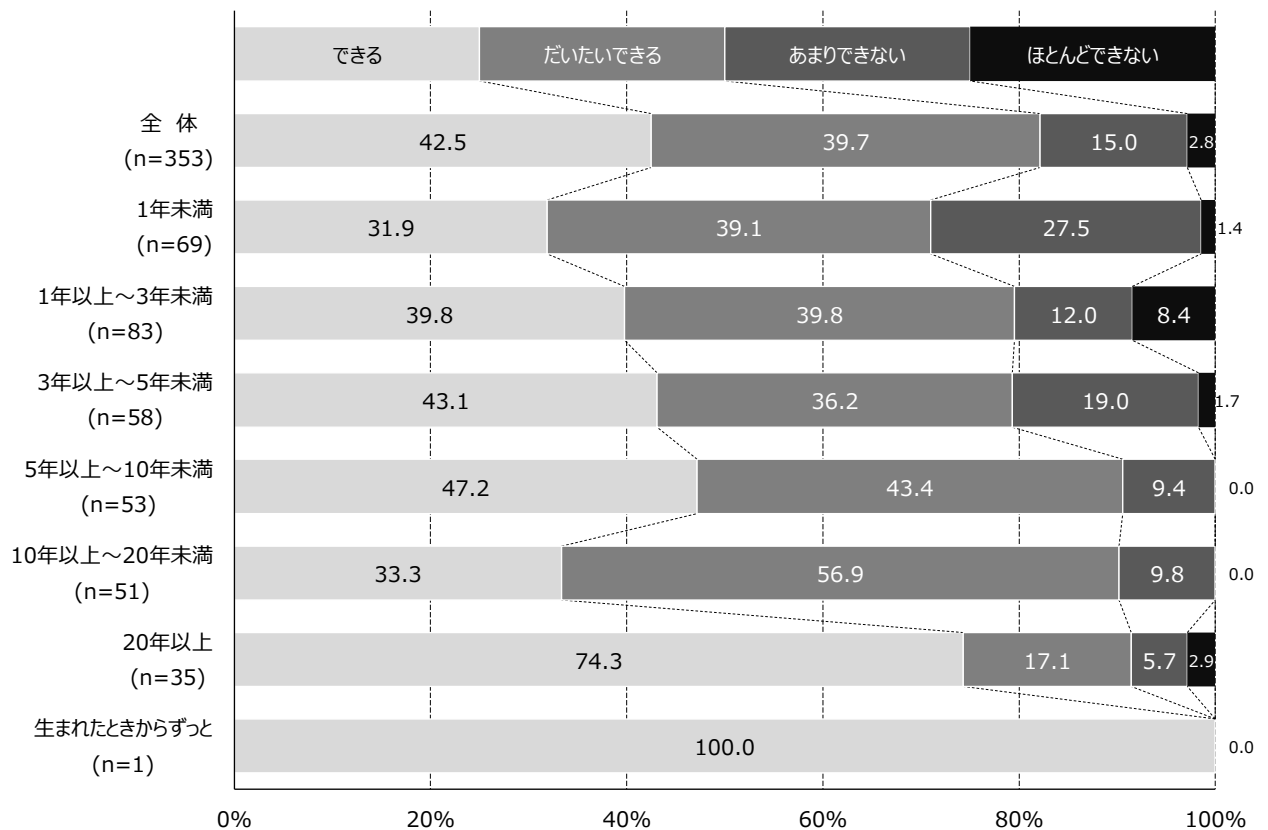
■ 『日本語能力<話すこと>』世田谷区在住期間割合



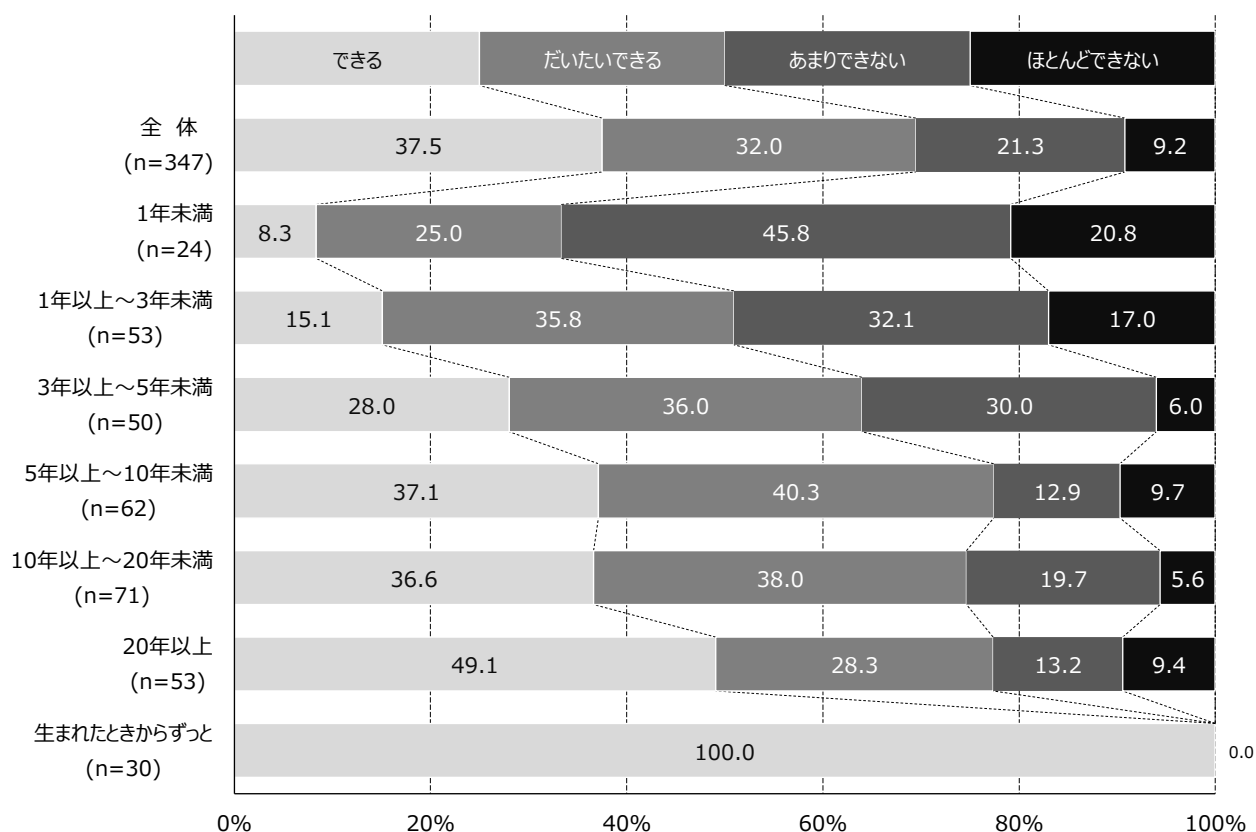
■ 『日本語能力<聞くこと>』日本在住期間割合



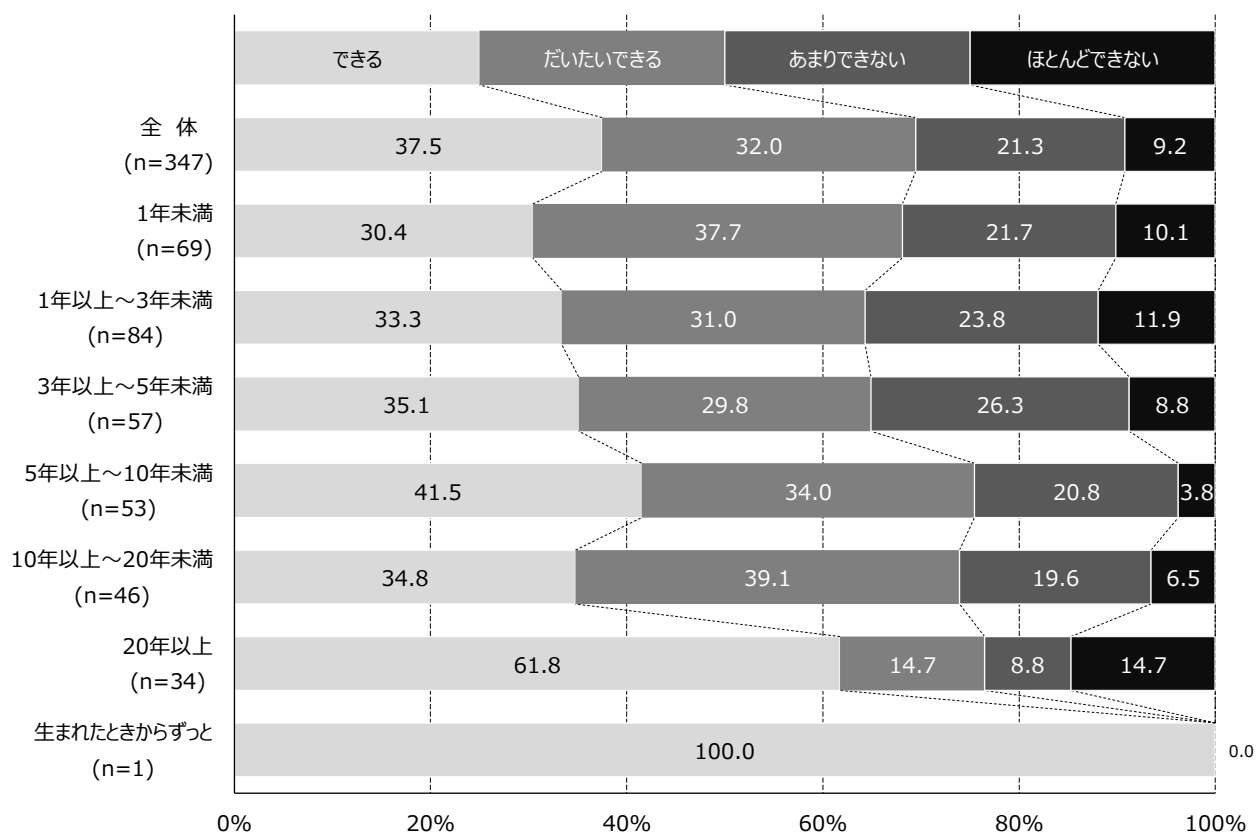
■ 『日本語能力<聞くこと>』世田谷区在住期間割合



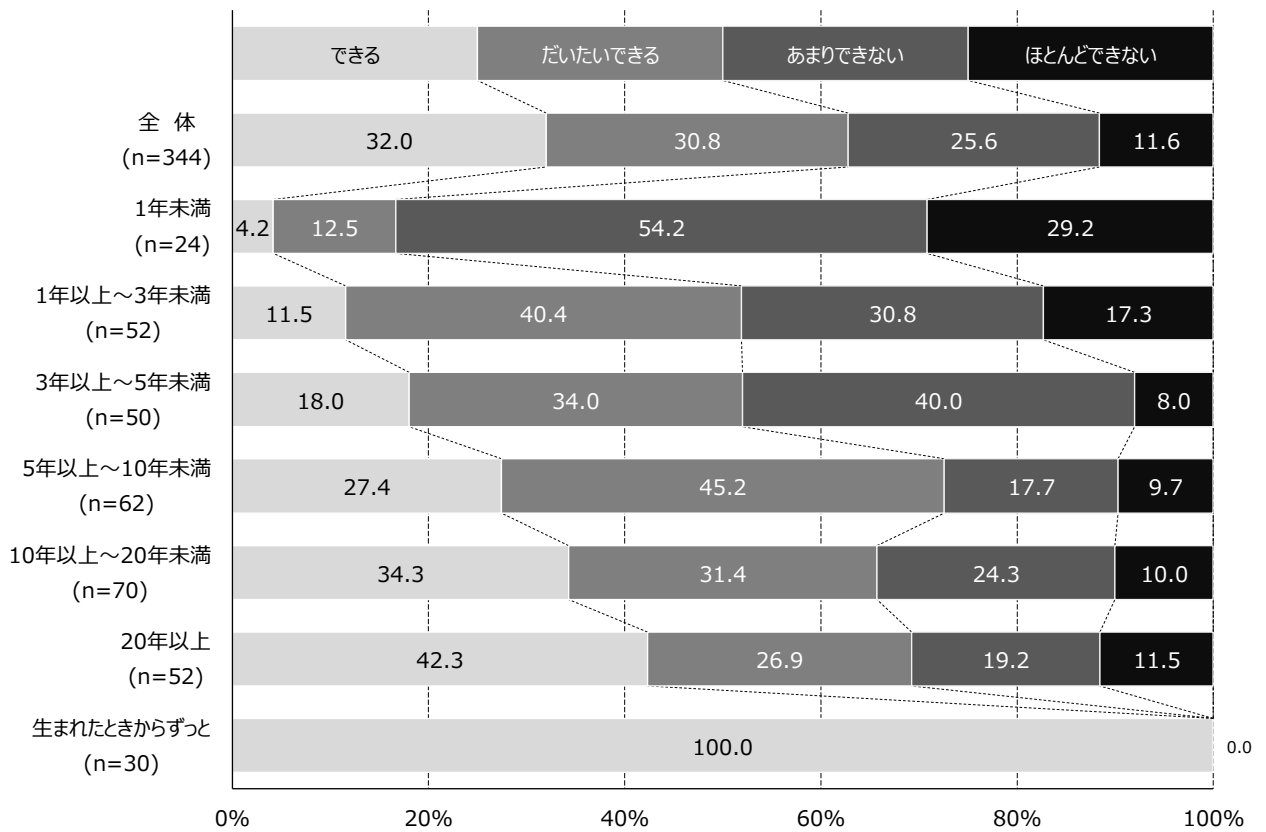
■ 『日本語能力<読むこと>』 日本在住期間割合



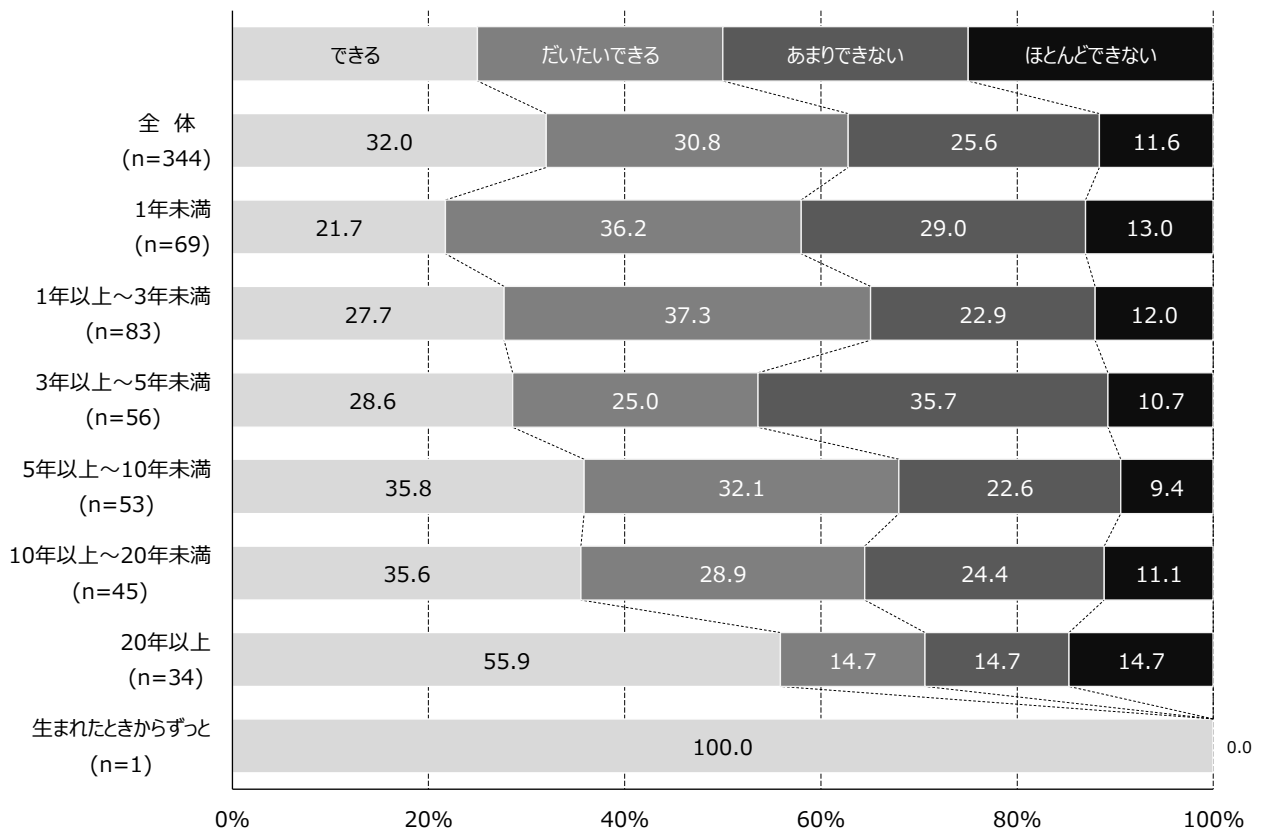
■ 『日本語能力<読むこと>』 世田谷区在住期間割合



■ 『日本語能力<書くこと>』日本在住期間割合



■ 『日本語能力<書くこと>』世田谷区在住期間割合



日本語能力の在住期間別では、〈話すこと〉〈聞くこと〉〈読むこと〉〈書くこと〉のいずれでも、在住期間が長いほど「できる」「だいたいできる」の合算の割合が高い傾向がある。

〈話すこと〉の日本在住期間「1年未満」では、「できる」「だいたいできる」の合算が33.4%で、他の在住期間区分では5割以上の高さである。「5年以上～10年未満」の区分では、約8割が「だいたいできる」以上の能力を持っている。

〈話すこと〉の世田谷区在住期間でも、「3年～5年未満」の区分以上で在住期間が長いほど「できる」「だいたいできる」の合算で高くなっているが、「できる」については「10年以上～20年未満」で31.4%と低くなっている。

〈聞くこと〉の日本在住期間では、「1年未満」で「できる」「だいたいできる」の合算が41.7%で、世田谷区在住期間では、「1年未満」で71.0%であった。

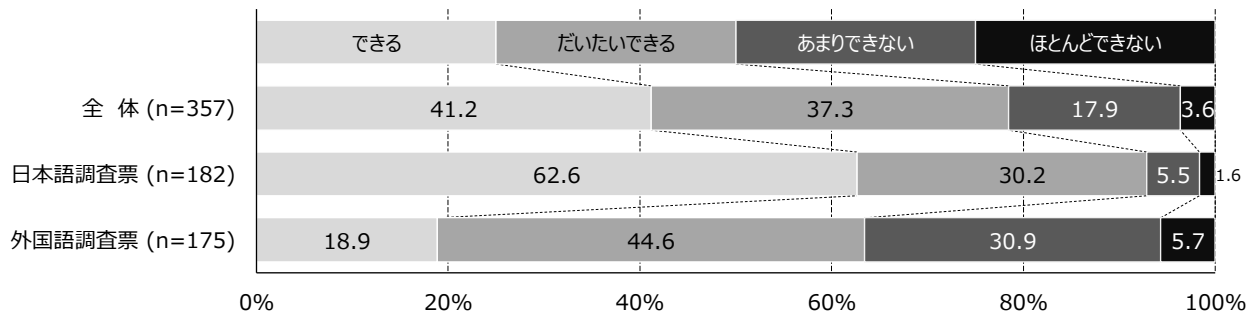
日本在住期間、世田谷区在住期間ともに「5年以上～10年未満」から「20年以上」の区分で「あまりできない」「ほとんどできない」の合算が10%程度の低さになっている。

〈読むこと〉では、日本在住期間が長くなるにつれ「できる」の割合が高くなる傾向がみえるが、世田谷区在住期間では、「1年未満」から「10年以上～20年未満」の区分で30%から40%程度であり、顕著な違いは見受けられない。

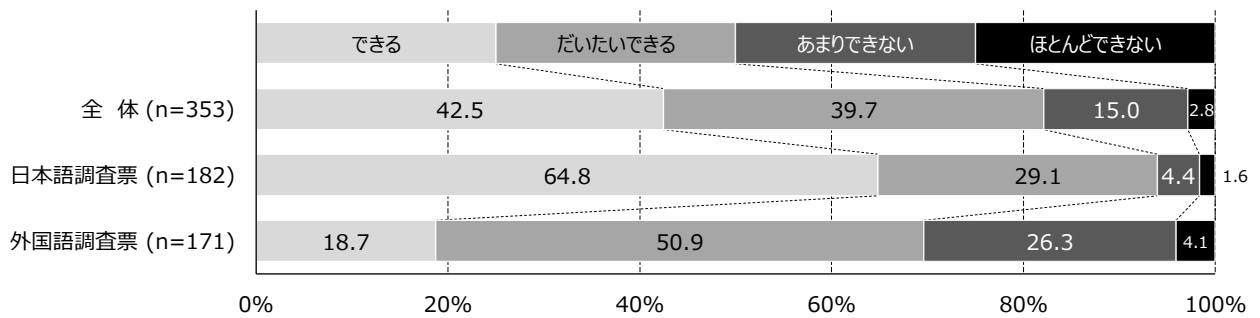
〈書くこと〉では、日本在住期間の「できる」でみると、「1年未満」から在住期間が長くなるにつれ割合が高くなっている。世田谷区在住期間でもほぼ同様の傾向がみられる。

世田谷区在住期間の「ほとんどできない」でみると「生まれたときからずっと」を除いた在住期間で約10%から15%の高さである。

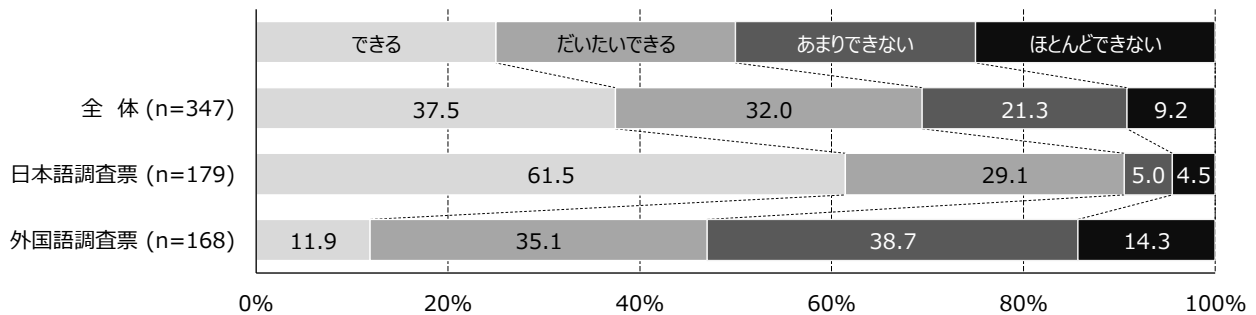
■ 『日本語能力<話すこと>』調査票言語割合



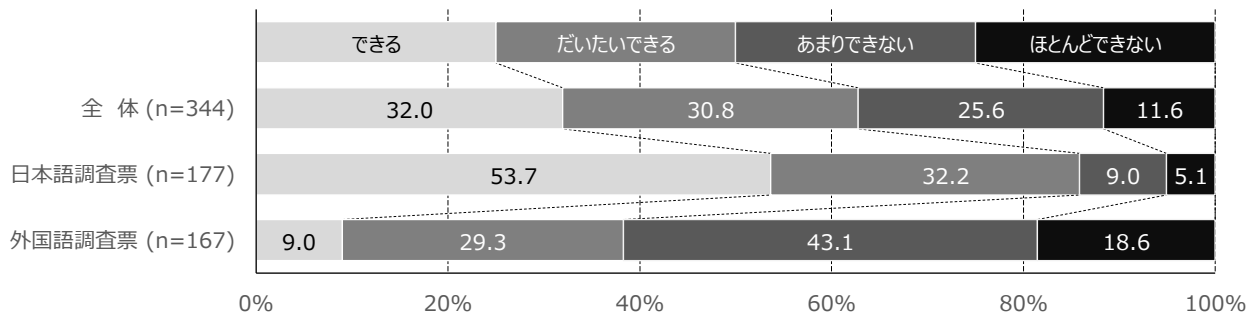
■ 『日本語能力<聞くこと>』調査票言語割合



■ 『日本語能力<読むこと>』調査票言語割合



■ 『日本語能力<書くこと>』調査票言語割合



日本語能力<話すこと><聞くこと><読むこと><書くこと>の回答調査票別では、「日本語調査票」を使用した回答者は、いずれの能力でも「できる」「だいたいできる」の割合が高い。一方「日本語調査票」を利用しているが、「ほとんどできない」が<話すこと>1.6%、<聞くこと>1.6%、<読むこと>4.5%、<書くこと>5.1%の割合で存在する。

「日本語調査票」の「できる」でみると、<聞くこと>64.8%、<話すこと>62.6%、<読むこと>61.5%、<書くこと>53.7%の順で高くなっている。

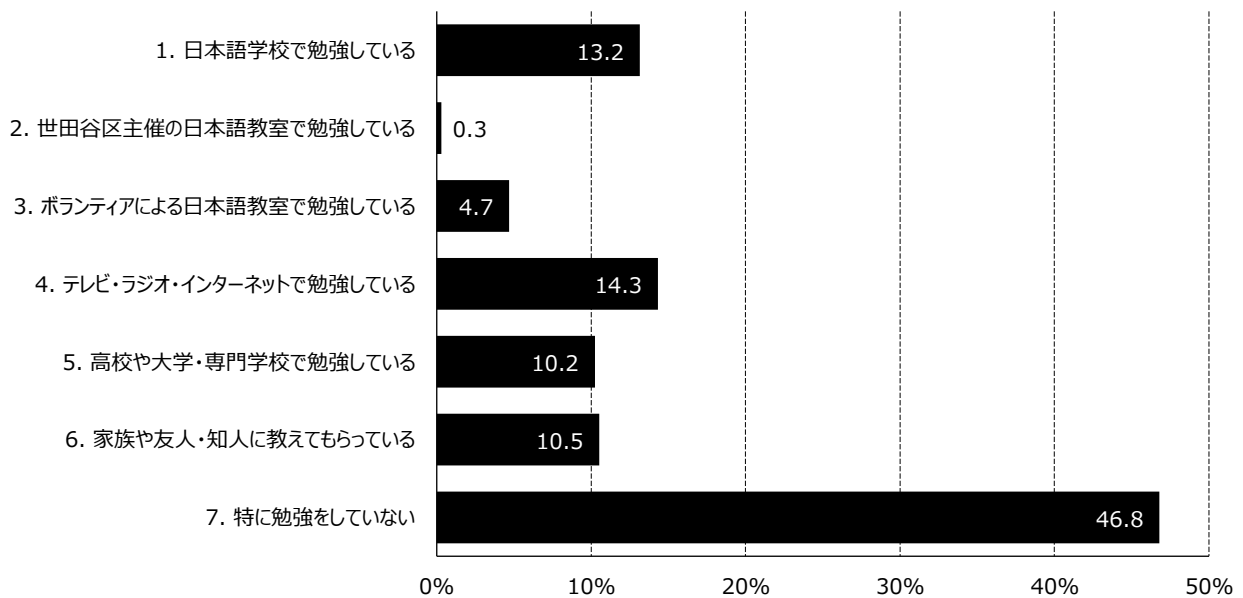
(3) 日本語の勉強 【Q3. あなたは以下の方法や場所で、日本語を勉強していますか
(主なもの1つに○)。】

■ 『日本語の勉強の方法や場所』 件数割合

	件数	割合
1. 日本語学校で勉強している	45	13.2
2. 世田谷区主催の日本語教室で勉強している	1	0.3
3. ボランティアによる日本語教室で勉強している	16	4.7
4. テレビ・ラジオ・インターネットで勉強している	49	14.3
5. 高校や大学・専門学校で勉強している	35	10.2
6. 家族や友人・知人に教えてもらっている	36	10.5
7. 特に勉強をしていない	160	46.8
全体	342	100.0

※無回答 36

日本語の勉強の方法や場所 (n=342) 無回答36



日本語の勉強の方法や場所については、「特に勉強をしていない」が160件・46.8%と半数近くをしめた。「特に勉強をしていない」を除くと、「テレビ・ラジオ・インターネットで勉強している」が49件・14.3%と最も高く、次いで「日本語学校で勉強している」が45件・13.2%、「家族や友人・知人に教えてもらっている」が36件・10.5%、「高校や大学・専門学校で勉強している」が35件・10.2%と続いている。

■『日本語を勉強する方法や場所』国籍・地域割合

国籍・地域	n	1	2	3	4	5	6	7
		日本語学校で勉強している	世田谷区主催の日本語教室で勉強している	ボランティアによる日本語教室で勉強している	テレビ・ラジオ・インターネットで勉強している	高校や大学・専門学校で勉強している	家族や友人・知人に教えてもらっている	特に勉強をしていない
全体	342	13.2	0.3	4.7	14.3	10.2	10.5	46.8
中国	78	23.1	0.0	2.6	12.8	14.1	7.7	39.7
韓国	67	9.0	0.0	0.0	9.0	9.0	4.5	68.7
米国	36	8.3	2.8	11.1	8.3	2.8	16.7	50.0
台湾	25	20.0	0.0	4.0	20.0	24.0	4.0	28.0
フィリピン	17	5.9	0.0	11.8	11.8	0.0	35.3	35.3
英国	14	7.1	0.0	14.3	21.4	7.1	7.1	42.9
ベトナム	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0
フランス	8	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	25.0	25.0
その他	91	9.9	0.0	4.4	18.7	9.9	11.0	46.2

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「特に勉強をしていない」は除く）。※無回答は除く。

国籍・地域別では、「特に勉強をしていない」で見ると、「韓国」が68.7%の割合で最も高く、「米国」が50.0%、「英国」が42.9%と続いている（「その他」は除く）。最も母数の多い「中国」では、39.7%の割合であった。

■『日本語を勉強する方法や場所』調査票言語割合

調査票言語	n	1	2	3	4	5	6	7
		日本語学校で勉強している	世田谷区主催の日本語教室で勉強している	ボランティアによる日本語教室で勉強している	テレビ・ラジオ・インターネットで勉強している	高校や大学・専門学校で勉強している	家族や友人・知人に教えてもらっている	特に勉強をしていない
全体	342	13.2	0.3	4.7	14.3	10.2	10.5	46.8
日本語調査票	171	14.6	0.6	1.8	8.8	13.5	6.4	54.4
外国語調査票	171	11.7	0.0	7.6	19.9	7.0	14.6	39.2

※網掛けは各調査票言語で最も割合が高い選択肢（「特に勉強をしていない」は除く）。※無回答は除く。

調査票言語別では、「日本語調査票」を利用している層では、「特に勉強をしていない」が54.4%と最も高く、「日本語学校で勉強している」が14.6%、「高校や大学・専門学校で勉強している」が13.5%であった。一方、「外国語調査票」を使用している層では「特に勉強をしていない」の39.2%を除くと、「テレビ・ラジオ・インターネットで勉強している」の19.9%が最も高かった。

■ 『日本語を勉強する方法や場所』 在留資格割合

在留資格	n	1	2	3	4	5	6	7
		日本語学校で勉強している	世田谷区主催の日本語教室で勉強している	ボランティアによる日本語教室で勉強している	テレビ・ラジオ・インターネットで勉強している	高校や大学・専門学校で勉強している	家族や友人・知人に教えてもらっている	特に勉強をしていない
全体	342	13.2	0.3	4.7	14.3	10.2	10.5	46.8
定住者	8	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	75.0
日本人の配偶者等	49	2.0	2.0	14.3	10.2	10.2	26.5	34.7
永住者	105	14.3	0.0	3.8	6.7	10.5	7.6	57.1
永住者の配偶者等	5	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0
特別永住者	23	4.3	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3	82.6
技術・人文知識・国際業務	73	12.3	0.0	1.4	27.4	6.8	5.5	46.6
留学	33	36.4	0.0	0.0	15.2	33.3	3.0	12.1
家族滞在	18	22.2	0.0	16.7	11.1	0.0	16.7	33.3
特定活動	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0
技能	8	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	37.5	25.0
その他	13	15.4	0.0	0.0	30.8	7.7	7.7	38.5

※網掛けは各在留資格で最も割合が高い選択肢（「特に勉強をしていない」は除く）。※無回答は除く。

在留資格別では、最も母数の多い「永住者」で見ると、「日本語学校で勉強している」が14.3%で最も高く、「高校や大学・専門学校で勉強している」が10.5%で続いている。「技術・人文知識・国際業務」では、「テレビ・ラジオ・インターネットで勉強している」が27.4%で最も高く、「日本語学校で勉強している」が12.3%であった。「日本人の配偶者等」では、「家族や友人・知人に教えてもらっている」が26.5%で最も高く、「ボランティアによる日本語教室で勉強している」が14.3%で続いている（いずれも「特に勉強をしていない」は除く）。

「特に勉強をしていない」で見ると、「特別永住者」が82.6%で最も高く、「永住者」の57.1%、「技術・人文知識・国際業務」の46.6%、「日本人の配偶者等」の34.7%と続いている（n=20以上）。

■ 『日本語を勉強する方法や場所』 日本在住期間割合

日本在住期間	n	1	2	3	4	5	6	7
		日本語学校で勉強している	世田谷区主催の日本語教室で勉強している	ボランティアによる日本語教室で勉強している	テレビ・ラジオ・インターネットで勉強している	高校や大学・専門学校で勉強している	家族や友人・知人に教えてもらっている	特に勉強をしていない
全 体	342	13.2	0.3	4.7	14.3	10.2	10.5	46.8
1年未満	24	25.0	0.0	8.3	33.3	4.2	4.2	25.0
1年以上～3年未満	49	20.4	0.0	10.2	24.5	12.2	12.2	20.4
3年以上～5年未満	49	14.3	2.0	4.1	14.3	16.3	6.1	42.9
5年以上～10年未満	58	10.3	0.0	1.7	15.5	12.1	8.6	51.7
10年以上～20年未満	74	13.5	0.0	6.8	13.5	8.1	13.5	44.6
20年以上	57	8.8	0.0	1.8	3.5	8.8	17.5	59.6
生まれた時からずっと	28	3.6	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	89.3

※網掛けは各日本在住期間で最も割合が高い選択肢（「特に勉強をしていない」は除く）。※無回答は除く。

■ 『日本語を勉強する方法や場所』 世田谷区在住期間割合

世田谷区在住期間	n	1	2	3	4	5	6	7
		日本語学校で勉強している	世田谷区主催の日本語教室で勉強している	ボランティアによる日本語教室で勉強している	テレビ・ラジオ・インターネットで勉強している	高校や大学・専門学校で勉強している	家族や友人・知人に教えてもらっている	特に勉強をしていない
全 体	342	13.2	0.3	4.7	14.3	10.2	10.5	46.8
1年未満	70	18.6	0.0	5.7	20.0	12.9	7.1	35.7
1年以上～3年未満	77	13.0	0.0	5.2	22.1	10.4	9.1	40.3
3年以上～5年未満	58	8.6	1.7	5.2	17.2	13.8	3.4	50.0
5年以上～10年未満	48	14.6	0.0	0.0	8.3	6.3	22.9	47.9
10年以上～20年未満	51	17.6	0.0	7.8	5.9	3.9	7.8	56.9
20年以上	35	2.9	0.0	2.9	0.0	14.3	20.0	60.0
生まれた時からずっと	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

※網掛けは各世田谷区在住期間で最も割合が高い選択肢（「特に勉強をしていない」は除く）。※無回答は除く。

日本在住期間別では、「1年未満」「1年以上～3年未満」「5年以上～10年未満」で、「テレビ・ラジオ・インターネットで勉強している」の割合が最も高く、「3年以上～5年未満」「生まれた時からずっと」では、「高校や大学・専門学校で勉強している」が最も高い。「20年以上」では、「家族や友人・知人に教えてもらっている」が最も高かった（「特に勉強をしていない」は除く）。

世田谷区在住期間では、「1年未満」「1年以上～3年未満」「3年以上～5年未満」で、「テレビ・ラジオ・インターネットで勉強している」の割合が最も高く、「5年以上～10年未満」「20年以上」では、「家族や友人・知人に教えてもらっている」、「10年以上～20年未満」では、「日本語学校で勉強している」の割合が最も高かった（「特に勉強をしていない」は除く）。

(A) 日本語の勉強意欲

【Q3.(A) 今後、日本語を勉強したいですか。】

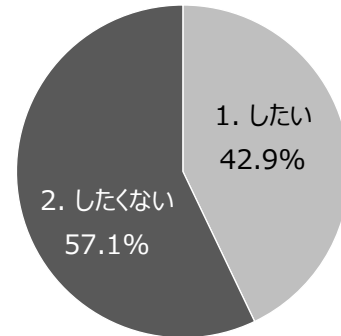
【Q3. あなたは以下の方法や場所で、日本語を勉強していますか。】で「特に勉強をしていない」と回答した160件について

日本語の勉強意欲 (n=154) 無回答6

■『(A) 日本語の勉強意欲』件数割合

	件数	割合
1. したい	66	42.9
2. したくない	88	57.1
全体	154	100.0

※無回答6



(B) 日本語の勉強をしない理由

【Q3.(B) 日本語の勉強をしていないのはなぜですか(主なもの3つ以内に○)。】

【Q3.(A) 今後、日本語を勉強したいですか。】で「したい」と回答した66件について

■『(B) 日本語の勉強をしない理由』件数割合

	件数	割合
1. 教室や講座にかかる費用が高い	25	41.7
2. 近くで受けられる教室や講座がない	16	26.7
3. 勉強する時間がない	23	38.3
4. 勉強できる場所を知らない	21	35.0
5. その他	10	16.7
全体	60	100.0

※無回答6 ※累計(n):95/累計(%):158.3

■「その他」10件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
忙しい	3	5.0	機会や場所がない	2	3.3
十分話せるから勉強の必要がない	3	5.0			

※割合は(n=60)で算出

日本語の勉強意欲では、「したくない」が「したい」を上回っているものの、42.9%の割合で「したい」と回答している。

勉強しない理由では、「教室や講座にかかる費用が高い」が41.7%で割合が最も高く、「勉強する時間が無い」が38.3%、「勉強できる場所を知らない」が35.0%、「近くで受けられる教室や講座がない」が26.7%と続いている。

Ⅱ-3. 日常生活について

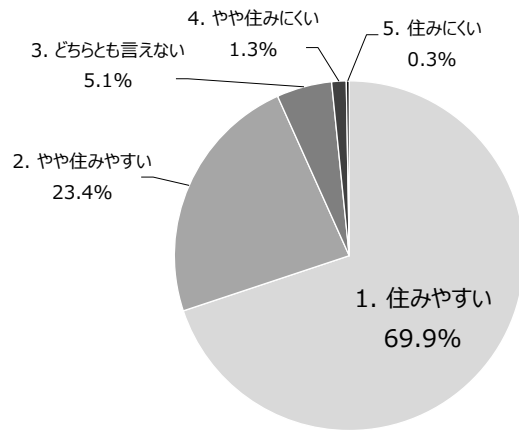
(1) 世田谷区の住みやすさ 【Q4. あなたにとって世田谷区は住みやすいところですか（あてはまるもの1つに○）。】

■ 『世田谷区の住みやすさ』 件数割合

	件数	割合
1. 住みやすい	260	69.9
2. やや住みやすい	87	23.4
3. どちらとも言えない	19	5.1
4. やや住みにくい	5	1.3
5. 住みにくい	1	0.3
全 体	372	100.0

※無回答6

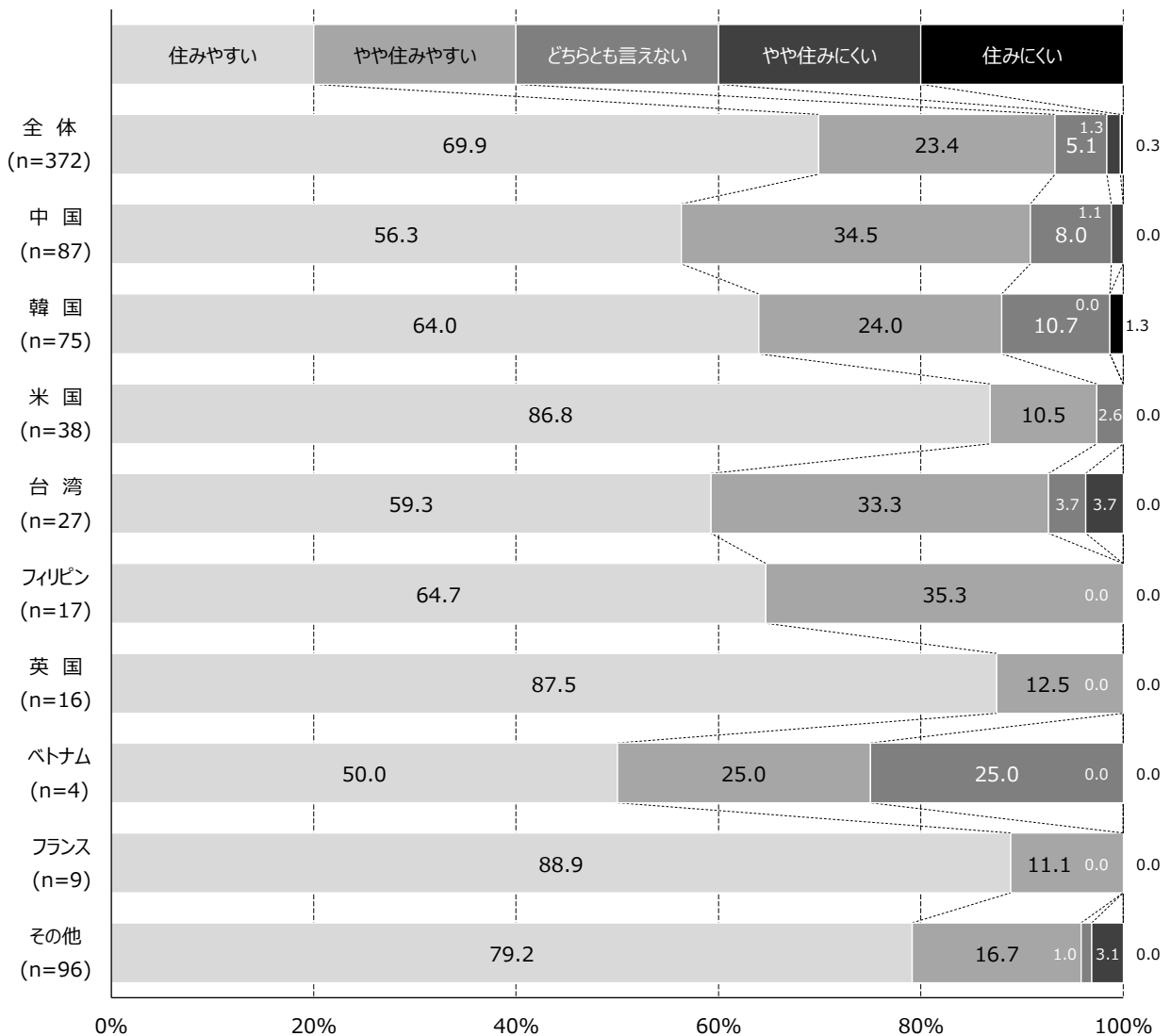
世田谷区の住みやすさ (n=372) 無回答6



世田谷区の住みやすさでは、「住みやすい」が260件・69.9%と約7割が住みやすいと回答しており、「やや住みやすい」の23.4%を合わせると93.3%と高い割合で住みやすさを感じている。

「どちらとも言えない」が19件・5.1%、「やや住みにくい」が5件・1.3%、「住みにくい」はわずか1件・0.3%であった。

■ 『世田谷区の住みやすさ』 国籍・地域割合



国籍・地域別では、「住みやすい」でみると、「米国」が86.8%、「英国」が87.5%、「フランス」が88.9%と欧米圏の外国人が世田谷区の住みやすさを感じている。「住みやすい」と「やや住みやすい」の合算では、「米国」が97.3%、「英国」「フランス」では100.0%である。

アジア圏の外国人でも5割以上が「住みやすい」と回答し、「やや住みやすい」との合算では9割前後が住みやすさを感じているが、欧米圏に比べてその割合は若干低い。

「中国」では、「住みやすい」56.3%、「やや住みやすい」34.5%、「どちらとも言えない」8.0%、「やや住みにくい」1.1%、「住みにくい」0.0%であった。

「やや住みにくい」「住みにくい」の合算で最も割合が高かったのが、「台湾」の3.7%であった。

(2) 日本人との付き合い 【Q5. あなたは日常生活で日本人との付き合いがありますか（あてはまるもの全てに○）。】

■ 『日本人との付き合い』件数割合

	件数	割合
1. 一緒に働いている	231	61.8
2. 学校で一緒に勉強している	37	9.9
3. 友人として付き合いしている	217	58.0
4. 自分または親戚が、日本人と結婚して日本に住んでいる	128	34.2
5. 国際交流のグループで一緒に活動している	12	3.2
6. その他、地域のグループなどで一緒に活動している	25	6.7
7. 日本人とあいさつ程度の付き合いはある	91	24.3
8. その他	28	7.5
9. 日本人の知り合いはいないし、付き合いもない	14	3.7
全体	374	100.0

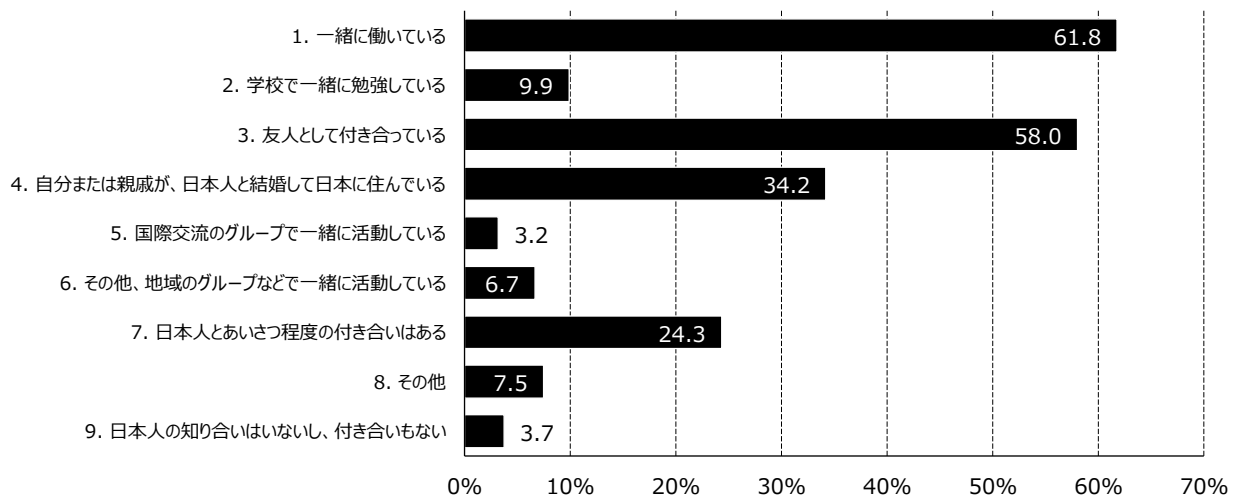
※無回答4 ※累計 (n) : 783 / 累計 (%) : 209.3

■ 「その他」28件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
家族	5	1.3	恋人	2	0.5
ママ友	3	0.8			

※割合は (n=374) で算出

日本人との付き合い (n=374) 無回答4



日本人との付き合いでは、「日本人の知り合いはいないし、付き合いもない」が14件・3.7%で、多数が日本人との付き合いをもっている。「一緒に働いている」が231件・61.8%と最も多く、職場での日本人との接点が多いことがうかがえる。「友人として付き合いしている」が217件・58.0%で次に多く、「自分または親戚が、日本人と結婚して日本に住んでいる」が128件・34.2%、「日本人とあいさつ程度の付き合いはある」が91件・24.3%の順が多かった。

(3) 日常生活での困りごと 【Q6. 日常生活で困っていることはありますか（主なもの3つ以内に○）。】

■ 『日常生活での困りごと』件数割合

	件数	割合		件数	割合
1. ことばが通じない	67	18.7	9. 住む家が見つからない	10	2.8
2. 日本人との交流が少ない	64	17.8	10. 仕事が見つからない	15	4.2
3. ものの値段が高い	78	21.7	11. 病院の医療サービスに関する問題	31	8.6
4. 食事が合わない	10	2.8	12. 宗教に関する問題	0	0.0
5. 趣味や遊びを楽しむ時間や場所がない	29	8.1	13. 住んでいる地域の住民との関係	10	2.8
6. 文化・生活習慣が違う	21	5.8	14. その他	34	9.5
7. 生活するうえで必要な情報が得られない	26	7.2	15. 特にない	147	40.9
8. 困ったときに相談できる人がいない	25	7.0			
			全 体	359	100.0

※無回答 19 ※累計 (n) : 567 / 累計 (%) : 157.9

■ 「病院の医療サービスに関する問題」31件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
様式、言語、ことば	13	3.6	診断書、処方箋、保険、システム	4	1.1
病院や医者を選定、レベル	4	1.1			

※割合は (n=359) で算出。

■ 「住んでいる地域の住民との関係」10件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
言語、ことば	1	0.3	贈り物や訪問	1	0.3
PTA 活動	1	0.3			

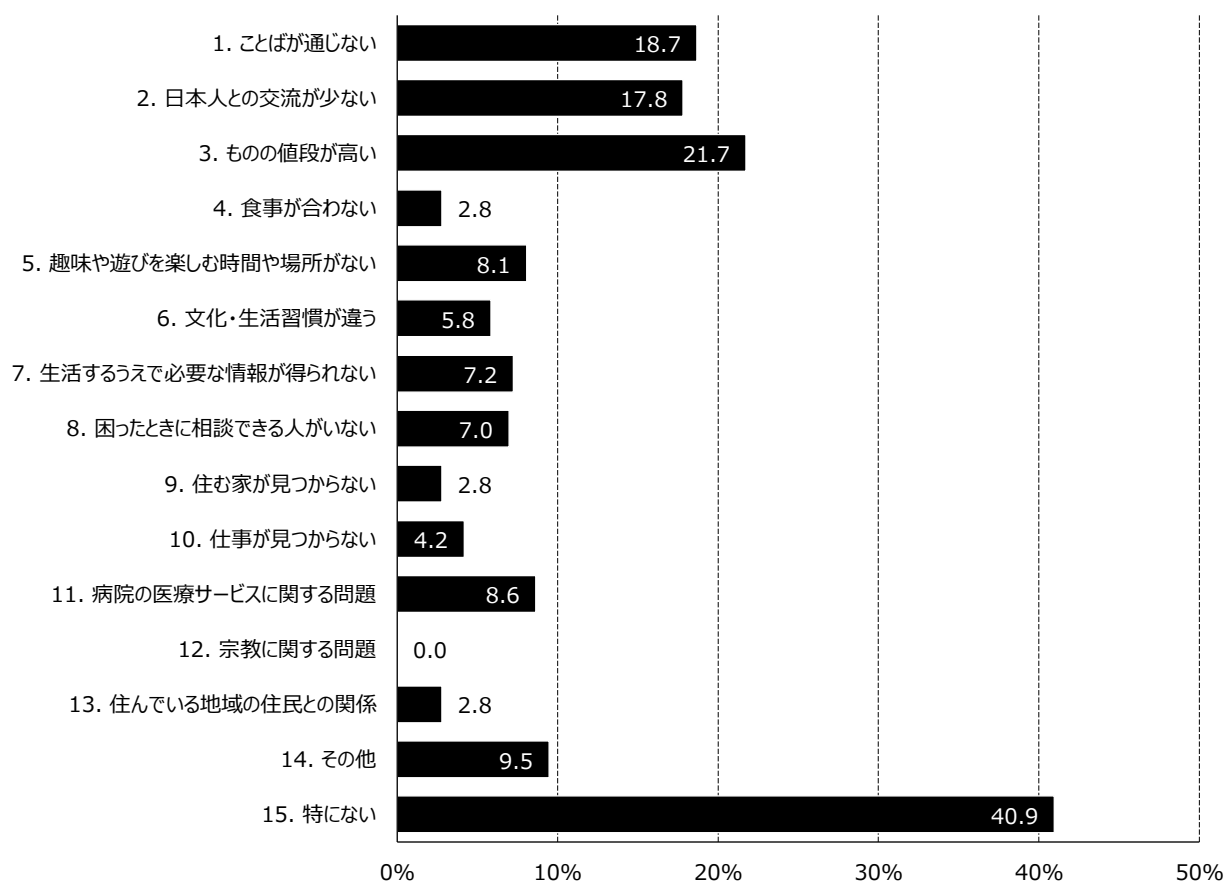
※割合は (n=359) で算出。

■ 「その他」34件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
公的・公式文書を理解する事	5	1.4	税金、年金、法律問題	3	0.8
子どもの養育、教育	5	1.4	外国人に対する偏見	3	0.8
住みにくい、不安を感じる	4	1.1	性差別	2	0.6
自然環境が少ない	3	0.8			

※割合は (n=359) で算出。

日常生活での困りごと (n=359) 無回答19



日常生活での困りごとでは、「特にない」が147件・40.9%と最も多かった。

困っている内容で最も多かったのが、「ものの値段が高い」の78件・21.7%であった。次いで「ことばが通じない」67件・18.7%、「日本人との交流が少ない」64件・17.8%と続いている。

「病院の医療サービスに関する問題」の記述回答には、「ことばが通じない、様式が理解できない」などの言語に関する問題や、「診断書、処方箋の提供の方法」に関する問題があった。

「宗教に関する問題」での困りごとは0件だった。

「住んでいる地域の住民との関係」の記述回答には、「PTA活動」、「贈り物や訪問」で困惑している内容があった。

「その他」の記述回答では、国や自治体、公的機関からくる「公的・公式文書を理解する事」「子どもの養育、教育」「住みにくい、不安を感じる」「自然環境が少ない」「税金、年金、法律問題」、「外国人に対する偏見」、「性差別」などがあった。

■ 『日常生活での困りごと』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	1	2	3	4	5	6	7	8
		ことばが通じない	日本人との交流が少ない	ものの値段が高い	食事が合わない	趣味や遊びを楽しむ時間や場所がない	文化・生活習慣が違う	必要な情報が得られない	生活するうえで必要な情報が得られない
全 体	359	18.7	17.8	21.7	2.8	8.1	5.8	7.2	7.0
中 国	86	18.6	32.6	36.0	8.1	8.1	9.3	10.5	5.8
韓 国	72	2.8	9.7	16.7	0.0	4.2	2.8	2.8	8.3
米 国	37	29.7	8.1	13.5	0.0	2.7	2.7	8.1	2.7
台 湾	25	8.0	12.0	28.0	8.0	8.0	4.0	0.0	8.0
フィリピン	14	7.1	42.9	28.6	0.0	7.1	7.1	21.4	7.1
英 国	16	43.8	18.8	18.8	0.0	18.8	0.0	12.5	12.5
ベトナム	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
フランス	8	25.0	0.0	12.5	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0
その他	95	26.3	13.7	13.7	1.1	9.5	6.3	5.3	5.3

国籍・地域	n	9	10	11	12	13	14	15
		住む家が見つからない	仕事が見つからない	病院の医療サービスに関する問題	宗教に関する問題	住んでいる地域の住民との関係	その他	特にない
全 体	359	2.8	4.2	8.6	0.0	2.8	9.5	40.9
中 国	86	1.2	4.7	7.0	0.0	2.3	3.5	29.1
韓 国	72	4.2	4.2	2.8	0.0	1.4	6.9	59.7
米 国	37	0.0	5.4	5.4	0.0	8.1	24.3	35.1
台 湾	25	4.0	8.0	8.0	0.0	0.0	4.0	48.0
フィリピン	14	7.1	42.9	28.6	0.0	7.1	7.1	21.4
英 国	16	6.3	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	25.0
ベトナム	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
フランス	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5
その他	95	3.2	2.1	12.6	0.0	3.2	13.7	44.2

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にない」は除く）。※無回答は除く。

日常生活での困りごとの国籍・地域別では、「中国」「韓国」「台湾」「ベトナム」などのアジア圏では「ものの値段が高い」の割合が高く、「米国」「英国」「フランス」などの欧米圏では「ことばが通じない」が高かった。

「特にない」で最も高いのは「韓国」の59.7%、最も低いのは「フィリピン」の21.4%であった。

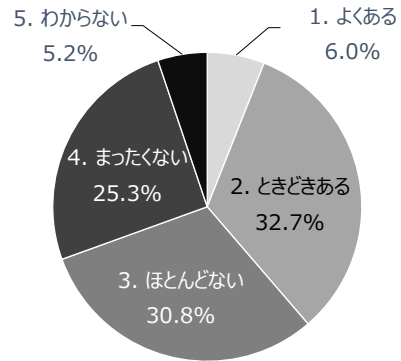
(4) 偏見や差別 【Q7. あなたは普段の生活の中で、「外国人」であることを理由に日本人から偏見や差別を感じたことはありますか（1つに○）。】

■『日本人から偏見や差別を感じたこと』件数割合

	件数	割合
1. よくある	22	6.0
2. ときどきある	120	32.7
3. ほとんどない	113	30.8
4. まったくない	93	25.3
5. わからない	19	5.2
全体	367	100.0

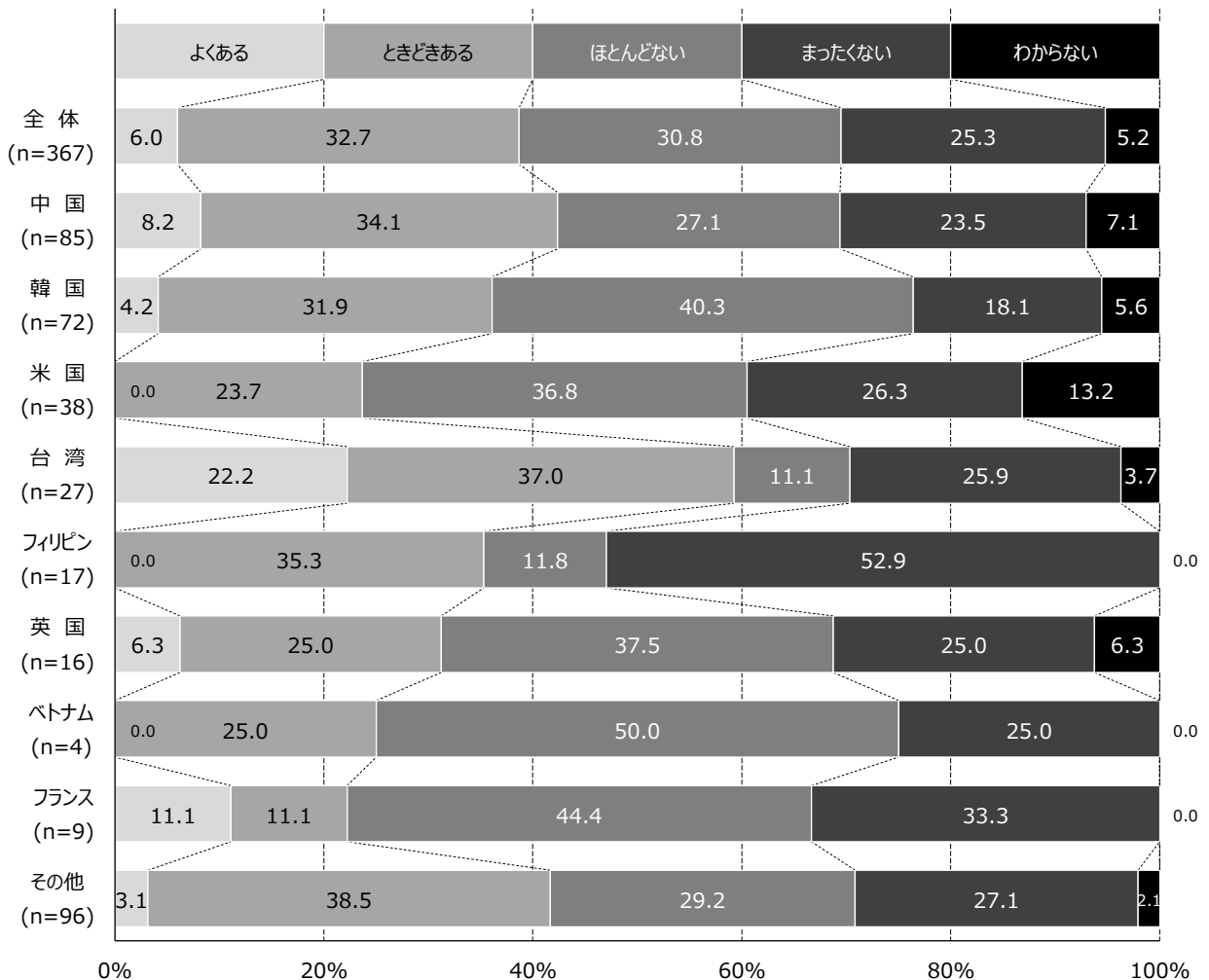
※無回答 11

日本人から偏見や差別を感じたこと
(n=367) 無回答11



日本人から偏見や差別を感じたことについては、「ときどきある」が120件・32.7%で最も高く、「ほとんどない」が113件・30.8%、「まったくない」が93件・25.3%、「よくある」が22件・6.0%であった。「よくある」「ときどきある」「ほとんどない」の合算は255件・69.5%であった。

■『偏見や差別』国籍・地域割合



日本人から偏見や差別を感じたことの国籍・地域別では、「フィリピン」だけが「まったくない」の割合が52.9%と5割を超えている。「フィリピン」以外の全ての国籍・地域で「よくある」「ときどきある」「ほとんどない」の合算が5割をこえており、偏見や差別を感じたことのある外国人が相当数いることがうかがえる。

「よくある」で見ると、「台湾」の22.2%が最も高く、次いで「中国」8.2%、「英国」6.3%、「韓国」4.2%と続いている（n=10以上）。

(A) どのようなときに、偏見や差別を感じたか

【Q7.(A) どのようなときに、偏見や差別を感じましたか（主なもの3つ以内に○。）】

【Q7.で「よくある」「ときどきある」「ほとんどない」と回答した255件について】

■『(A) どのようなときに、偏見や差別を感じましたか』

	件数	割合
1. 行政機関（世田谷区役所など）での手続きのとき	27	11.3
2. 日本人の友人、知人と付き合うとき	24	10.1
3. 近所の人と付き合うとき	12	5.0
4. 住居を探するとき	115	48.3
5. 自分や家族が結婚するとき	12	5.0
6. 社会保障制度（保険・年金など）を受けるとき	6	2.5
7. 電車やバスに乗っているとき	37	15.5
8. 出産・育児のとき	5	2.1
9. 学校教育を受けるとき	4	1.7
10. 仕事を探したり、働いているとき	72	30.3
11. レストランなどお店へ入店したり、サービスの提供を求めるとき	51	21.4
12. まちを歩いているとき	19	8.0
13. その他	28	11.8
全体	238	100.0

※無回答17 ※累計（n）：412／累計（%）：173.0

■「その他」28件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
金融機関	4	1.7	警察	2	0.8
医療機関	3	1.3			

※割合は（n=238）で算出

どのようなときに、偏見や差別を感じたかでは、「住居を探するとき」の115件・48.3%が最も多く、次いで「仕事を探したり、働いているとき」が72件・30.3%、「レストランなどお店へ入店したり、サービスの提供を求めるとき」が51件・21.4%、「電車やバスに乗っているとき」が37件・15.5%と続いている。

「その他」の記述回答には、「金融機関」「医療機関」「警察」など公的機関において偏見や差別を感じるとの回答があった。

■ 『どのようなときに、偏見や差別を感じたか』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	1	2	3	4	5	6	7
		行政機関(世田谷区役所など)での手続きのとき	日本人の友人、知人と付き合うとき	近所の人と付き合いのとき	住居を探すとき	自分や家族が結婚するとき	社会保険制度(保険・年金など)を受けるとき	電車やバスに乗っているとき
全体	238	11.3	10.1	5.0	48.3	5.0	2.5	15.5
中国	53	13.2	7.5	3.8	49.1	1.9	3.8	15.1
韓国	52	13.5	15.4	7.7	36.5	17.3	5.8	3.8
米国	21	14.3	0.0	0.0	42.9	4.8	0.0	23.8
台湾	18	16.7	27.8	5.6	50.0	0.0	0.0	5.6
フィリピン	8	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	50.0
英国	10	30.0	0.0	0.0	60.0	10.0	0.0	20.0
ベトナム	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
フランス	6	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
その他	66	3.0	7.6	6.1	60.6	0.0	0.0	16.7

国籍・地域	n	8	9	10	11	12	13
		出産・育児のとき	学校教育を受けるとき	仕事を探したり、働いているとき	レストランなどお店へ入店したり、サービスの提供を求めるとき	まちを歩いているとき	その他
全体	238	2.1	1.7	30.3	21.4	8.0	11.8
中国	53	0.0	1.9	37.7	17.0	7.5	7.5
韓国	52	1.9	1.9	40.4	5.8	5.8	21.2
米国	21	9.5	0.0	19.0	38.1	19.0	9.5
台湾	18	0.0	0.0	50.0	22.2	0.0	11.1
フィリピン	8	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0
英国	10	0.0	10.0	10.0	50.0	10.0	10.0
ベトナム	3	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
フランス	6	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0
その他	66	0.0	0.0	21.2	25.8	9.1	12.1

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢。

どのようなときに、偏見や差別を感じたかの国籍・地域別では、「中国」で「住居を探すとき」49.1%、「仕事を探したり、働いているとき」37.7%の順で高く、「韓国」では逆に「仕事を探したり、働いているとき」40.4%、「住居を探すとき」36.5%の順で高かった。

「行政機関(世田谷区役所など)での手続きのとき」でみると、「英国」の30.0%が最も高かった。

(5) 困りごとの相談先 【Q8. あなたは、困っていることを誰・どこに相談しますか（主なもの3つ以内に○）。】

■『困りごとの相談先』件数割合

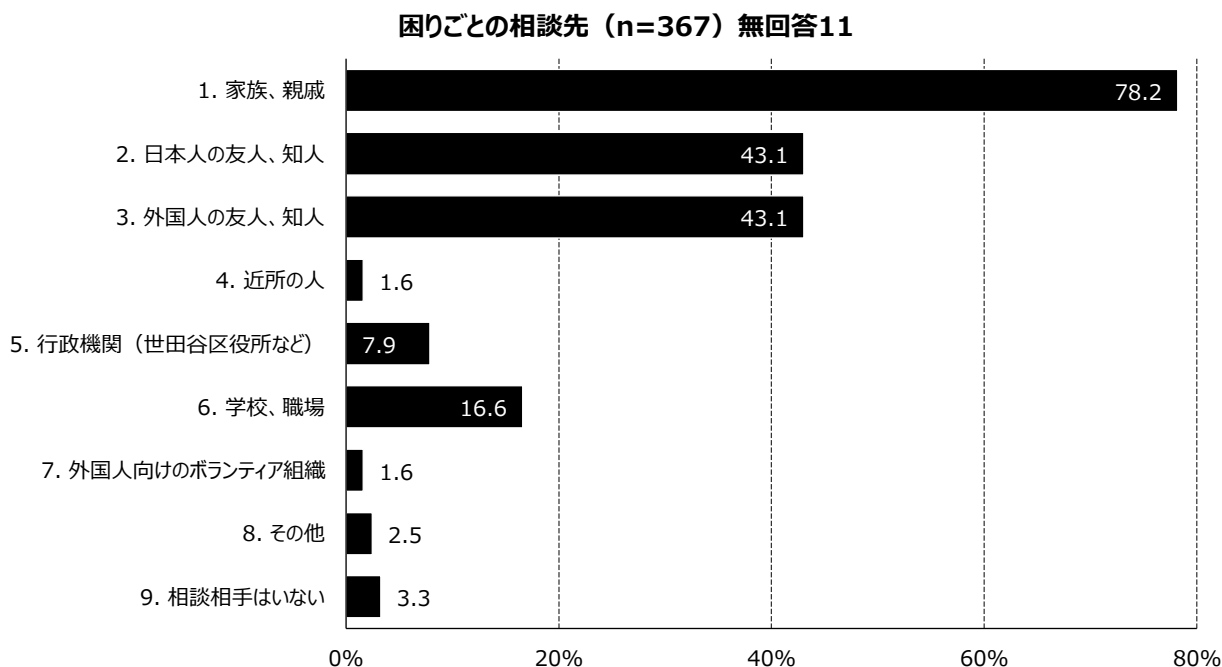
	件数	割合		件数	割合
1. 家族、親戚	287	78.2	6. 学校、職場	61	16.6
2. 日本人の友人、知人	158	43.1	7. 外国人向けのボランティア組織	6	1.6
3. 外国人の友人、知人	158	43.1	8. その他	9	2.5
4. 近所の人	6	1.6	9. 相談相手はいない	12	3.3
5. 行政機関（世田谷区役所など）	29	7.9			
			全 体	367	100.0

※無回答 11 ※累計 (n) : 726 / 累計 (%) : 197.9

■「その他」9件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
組合の知り合い	2	0.5	ボーイフレンド、自国の友人	2	0.5

※割合は (n=367) で算出



困りごとの相談先では、「家族、親戚」が287件・78.2%で最も高く、「日本人の友人、知人」「外国人の友人、知人」がともに158件・43.1%と続いている。

「学校、職場」は61件・16.6%、「行政機関（世田谷区役所など）」は29件・7.9%、「相談相手はいない」は12件・3.3%であった。

■ 『困りごとの相談先』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		家族、 親戚	人 日本人の友人、 知人	人 外国人の友人、 知人	近所 の人	行政機 関（世 田谷 区役所 など）	学 校、 職 場	外 国 人 向 け の ポ ラ ン テ ィ ア 組 織	そ の 他	相 談 相 手 は い な い
全 体	367	78.2	43.1	43.1	1.6	7.9	16.6	1.6	2.5	3.3
中 国	88	80.7	21.6	31.8	2.3	14.8	21.6	3.4	1.1	4.5
韓 国	73	82.2	50.7	26.0	0.0	8.2	13.7	0.0	1.4	2.7
米 国	37	81.1	62.2	64.9	5.4	0.0	5.4	2.7	0.0	2.7
台 湾	27	59.3	48.1	51.9	0.0	3.7	14.8	0.0	3.7	11.1
フィリピン	17	94.1	35.3	41.2	0.0	0.0	29.4	0.0	5.9	0.0
英 国	15	60.0	53.3	60.0	0.0	13.3	20.0	6.7	0.0	6.7
ベトナム	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
フランス	9	66.7	33.3	44.4	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0
その他	94	79.8	51.1	53.2	2.1	7.4	14.9	1.1	3.2	1.1

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

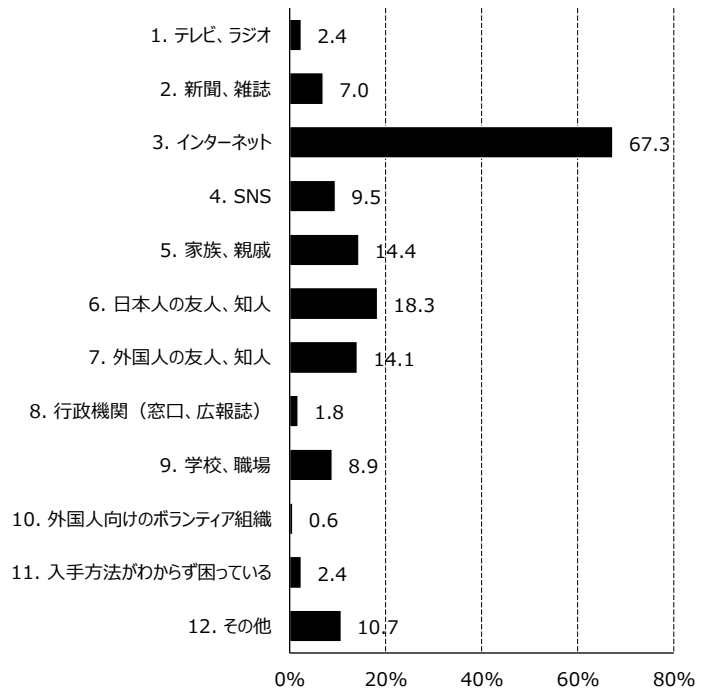
困りごとの相談先の国籍・地域別では、いずれの国籍・地域でも「家族、親戚」の割合が高く、最も高かったのが「フィリピン」の94.1%であった。「日本人の友人、知人」でみると、「米国」の62.2%が最も高く、「中国」は21.6%であった。

「行政機関（世田谷区役所など）」でみると、「中国」の14.8%が最も高く、「米国」「フィリピン」「ベトナム」「フランス」では0.0%である。

(6) 情報の入手方法 【Q9. あなたは次の事柄a)～j) についての情報を、これまでどのように入手してきましたか。それぞれについて、1～12のうちあてはまる番号（主なもの3つ以内）に○をつけてください。

■ 『情報の入手方法<a) 住宅>について』 件数割合

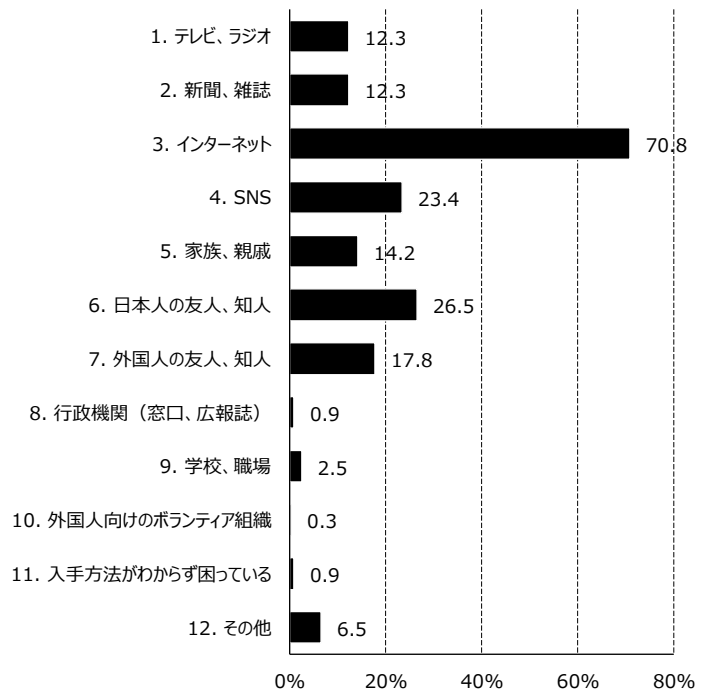
	件数	割合
1. テレビ、ラジオ	8	2.4
2. 新聞、雑誌	23	7.0
3. インターネット	220	67.3
4. SNS	31	9.5
5. 家族、親戚	47	14.4
6. 日本人の友人、知人	60	18.3
7. 外国人の友人、知人	46	14.1
8. 行政機関（窓口、広報誌）	6	1.8
9. 学校、職場	29	8.9
10. 外国人向けのボランティア組織	2	0.6
11. 入手方法がわからず困っている	8	2.4
12. その他	35	10.7
全 体	327	100.0



※無回答 51 ※累計 (n) : 515 / 累計 (%) : 157.4

■ 『情報の入手方法<b) 買い物>について』 件数割合

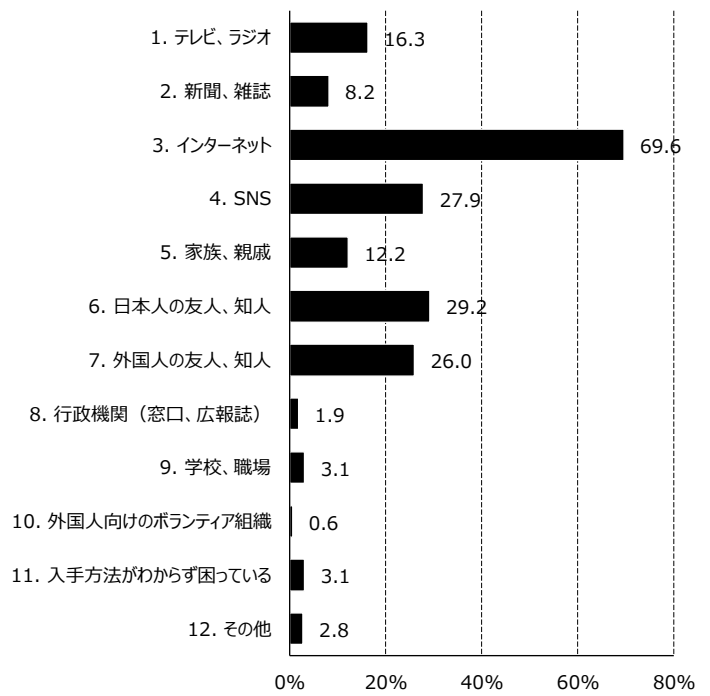
	件数	割合
1. テレビ、ラジオ	40	12.3
2. 新聞、雑誌	40	12.3
3. インターネット	230	70.8
4. SNS	76	23.4
5. 家族、親戚	46	14.2
6. 日本人の友人、知人	86	26.5
7. 外国人の友人、知人	58	17.8
8. 行政機関（窓口、広報誌）	3	0.9
9. 学校、職場	8	2.5
10. 外国人向けのボランティア組織	1	0.3
11. 入手方法がわからず困っている	3	0.9
12. その他	21	6.5
全 体	325	100.0



※無回答 53 ※累計 (n) : 612 / 累計 (%) : 188.4

■ 『情報の入手方法<c> 趣味・遊び>について』 件数割合

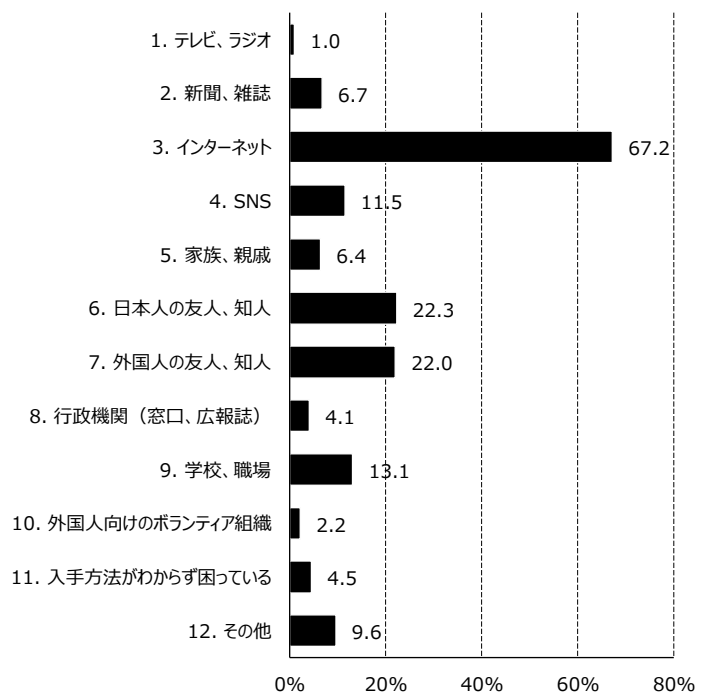
	件数	割合
1. テレビ、ラジオ	52	16.3
2. 新聞、雑誌	26	8.2
3. インターネット	222	69.6
4. SNS	89	27.9
5. 家族、親戚	39	12.2
6. 日本人の友人、知人	93	29.2
7. 外国人の友人、知人	83	26.0
8. 行政機関（窓口、広報誌）	6	1.9
9. 学校、職場	10	3.1
10. 外国人向けのボランティア組織	2	0.6
11. 入手方法がわからず困っている	10	3.1
12. その他	9	2.8
全 体	319	100.0



※無回答 59 ※累計 (n) : 641 / 累計 (%) : 200.9

■ 『情報の入手方法<d> 仕事>について』 件数割合

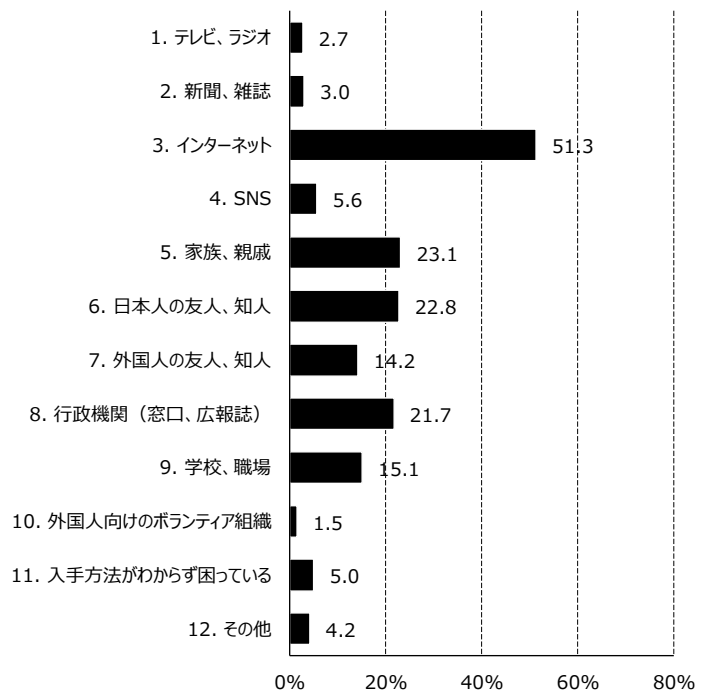
	件数	割合
1. テレビ、ラジオ	3	1.0
2. 新聞、雑誌	21	6.7
3. インターネット	211	67.2
4. SNS	36	11.5
5. 家族、親戚	20	6.4
6. 日本人の友人、知人	70	22.3
7. 外国人の友人、知人	69	22.0
8. 行政機関（窓口、広報誌）	13	4.1
9. 学校、職場	41	13.1
10. 外国人向けのボランティア組織	7	2.2
11. 入手方法がわからず困っている	14	4.5
12. その他	30	9.6
全 体	314	100.0



※無回答 64 ※累計 (n) : 535 / 累計 (%) : 170.6

■ 『情報の入手方法<e> 保健・医療>について』 件数割合

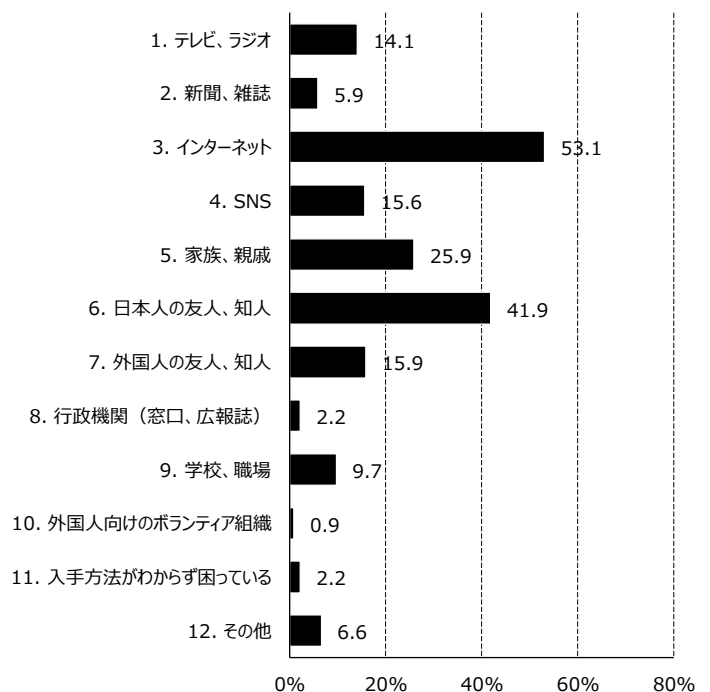
	件数	割合
1. テレビ、ラジオ	9	2.7
2. 新聞、雑誌	10	3.0
3. インターネット	173	51.3
4. SNS	19	5.6
5. 家族、親戚	78	23.1
6. 日本人の友人、知人	77	22.8
7. 外国人の友人、知人	48	14.2
8. 行政機関（窓口、広報誌）	73	21.7
9. 学校、職場	51	15.1
10. 外国人向けのボランティア組織	5	1.5
11. 入手方法がわからず困っている	17	5.0
12. その他	14	4.2
全 体	337	100.0



※無回答 41 ※累計 (n) : 574 / 累計 (%) : 170.2

■ 『情報の入手方法<f> 日本での生活習慣>について』 件数割合

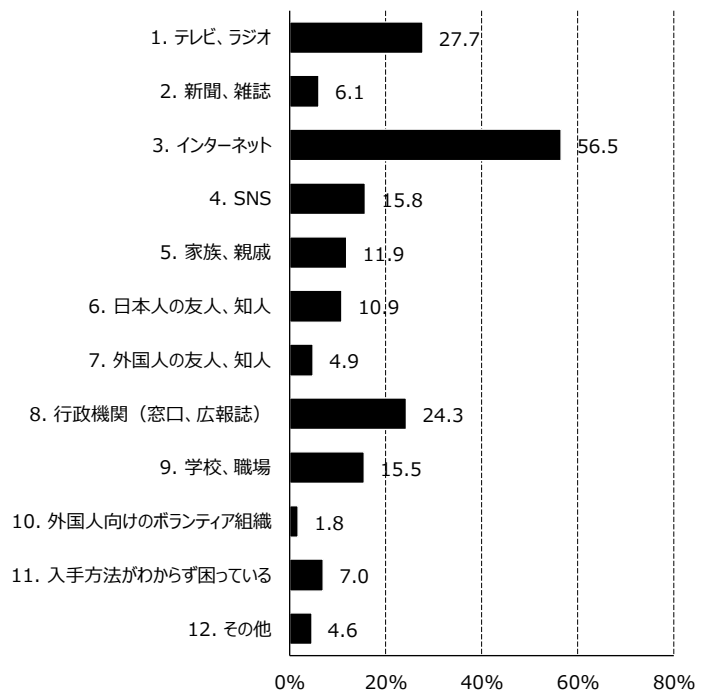
	件数	割合
1. テレビ、ラジオ	45	14.1
2. 新聞、雑誌	19	5.9
3. インターネット	170	53.1
4. SNS	50	15.6
5. 家族、親戚	83	25.9
6. 日本人の友人、知人	134	41.9
7. 外国人の友人、知人	51	15.9
8. 行政機関（窓口、広報誌）	7	2.2
9. 学校、職場	31	9.7
10. 外国人向けのボランティア組織	3	0.9
11. 入手方法がわからず困っている	7	2.2
12. その他	21	6.6
全 体	320	100.0



※無回答 58 ※累計 (n) : 621 / 累計 (%) : 194.0

■ 『情報の入手方法<g> 災害・防災情報>について』 件数割合

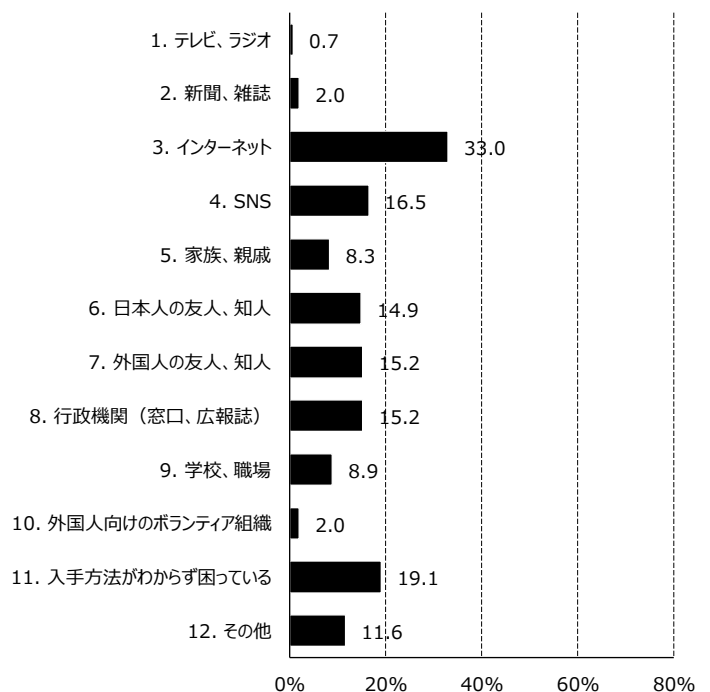
	件数	割合
1. テレビ、ラジオ	91	27.7
2. 新聞、雑誌	20	6.1
3. インターネット	186	56.5
4. SNS	52	15.8
5. 家族、親戚	39	11.9
6. 日本人の友人、知人	36	10.9
7. 外国人の友人、知人	16	4.9
8. 行政機関（窓口、広報誌）	80	24.3
9. 学校、職場	51	15.5
10. 外国人向けのボランティア組織	6	1.8
11. 入手方法がわからず困っている	23	7.0
12. その他	15	4.6
全 体	329	100.0



※無回答 49 ※累計 (n) : 615 / 累計 (%) : 187.0

■ 『情報の入手方法<h> コミュニティ・グループの紹介>について』 件数割合

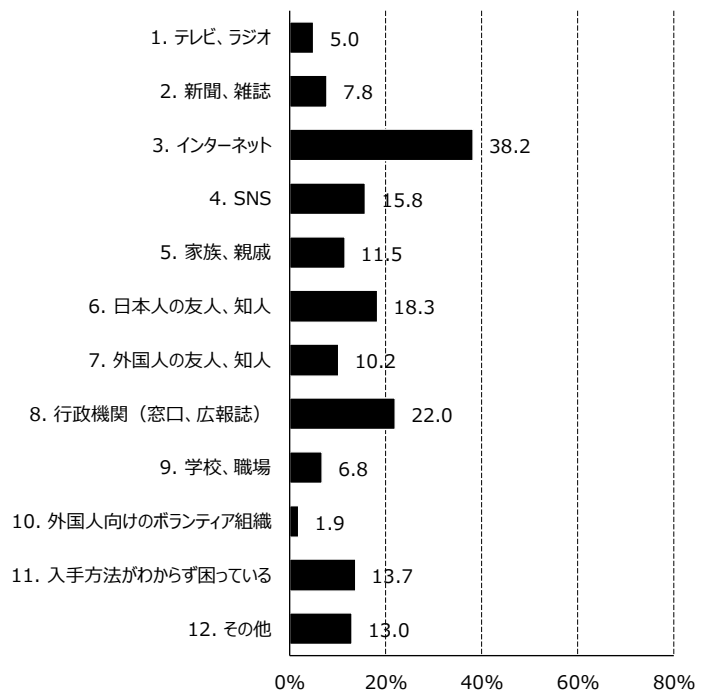
	件数	割合
1. テレビ、ラジオ	2	0.7
2. 新聞、雑誌	6	2.0
3. インターネット	100	33.0
4. SNS	50	16.5
5. 家族、親戚	25	8.3
6. 日本人の友人、知人	45	14.9
7. 外国人の友人、知人	46	15.2
8. 行政機関（窓口、広報誌）	46	15.2
9. 学校、職場	27	8.9
10. 外国人向けのボランティア組織	6	2.0
11. 入手方法がわからず困っている	58	19.1
12. その他	35	11.6
全 体	303	100.0



※無回答 75 ※累計 (n) : 446 / 累計 (%) : 147.4

■ 『情報の入手方法<i>地域でのイベントやおまつり</i>について』 件数割合

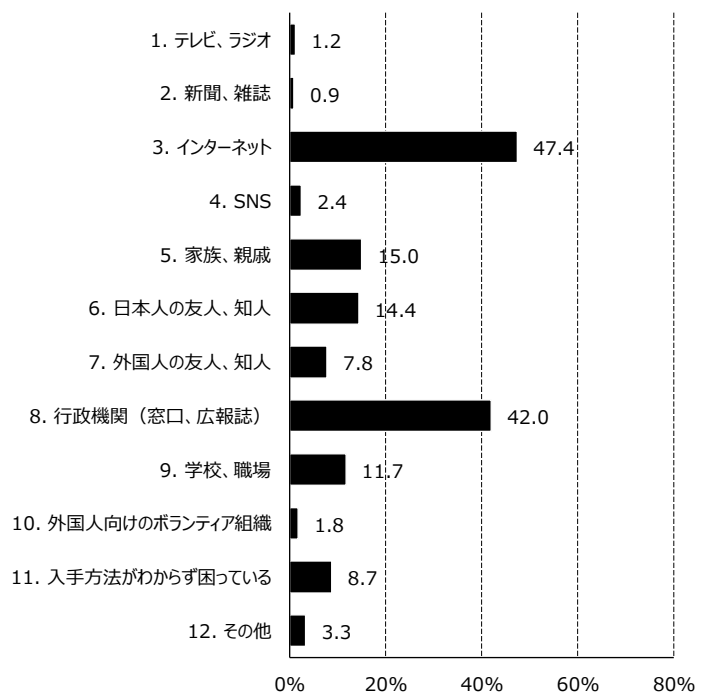
	件数	割合
1. テレビ、ラジオ	16	5.0
2. 新聞、雑誌	25	7.8
3. インターネット	123	38.2
4. SNS	51	15.8
5. 家族、親戚	37	11.5
6. 日本人の友人、知人	59	18.3
7. 外国人の友人、知人	33	10.2
8. 行政機関（窓口、広報誌）	71	22.0
9. 学校、職場	22	6.8
10. 外国人向けのボランティア組織	6	1.9
11. 入手方法がわからず困っている	44	13.7
12. その他	42	13.0
全 体	322	100.0



※無回答 56 ※累計 (n) : 529 / 累計 (%) : 164.2

■ 『情報の入手方法<j>行政サービス・手続き</j>について』 件数割合

	件数	割合
1. テレビ、ラジオ	4	1.2
2. 新聞、雑誌	3	0.9
3. インターネット	158	47.4
4. SNS	8	2.4
5. 家族、親戚	50	15.0
6. 日本人の友人、知人	48	14.4
7. 外国人の友人、知人	26	7.8
8. 行政機関（窓口、広報誌）	140	42.0
9. 学校、職場	39	11.7
10. 外国人向けのボランティア組織	6	1.8
11. 入手方法がわからず困っている	29	8.7
12. その他	11	3.3
全 体	333	100.0



※無回答 45 ※累計 (n) : 522 / 累計 (%) : 156.6

外国人が生活するうえでの情報をどのようなメディア・方法で入手しているか、次の10の事柄〈住宅〉〈買い物〉〈趣味・遊び〉〈仕事〉〈保健・医療〉〈日本での生活習慣〉〈災害・防災情報〉〈コミュニティ・グループの紹介〉〈地域でのイベントやおまつり〉〈行政サービス・手続き〉について回答を得た。

いずれの事柄についても情報の入手方法は「インターネット」の割合が最も高く、〈住宅〉については「インターネット」が67.3%、次に高い「日本人の友人、知人」が18.3%と約50%の差がついている。「テレビ、ラジオ」は2.4%、「行政機関（窓口、広報誌）」は1.8%であった。

〈買い物〉についても「インターネット」が70.8%と最も高く、次いで「日本人の友人、知人」26.5%、「SNS」23.4%と続いている。「テレビ、ラジオ」「新聞、雑誌」はともに12.3%であった。

〈趣味・遊び〉については、「インターネット」69.6%、「日本人の友人、知人」29.2%、「SNS」27.9%の順で高い。

〈仕事〉については、「インターネット」67.2%、「日本人の友人、知人」22.3%、「外国人の友人、知人」22.0%の順で高い。「学校、職場」は13.1%であった。

〈保健・医療〉については、「インターネット」51.3%、「家族、親戚」23.1%、「日本人の友人、知人」22.8%の順で高く、僅差で「行政機関（窓口、広報誌）」21.7%が続く。

〈日本での生活習慣〉については、「インターネット」53.1%、「日本人の友人、知人」41.9%、「家族、親戚」25.9%の順で高い。「日本人の友人、知人」41.9%の割合は10の事柄中最も高い割合である。

〈災害・防災情報〉については、「インターネット」56.5%、「テレビ、ラジオ」27.7%、「行政機関（窓口、広報誌）」24.3%の順で高い。「テレビ、ラジオ」が3割近い事柄は〈災害・防災情報〉だけであり速報性の優位を感じさせる。

〈コミュニティ・グループの紹介〉については、全体的に割合数値は低い。最も高い「インターネット」でも33.0%であった。

〈地域でのイベントやおまつり〉については、「インターネット」38.2%、「行政機関（窓口、広報誌）」22.0%、「日本人の友人、知人」18.3%の順で高い。

〈行政サービス・手続き〉についても、「インターネット」47.4%で最も高く、「行政機関（窓口、広報誌）」42.0%を上回っている。

「日本人の友人、知人」と「外国人の友人、知人」で見ると、〈コミュニティ・グループの紹介〉のみ、「日本人の友人、知人」14.9%、「外国人の友人、知人」15.2%と「外国人の友人、知人」が高いが、他事柄については全て「日本人の友人、知人」の割合が上回っている。

■ 『情報の入手方法<a) 住宅>について』 年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	SNS	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全 体	327	2.4	7.0	67.3	9.5	14.4	18.3	14.1	1.8	8.9	0.6	2.4	10.7
18～19 歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	71	2.8	2.8	70.4	7.0	7.0	19.7	19.7	1.4	18.3	0.0	4.2	11.3
30～39 歳	108	0.0	4.6	76.9	9.3	14.8	19.4	16.7	0.9	4.6	0.9	2.8	8.3
40～49 歳	77	5.2	11.7	72.7	13.0	15.6	16.9	7.8	3.9	6.5	1.3	0.0	6.5
50～59 歳	44	2.3	6.8	52.3	4.5	20.5	20.5	11.4	0.0	6.8	0.0	2.3	22.7
60～69 歳	15	6.7	13.3	40.0	13.3	13.3	6.7	20.0	0.0	6.7	0.0	0.0	20.0
70～79 歳	4	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80 歳以上	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢。

■ 『情報の入手方法<b) 買い物>について』 年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	SNS	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全 体	325	12.3	12.3	70.8	23.4	14.2	26.5	17.8	0.9	2.5	0.3	0.9	6.5
18～19 歳	5	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0
20～29 歳	67	4.5	7.5	74.6	49.3	6.0	26.9	20.9	1.5	4.5	1.5	1.5	3.0
30～39 歳	107	9.3	11.2	80.4	23.4	9.3	24.3	18.7	0.0	1.9	0.0	1.9	4.7
40～49 歳	78	16.7	16.7	74.4	16.7	17.9	25.6	15.4	2.6	1.3	0.0	0.0	6.4
50～59 歳	43	18.6	9.3	55.8	4.7	30.2	27.9	16.3	0.0	2.3	0.0	0.0	14.0
60～69 歳	15	26.7	20.0	46.7	6.7	20.0	20.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
70～79 歳	5	20.0	40.0	20.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80 歳以上	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『情報の入手方法<c) 趣味・遊び>について』 年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	SNS	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全 体	319	16.3	8.2	69.6	27.9	12.2	29.2	26.0	1.9	3.1	0.6	3.1	2.8
18～19 歳	4	25.0	0.0	75.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	69	18.8	4.3	73.9	47.8	4.3	29.0	30.4	1.4	4.3	0.0	2.9	2.9
30～39 歳	102	11.8	8.8	73.5	27.5	11.8	25.5	31.4	0.0	1.0	2.0	4.9	2.0
40～49 歳	75	18.7	9.3	81.3	26.7	12.0	28.0	17.3	4.0	5.3	0.0	0.0	2.7
50～59 歳	44	15.9	4.5	52.3	9.1	22.7	38.6	29.5	4.5	2.3	0.0	2.3	4.5
60～69 歳	14	14.3	21.4	57.1	7.1	14.3	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	14.3	7.1
70～79 歳	6	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80 歳以上	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢。

■ 『情報の入手方法<d) 仕事>について』 年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	SNS	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全 体	314	1.0	6.7	67.2	11.5	6.4	22.3	22.0	4.1	13.1	2.2	4.5	9.6
18～19 歳	5	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0
20～29 歳	71	1.4	2.8	74.6	15.5	7.0	19.7	21.1	2.8	25.4	4.2	4.2	4.2
30～39 歳	110	0.0	4.5	72.7	8.2	3.6	19.1	24.5	5.5	13.6	3.6	3.6	7.3
40～49 歳	71	1.4	12.7	71.8	16.9	5.6	21.1	18.3	2.8	5.6	0.0	4.2	11.3
50～59 歳	41	2.4	12.2	48.8	7.3	12.2	34.1	22.0	7.3	9.8	0.0	2.4	14.6
60～69 歳	11	0.0	0.0	45.5	0.0	9.1	45.5	36.4	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1
70～79 歳	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
80 歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『情報の入手方法< e) 保健・医療>について』 年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	SNS	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全 体	337	2.7	3.0	51.3	5.6	23.1	22.8	14.2	21.7	15.1	1.5	5.0	4.2
18～19 歳	5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
20～29 歳	70	1.4	1.4	52.9	2.9	8.6	17.1	8.6	31.4	20.0	1.4	10.0	4.3
30～39 歳	110	0.9	1.8	56.4	6.4	21.8	24.5	16.4	17.3	20.0	2.7	4.5	3.6
40～49 歳	79	5.1	6.3	62.0	7.6	24.1	22.8	15.2	24.1	12.7	0.0	3.8	1.3
50～59 歳	45	2.2	0.0	40.0	4.4	42.2	20.0	17.8	22.2	6.7	0.0	0.0	8.9
60～69 歳	16	0.0	0.0	25.0	0.0	37.5	25.0	12.5	12.5	6.3	6.3	0.0	12.5
70～79 歳	7	0.0	14.3	0.0	14.3	42.9	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
80 歳以上	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢。

■ 『情報の入手方法< f) 日本での生活習慣>について』 年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	SNS	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全 体	320	14.1	5.9	53.1	15.6	25.9	41.9	15.9	2.2	9.7	0.9	2.2	6.6
18～19 歳	5	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
20～29 歳	68	10.3	2.9	70.6	27.9	13.2	39.7	10.3	4.4	20.6	1.5	0.0	4.4
30～39 歳	102	10.8	2.9	56.9	15.7	24.5	40.2	23.5	1.0	10.8	2.0	3.9	6.9
40～49 歳	80	20.0	8.8	52.5	15.0	25.0	38.8	15.0	2.5	5.0	0.0	1.3	5.0
50～59 歳	42	19.0	9.5	31.0	0.0	54.8	47.6	11.9	2.4	4.8	0.0	2.4	7.1
60～69 歳	14	14.3	7.1	35.7	0.0	28.6	42.9	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
70～79 歳	5	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
80 歳以上	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢。

■ 『情報の入手方法<g> 災害・防災情報>について』年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	SNS	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全 体	329	27.7	6.1	56.5	15.8	11.9	10.9	4.9	24.3	15.5	1.8	7.0	4.6
18～19 歳	5	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0
20～29 歳	71	12.7	5.6	57.7	26.8	1.4	8.5	5.6	32.4	23.9	0.0	8.5	4.2
30～39 歳	107	26.2	5.6	58.9	15.9	10.3	4.7	3.7	21.5	17.8	2.8	7.5	5.6
40～49 歳	79	32.9	7.6	64.6	15.2	12.7	12.7	6.3	26.6	12.7	2.5	5.1	3.8
50～59 歳	43	34.9	2.3	51.2	4.7	27.9	23.3	2.3	23.3	7.0	2.3	4.7	2.3
60～69 歳	13	61.5	7.7	30.8	0.0	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0
70～79 歳	6	50.0	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7
80 歳以上	2	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『情報の入手方法<h> コミュニティ・グループの紹介>について』年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	SNS	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全 体	303	0.7	2.0	33.0	16.5	8.3	14.9	15.2	15.2	8.9	2.0	19.1	11.6
18～19 歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0
20～29 歳	64	0.0	0.0	34.4	18.8	1.6	10.9	7.8	18.8	15.6	1.6	26.6	12.5
30～39 歳	98	0.0	2.0	34.7	18.4	5.1	18.4	21.4	9.2	9.2	3.1	21.4	12.2
40～49 歳	75	2.7	5.3	44.0	18.7	12.0	13.3	12.0	17.3	4.0	1.3	13.3	6.7
50～59 歳	39	0.0	0.0	23.1	5.1	20.5	12.8	20.5	20.5	7.7	2.6	10.3	17.9
60～69 歳	13	0.0	0.0	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	23.1	0.0	0.0	23.1	7.7
70～79 歳	5	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
80 歳以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢。

■ 『情報の入手方法< i) 地域でのイベントやおまつり>について』 年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	SNS	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全 体	322	5.0	7.8	38.2	15.8	11.5	18.3	10.2	22.0	6.8	1.9	13.7	13.0
18～19 歳	5	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
20～29 歳	69	2.9	8.7	40.6	20.3	1.4	8.7	8.7	26.1	7.2	2.9	20.3	14.5
30～39 歳	106	5.7	7.5	38.7	19.8	13.2	17.0	11.3	17.0	10.4	1.9	13.2	15.1
40～49 歳	78	2.6	3.8	48.7	15.4	11.5	23.1	9.0	26.9	3.8	1.3	9.0	7.7
50～59 歳	40	5.0	7.5	25.0	7.5	25.0	25.0	17.5	17.5	7.5	2.5	7.5	20.0
60～69 歳	14	7.1	14.3	35.7	0.0	7.1	14.3	7.1	21.4	0.0	0.0	21.4	7.1
70～79 歳	5	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80 歳以上	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『情報の入手方法< j) 行政サービス・手続き>について』 年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	SNS	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全 体	333	1.2	0.9	47.4	2.4	15.0	14.4	7.8	42.0	11.7	1.8	8.7	3.3
18～19 歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0
20～29 歳	70	0.0	1.4	48.6	4.3	4.3	12.9	8.6	42.9	12.9	1.4	12.9	4.3
30～39 歳	106	0.9	0.0	60.4	2.8	13.2	10.4	8.5	42.5	11.3	2.8	8.5	1.9
40～49 歳	80	1.3	0.0	45.0	2.5	17.5	21.3	6.3	46.3	8.8	2.5	6.3	2.5
50～59 歳	46	0.0	2.2	37.0	0.0	28.3	10.9	10.9	43.5	10.9	0.0	2.2	8.7
60～69 歳	15	6.7	0.0	33.3	0.0	13.3	13.3	0.0	33.3	13.3	0.0	13.3	0.0
70～79 歳	6	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
80 歳以上	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢。

外国人が生活するうえでの情報をどのようなメディア・方法で入手しているかの年齢別では、母数の多い「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」でみると、10の事柄中唯一〈行政サービス・手続き〉のうち、「40～49歳」の「行政機関（窓口、広報誌）」が46.3%と「インターネット」の45.0%を上回っており、他事柄・年齢においては全て「インターネット」が最も高い。

「50～59歳」でも、「インターネット」の割合が高いが、〈保健・医療〉〈日本での生活習慣〉については「家族、親戚」が最も高く、〈行政サービス・手続き〉については「行政機関（窓口、広報誌）」が最も高かった。

「60～69歳」では、〈保健・医療〉で「家族、親戚」の37.5%、〈日本での生活習慣〉については「日本人の友人、知人」の42.9%、〈災害・防災情報〉については「テレビ、ラジオ」が61.5%、〈コミュニティ・グループの紹介〉では「行政機関（窓口、広報誌）」の23.1%、〈行政サービス・手続き〉では「インターネット」「行政機関（窓口、広報誌）」がともに33.3%と、情報の入手先として「インターネット」に限らず、他メディア・方法を選んでいる。

(A) 普段利用しているSNS

【Q9.(A) あなたが普段利用しているSNSは次のどれですか(あてはまるもの全てに○)】

【Q9.】で「4.SNS」を選んだ185件について

■『(A) 普段利用しているSNS』件数割合

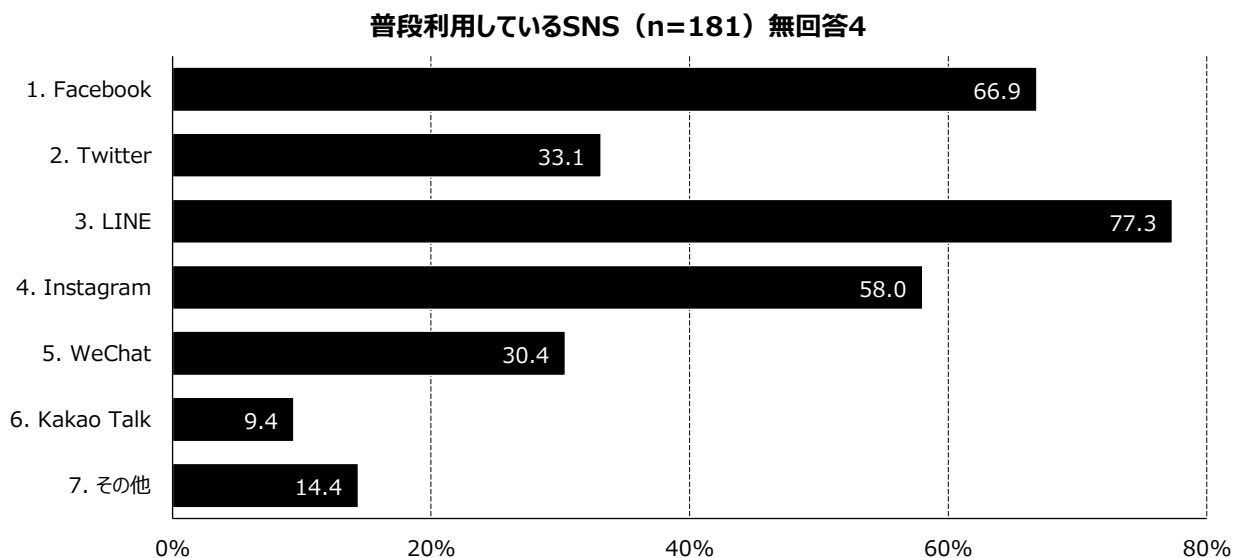
	件数	割合		件数	割合
1. Facebook	121	66.9	5. WeChat	55	30.4
2. Twitter	60	33.1	6. Kakao Talk	17	9.4
3. LINE	140	77.3	7. その他	26	14.4
4. Instagram	105	58.0			
			全体	181	100.0

※無回答4 ※累計(n):524/累計(%):289.5

■「その他」26件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
WhatsApp	10	5.5	Weibo	5	2.8
LinkedIn	5	2.8	Google	2	1.1

※割合は(n=181)で算出



普段利用しているSNSでは、「LINE」が77.3%で最も高く、「Facebook」が66.9%、「Instagram」が58.0%、「Twitter」が33.1%、「WeChat」が30.4%と続いている。また、累計パーセントから一人3つ近くのアプリを利用していることがうかがえる。

「その他」の記述回答では、「WhatsApp」が10件、「LinkedIn」「Weibo」がともに5件あった。

(7) 行政からほしい情報 【Q10. 行政からほしい情報はどのようなものですか（主なもの3つ以内に○）。】

■ 『行政からほしい情報』件数割合

	件数	割合		件数	割合
1. 住宅	62	18.2	7. 災害・防災情報	127	37.4
2. 買い物	11	3.2	8. コミュニティ・グループの紹介	56	16.5
3. 趣味・遊び	46	13.5	9. 地域でのイベントやおまつり	82	24.1
4. 仕事	62	18.2	10. 行政サービス・手続き	127	37.4
5. 保健・医療	150	44.1	11. その他	20	5.9
6. 日本での生活習慣	25	7.4	12. 特にない	38	11.2
			全体	340	100.0

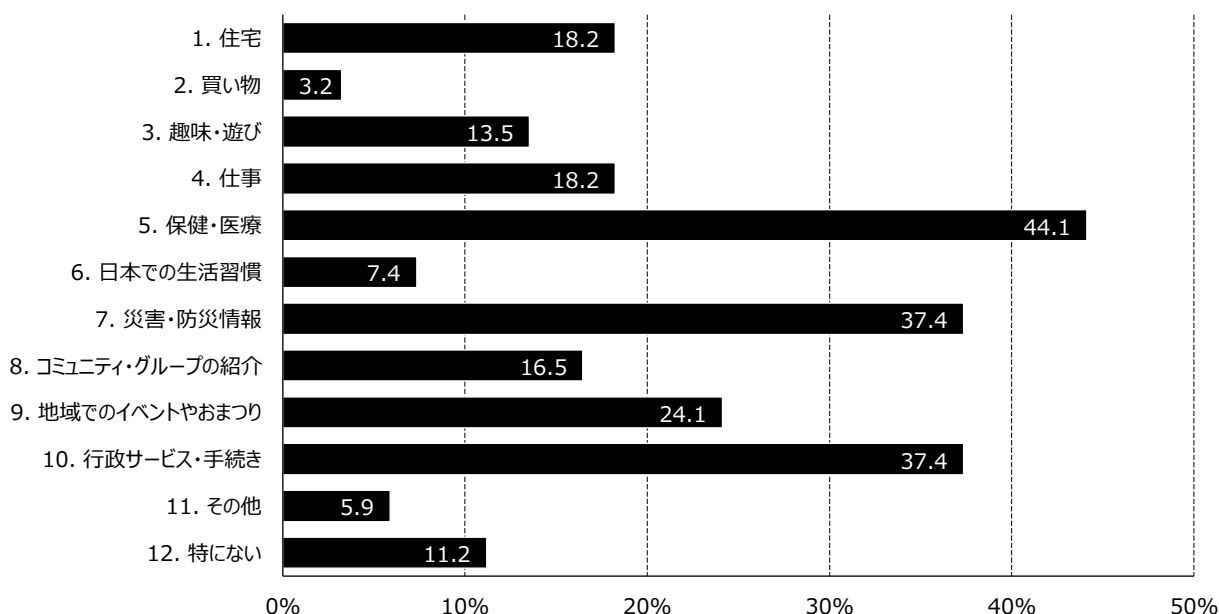
※無回答 38 ※累計 (n) : 806 / 累計 (%) : 237.1

■ 「その他」20件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
育児	7	2.1	教育	3	0.9
税金	4	1.2	言語	2	0.6

※割合は (n=340) で算出

行政からほしい情報 (n=340) 無回答38



行政からほしい情報では、「保健・医療」が150件・44.1%で最も高い。「災害・防災情報」「行政サービス・手続き」がともに127件・37.4%で続いている。

また、「地域でのイベントやおまつり」は82件・24.1%で、「住宅」「仕事」の18.2%よりニーズが高いことがうかがえる。「その他」の記述回答には、「育児」「税金」「教育」「言語」に関するものがあった。

■ 『行政からほしい情報』年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		住宅	買い物	趣味・遊び	仕事	保健・医療	日本での生活習慣	災害・防災情報	コミュニティ・グループの紹介	地域でのイベントやおまつり	行政サービス・手続き	その他	特にない
全 体	340	18.2	3.2	13.5	18.2	44.1	7.4	37.4	16.5	24.1	37.4	5.9	11.2
18～19 歳	5	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	80.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
20～29 歳	69	15.9	2.9	13.0	26.1	34.8	7.2	31.9	26.1	39.1	39.1	5.8	7.2
30～39 歳	104	22.1	2.9	7.7	11.5	50.0	5.8	33.7	16.3	26.0	45.2	6.7	10.6
40～49 歳	78	17.9	2.6	21.8	25.6	47.4	9.0	42.3	21.8	21.8	29.5	7.7	6.4
50～59 歳	49	14.3	4.1	12.2	18.4	42.9	4.1	46.9	8.2	12.2	36.7	4.1	18.4
60～69 歳	19	31.6	5.3	26.3	5.3	36.8	0.0	31.6	0.0	26.3	26.3	0.0	15.8
70～79 歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	8.3	33.3	0.0	0.0	41.7	0.0	33.3
80 歳以上	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にない」は除く）。

行政からほしい情報の年齢別でみると、「20～29 歳」では「地域でのイベントやおまつり」「行政サービス・手続き」がともに 39.1%で最も高く、「30～39 歳」「40～49 歳」「60～69 歳」「70～79 歳」では「保健・医療」が最も高い。「50～59 歳」では「災害・防災情報」の 46.9%が最も高かった。

■ 『行政からほしい情報』 在留資格割合

在留資格	n	1	2	3	4	5	6
		住宅	買い物	趣味・遊び	仕事	保健・医療	活習慣 日本での生
全 体	340	18.2	3.2	13.5	18.2	44.1	7.4
定住者	12	41.7	0.0	16.7	8.3	58.3	16.7
日本人の配偶者等	48	16.7	0.0	16.7	25.0	43.8	6.3
永住者	105	12.4	3.8	14.3	15.2	45.7	2.9
永住者の配偶者等	6	33.3	0.0	0.0	50.0	50.0	33.3
特別永住者	23	21.7	4.3	0.0	4.3	39.1	0.0
技術・人文知識・国際業務	66	19.7	7.6	12.1	12.1	40.9	9.1
留学	33	21.2	3.0	9.1	39.4	39.4	15.2
家族滞在	19	10.5	0.0	26.3	26.3	52.6	10.5
特定活動	6	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0
技能	7	42.9	0.0	14.3	28.6	71.4	14.3
その他	14	21.4	0.0	21.4	7.1	28.6	7.1

在留資格	n	7	8	9	10	11	12
		報災 害・ 防災情 報	のイコ 紹介・ グルー プテ	りン地 ト域 やお ま伊 つベ	ス行 政サ ービ ス・ 手続 き	そ の 他	特 に な い
全 体	340	37.4	16.5	24.1	37.4	5.9	11.2
定住者	12	41.7	25.0	25.0	16.7	0.0	0.0
日本人の配偶者等	48	35.4	16.7	27.1	31.3	8.3	12.5
永住者	105	44.8	11.4	14.3	37.1	3.8	16.2
永住者の配偶者等	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3
特別永住者	23	39.1	0.0	17.4	43.5	8.7	17.4
技術・人文知識・国際業務	66	39.4	22.7	40.9	43.9	4.5	4.5
留学	33	30.3	27.3	30.3	48.5	0.0	3.0
家族滞在	19	26.3	26.3	31.6	15.8	21.1	5.3
特定活動	6	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	33.3
技能	7	14.3	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0
その他	14	35.7	7.1	21.4	71.4	7.1	7.1

※網掛けは各在留資格で最も割合が高い選択肢。

行政からほしい情報の在留資格別では、「仕事」「保健・医療」「行政サービス・手続き」のいずれかが、最も高くなっている。在留資格で最も母数の多い「永住者」では、「保健・医療」45.7%、次いで僅差で「災害・防災情報」44.8%、「行政サービス・手続き」37.1%であった。

(8) 住居を探すときに困ったこと 【Q11. あなたは住むところを探すときに困ったことはありますか（主なもの3つ以内に○）。】

■『住居を探すときに困ったこと』件数割合

	件数	割合
1. 外国人であることを理由に住むことを断られた	137	36.8
2. 保証人が見つからなかった	96	25.8
3. 相談できる窓口がなかった	32	8.6
4. 電気・ガス・水道などの手続きがわからなかった	28	7.5
5. その他	27	7.3
6. 特にない	170	45.7
全体	372	100.0

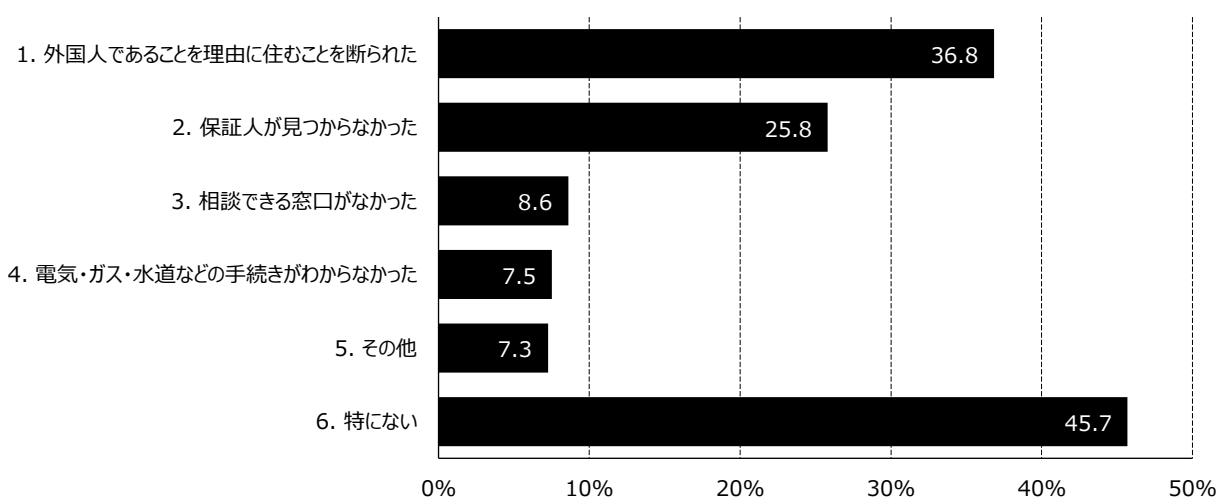
※無回答6 ※累計 (n) : 490 / 累計 (%) : 131.7

■「その他」27件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
ことばが通じない	5	1.3	賃料、保証料など金銭問題	4	1.1
年齢差別、人種差別、性差別	5	1.3	不動産会社、管理会社への不信感	3	0.8

※割合は (n=372) で算出

住居を探すときに困ったこと (n=372) 無回答6



住居を探すときに困ったことでは、「外国人であることを理由に住むことを断られた」が137件・36.8%で最も多く、「保証人が見つからなかった」が96件・25.8%であった（「特にない」は除く）。「相談できる窓口がなかった」「電気・ガス・水道などの手続きがわからなかった」も10%未満であるが一定数存在する。

「その他」の記述回答には「ことばが通じない」「年齢差別、人種差別、性差別」「賃料、保証料など金銭問題」「不動産会社、管理会社への不信感」などがあった。

■ 『住居を探すときに困ったこと』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	1	2	3	4	5	6
		外国人であることを理由に住むことを断られた	保証人が見つからなかった	相談できる窓口がなかった	電気・ガス・水道などの手続きがわからなかった	その他	特にない
全 体	372	36.8	25.8	8.6	7.5	7.3	45.7
中 国	88	39.8	35.2	8.0	8.0	3.4	44.3
韓 国	75	32.0	26.7	10.7	4.0	1.3	52.0
米 国	37	24.3	18.9	5.4	2.7	10.8	56.8
台 湾	26	53.8	42.3	11.5	3.8	3.8	26.9
フィリピン	16	12.5	12.5	12.5	6.3	12.5	62.5
英 国	16	43.8	18.8	6.3	12.5	18.8	43.8
ベトナム	4	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0
フランス	9	55.6	11.1	0.0	11.1	0.0	33.3
その他	98	39.8	19.4	8.2	11.2	12.2	41.8

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にない」は除く）。

住居を探すときに困ったことの国籍・地域別では、多くの国籍・地域で「特にない」が高く、それを除いた困ったことでは、「外国人であることを理由に住むことを断られた」が高く、「中国」39.8%、「韓国」32.0%、「台湾」では最も高い53.8%であった（n=10 未満の国籍・地域を除く）。「保証人が見つからなかった」でみても「台湾」42.3%が最も高い。

■ 『住居を探すときに困ったこと』 回答調査票言語割合

調査票言語	n	1	2	3	4	5	6
		外国人であることを理由に住むことを断られた	保証人が見つからなかった	相談できる窓口がなかった	電気・ガス・水道などの手続きがわからなかった	その他	特にない
全 体	372	36.8	25.8	8.6	7.5	7.3	45.7
日本語調査票	190	37.4	32.1	9.5	6.3	3.7	44.2
外国語調査票	182	36.3	19.2	7.7	8.8	11.0	47.3

※網掛けは各調査票言語で最も割合が高い選択肢（「特にない」は除く）。

住居を探すときに困ったことの回答調査票言語別では、「日本語調査票」「外国語調査票」ともに、「外国人であることを理由に住むことを断られた」が最も高く、「保証人が見つからなかった」では、「日本語調査票」32.1%、「外国語調査票」19.2%と約13%の差がみられた。

(9) 病院を利用する際に困ったこと 【Q12. あなたは病院を利用する際に困ったことはありますか (主なもの3つ以内に○)。】

■ 『病院を利用する際に困ったこと』件数割合

	件数	割合
1. 外国人であることを理由に診察を断られた	5	1.3
2. どの病院へ行けばいいのかわからなかった	100	26.9
3. 診察時間など、病院の仕組みがわからなかった	37	9.9
4. ことばが通じず医者や看護師などとコミュニケーションがとれなかった	65	17.5
5. 病院で出される薬の使い方がわからなかった	3	0.8
6. 診断結果や治療方法がわからなかった	38	10.2
7. その他	26	7.0
8. 特にない	210	56.5
全体	372	100.0

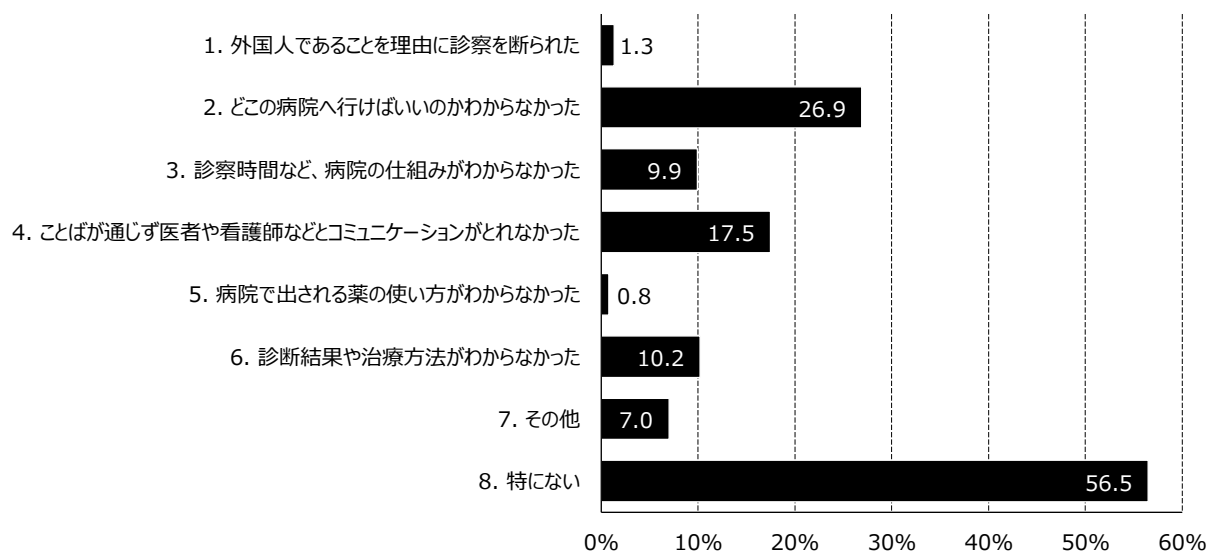
※無回答6 ※累計 (n) : 484 / 累計 (%) : 130.1

■ 「その他」26件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
医師からの差別	7	1.9	専門医検索	2	0.5
言葉	4	1.1	医師への不信感	2	0.5

※割合は (n=372) で算出

病院を利用する際に困ったこと (n=372) 無回答6



病院を利用する際に困ったことでは、「どの病院へ行けばいいのかわからなかった」が100件・26.9%で最も多く、「ことばが通じず医者や看護師などとコミュニケーションがとれなかった」が65件・17.5%であった(「特にない」は除く)。

「その他」の記述回答には、「医師からの差別」が7件あった。

(10) 出産や子育てで困ったこと 【Q13. あなたは出産や子育てで困ったことはありますか
(主なもの3つ以内に○)。】

■ 『出産や子育てで困ったこと』 件数割合

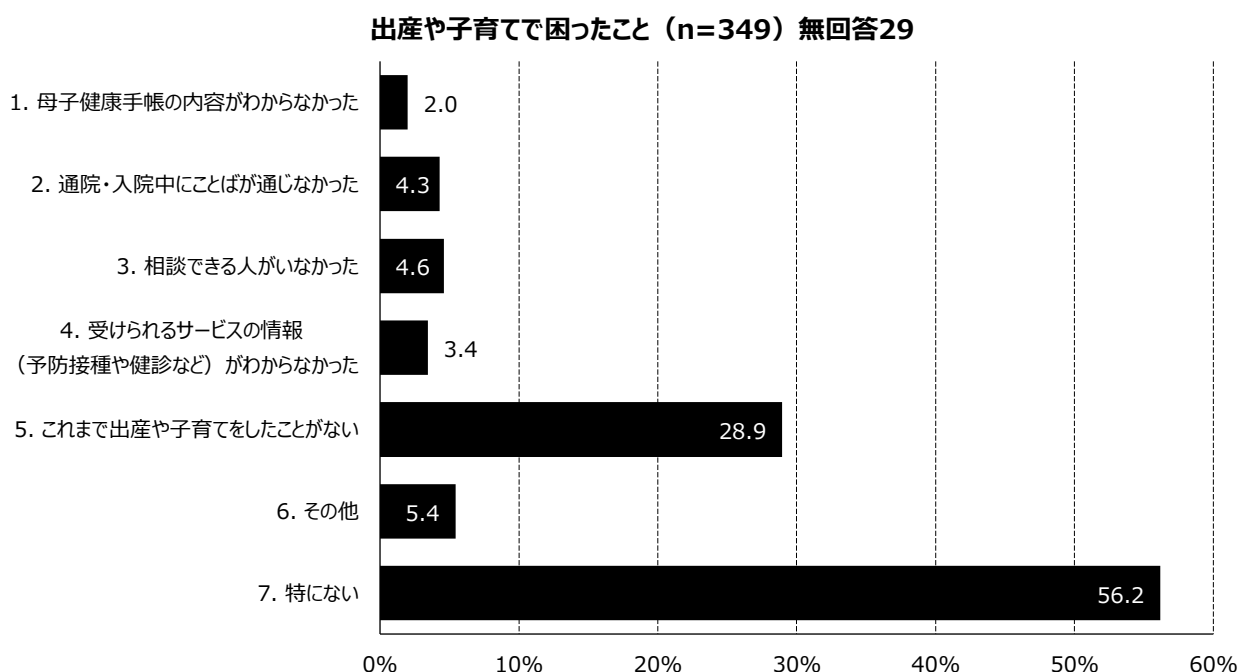
	件数	割合
1. 母子健康手帳の内容がわからなかった	7	2.0
2. 通院・入院中にことばが通じなかった	15	4.3
3. 相談できる人がいなかった	16	4.6
4. 受けられるサービスの情報（予防接種や健診など）がわからなかった	12	3.4
5. これまで出産や子育てをしたことがない	101	28.9
6. その他	19	5.4
7. 特にない	196	56.2
全体	349	100.0

※無回答 29 ※累計 (n) : 366 / 累計 (%) : 104.9

■ 「その他」 19 件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合
かかりつけ医の確保が難しい	2	0.6

※割合は (n=349) で算出



出産や子育てで困ったことでは、「相談できる人がいなかった」が 4.6%、「通院・入院中にことばが通じなかった」が 4.3%であった。

「その他」の記述回答には、「かかりつけ医の確保が難しい」などがあつた。

(11) 子どもを園・学校に通わせる（通わせた）うえで困ったこと

【Q14. あなたが保育園、幼稚園、小学校、中学校に子どもを通わせる（通わせた）うえで、困ったことはありますか（主なもの3つ以内に○）。】

■ 『子どもを園・学校に通わせる（通わせた）うえで困ったこと』件数割合

	件数	割合
1. 子どもを保育園や幼稚園に通わせたいが入れなかった	19	5.5
2. 保育園であずかってもらえる時間が短かった	9	2.6
3. 入園、入学のための手続きの情報が得られなかった	15	4.3
4. ことばが通じず保育士や先生などとコミュニケーションがとれなかった	14	4.0
5. ルールや行事、授業の内容などがわからなかった	10	2.9
6. 子どもが外国人であることを理由に仲間はずれにされた	4	1.2
7. 文化の違いや宗教などの理由で給食が食べられなかった	0	0.0
8. これまで子どもを保育園、幼稚園、小学校、中学校に通わせたことがない	99	28.5
9. その他	29	8.4
10. 特にない	181	52.2
全体	347	100.0

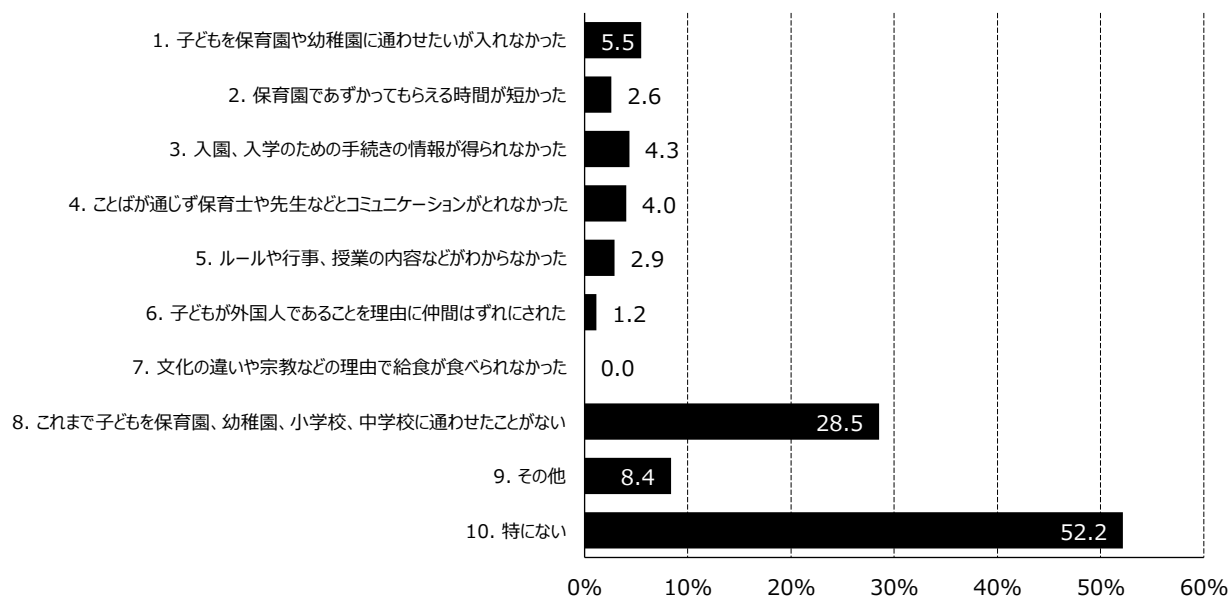
※無回答 31 ※累計 (n) : 380 / 累計 (%) : 109.5

■ 「その他」 29 件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
価値観の相違	4	1.2	園、学校の対応	3	0.9

※割合は (n=347) で算出

子どもを園・学校に通わせる（通わせた）うえで困ったこと (n=347) 無回答31



子どもを園・学校に通わせるうえで困ったことでは、「子どもを保育園や幼稚園に通わせたいが入れなかった」が19件・5.5%で最も高かった（「特にない」「通わせたことがない」は除く）。

(12) 働くうえで困ったこと 【Q15. あなたが働くうえで困ったことはありますか（主なもの3つ以内に○）。】

■『働くうえで困ったこと』件数割合

	件数	割合
1. 外国人であることを理由に働くことを断られた	32	8.7
2. 仕事を探す方法がわからなかった	21	5.7
3. 募集や採用が少なかった	33	9.0
4. 正社員など、安定した立場で働けなかった	25	6.8
5. 日本人と比べ、給料や働く時間に差があった	17	4.6
6. 働く時間が長い	31	8.5
7. 社会保険・労働保険に加入できなかった	8	2.2
8. ことばが通じず職場でコミュニケーションがとれなかった	13	3.6
9. ルールや制度などがわからなかった	34	9.3
10. 相談できる人がいなかった	19	5.2
11. 働いたことがない	29	7.9
12. その他	26	7.1
13. 特にない	183	50.0
全体	366	100.0

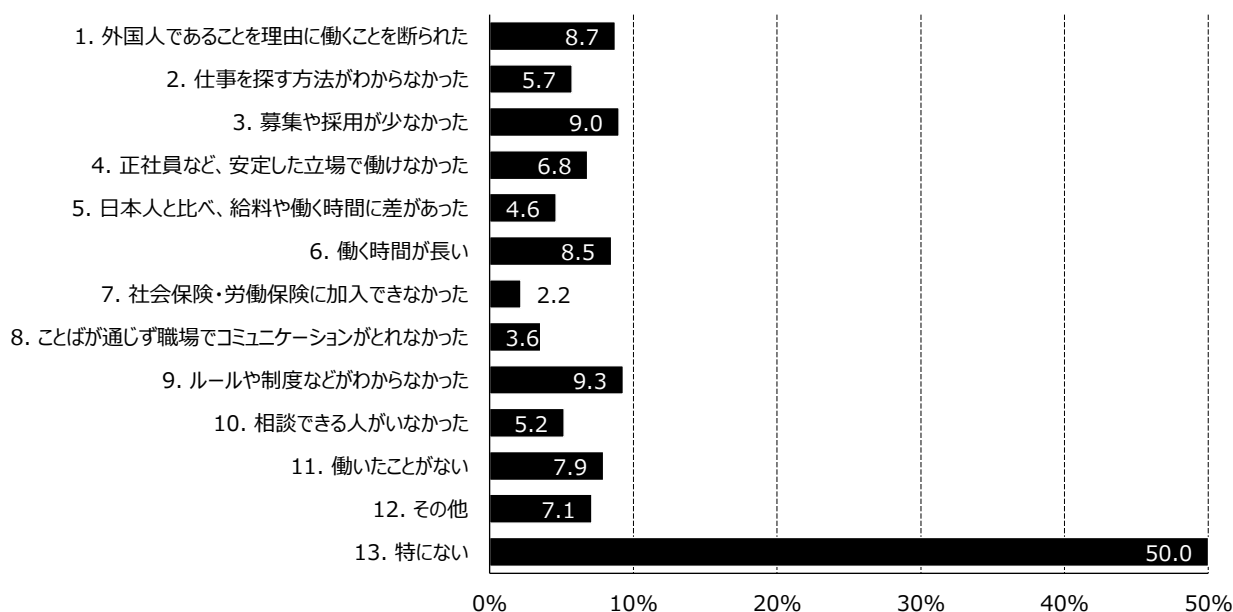
※無回答 12 ※累計 (n) : 471 / 累計 (%) : 128.7

■「その他」26 件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
差別・偏見、パワハラ・セクハラ	7	1.9	働き方の相違	5	1.4

※割合は (n=366) で算出

働くうえで困ったこと (n=366) 無回答12



働くうえで困ったことでは、「ルールや制度などがわからなかった」が9.3%、「募集や採用が少なかった」が9.0%であった。

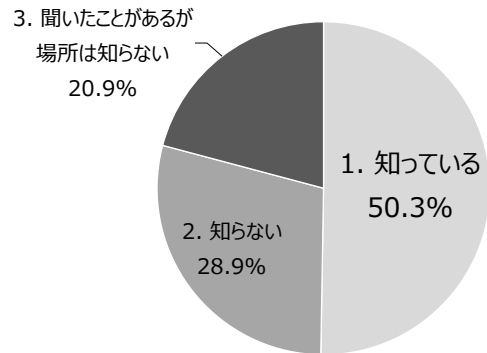
(13) 避難場所認知度 【Q16. あなたは地震などの災害が発生した時に自分が避難できる場所を知っていますか（1つに○）。】

■ 『避難場所認知度』 件数割合

	件数	割合
1. 知っている	188	50.3
2. 知らない	108	28.9
3. 聞いたことがあるが場所は知らない	78	20.9
全体	374	100.0

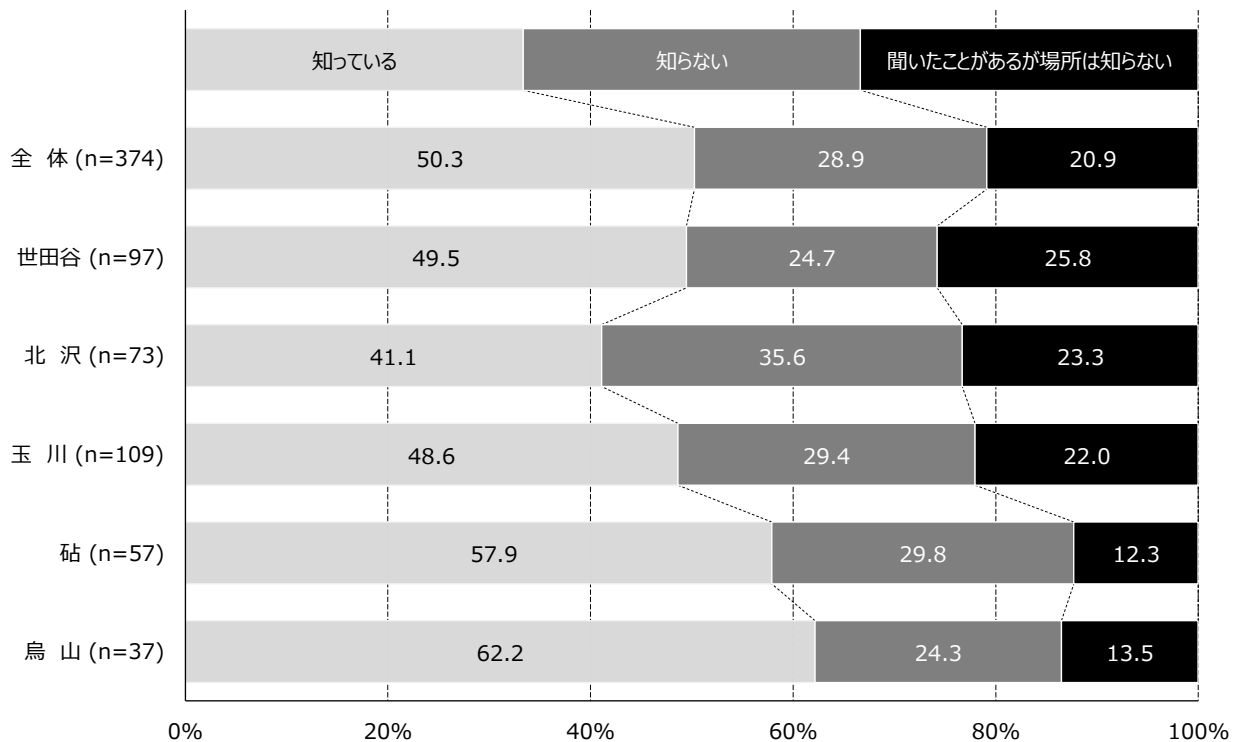
※無回答4

避難場所認知度 (n=374) 無回答4



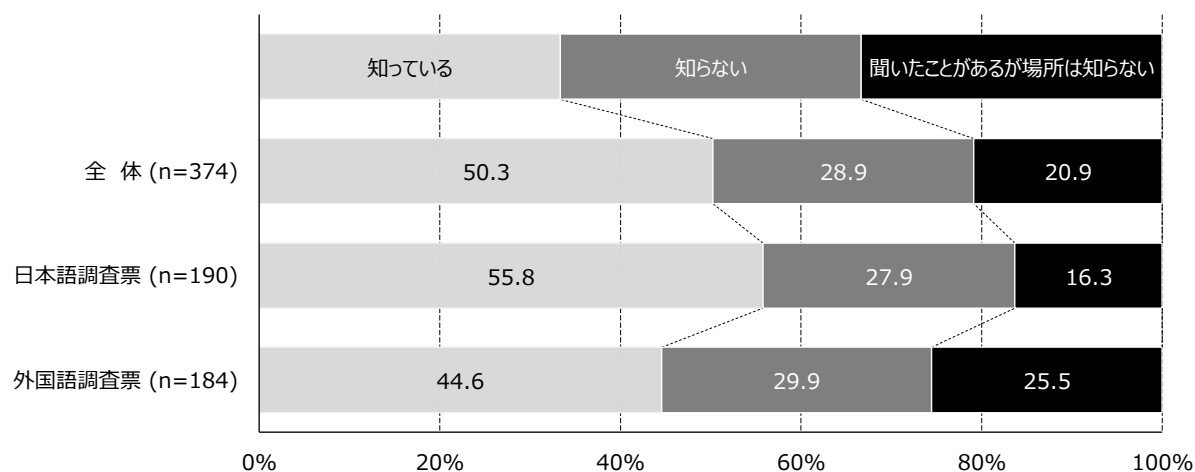
「知っている」が188件・50.3%で、約半数は災害が発生した時の避難場所を知っている。「知らない」は、108件・28.9%、「聞いたことがあるが場所は知らない」は78件・20.9%であった。

■ 『避難場所認知度』 居住地域割合



「知っている」の割合が最も高かったのが、「烏山」62.2%、次いで「砧」57.9%であった。最も割合が低かったのが「北沢」41.1%で「世田谷」49.5%、「玉川」48.6%と5割を割り込んでいる。

■ 『避難場所認知度』 回答調査票言語割合



避難場所認知度の調査票言語別では、「日本語調査票」で「知っている」55.8%、「知らない」27.9%、「聞いたことがあるが場所は知らない」16.3%、「外国語調査票」で「知っている」44.6%、「知らない」29.9%、「聞いたことがあるが場所は知らない」25.5%であった。「日本語調査票」を使用した外国人は、「外国語調査票」を利用した外国人より災害時の避難場所を認識している割合が約11%高い。

(14) 災害時の対策 【Q17. あなたは地震などの災害に備えてどのような対策をとっていますか
(主なものを3つ以内に○)。】

■ 『災害時の対策』 件数割合

	件数	割合
1. 家族との連絡方法を決めている	94	25.5
2. 食べるもの、飲み物などを準備している	141	38.3
3. 消火器や水バケツなどを準備している	25	6.8
4. 避難するときに必要なもの（懐中電灯、薬など）を準備している	133	36.1
5. 家具などを固定して倒れないようにしている	61	16.6
6. 防災訓練に参加している	21	5.7
7. その他	9	2.4
8. 特にない	125	34.0
全体	368	100.0

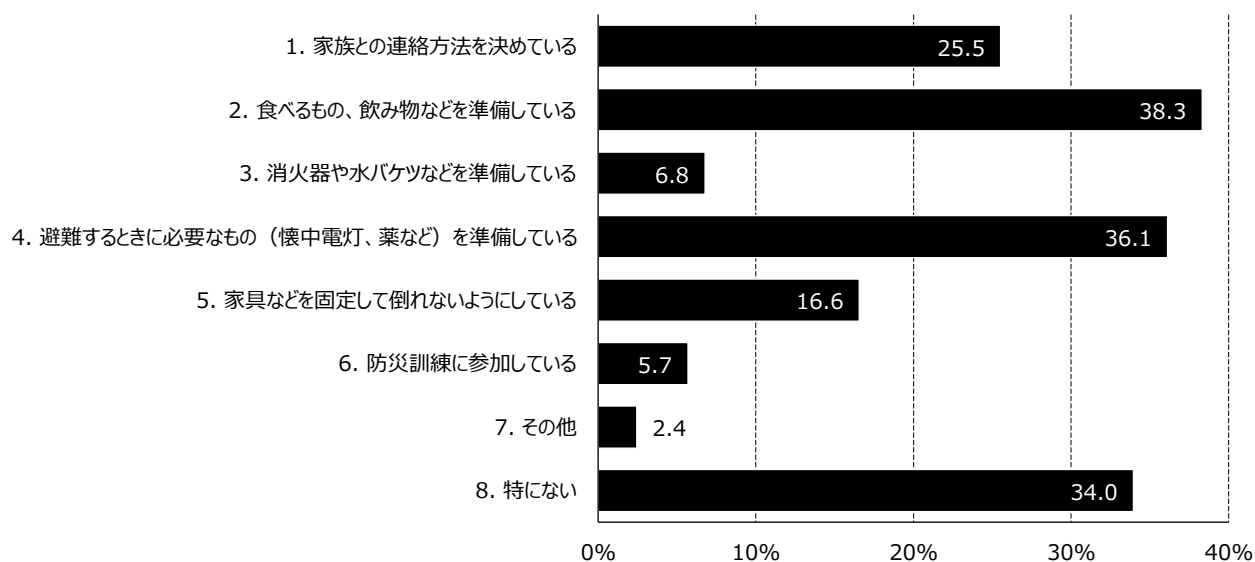
※無回答 10 ※累計 (n) : 609 / 累計 (%) : 165.5

■ 「その他」 9 件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
大切なものの持出し準備	2	0.5	過去に防災訓練に参加した	2	0.5

※割合は (n=368) で算出

災害時の対策 (n=368) 無回答10



災害時の対策では、「食べるもの、飲み物などを準備している」が、141件・38.3%で最も高く、「避難するときに必要なもの（懐中電灯、薬など）を準備している」が133件・36.1%と続いている。「特にない」は125件・34.0%の割合であった。「防災訓練に参加している」はわずか21件・5.7%であった。

■ 『災害時の対策』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	1	2	3	4	5	6	7	8
		家族との連絡方法を決めている	食べるもの、飲み物などを準備している	消火器や水バケツなどを準備している	避難するときに必要なもの（懐中電灯、薬など）を準備している	家具などを固定して倒れないようにしている	防災訓練に参加している	その他	特にない
全 体	368	25.5	38.3	6.8	36.1	16.6	5.7	2.4	34.0
中 国	87	33.3	36.8	2.3	36.8	14.9	8.0	0.0	33.3
韓 国	74	28.4	36.5	2.7	37.8	17.6	2.7	2.7	35.1
米 国	36	25.0	44.4	19.4	36.1	13.9	0.0	0.0	38.9
台 湾	26	38.5	34.6	7.7	30.8	7.7	0.0	0.0	30.8
フィリピン	16	31.3	56.3	12.5	43.8	18.8	12.5	6.3	6.3
英 国	16	6.3	37.5	18.8	50.0	6.3	18.8	0.0	31.3
ベトナム	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
フランス	9	22.2	55.6	11.1	44.4	33.3	11.1	0.0	11.1
その他	96	17.7	35.4	6.3	33.3	20.8	6.3	6.3	37.5

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にない」は除く）。

災害時の対策を国籍・地域別でみると、「中国」では、「食べるもの、飲み物などを準備している」「避難するときに必要なもの（懐中電灯、薬など）を準備している」がともに36.8%と最も割合が高く、「韓国」では、「避難するときに必要なもの（懐中電灯、薬など）を準備している」37.8%、「米国」では、「食べるもの、飲み物などを準備している」44.4%、「台湾」では、「家族との連絡方法を決めている」38.5%が最も高かった。

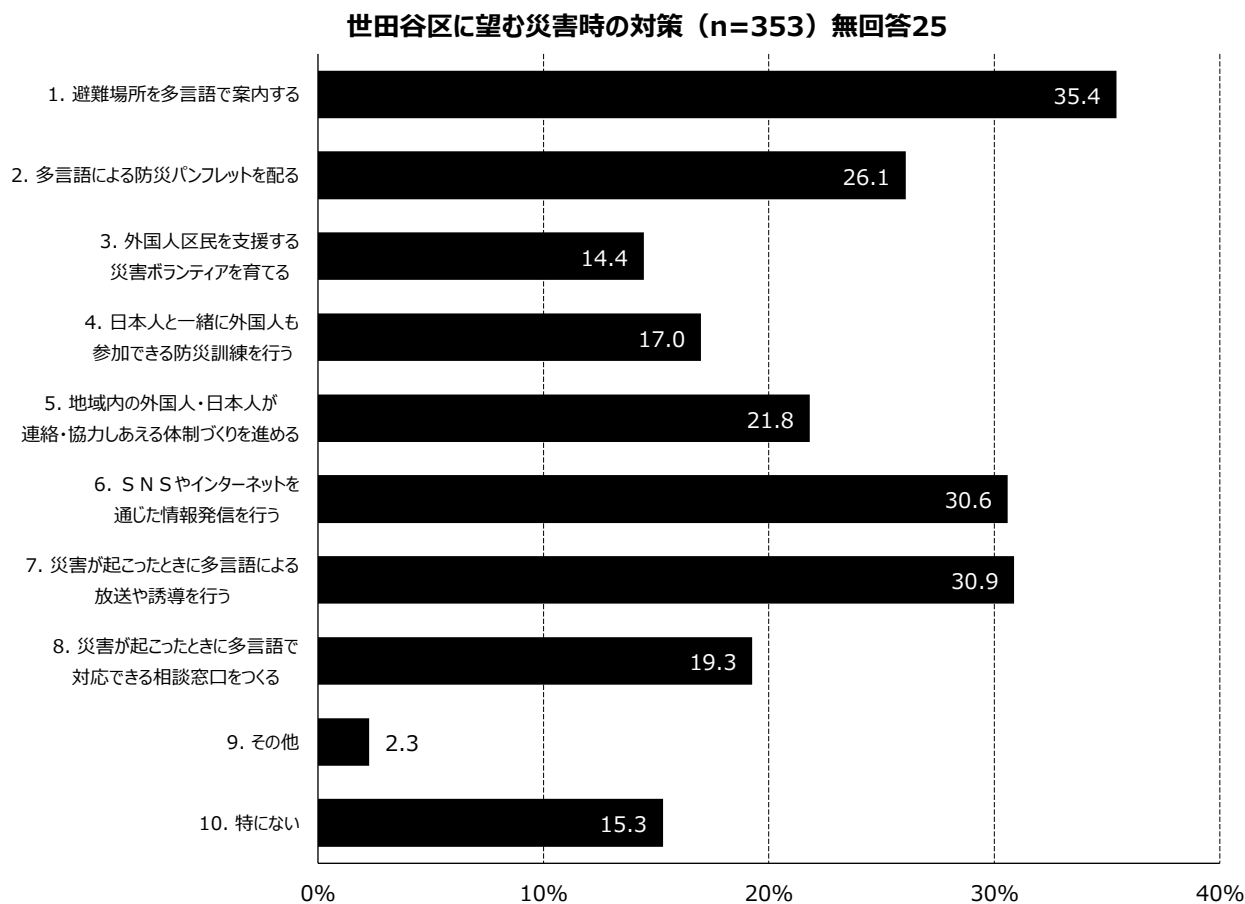
「特にない」でみると、全て30%台であった（「その他」及びn=20未満の国籍・地域を除く）。

(15) 世田谷区に望む災害対策 【Q18. あなたは地震などの災害に備えて世田谷区にどのような対策を望みますか（主なもの3つ以内に○）。】

■ 『世田谷区に望む災害対策』 件数割合

	件数	割合
1. 避難場所を多言語で案内する	125	35.4
2. 多言語による防災パンフレットを配る	92	26.1
3. 外国人区民を支援する災害ボランティアを育てる	51	14.4
4. 日本人と一緒に外国人も参加できる防災訓練を行う	60	17.0
5. 地域内の外国人・日本人が連絡・協力しあえる体制づくりを進める	77	21.8
6. SNSやインターネットを通じた情報発信を行う	108	30.6
7. 災害が起こったときに多言語による放送や誘導を行う	109	30.9
8. 災害が起こったときに多言語で対応できる相談窓口をつくる	68	19.3
9. その他	8	2.3
10. 特にない	54	15.3
全体	353	100.0

※無回答 25 ※累計 (n) : 752 / 累計 (%) : 213.0



世田谷区に望む災害対策としては、「避難場所を多言語で案内する」が 125 件・35.4%で最も高く、「災害が起こったときに多言語による放送や誘導を行う」が 109 件・30.9%と続き、多言語による災害対策を望んでいる。「特にない」は 54 件・15.3%であった。

(16) 外国人に対する生活支援の充実

【Q19. 世田谷区では、外国人が安心して地域で生活するために、教育、住宅、就労など、生活全般にわたっての支援を行っています。あなたは外国人に対する生活支援が充実していると思いますか（1つに○）。】

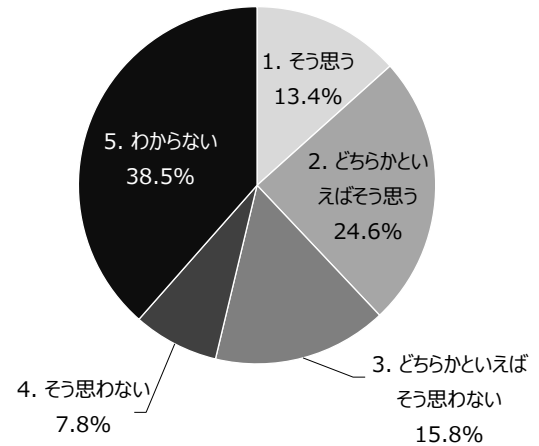
外国人に対する生活支援の充実 (n=374)

■『外国人に対する生活支援の充実』件数割合

	件数	割合
1. そう思う	50	13.4
2. どちらかといえば そう思う	92	24.6
3. どちらかといえば そう思わない	59	15.8
4. そう思わない	29	7.8
5. わからない	144	38.5
全体	374	100.0

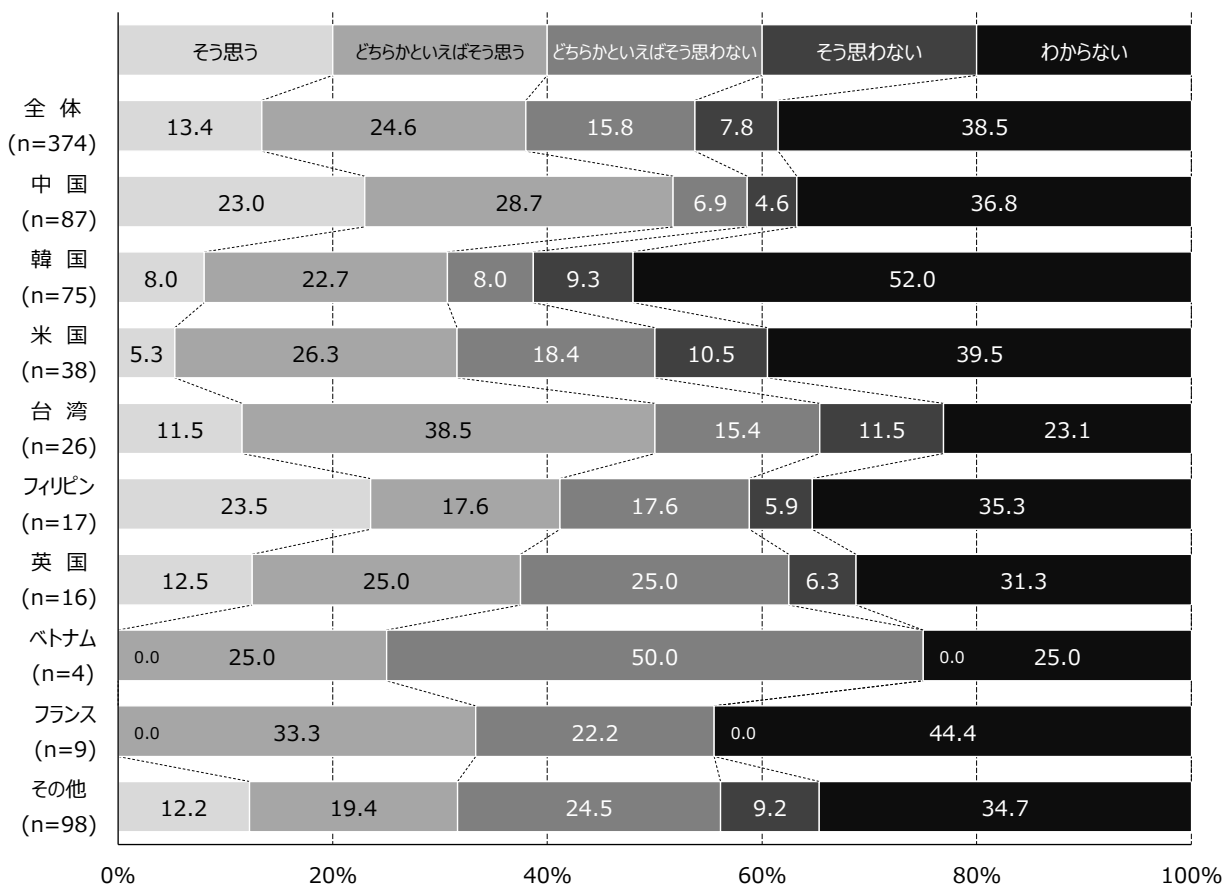
※無回答 4

無回答 4



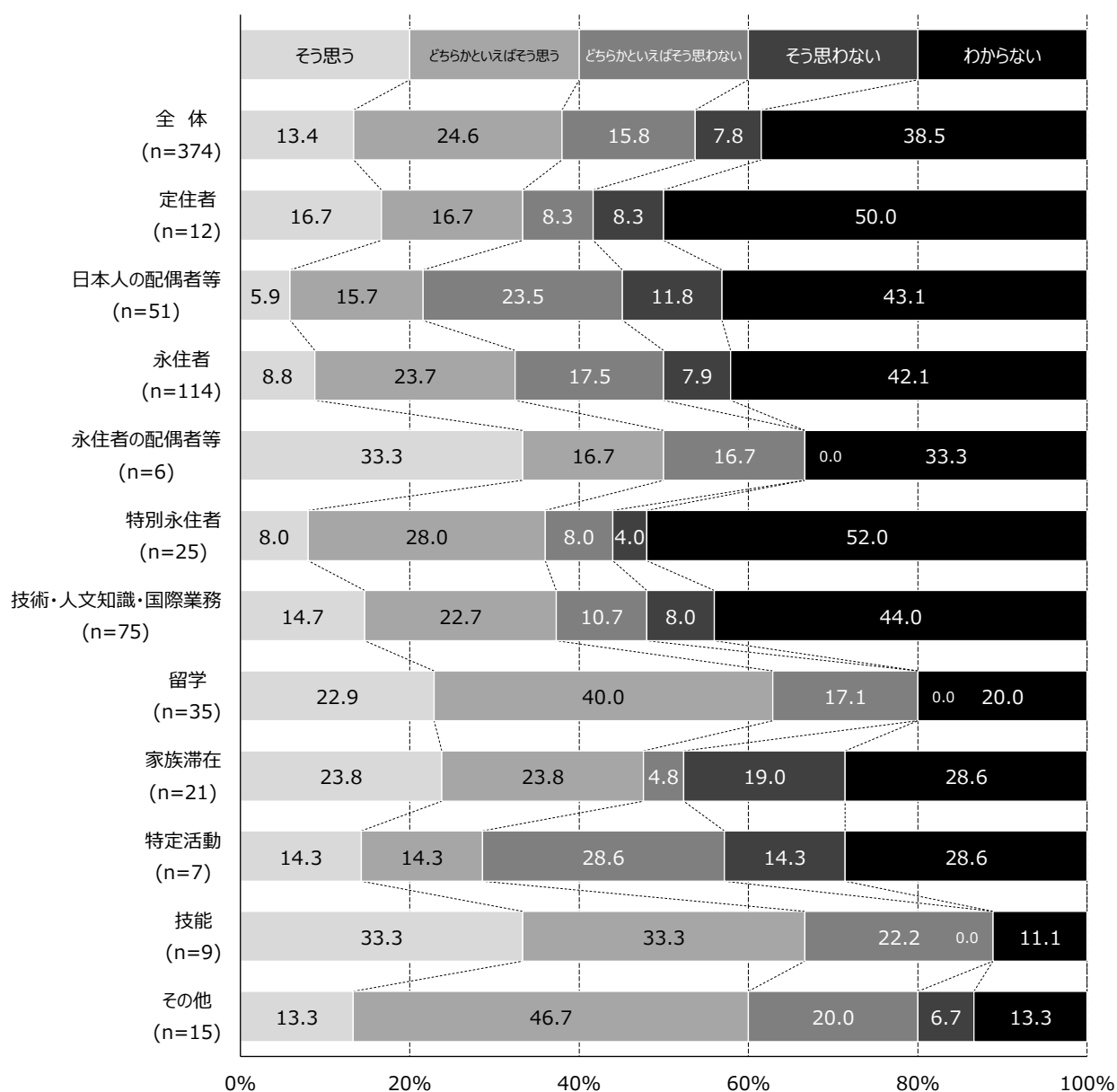
外国人に対する生活支援の充実では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が142件・38.0%で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計88件・23.6%を上回っている。「わからない」は144件・38.5%であった。

■『外国人に対する生活支援の充実』国籍・地域割合



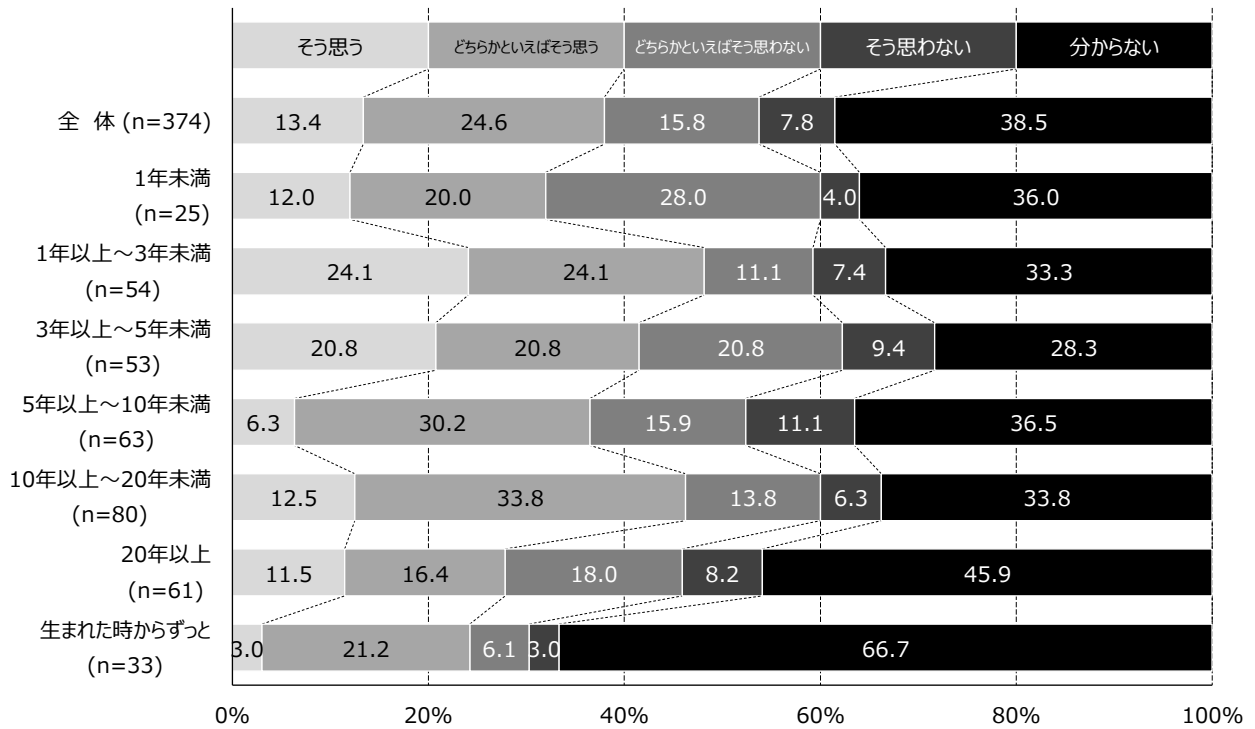
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合算では、「中国」51.7%、「台湾」50.0%と約半数が生活支援の充実を感じているのに比べ、「韓国」30.7%、「米国」31.6%では3割強にとどまっている。

■ 『外国人に対する生活支援の充実』 在留資格割合

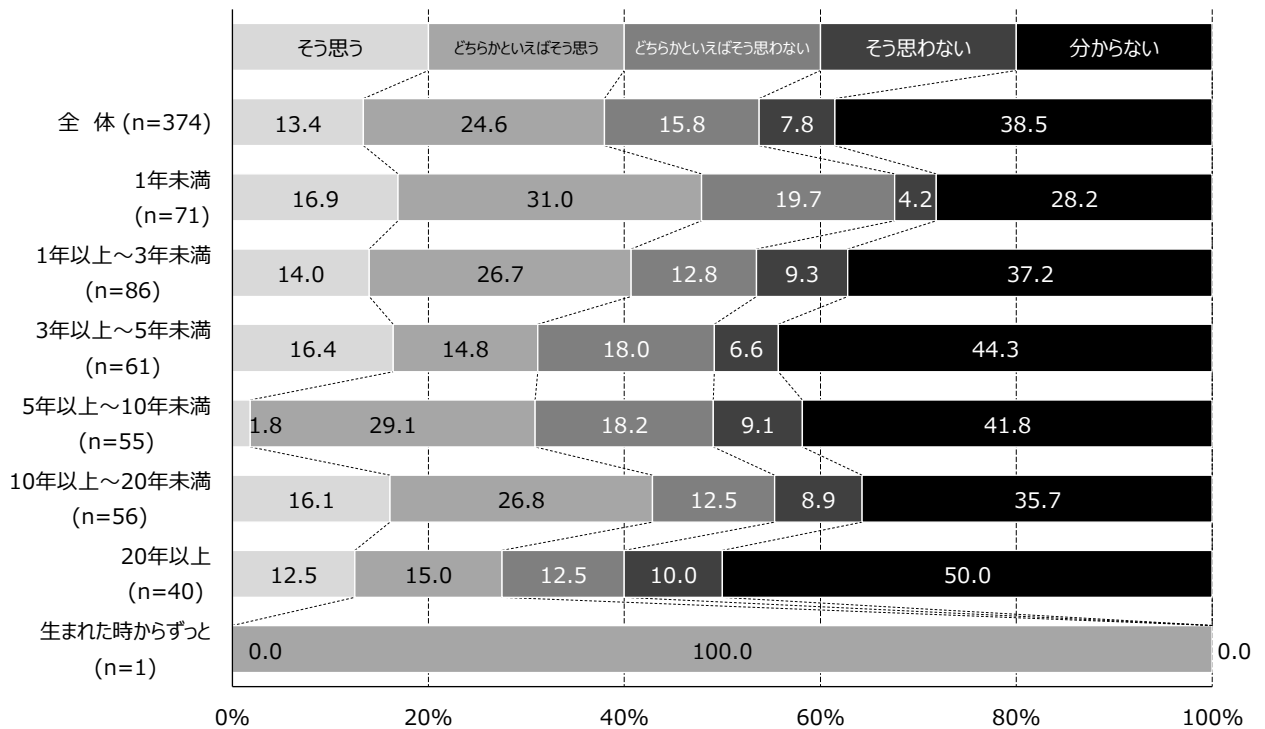


外国人に対する生活支援の充実の在留資格別では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合算では、唯一「留学」が62.9%と5割を超えており、他在留資格「日本人の配偶者等」21.6%、「永住者」32.5%、「特別永住者」36.0%、「技術・人文知識・国際業務」37.4%、「家族滞在」47.6%に比べ生活支援の充実を感じているのがうかがえる（n=20未満の在留資格を除く）。

■ 『外国人に対する生活支援の充実』 日本在住期間割合

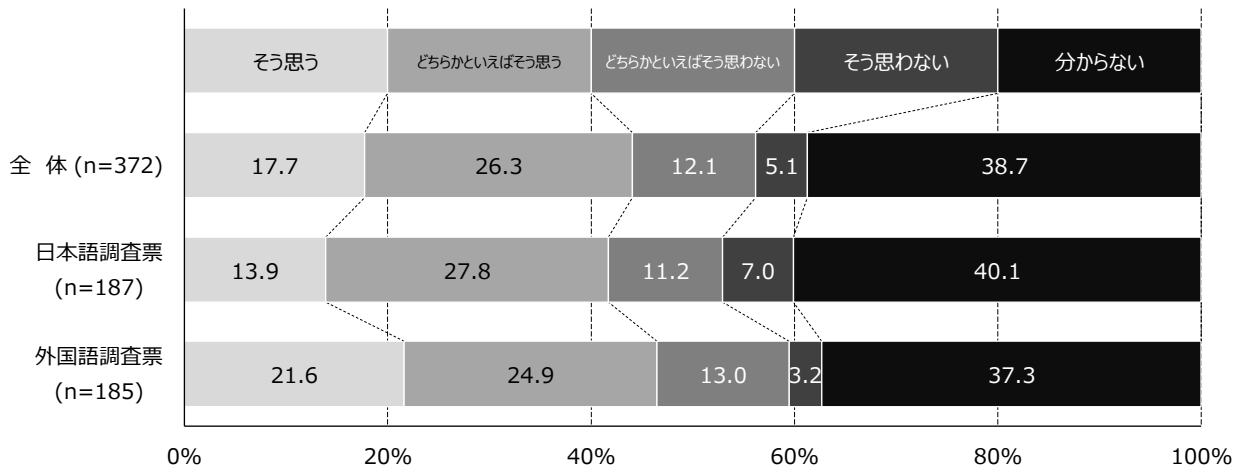


■ 『外国人に対する生活支援の充実』 世田谷区在住期間割合



外国人に対する生活支援の充実の在住期間別では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合算でみると、日本在住期間では、「1年以上～3年未満」48.2%の割合が最も高く、世田谷区在住期間では、「1年未満」47.9%が最も高い。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合算では、日本在住期間では、「1年未満」32.0%の割合が最も高く、世田谷区在住期間では、「5年以上～10年未満」27.3%が最も高い。

■ 『外国人に対する生活支援の充実』 回答調査票言語割合



外国人に対する生活支援の充実の回答調査票言語別では、「日本語調査票」「外国語調査票」とともに「どちらかといえばそう思う」の割合が最も高く（「分からない」は除く）、「そう思う」では、「日本語調査票」13.9%、「外国語調査票」21.6%であった。

(17) 外国人に対する偏見や差別の減少

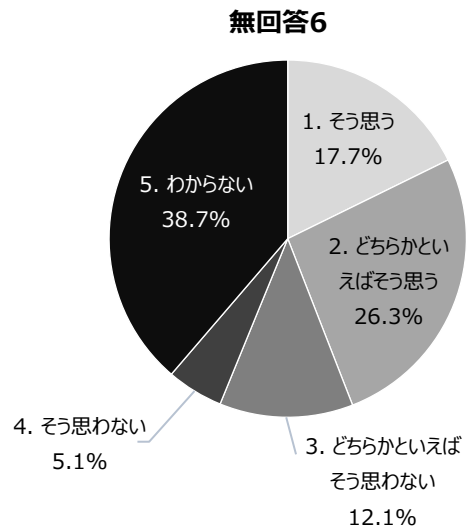
【Q20. 世田谷区では、多様な文化を理解し合える交流イベントなどを開催し、区民一人ひとりが互いの文化について理解を深め、偏見や差別を解消することで、多文化共生社会の実現を目指しています。あなたは、区内において外国人に対する偏見や差別が減っていると思いますか（1つに○）。】

外国人に対する偏見や差別の減少 (n=372)

■ 『外国人に対する偏見や差別の減少』件数割合

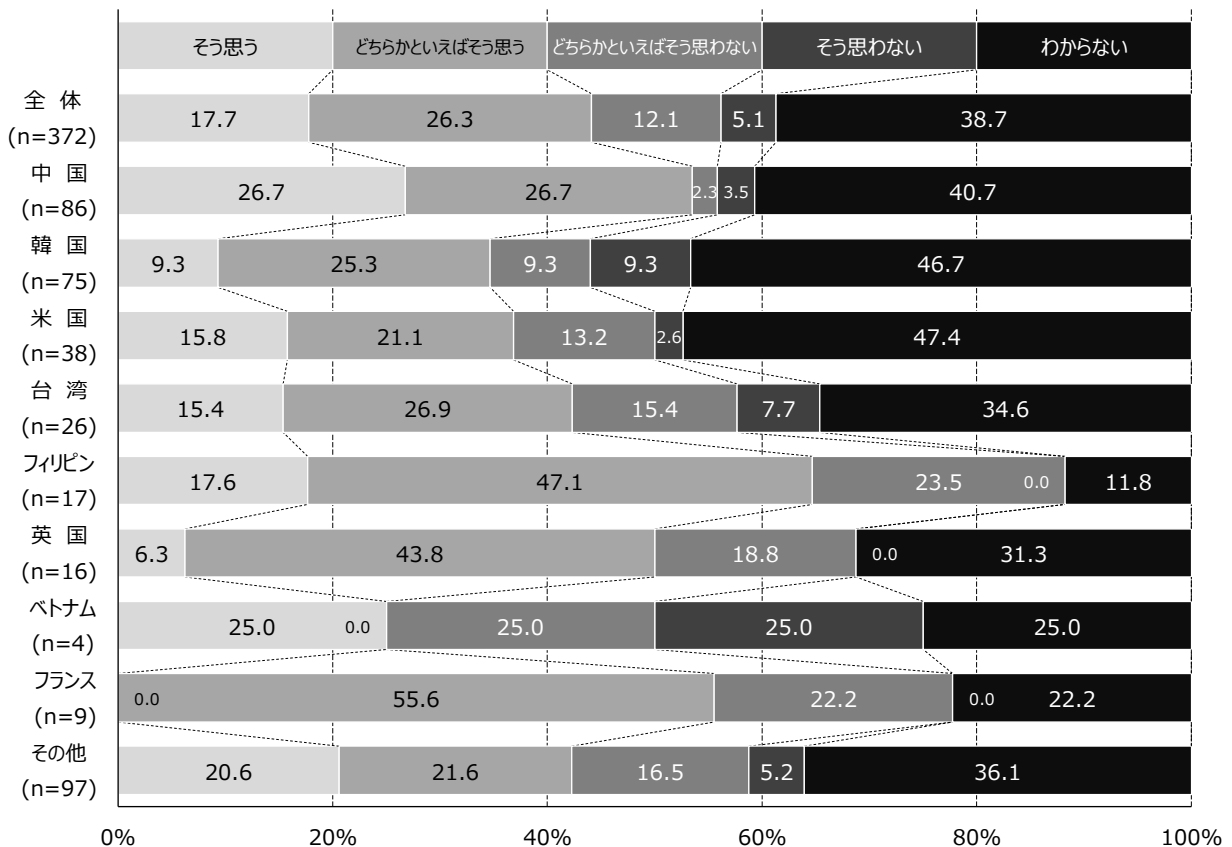
	件数	割合
1. そう思う	66	17.7
2. どちらかといえばそう思う	98	26.3
3. どちらかといえばそう思わない	45	12.1
4. そう思わない	19	5.1
5. わからない	144	38.7
全 体	372	100.0

※無回答6



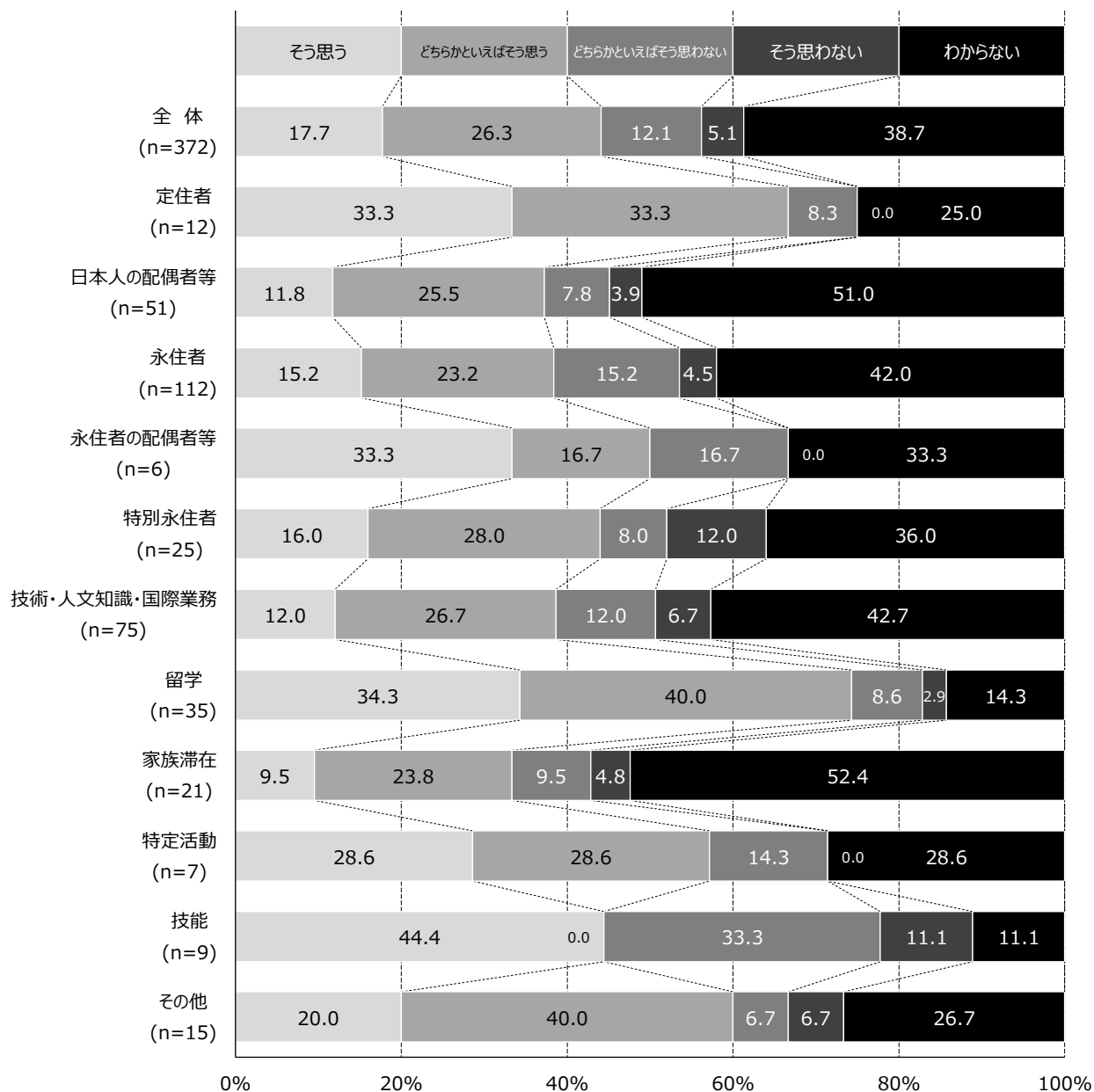
外国人に対する偏見や差別の減少では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合算が164件・44.0%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合算が64件・17.2%で偏見や差別が減っていると感じる外国人が26.8%多い。「わからない」は144件・38.7%であった。

■ 『外国人に対する偏見や差別の減少』国籍・地域割合



外国人に対する偏見や差別の減少の国籍・地域別では、「中国」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」がともに26.7%で半数以上が偏見や差別の減少を感じている。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算で最も低いのが「韓国」の34.6%であった（n=10未満の国籍・地域を除く）。

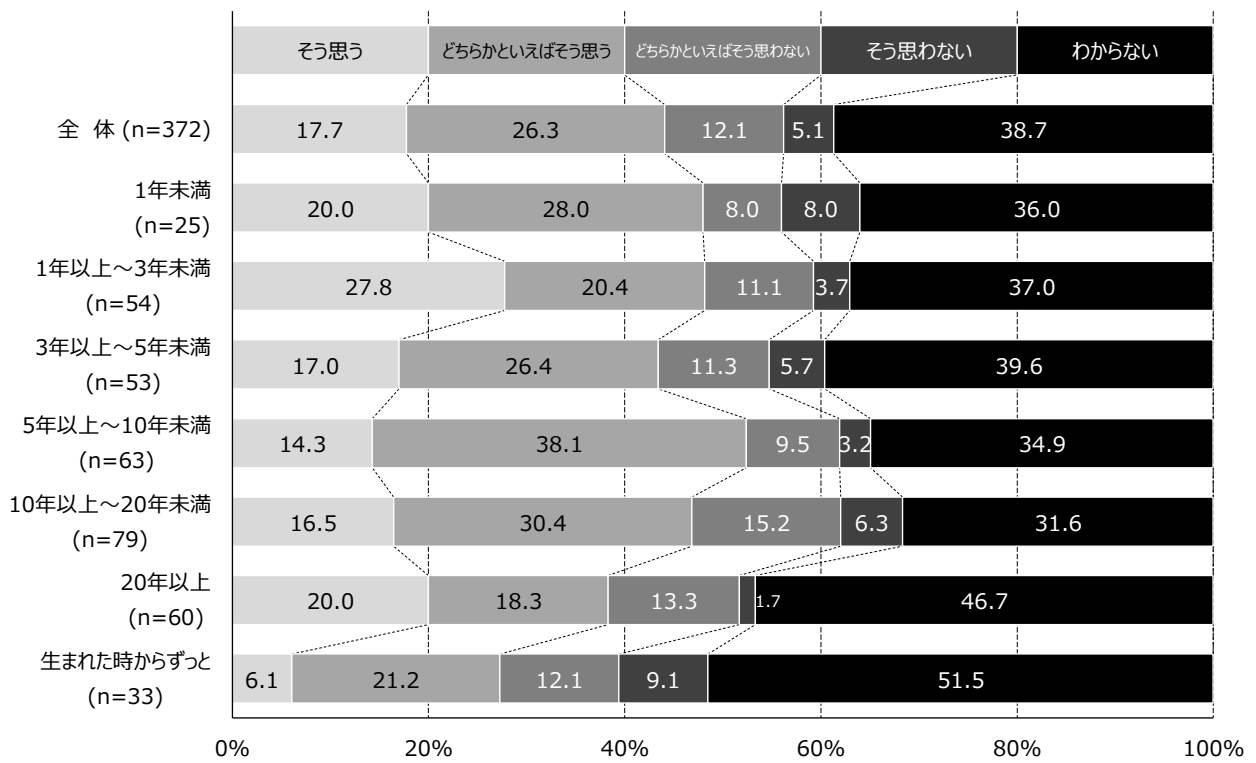
■ 『外国人に対する偏見や差別の減少』 在留資格割合



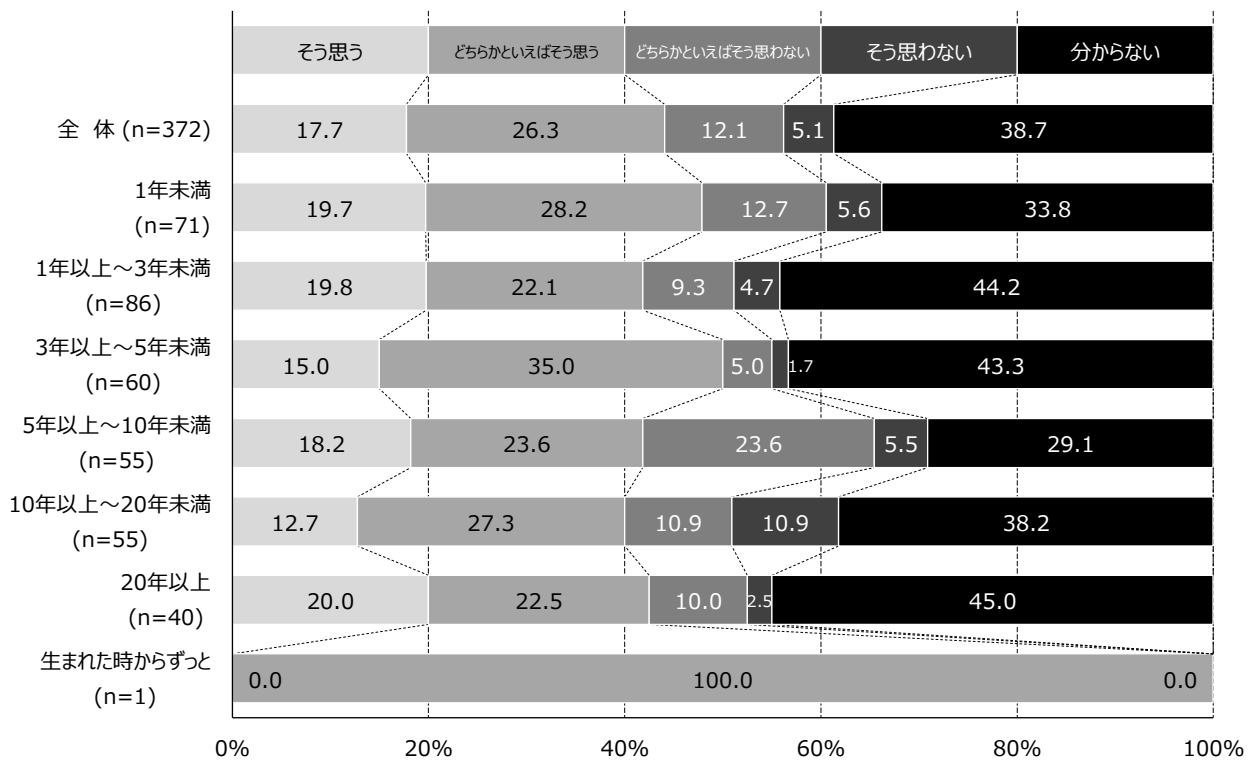
外国人に対する偏見や差別の減少の在留資格別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算で最も高かったのが、「留学」の74.3%であった。約4分の3は、偏見や差別の減少を感じている。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合算で最も高かったのが、「特別永住者」の20.0%であった（n=10未満の在留資格を除く）。

最も母数の多い「永住者」でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算が38.4%で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合算19.7%より高かった。

■ 『外国人に対する偏見や差別の減少』 日本在住期間割合

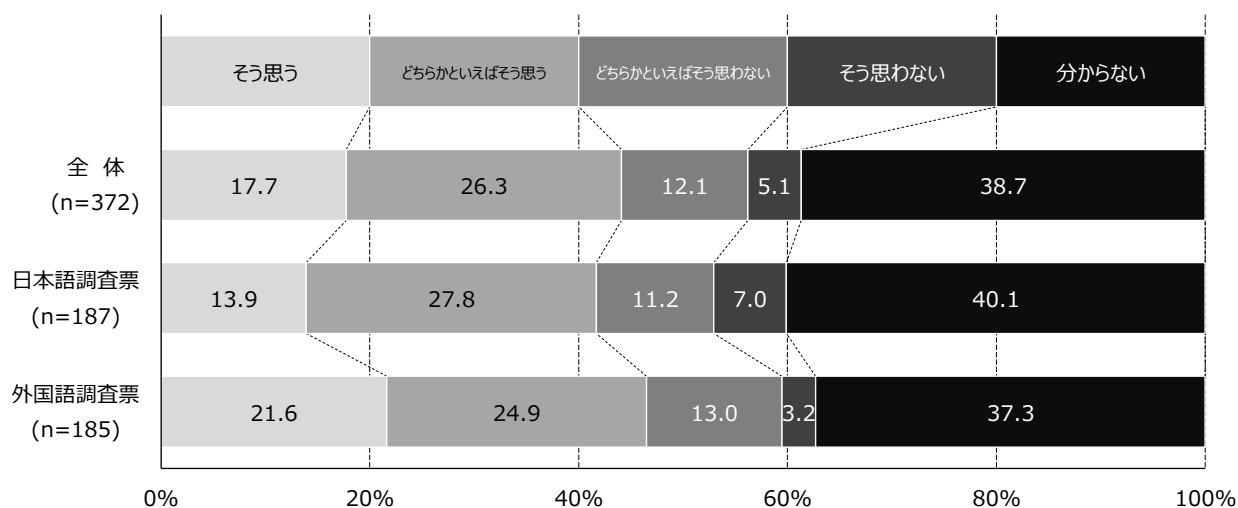


■ 『外国人に対する偏見や差別の減少』 世田谷区在住期間割合



外国人に対する偏見や差別の減少の在住期間別では、「そう思う」で最も高かったのは、日本在住期間では「1年以上～3年未満」の27.8%、世田谷区在住期間では「20年以上」の20.0%であった。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算で50%を超えているのは、日本在住期間「5年以上～10年未満」52.4%と世田谷区在住期間「3年以上～5年未満」50.0%であった。

■ 『外国人に対する偏見や差別の減少』 回答調査票言語割合



外国人に対する偏見や差別の減少の調査票言語別では、「日本語調査票」「外国語調査票」ともに「どちらかといえばそう思う」が最も高い（「分からない」は除く）。「そう思う」でみると「日本語調査票」13.9%に対し「外国語調査票」では21.6%と高くなっている。

Ⅱ-4. 行政サービスについて

(1) 世田谷区役所利用時に困ったこと 【Q21. あなたが世田谷区役所を利用したとき、困ったことはありましたか（主なもの3つ以内に○）。】

■『世田谷区役所利用時に困ったこと』件数割合

	件数	割合
1. どの窓口を利用していいかわからなかった	37	9.9
2. 書類や区役所内の案内が日本語のため、内容がわからなかった	41	11.0
3. ことばが通じなかった	40	10.7
4. 手続きがわからなかった	42	11.2
5. 職員の対応が不親切だった	15	4.0
6. その他	22	5.9
7. 特にない	254	67.9
全 体	374	100.0

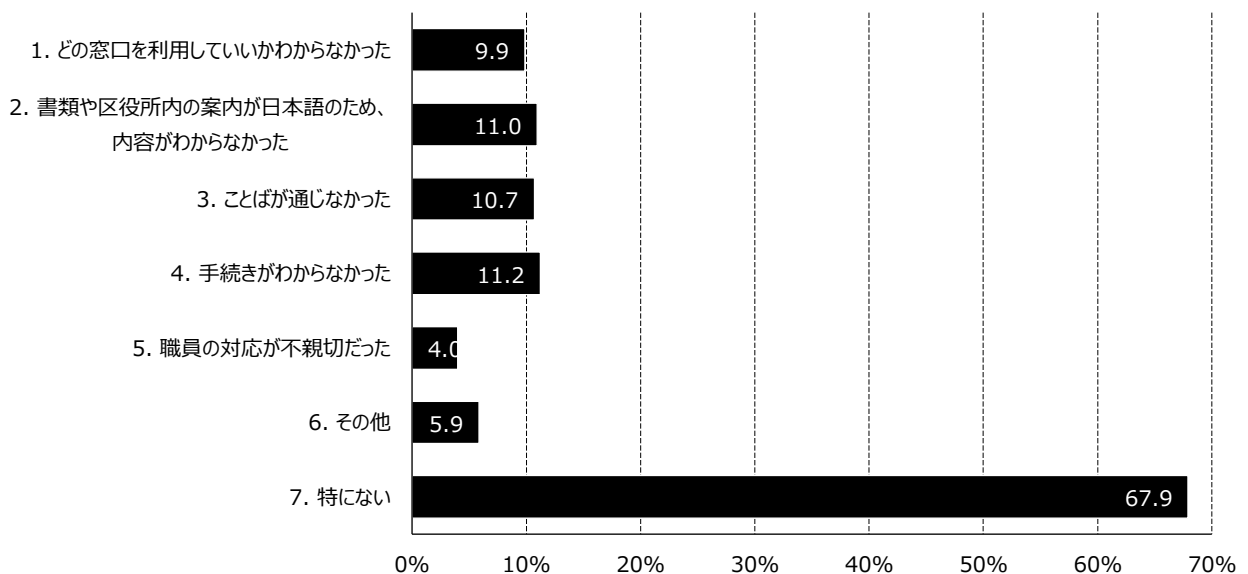
※無回答4 ※累計 (n) : 451 / 累計 (%) : 120.6

■「その他」22件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
アクセスが悪い、遠い	4	1.1	職員の対応	4	1.1
申請書類提出	4	1.1	外国人への不明確な情報提示	3	0.8

※割合は (n=374) で算出

世田谷区役所利用時に困ったこと (n=354) 無回答4



世田谷区役所利用時に困ったことでは、「手続きがわからなかった」が11.2%で最も高く、僅差で「書類や区役所内の案内が日本語のため、内容がわからなかった」11.0%、「ことばが通じなかった」10.7%、「どの窓口を利用していいかわからなかった」9.9%と続いている（「特にない」は除く）。

■ 『世田谷区役所利用時に困ったこと』国籍・地域割合

国籍・地域	n	1	2	3	4	5	6	7
		どの窓口を利用していいかわからなかった	書類や区役所内の案内が日本語のため、内容がわからなかった	ことばが通じなかった	手続きがわからなかった	職員の対応が不親切だった	その他	特にない
全 体	374	9.9	11.0	10.7	11.2	4.0	5.9	67.9
中 国	88	9.1	4.5	11.4	9.1	5.7	2.3	69.3
韓 国	75	8.0	2.7	2.7	14.7	5.3	4.0	74.7
米 国	37	10.8	5.4	8.1	13.5	5.4	13.5	62.2
台 湾	27	11.1	0.0	3.7	11.1	3.7	11.1	77.8
フィリピン	17	23.5	41.2	35.3	0.0	0.0	11.8	35.3
英 国	16	25.0	37.5	31.3	18.8	0.0	6.3	37.5
ベトナム	4	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
フランス	9	0.0	11.1	11.1	22.2	11.1	0.0	55.6
その他	97	7.2	16.5	12.4	8.2	2.1	6.2	73.2

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にない」は除く）。

世田谷区役所利用時に困ったことの国籍・地域別では、「中国」で「ことばが通じなかった」11.4%が最も高かった。「韓国」では、「手続きがわからなかった」14.7%が最も高く、「書類や区役所内の案内が日本語のため、内容がわからなかった」「ことばが通じなかった」はともに2.7%と言葉に関するの困りごとの割合が低かった。「米国」では、「手続きがわからなかった」13.5%が最も高く、「台湾」では、「どの窓口を利用していいかわからなかった」が「手続きがわからなかった」と同じ11.1%で最も高く、「書類や区役所内の案内が日本語のため、内容がわからなかった」0.0%、「ことばが通じなかった」3.7%と「韓国」同様に言葉に関するの困りごとの割合は低かった。

(2) 世田谷区に期待する取組み 【Q22. あなたが世田谷区に期待する取組みは何ですか（主なものの3つ以内に○）。】

■『世田谷区に期待する取組み』件数割合

	件数	割合
1. 対応言語を増やすなど外国人が相談できる窓口を充実させる	84	23.6
2. 生活情報や行政情報の多言語化をすすめる	52	14.6
3. 「やさしい日本語」での表記を増やす	59	16.6
4. 生活情報や行政情報の発信方法（SNS・インターネットなど）を充実させる	70	19.7
5. 外国語の案内表示を充実させる	52	14.6
6. 防災に関する情報提供を充実させる	26	7.3
7. 外国人の子育てや子どもの教育を支援する	68	19.1
8. 外国人と日本人が交流する機会を増やす	60	16.9
9. 日本語学習を支援する	76	21.3
10. 外国人の就労を支援する	62	17.4
11. 様々な国・地域の文化を学ぶイベントを充実させる	34	9.6
12. 日本文化を学ぶイベントを充実させる	35	9.8
13. 外国人区民が活躍する機会（ボランティア・地域活動など）を充実させる	66	18.5
14. その他	17	4.8
15. 特にない	45	12.6
全体	356	100.0

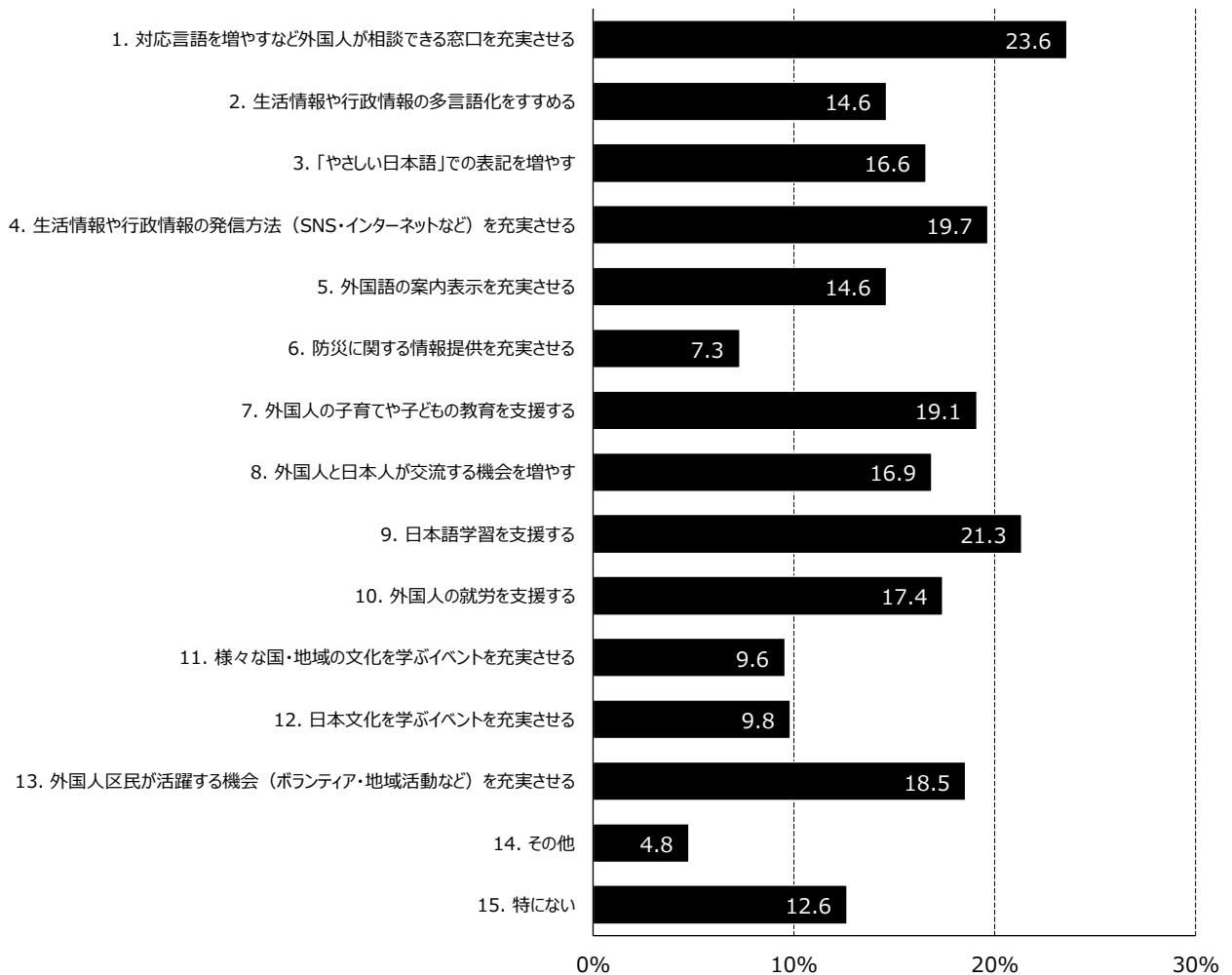
※無回答 22 ※累計 (n) : 806 / 累計 (%) : 226.4

■「その他」17件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
英語での法律相談・支援	3	0.8	イベント情報周知	3	0.8

※割合は (n=356) で算出

世田谷区に期待する取組み (n=356) 無回答22



世田谷区に期待する取組みでは、「対応言語を増やすなど外国人が相談できる窓口を充実させる」が84件・23.6%で最も多く、次いで「日本語学習を支援する」が76件・21.3%で、言語に対する取組みを期待しているのがうかがえる。次に「生活情報や行政情報の発信方法 (SNS・インターネットなど) を充実させる」70件・19.7%、「外国人の子育てや子どもの教育を支援する」68件・19.1%、「外国人区民が活躍する機会 (ボランティア・地域活動など) を充実させる」66件・18.5%の順が多かった。

「特にない」は45件・12.6%であった。

■ 『世田谷区に期待する取組み』年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5	6	7	8
		対応言語を増やすなど外国人が相談できる窓口を充実させる	生活情報や行政情報の多言語化をすすめる	「やさしい日本語」での表記を増やす	生活情報や行政情報の発信方法（SNS・インターネットなど）を充実させる	外国語の案内表示を充実させる	防災に関する情報提供を充実させる	外国人の子育てや子どもの教育を支援する	外国人と日本人が交流する機会を増やす
全 体	356	23.6	14.6	16.6	19.7	14.6	7.3	19.1	16.9
18～19歳	5	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0
20～29歳	71	23.9	15.5	16.9	31.0	9.9	5.6	15.5	19.7
30～39歳	111	24.3	9.0	18.0	18.9	9.9	9.9	27.0	16.2
40～49歳	81	22.2	13.6	17.3	18.5	14.8	11.1	17.3	21.0
50～59歳	49	26.5	26.5	10.2	16.3	22.4	2.0	20.4	6.1
60～69歳	22	31.8	22.7	27.3	4.5	36.4	4.5	9.1	18.2
70～79歳	11	18.2	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	27.3
80歳以上	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

年 齢	n	9	10	11	12	13	14	15
		日本語学習を支援する	外国人の就労を支援する	様々な国・地域の文化を学ぶイベントを充実させる	日本文化を学ぶイベントを充実させる	外国人区民が活躍する機会（ボランティア・地域活動など）を充実させる	その他	特にない
全 体	356	21.3	17.4	9.6	9.8	18.5	4.8	12.6
18～19歳	5	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
20～29歳	71	12.7	23.9	19.7	14.1	22.5	4.2	8.5
30～39歳	111	25.2	18.9	9.9	9.0	19.8	6.3	9.9
40～49歳	81	27.2	16.0	7.4	8.6	14.8	4.9	11.1
50～59歳	49	14.3	16.3	4.1	10.2	18.4	2.0	14.3
60～69歳	22	31.8	0.0	0.0	13.6	18.2	4.5	9.1
70～79歳	11	9.1	9.1	9.1	0.0	18.2	0.0	54.5
80歳以上	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「特にない」は除く）。※無回答は除く。

世田谷区に期待する取組みの年齢別では、「20～29歳」で「生活情報や行政情報の発信方法（SNS・インターネットなど）を充実させる」が31.0%で最も高く、「30～39歳」で「外国人の子育てや子どもの教育を支援する」が27.0%で最も高い。「40～49歳」で「日本語学習を支援する」が27.2%、「50～59歳」で「対応言語を増やすなど外国人が相談できる窓口を充実させる」「生活情報や行政情報の多言語化をすすめる」がともに26.5%で最も高い。年代間で世田谷区に最も期待する取組み内容に違いがみられた。

■ 『世田谷区に期待する取組み』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	1	2	3	4	5	6	7	8
		対応言語を増やすなど外国人が相談できる窓口を充実させる	生活情報や行政情報の多言語化をすすめる	「やさしい日本語」での表記を増やす	生活情報や行政情報の発信方法（SNS・インターネットなど）を充実させる	外国語の案内表示を充実させる	防災に関する情報提供を充実させる	外国人の子育てや子どもの教育を支援する	外国人と日本人が交流する機会を増やす
全 体	356	23.6	14.6	16.6	19.7	14.6	7.3	19.1	16.9
中 国	84	21.4	7.1	9.5	23.8	6.0	7.1	31.0	25.0
韓 国	74	24.3	16.2	6.8	14.9	5.4	12.2	16.2	13.5
米 国	37	5.4	10.8	32.4	13.5	18.9	0.0	16.2	18.9
台 湾	25	16.0	8.0	8.0	28.0	0.0	12.0	28.0	24.0
フィリピン	16	37.5	25.0	43.8	25.0	50.0	0.0	6.3	6.3
英 国	13	30.8	30.8	38.5	7.7	30.8	7.7	0.0	15.4
ベトナム	4	50.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
フランス	5	20.0	40.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0
その他	95	29.5	18.9	16.8	23.2	21.1	7.4	15.8	13.7

国籍・地域	n	9	10	11	12	13	14	15
		日本語学習を支援する	外国人の就労を支援する	様々な国・地域の文化を学ぶイベントを充実させる	日本文化を学ぶイベントを充実させる	外国人区民が活躍する機会（ボランティア・地域活動など）を充実させる	その他	特にない
全 体	356	21.3	17.4	9.6	9.8	18.5	4.8	12.6
中 国	84	23.8	22.6	9.5	10.7	21.4	2.4	7.1
韓 国	74	13.5	17.6	13.5	10.8	8.1	5.4	24.3
米 国	37	29.7	21.6	5.4	5.4	24.3	10.8	13.5
台 湾	25	12.0	28.0	28.0	20.0	16.0	4.0	12.0
フィリピン	16	12.5	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0	6.3
英 国	13	46.2	7.7	0.0	7.7	30.8	0.0	0.0
ベトナム	4	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0
フランス	5	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
その他	95	23.2	13.7	7.4	9.5	21.1	6.3	10.5

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にない」は除く）。※無回答は除く。

世田谷区に期待する取組みの国籍・地域別では、「中国」で「外国人の子育てや子どもの教育を支援する」が31.0%、「韓国」で「対応言語を増やすなど外国人が相談できる窓口を充実させる」24.3%、「台湾」で「生活情報や行政情報の発信方法（SNS・インターネットなど）を充実させる」「外国人の子育てや子どもの教育を支援する」「外国人の就労を支援する」「様々な国・地域の文化を学ぶイベントを充実させる」がともに28.0%と最も高い。「米国」では、「やさしい日本語」での表記を増やす」32.4%、「日本語学習を支援する」29.7%の順で高く、言語に対する取組みを期待している。

(3) 外国人向け出版物・サービス

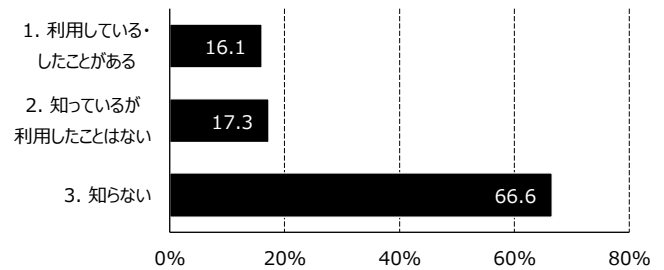
【Q23. あなたは世田谷区が行っている以下の外国人向け出版物やサービスを知っていますか。また、利用したことがありますか。a～gまでのサービスについて、1～3のうちあてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。(それぞれ1つに○)。】

<出版物>

■ 『a) 外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」』 件数割合

	件数	割合
1. 利用している・したことがある	56	16.1
2. 知っているが利用したことはない	60	17.3
3. 知らない	231	66.6
全 体	347	100.0

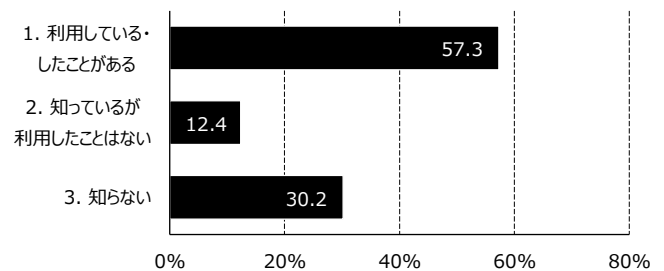
※無回答 31



■ 『b) 資源とごみの出し方・分け方』 件数割合

	件数	割合
1. 利用している・したことがある	203	57.3
2. 知っているが利用したことはない	44	12.4
3. 知らない	107	30.2
全 体	354	100.0

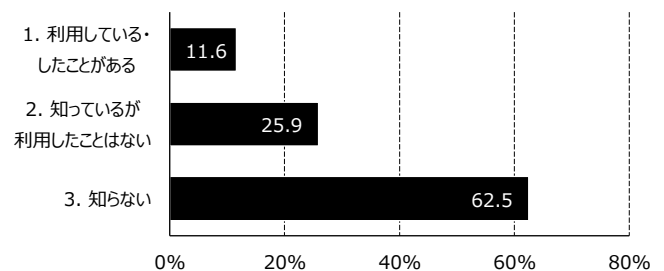
※無回答 24



■ 『c) 災害時区民行動マニュアル (マップ版)』 件数割合

	件数	割合
1. 利用している・したことがある	41	11.6
2. 知っているが利用したことはない	91	25.9
3. 知らない	220	62.5
全 体	352	100.0

※無回答 26



世田谷区が発行している外国人向け出版物「外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」」では、「知らない」が231件・66.6%で最も多く、「利用している・したことがある」は56件・16.1%であった。認知度（「利用している・したことがある」「知っているが利用したことはない」の合算）では、33.4%であった。

「資源とごみの出し方・分け方」では、「利用している・したことがある」が203件・57.3%で最も多く、認知度では69.7%であった。

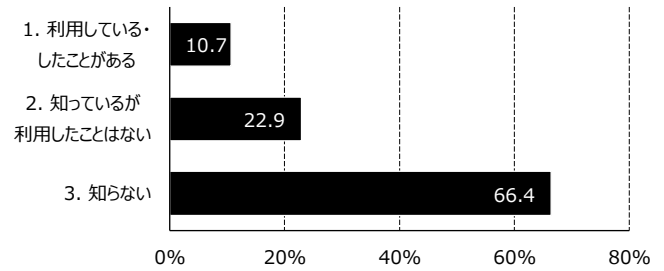
「災害時区民行動マニュアル (マップ版)」では、「知らない」が220件・62.5%と最も多く、「利用している・したことがある」は11.6%にとどまっている。認知度では37.5%であった。

<サービス>

■ 『d) 日常生活や行政に関することを相談できる外国人相談窓口』 件数割合

	件数	割合
1. 利用している・したことがある	38	10.7
2. 知っているが利用したことはない	81	22.9
3. 知らない	235	66.4
全 体	354	100.0

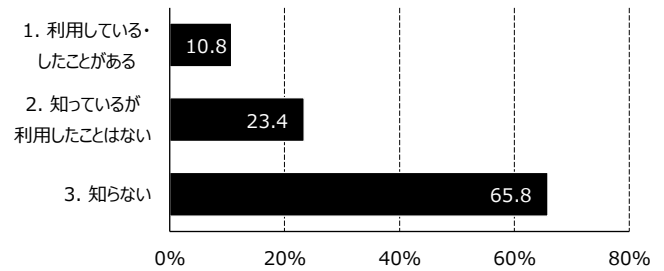
※無回答 24



■ 『e) 世田谷区ホームページの外国人向けページ』 件数割合

	件数	割合
1. 利用している・したことがある	38	10.8
2. 知っているが利用したことはない	82	23.4
3. 知らない	231	65.8
全 体	351	100.0

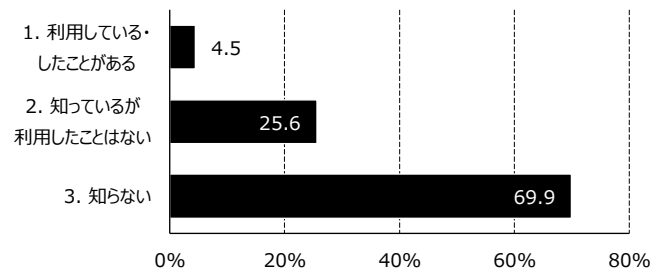
※無回答 27



■ 『f) 外国人向けの日本語教室』 件数割合

	件数	割合
1. 利用している・したことがある	16	4.5
2. 知っているが利用したことはない	90	25.6
3. 知らない	246	69.9
全 体	352	100.0

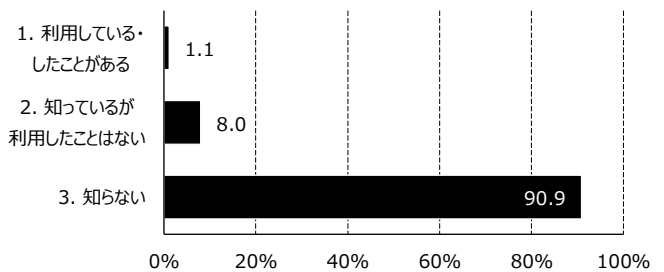
※無回答 26



■ 『g) 帰国・外国人児童・生徒のために教育や相談指導を行う教育相談室』 件数割合

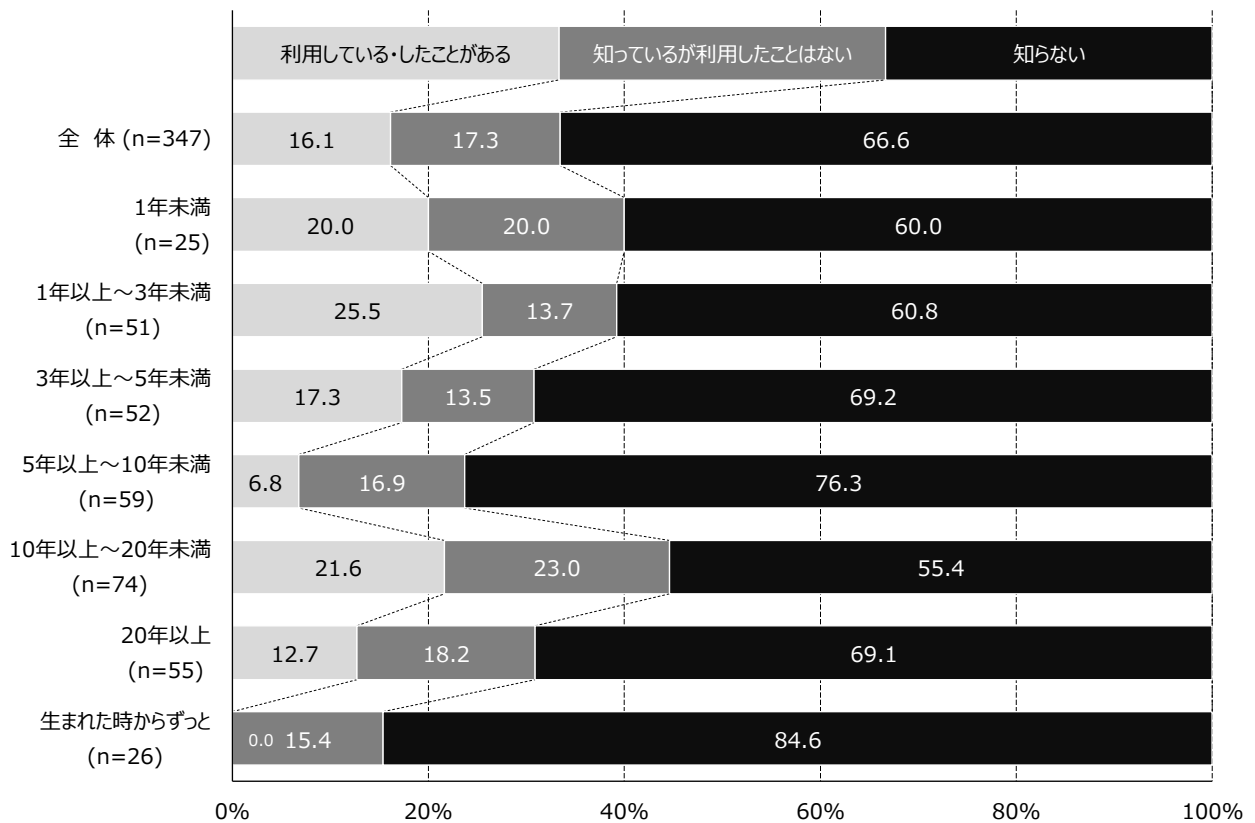
	件数	割合
1. 利用している・したことがある	4	1.1
2. 知っているが利用したことはない	28	8.0
3. 知らない	318	90.9
全 体	350	100.0

※無回答 28

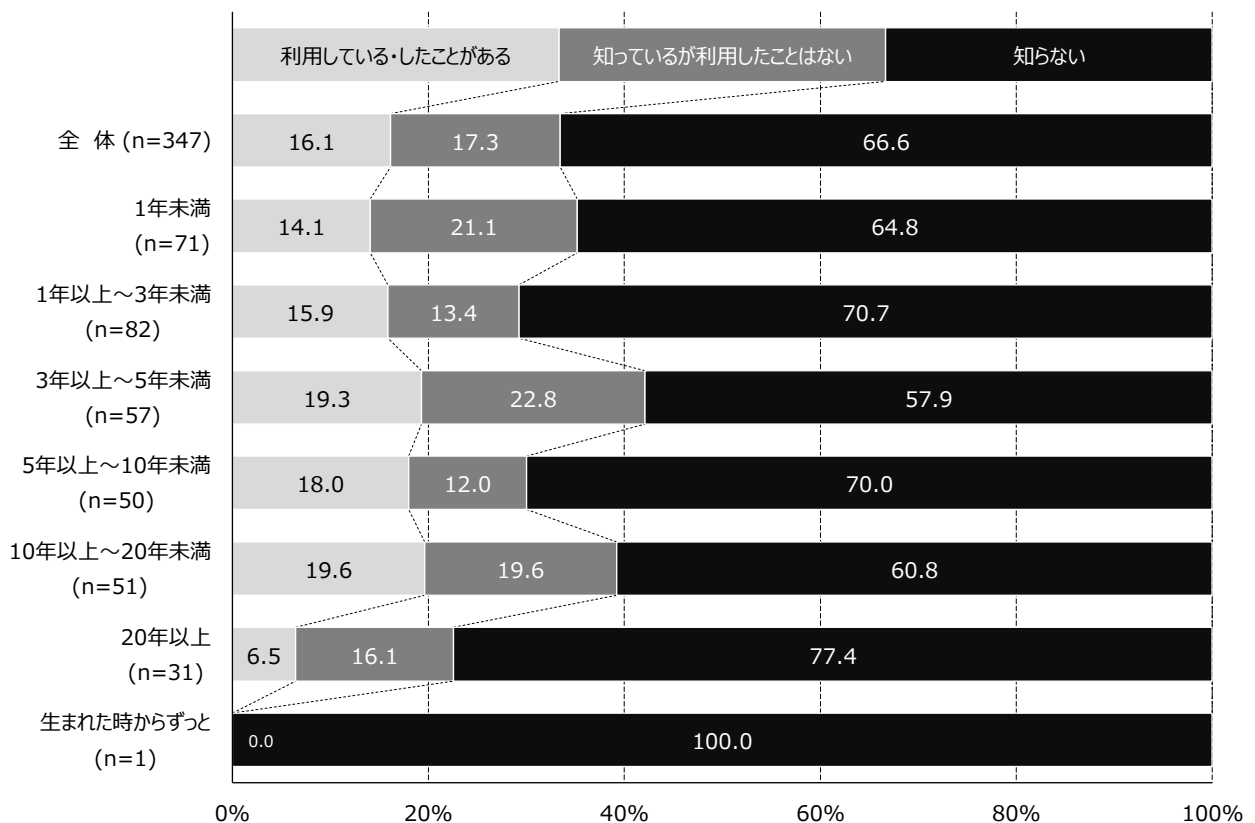


世田谷区が行っている4つの外国人向けサービスでは、「知らない」「知っているが利用したことはない」「利用している・したことがある」の順で割合が高く、出版物と同じ傾向がある。「知らない」でみると「日常生活や行政に関することを相談できる外国人相談窓口」は66.4%、「世田谷区ホームページの外国人向けページ」は65.8%、「外国人向けの日本語教室」は69.9%、「帰国・外国人児童・生徒のために教育や相談指導を行う教育相談室」では90.9%の割合である。

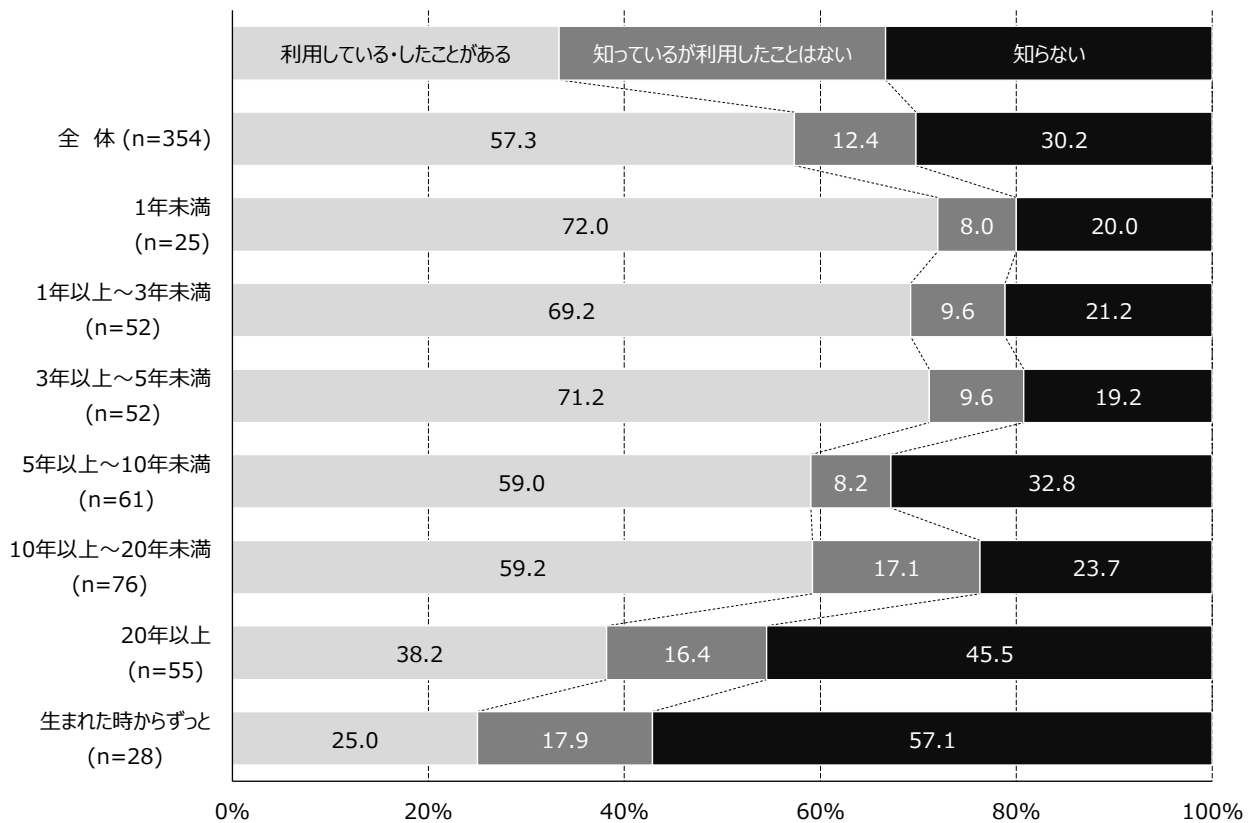
■ 『出版物<外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」>認知・利用>』日本在住期間割合



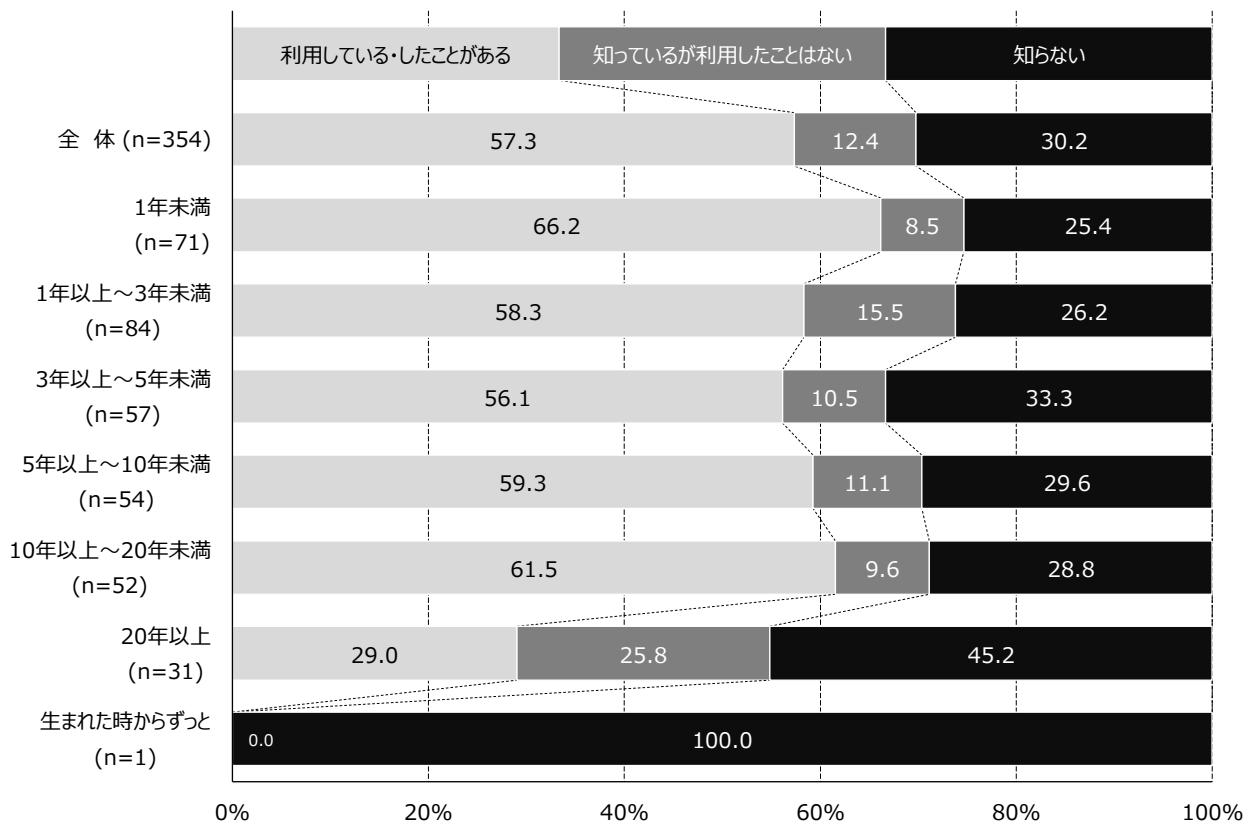
■ 『出版物<外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」>認知・利用>』世田谷区在住期間割合



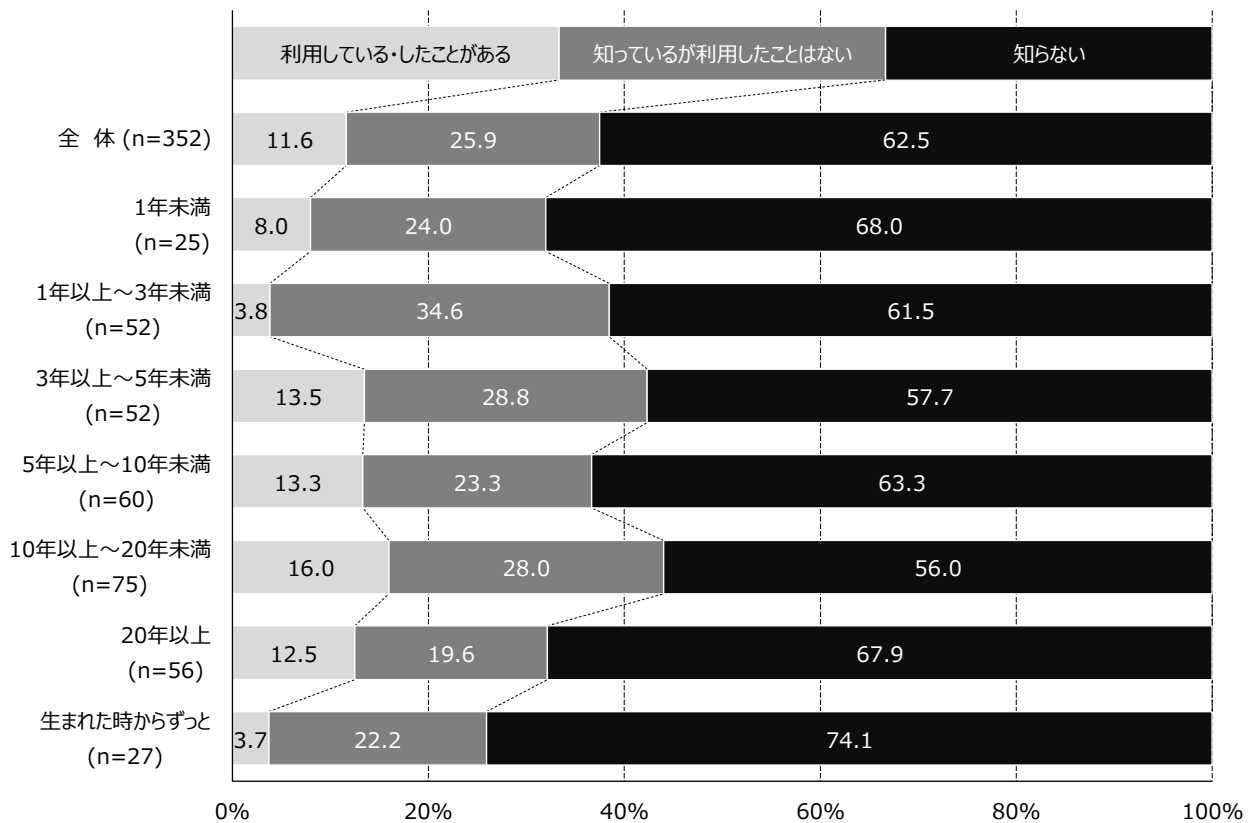
■ 『出版物<資源とごみの出し方・分け方>認知・利用』日本在住期間割合



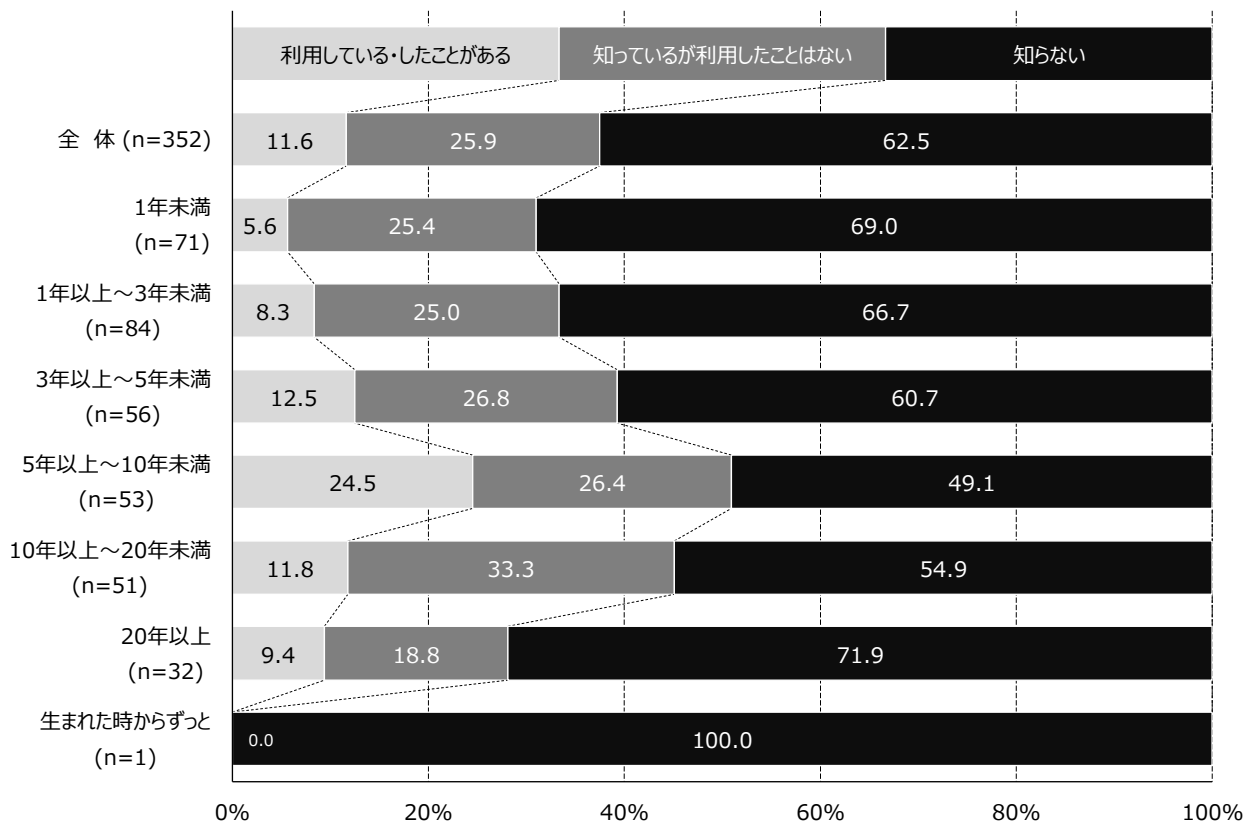
■ 『出版物<資源とごみの出し方・分け方>認知・利用』世田谷区在住期間割合



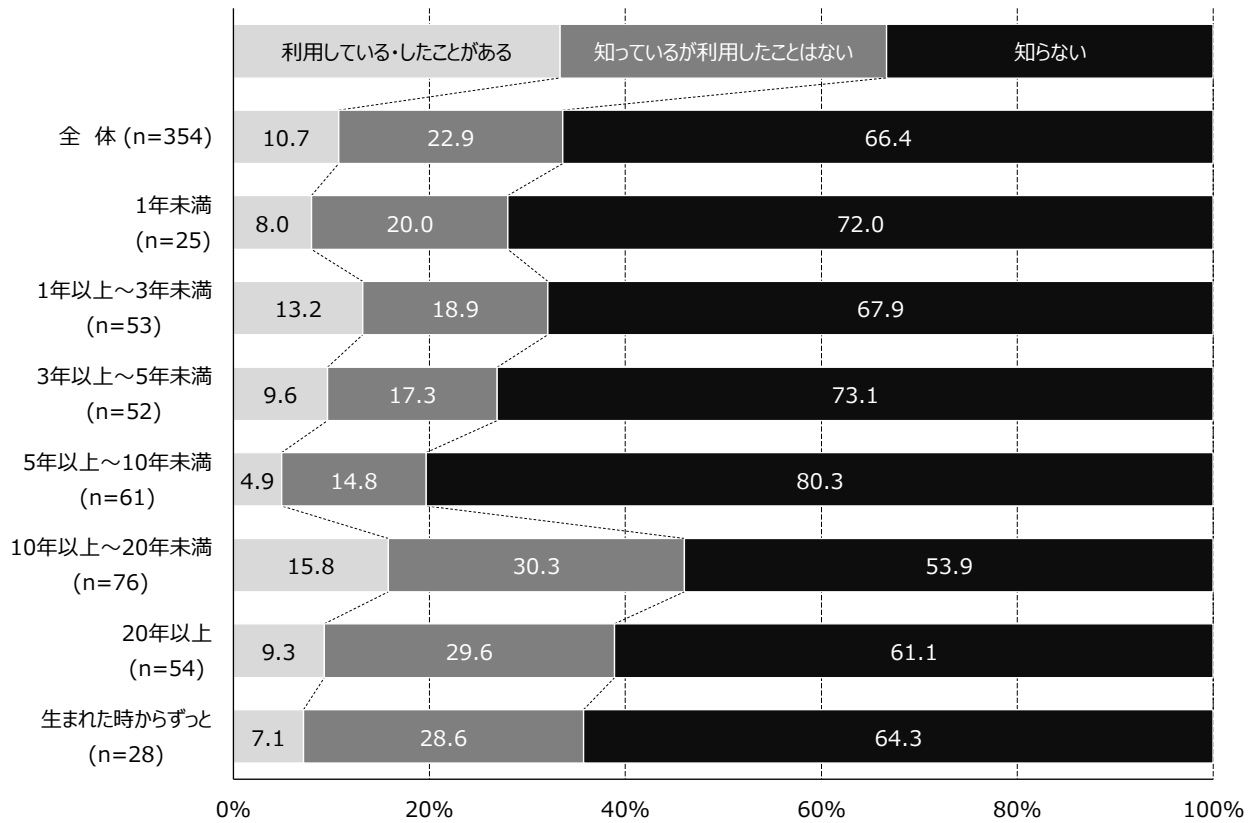
■ 『出版物<災害時区民行動マニュアル（マップ版）>認知・利用>』日本在住期間割合



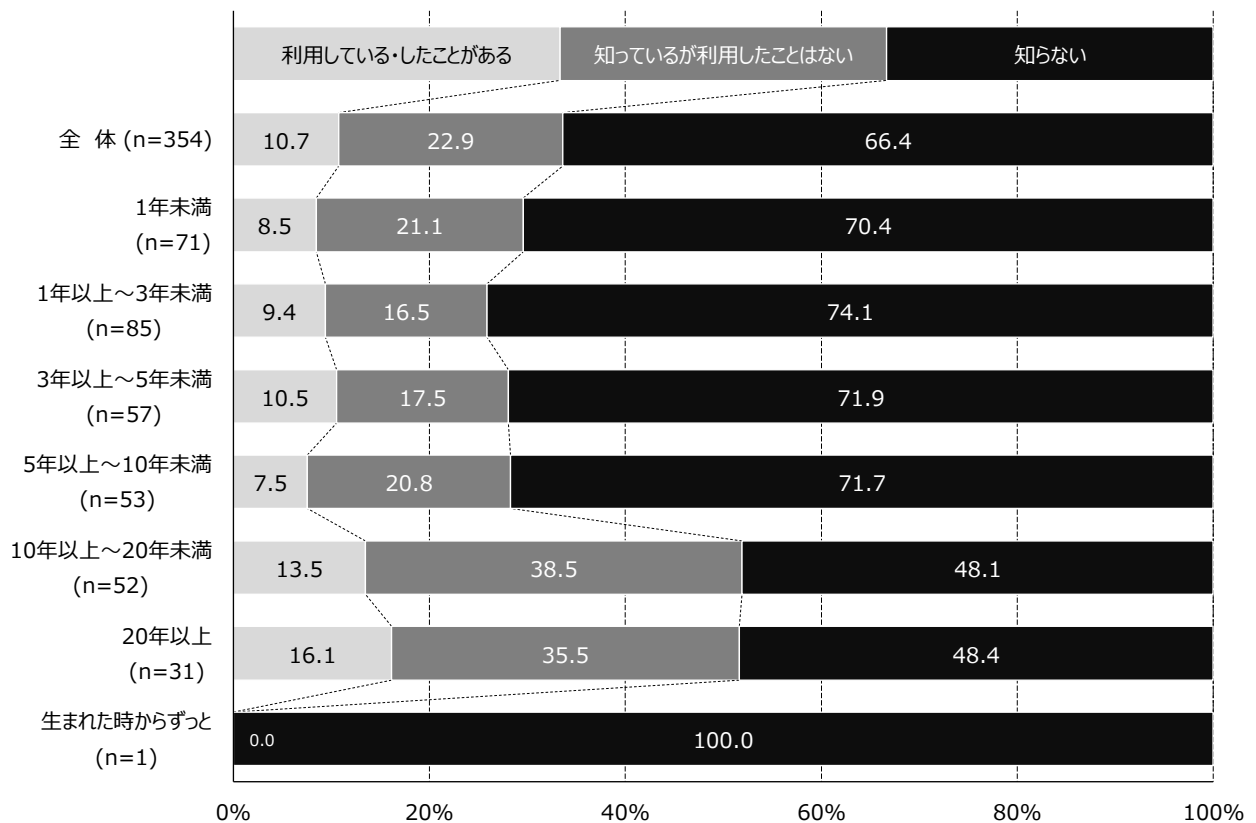
■ 『出版物<災害時区民行動マニュアル（マップ版）>認知・利用>』世田谷区在住期間割合



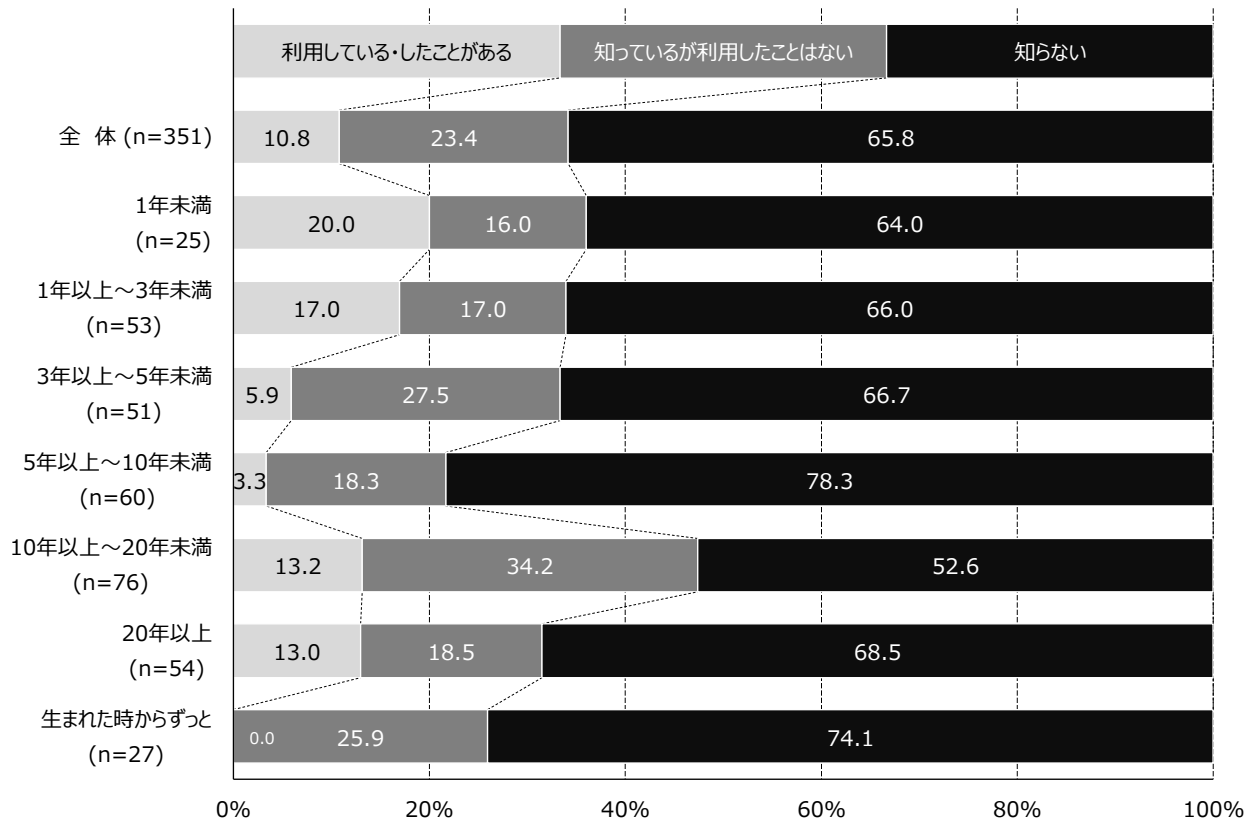
■ 『サービス<外国人相談窓口>』認知・利用>』日本在住期間割合



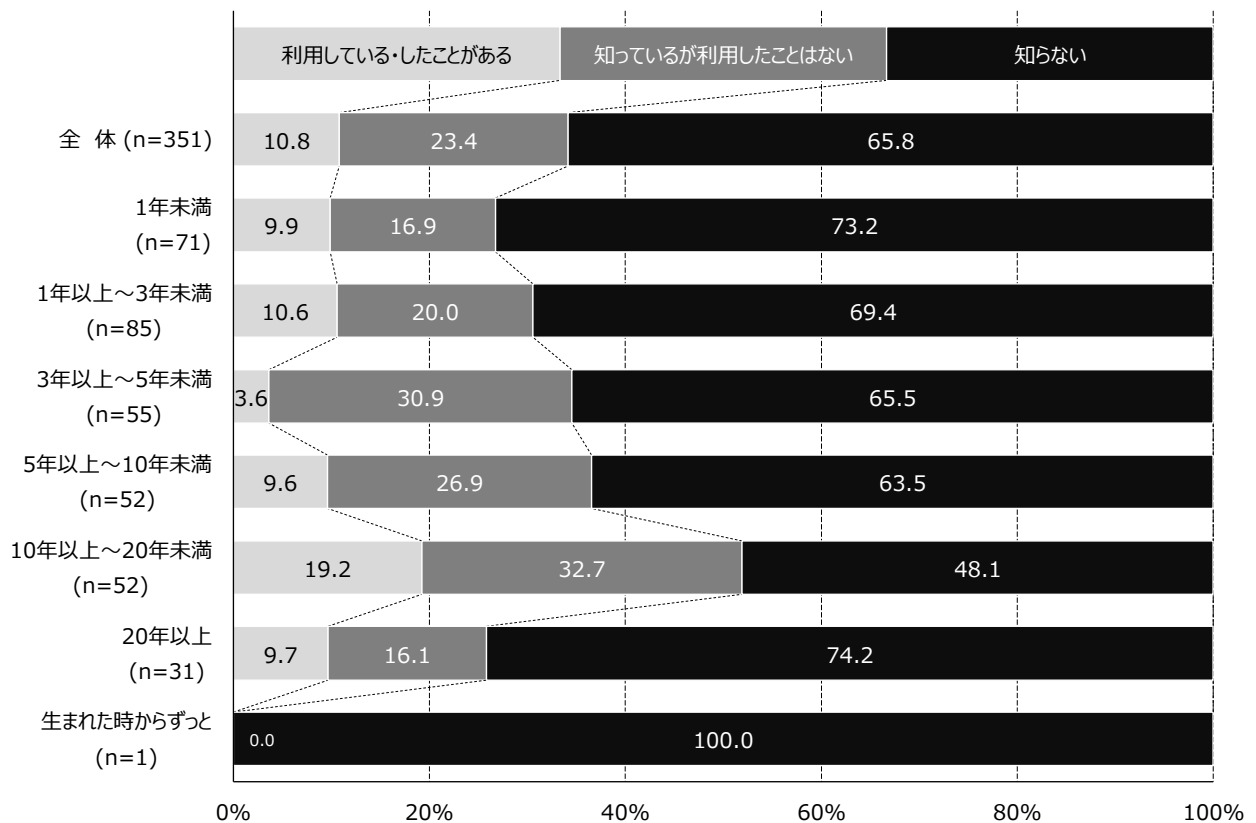
■ 『サービス<外国人相談窓口>』認知・利用>』世田谷区在住期間割合



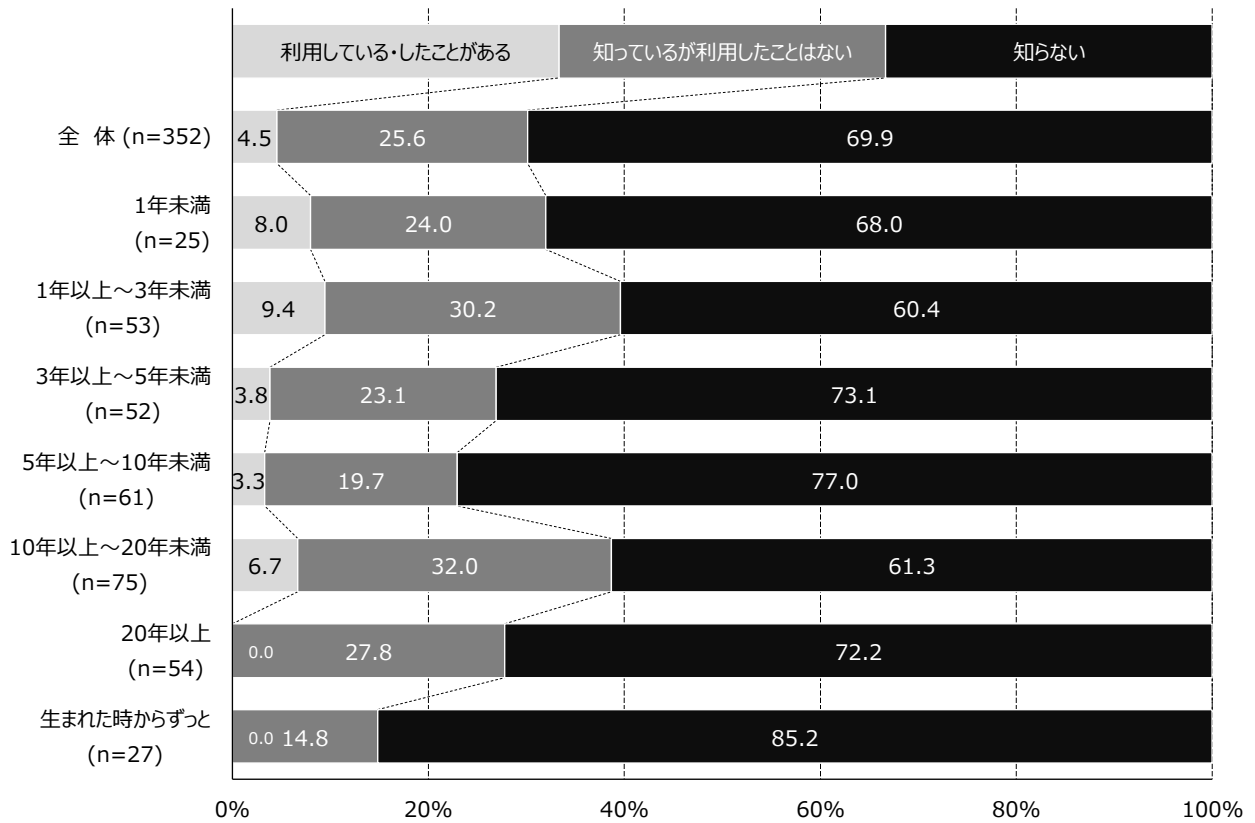
■ 『サービス<外国人向け世田谷区ホームページ> 認知・利用>』 日本在住期間割合



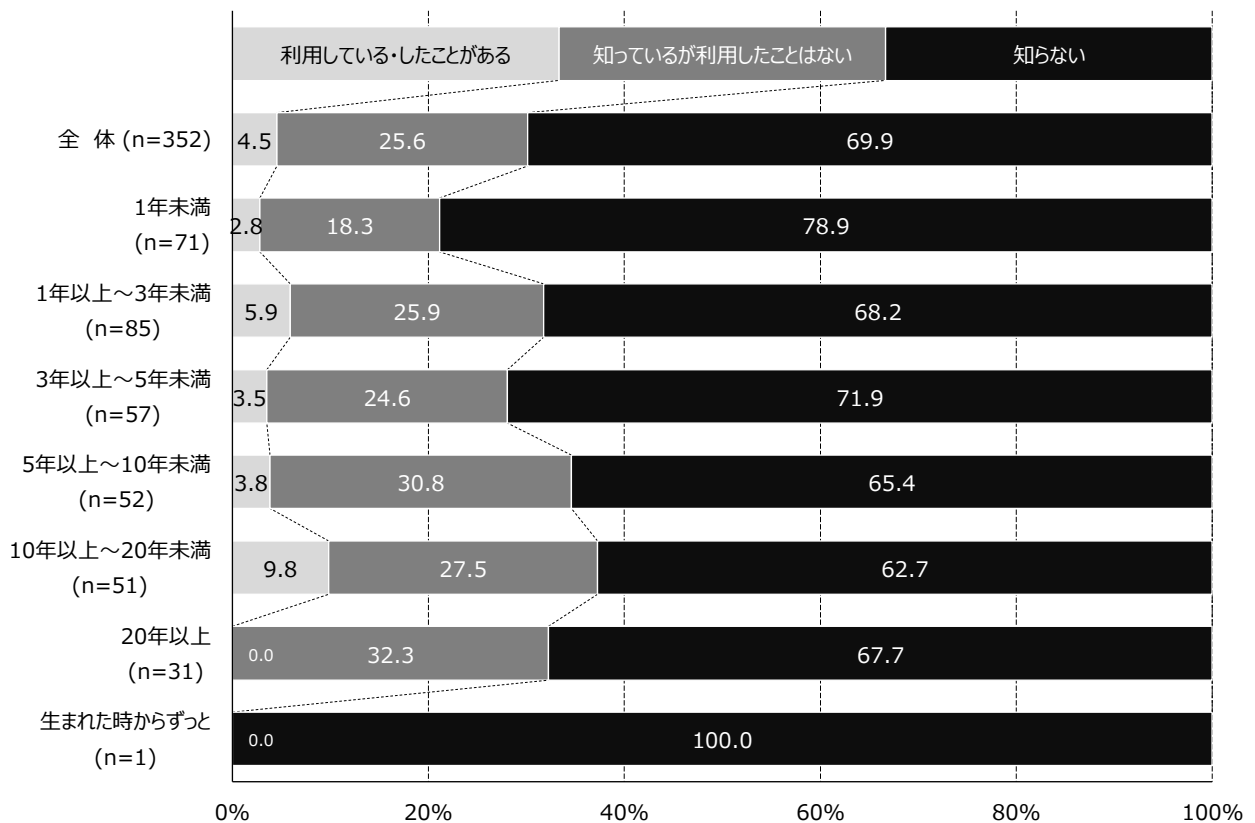
■ 『サービス<外国人向け世田谷区ホームページ> 認知・利用>』 世田谷区在住期間割合



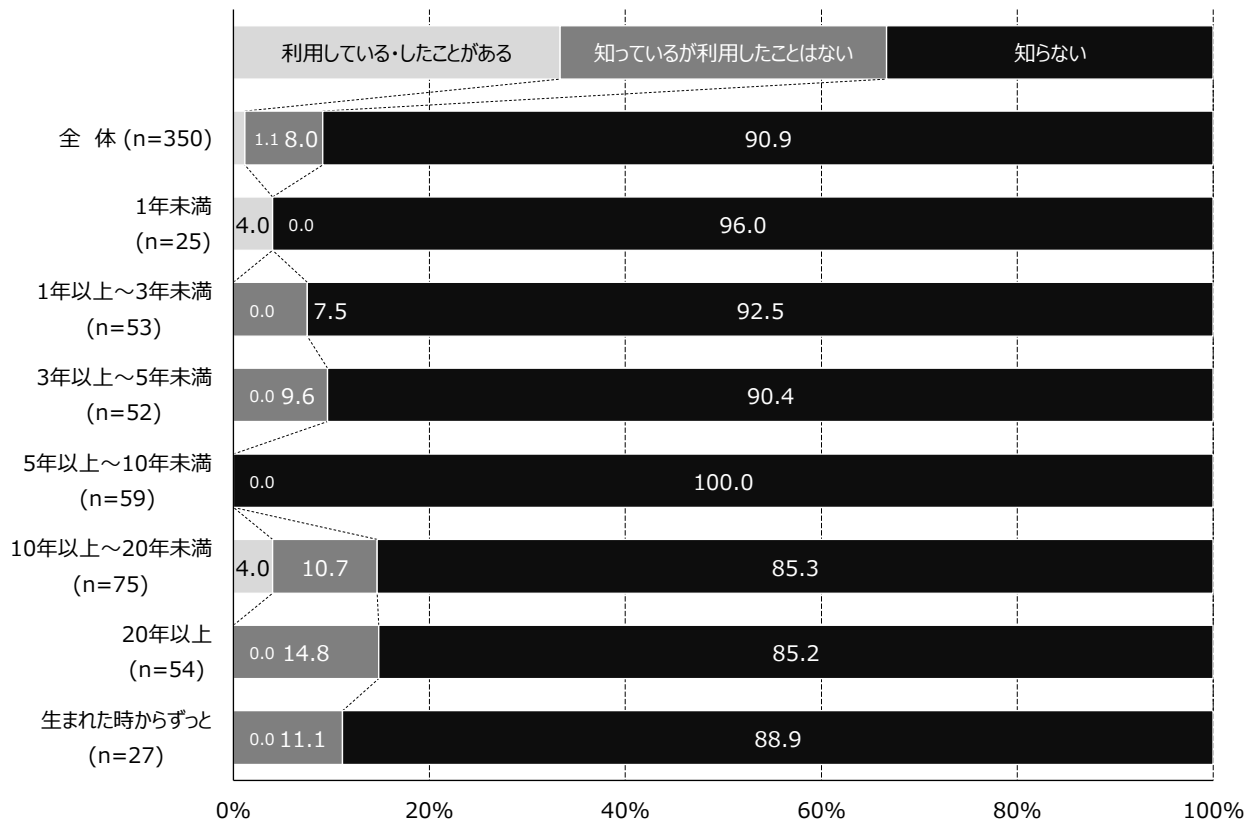
■ 『サービス<外国人向け日本語教室>認知・利用>』日本在住期間割合



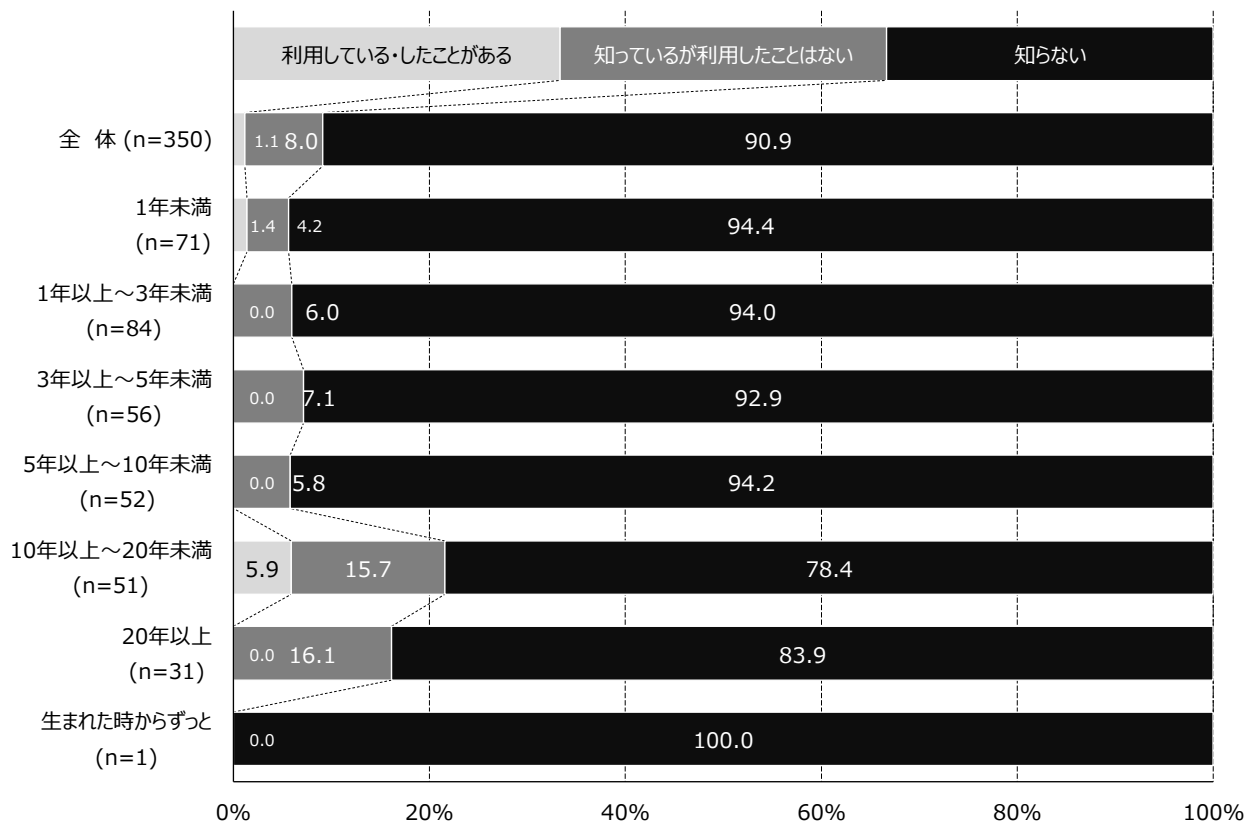
■ 『サービス<外国人向け日本語教室>認知・利用>』世田谷区在住期間割合



■ 『サービス<教育相談室>認知・利用』 日本在住期間割合



■ 『サービス<教育相談室>認知・利用』 世田谷区在住期間割合



『出版物<外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」>』では、「全体」でも、日本在住期間、世田谷区在住期間いずれの年数区分においても「知らない」が約6割から7割であり、世田谷区在住期間「20年以上」では77.4%が知らないと回答している。

「利用している・したことがある」では、日本在住期間「1年以上～3年未満」25.5%、世田谷区在住期間「3年以上～5年未満」19.3%がそれぞれ最も高かった。

『出版物<資源とごみの出し方・分け方>』では、「全体」で「利用している・したことがある」57.3%、「知らない」30.2%、「知っているが利用したことはない」12.4%であった。認知度だけで見ると69.7%と約7割が知っている。世田谷区在住期間では、「20年以上」「生まれた時からずっと」以外の在住期間区分において6割前後が「利用している・したことがある」と回答している。

『出版物<災害時区民行動マニュアル（マップ版）>』では、「全体」で「知らない」62.5%、「知っているが利用したことはない」25.9%、「利用している・したことがある」11.6%で、『出版物<外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」>』同様約6割が知らないと回答している。

「知らない」では、日本在住期間「生まれた時からずっと」74.1%が最も高く、「利用している・したことがある」では、世田谷区在住期間「5年以上～10年未満」24.5%が最も高かった。認知度でみても世田谷区在住期間「5年以上～10年未満」の50.9%が最も高かった。

『サービス<外国人相談窓口>』では、「全体」で「知らない」66.4%、「知っているが利用したことはない」22.9%、「利用している・したことがある」10.7%で、認知度でも33.6%と低い割合となっている。

世田谷区在住期間「10年以上～20年未満」48.1%、「20年以上」48.4%以外の全ての在住期間区分で6割以上が「知らない」と回答している。日本在住期間「5年以上～10年未満」では最も高い80.3%であった。

『サービス<外国人向けホームページ>』では、「全体」で「知らない」65.8%、「知っているが利用したことはない」23.4%、「利用している・したことがある」10.8%となっており、ほぼ『サービス<外国人相談窓口>』と同様の傾向がみられる。

「知らない」では、日本在住期間で「5年以上～10年未満」78.3%、世田谷区在住期間で「20年以上」74.2%が最も高かった（n=1は除く）。

『サービス<外国人向け日本語教室>』では、日本在住期間、世田谷区在住期間ともに全ての在住期間区分で「知らない」が6割以上であった。

『サービス<教育相談室>』では、前3つのサービス<外国人相談窓口><外国人向けホームページ><外国人向け日本語教室>より更に「知らない」の割合が高く、「全体」で90.9%であった。

「利用している・したことがある」で見ると、どの在住区分でも0.0%か数%であり、世田谷区在住期間「10年以上～20年未満」5.9%が最も高い。

(4) 利用したい外国人相談窓口 【Q24. あなたはどのような外国人相談窓口であれば、利用したいと思いますか。(主なものを3つ以内に○)】

■ 『利用したい外国人相談窓口』件数割合

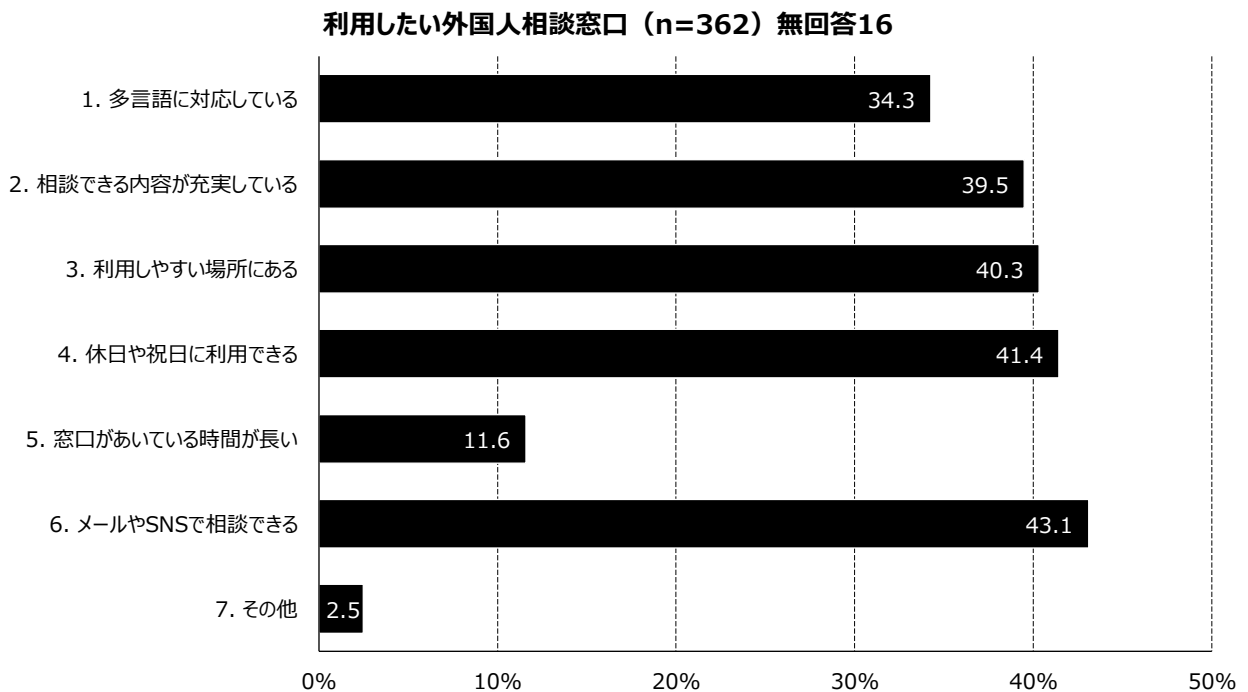
	件数	割合		件数	割合
1. 多言語に対応している	124	34.3	5. 窓口があいている時間が長い	42	11.6
2. 相談できる内容が充実している	143	39.5	6. メールやSNSで相談できる	156	43.1
3. 利用しやすい場所にある	146	40.3	7. その他	9	2.5
4. 休日や祝日に利用できる	150	41.4			
			全体	362	100.0

※無回答 16 ※累計 (n) : 770 / 累計 (%) : 212.7

■ 「その他」9件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
特にありません	4	1.1	外国人を理解してくれている	2	0.6

※割合は (n=362) で算出



利用したい外国人相談窓口では、「窓口があいている時間が長い」の42件・11.6%以外の選択肢が10%以内の差で拮抗している。「メールやSNSで相談できる」が156件・43.1%で最も高く、次いで「休日や祝日に利用できる」150件・41.4%、「利用しやすい場所にある」146件・40.3%、「相談できる内容が充実している」143件・39.5%、「多言語に対応している」124件・34.3%と続いている。

■ 『利用したい外国人相談窓口』年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5	6	7
		いる 多言語に対応して	充実している 相談できる内容が	にある 利用しやすい場所	できる 休日や祝日に利用	時間 長い 窓口があいている	相 談 で 可 る メ ー ル や S N S で	そ の 他
全 体	362	34.3	39.5	40.3	41.4	11.6	43.1	2.5
18～19 歳	5	60.0	40.0	20.0	40.0	40.0	40.0	0.0
20～29 歳	74	23.0	45.9	36.5	45.9	13.5	54.1	0.0
30～39 歳	114	35.1	36.0	38.6	51.8	15.8	48.2	0.9
40～49 歳	82	35.4	37.8	42.7	39.0	7.3	32.9	7.3
50～59 歳	50	38.0	28.0	40.0	34.0	6.0	46.0	2.0
60～69 歳	21	52.4	61.9	57.1	4.8	4.8	19.0	4.8
70～79 歳	8	37.5	37.5	50.0	37.5	12.5	37.5	0.0
80 歳以上	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢。

利用したい外国人相談窓口の年齢別では、「20～29 歳」「50～59 歳」で「メールやSNSで相談できる」が最も高く、「30～39 歳」で「休日や祝日に利用できる」51.8%、「40～49 歳」で「利用しやすい場所にある」42.7%、「60～69 歳」で「相談できる内容が充実している」61.9%が最も高くなっている。

■ 『利用したい外国人相談窓口』居住地域割合

居住地域	n	1	2	3	4	5	6	7
		いる 多言語に対応して	充実している 相談できる内容が	にある 利用しやすい場所	できる 休日や祝日に利用	時間 長い 窓口があいている	相 談 で 可 る メ ー ル や S N S で	そ の 他
全 体	362	34.3	39.5	40.3	41.4	11.6	43.1	2.5
世田谷	94	26.6	37.2	44.7	47.9	14.9	42.6	1.1
北 沢	68	42.6	47.1	35.3	33.8	10.3	45.6	2.9
玉 川	108	35.2	38.9	42.6	40.7	12.0	43.5	0.9
砧	53	35.8	39.6	28.3	39.6	13.2	43.4	5.7
烏 山	38	34.2	34.2	50.0	44.7	2.6	39.5	2.6

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

利用したい外国人相談窓口の居住地域別では、「世田谷」で「休日や祝日に利用できる」47.9%、「北沢」で「相談できる内容が充実している」47.1%、「玉川」「砧」では「メールやSNSで相談できる」43.5%・43.4%、「烏山」では「利用しやすい場所にある」50.0%がそれぞれ最も高い。「窓口が開いている時間が長い」で見ると、「烏山」2.6%が他居住地域に比べ特出して割合が低い。

■ 『利用したい外国人相談窓口』在留資格割合

在留資格	n	1	2	3	4	5	6	7
		多言語に対応している	相談できる内容が充実している	利用しやすい場所にある	休日や祝日に利用できる	長い窓口があいている時間が	メールやSNSで相談できる	その他
全 体	362	34.3	39.5	40.3	41.4	11.6	43.1	2.5
定住者	12	41.7	33.3	16.7	25.0	0.0	58.3	0.0
日本人の配偶者等	50	54.0	34.0	42.0	32.0	6.0	50.0	2.0
永住者	107	27.1	41.1	44.9	43.9	9.3	32.7	4.7
永住者の配偶者等	6	33.3	33.3	66.7	50.0	0.0	50.0	0.0
特別永住者	22	9.1	50.0	27.3	27.3	18.2	27.3	13.6
技術・人文知識・国際業務	74	27.0	37.8	41.9	66.2	17.6	45.9	0.0
留学	35	34.3	40.0	40.0	37.1	25.7	54.3	0.0
家族滞在	21	52.4	42.9	47.6	19.0	9.5	47.6	0.0
特定活動	6	33.3	33.3	16.7	33.3	0.0	50.0	0.0
技能	9	77.8	44.4	0.0	11.1	11.1	33.3	0.0
その他	15	33.3	33.3	40.0	33.3	0.0	53.3	0.0

※網掛けは各在留資格で最も割合が高い選択肢。

利用したい外国人相談窓口の在留資格別では、「永住者」では「利用しやすい場所にある」44.9%、「技術・人文知識・国際業務」では「休日や祝日に利用できる」66.2%、「日本人の配偶者等」では「多言語に対応している」54.0%、「留学」では、「メールやSNSで相談できる」54.3%が最も高い。

■ 『利用したい外国人相談窓口』 日本在住期間割合

日本在住期間	n	1	2	3	4	5	6	7
		いる 多 言 語 に 対 応 し て	充 実 し て い る 相 談 で き る 内 容 が	に あ る 利 用 し や す い 場 所	で き る 休 日 や 祝 日 に 利 用	時 間 が 長 い 窓 口 が あ い て い る	相 談 で き る メ ー ル や S N S で	そ の 他
全 体	362	34.3	39.5	40.3	41.4	11.6	43.1	2.5
1 年未満	24	41.7	37.5	37.5	41.7	16.7	58.3	0.0
1 年以上～3 年未満	53	45.3	26.4	28.3	47.2	26.4	58.5	0.0
3 年以上～5 年未満	52	40.4	48.1	46.2	40.4	7.7	48.1	1.9
5 年以上～10 年未満	62	33.9	37.1	43.5	45.2	6.5	45.2	0.0
10 年以上～20 年未満	79	34.2	43.0	36.7	41.8	7.6	35.4	2.5
20 年以上	60	26.7	36.7	53.3	33.3	11.7	35.0	1.7
生まれた時からずっと	27	11.1	51.9	25.9	40.7	7.4	22.2	18.5

※網掛けは各日本在住期間で最も割合が高い選択肢。

■ 『利用したい外国人相談窓口』 世田谷区在住期間割合

世田谷区在住期間	n	1	2	3	4	5	6	7
		いる 多 言 語 に 対 応 し て	充 実 し て い る 相 談 で き る 内 容 が	に あ る 利 用 し や す い 場 所	で き る 休 日 や 祝 日 に 利 用	時 間 が 長 い 窓 口 が あ い て い る	相 談 で き る メ ー ル や S N S で	そ の 他
全 体	362	34.3	39.5	40.3	41.4	11.6	43.1	2.5
1 年未満	70	32.9	38.6	38.6	54.3	15.7	45.7	1.4
1 年以上～3 年未満	84	34.5	42.9	38.1	41.7	15.5	47.6	0.0
3 年以上～5 年未満	59	42.4	32.2	35.6	45.8	10.2	50.8	3.4
5 年以上～10 年未満	53	32.1	39.6	52.8	39.6	9.4	39.6	0.0
10 年以上～20 年未満	52	38.5	40.4	42.3	34.6	3.8	44.2	1.9
20 年以上	39	23.1	41.0	35.9	23.1	10.3	20.5	10.3
生まれた時からずっと	1	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0

※網掛けは各世田谷区在住期間で最も割合が高い選択肢。

利用したい外国人相談窓口の在住期間別では、日本在住期間で見ると「1 年未満」から「5 年以上～10 年未満」で「メールや SNS で相談できる」が高い傾向にあり、「10 年以上～20 年未満」「生まれた時からずっと」は「相談できる内容が充実している」が最も高い。

世田谷区在住期間で見ると、「1 年以上～3 年未満」「3 年以上～5 年未満」「10 年以上～20 年未満」で「メールや SNS で相談できる」が最も高く、「1 年未満」では「休日や祝日に利用できる」、「5 年以上～10 年未満」は「利用しやすい場所にある」、「20 年以上」は「相談できる内容が充実している」が最も高い。

■ 『利用したい外国人相談窓口』 回答調査票言語割合

回答調査票言語	n	1	2	3	4	5	6	7
		多言語に対応している	相談できる内容が充実している	利用しやすい場所にある	休日や祝日に利用できる	長い窓口があいている時間が	きるメールやSNSで相談で	その他
全 体	362	34.3	39.5	40.3	41.4	11.6	43.1	2.5
日本語調査票	182	19.8	39.6	38.5	46.7	11.5	37.9	4.9
外国語調査票	180	48.9	39.4	42.2	36.1	11.7	48.3	0.0

※網掛けは各回答調査票言語で最も割合が高い選択肢。

利用したい外国人相談窓口の回答調査票言語別では、「多言語に対応している」で見ると、「日本語調査票」19.8%、「外国語調査票」48.9%とかなりの差が見受けられる。「休日や祝日に利用できる」では、「日本語調査票」46.7%、「外国語調査票」36.1%、「メールやSNSで相談できる」では、「日本語調査票」37.9%、「外国語調査票」48.3%と約10%の差があった。

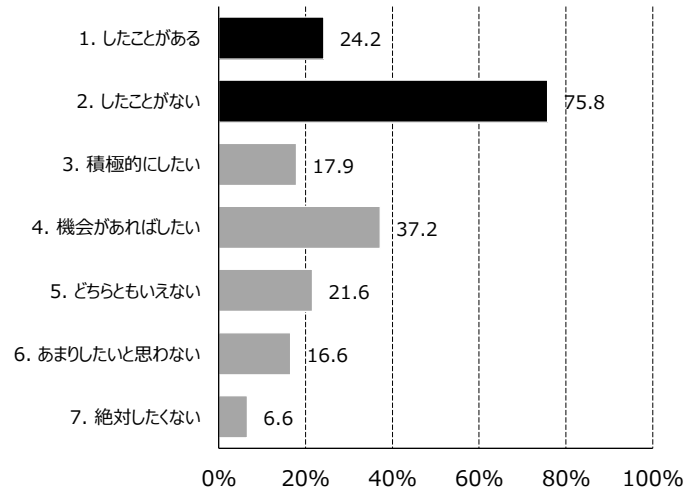
Ⅱ-5. 交流活動について

(1) 交流活動の有無・希望

【Q25. あなたは次のような交流や活動 a)～h) をしたことがありますか。1か2のどちらかを選んで○をつけてください。また、今後、次のような交流や活動をしていきたいと思いませんか。3～7のうち、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。】

■『a) 母語や日本語を教える活動』の有無・希望件数割合

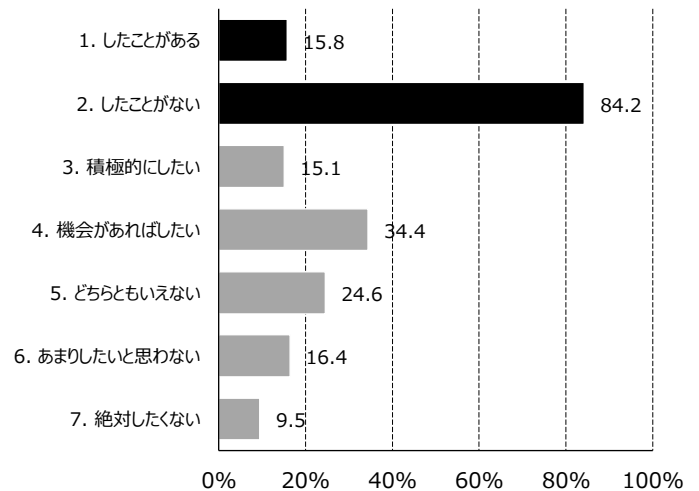
	件数	割合
1. したことがある	62	24.2
2. したことがない	194	75.8
全 体	256	100.0
3. 積極的にしたい	54	17.9
4. 機会があればしたい	112	37.2
5. どちらともいえない	65	21.6
6. あまりしたいと思わない	50	16.6
7. 絶対したくない	20	6.6
全 体	301	100.0



※無回答：活動の有無 122／活動の希望 77

■『b) 学校の授業への協力』の有無・希望件数割合

	件数	割合
1. したことがある	39	15.8
2. したことがない	208	84.2
全 体	247	100.0
3. 積極的にしたい	46	15.1
4. 機会があればしたい	105	34.4
5. どちらともいえない	75	24.6
6. あまりしたいと思わない	50	16.4
7. 絶対したくない	29	9.5
全 体	305	100.0

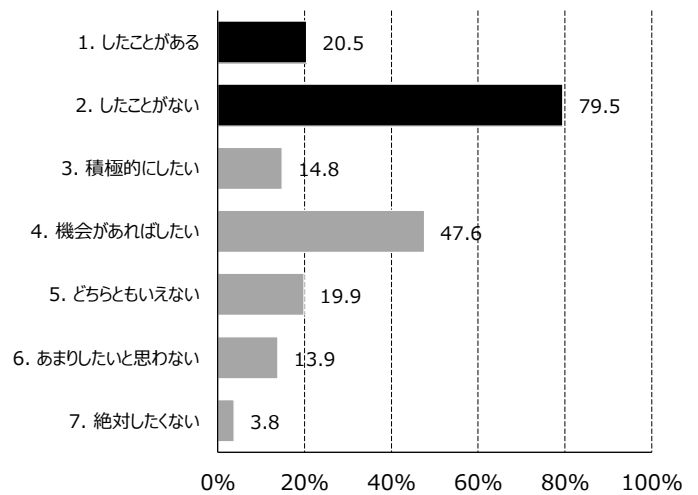


※無回答：協力の有無 131／協力の希望 73

■ 『c) 防災訓練』の有無・希望件数割合

	件数	割合
1. したことがある	50	20.5
2. したことがない	194	79.5
全 体	244	100.0
3. 積極的にしたい	47	14.8
4. 機会があればしたい	151	47.6
5. どちらともいえない	63	19.9
6. あまりしたいと思わない	44	13.9
7. 絶対したくない	12	3.8
全 体	317	100.0

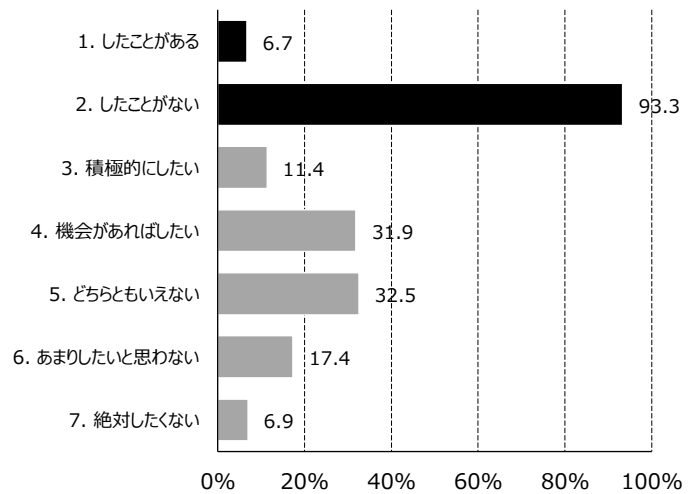
※無回答：訓練の有無 134／訓練の希望 61



■ 『d) 防犯活動』の有無・希望件数割合

	件数	割合
1. したことがある	16	6.7
2. したことがない	222	93.3
全 体	238	100.0
3. 積極的にしたい	36	11.4
4. 機会があればしたい	101	31.9
5. どちらともいえない	103	32.5
6. あまりしたいと思わない	55	17.4
7. 絶対したくない	22	6.9
全 体	317	100.0

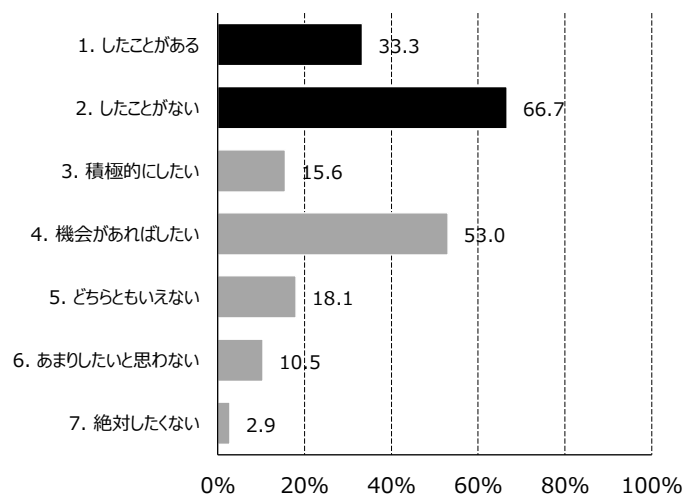
※無回答：活動の有無 140／活動の希望 61



■ 『e) 地域のイベント』の有無・希望件数割合

	件数	割合
1. したことがある	81	33.3
2. したことがない	162	66.7
全 体	243	100.0
3. 積極的にしたい	49	15.6
4. 機会があればしたい	167	53.0
5. どちらともいえない	57	18.1
6. あまりしたいと思わない	33	10.5
7. 絶対したくない	9	2.9
全 体	315	100.0

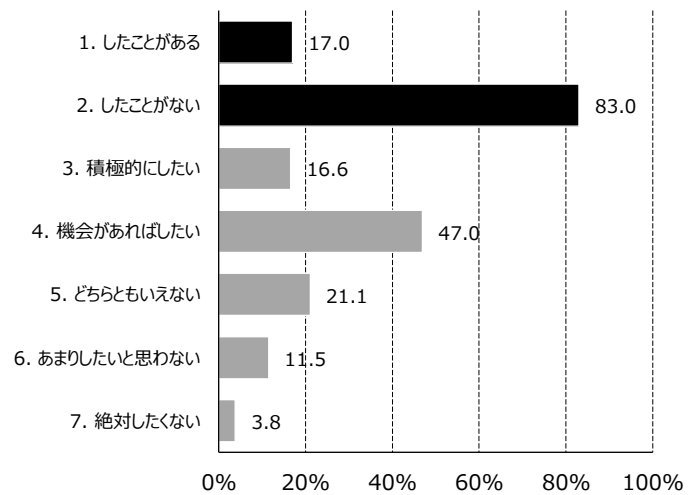
※無回答：活動の有無 135／活動の希望 63



■ 『f) 文化交流』の有無・希望件数割合

	件数	割合
1. したことがある	41	17.0
2. したことがない	200	83.0
全 体	241	100.0
3. 積極的にしたい	52	16.6
4. 機会があればしたい	147	47.0
5. どちらともいえない	66	21.1
6. あまりしたいと思わない	36	11.5
7. 絶対したくない	12	3.8
全 体	313	100.0

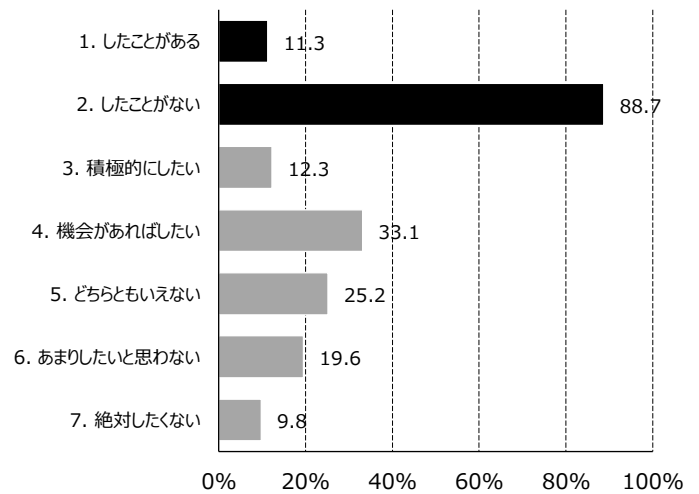
※無回答：交流の有無 137／交流の希望 65



■ 『g) スポーツ交流』の有無・希望件数割合

	件数	割合
1. したことがある	27	11.3
2. したことがない	212	88.7
全 体	239	100.0
3. 積極的にしたい	39	12.3
4. 機会があればしたい	105	33.1
5. どちらともいえない	80	25.2
6. あまりしたいと思わない	62	19.6
7. 絶対したくない	31	9.8
全 体	317	100.0

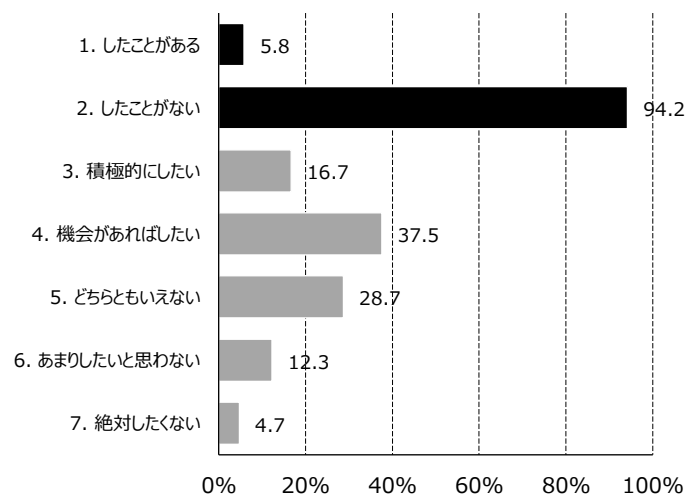
※無回答：交流の有無 139／交流の希望 61



■ 『h) 外国人支援活動』の有無・希望件数割合

	件数	割合
1. したことがある	14	5.8
2. したことがない	226	94.2
全 体	240	100.0
3. 積極的にしたい	53	16.7
4. 機会があればしたい	119	37.5
5. どちらともいえない	91	28.7
6. あまりしたいと思わない	39	12.3
7. 絶対したくない	15	4.7
全 体	317	100.0

※無回答：活動の有無 138／活動の希望 61

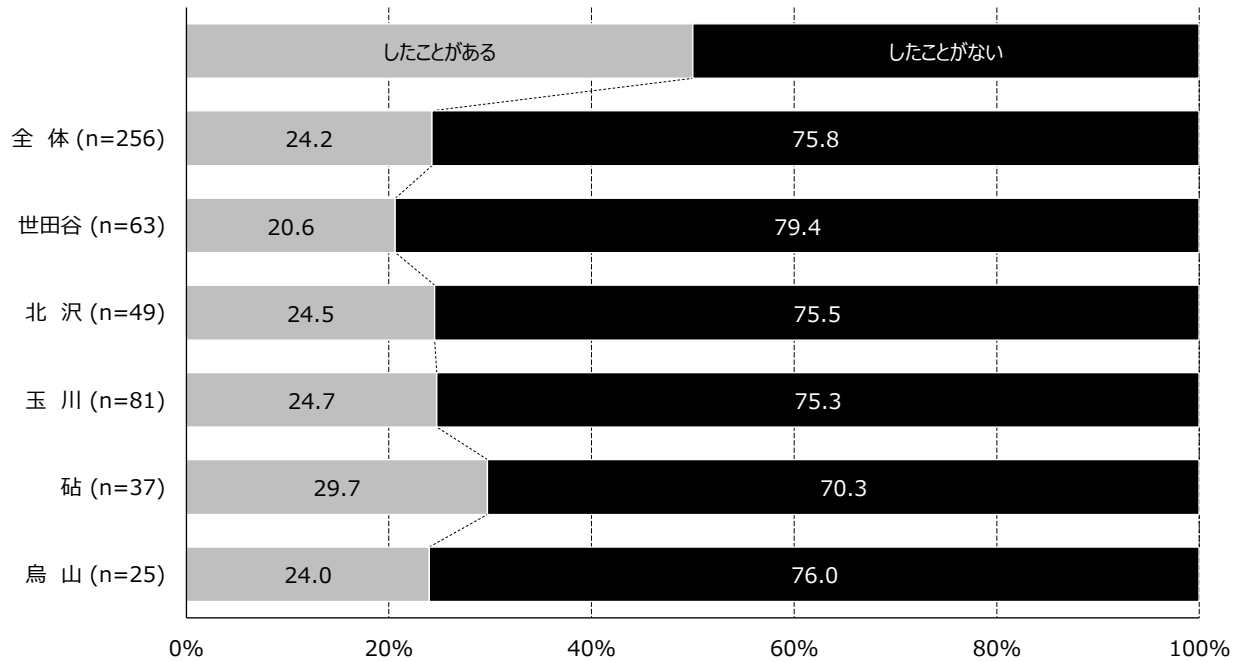


交流活動については、『母語や日本語を教える活動』『学校の授業への協力』『防災訓練』『防犯活動』『地域のイベント』『文化交流』『スポーツ交流』『外国人支援活動』の8つのテーマにおいて、それぞれ活動の有無、今後の取組み意欲について回答を得た。

どのテーマにおいても、「したことがある」の割合は半数以下で、『地域のイベント』の33.3%が最も高く、『外国人支援活動』の5.8%が最も低い。

今後の取組み意欲では、『防犯活動』についてのみ「どちらともいえない」の割合が最も高く、他7つのテーマでは全て「機会があればしたい」が最も高かった。中でも『地域のイベント』では、「積極的にしたい」と「機会があればしたい」の合計が68.6%と高かった。

■ 『a) 母語や日本語を教える活動の有無』 居住地域割合



■ 『a) 母語や日本語を教える活動の希望』 居住地域割合

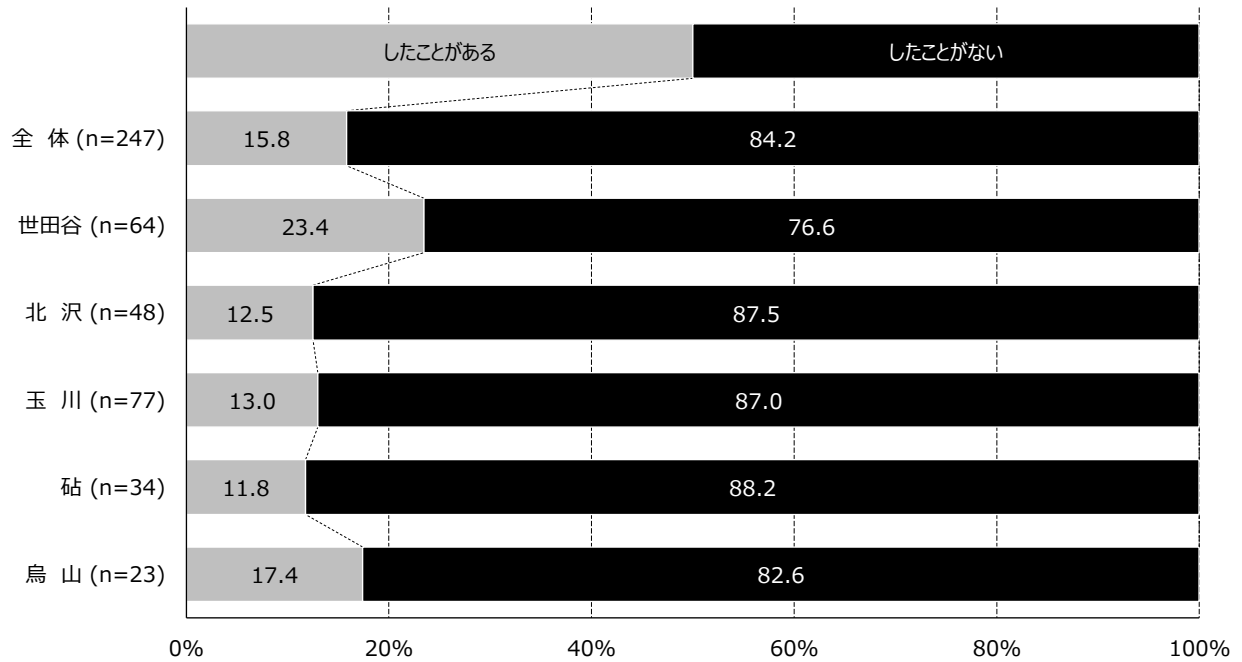
居住地域	n	1	2	3	4	5
		積極的にしたい	機会があればしたい	どちらともいえない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全体	301	17.9	37.2	21.6	16.6	6.6
世田谷	79	20.3	39.2	24.1	13.9	2.5
北沢	59	20.3	33.9	20.3	13.6	11.9
玉川	87	17.2	32.2	25.3	19.5	5.7
砧	44	15.9	40.9	15.9	18.2	9.1
烏山	32	12.5	46.9	15.6	18.8	6.3

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

母語や日本語を教える活動の居住地域別では、活動を「したことがない」がいずれの居住地域でも70%台で高く、活動を「したことがある」で最も高かったのが「砧」の29.7%であった。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「世田谷」の59.5%であった。

■ 『b) 学校の授業への協力の有無』 居住地域割合



■ 『b) 学校の授業への協力の希望』 居住地域割合

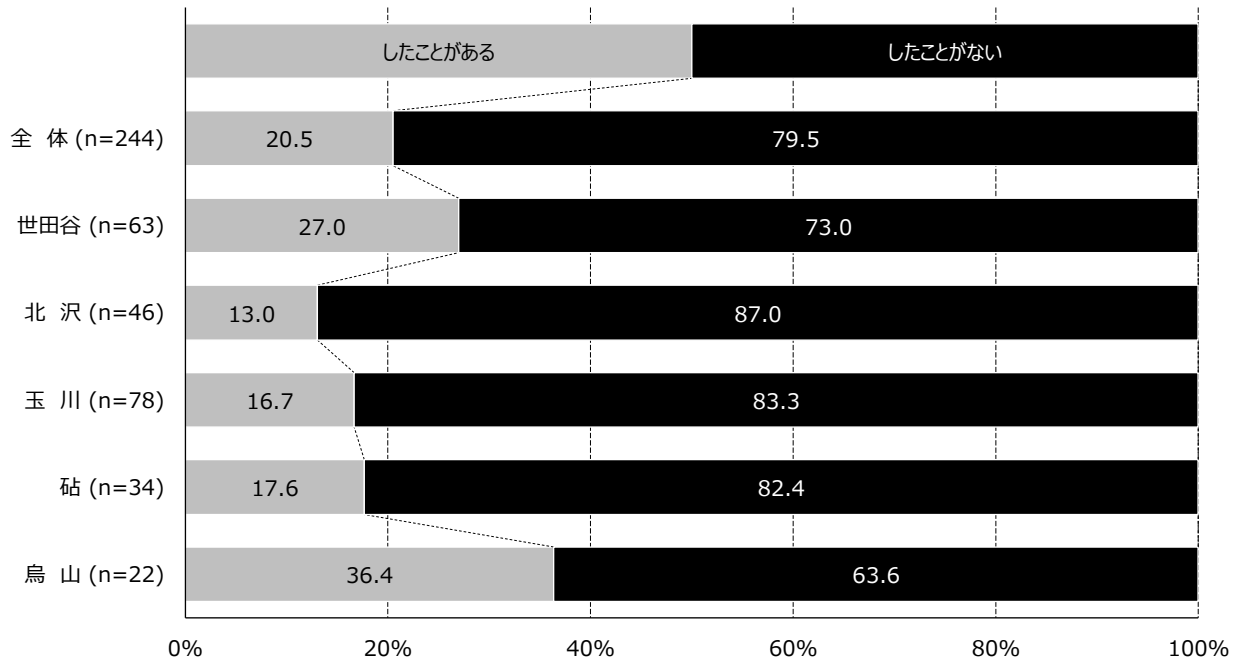
居住地域	n	1	2	3	4	5
		積極的にしたい	機会があればしたい	どちらともいえない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全体	305	15.1	34.4	24.6	16.4	9.5
世田谷	77	13.0	35.1	32.5	14.3	5.2
北沢	59	20.3	23.7	23.7	20.3	11.9
玉川	91	14.3	35.2	25.3	15.4	9.9
砧	46	10.9	41.3	17.4	15.2	15.2
烏山	32	18.8	40.6	15.6	18.8	6.3

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

学校の授業への協力の居住地域別では、活動を「したことがない」がいずれの居住地域でも高く、活動を「したことがある」で最も高かったのが「世田谷」の23.4%であった。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「烏山」の59.4%であった。

■ 『c) 防災訓練の有無』 居住地域割合



■ 『c) 防災訓練の希望』 居住地域割合

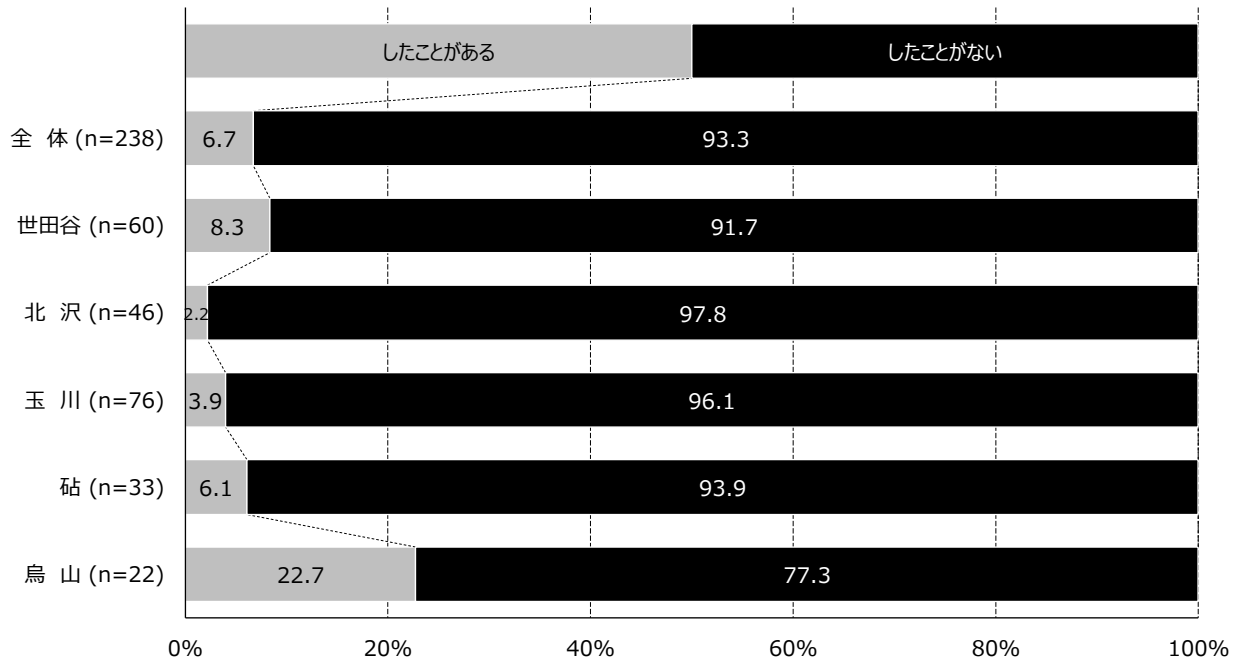
居住地域	n	1	2	3	4	5
		積極的にしたい	機会があればしたい	どちらともいえない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全体	317	14.8	47.6	19.9	13.9	3.8
世田谷	80	10.0	53.8	21.3	13.8	1.3
北沢	63	20.6	46.0	14.3	14.3	4.8
玉川	95	17.9	44.2	18.9	13.7	5.3
砧	45	8.9	48.9	22.2	15.6	4.4
烏山	34	14.7	44.1	26.5	11.8	2.9

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

防災訓練の居住地域別では、活動を「したことがない」がいずれの居住地域でも高く、活動を「したことがある」で最も高かったのが「烏山」の36.4%であった。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「北沢」の66.6%であった。

■『d) 防犯活動の有無』居住地域割合



■『d) 防犯活動の希望』居住地域割合

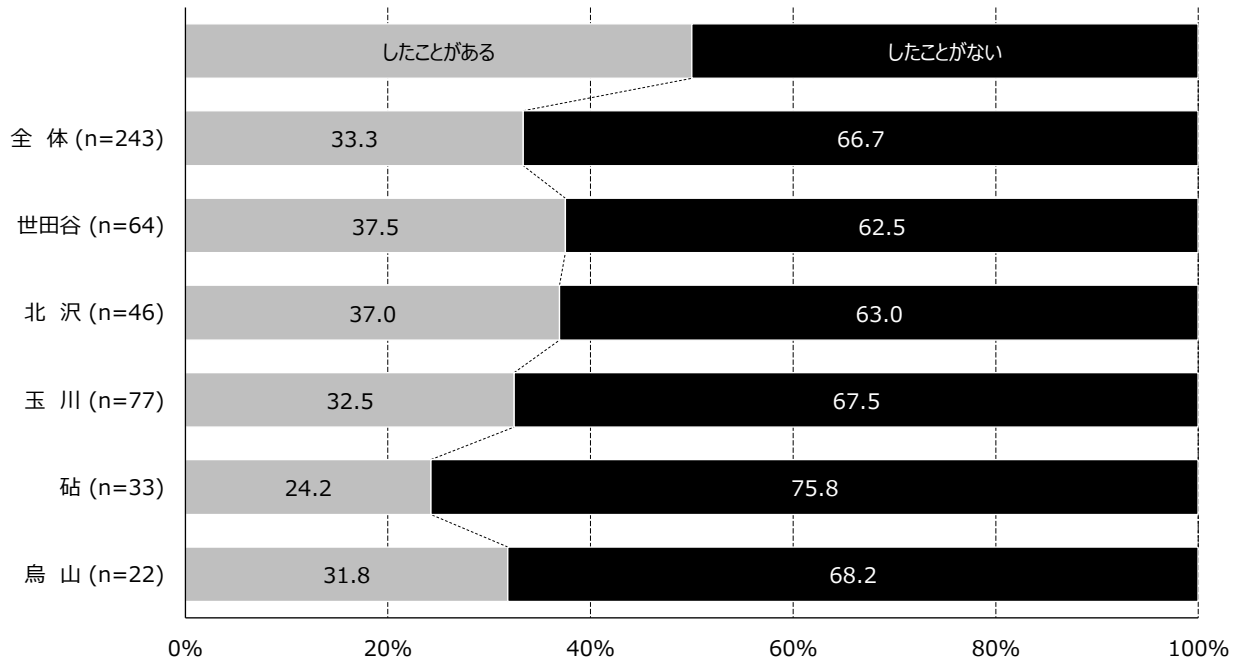
居住地域	n	1	2	3	4	5
		積極的にしたい	機会があればしたい	どちらともいえない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全体	317	11.4	31.9	32.5	17.4	6.9
世田谷	82	9.8	29.3	40.2	17.1	3.7
北沢	63	14.3	34.9	20.6	19.0	11.1
玉川	93	12.9	28.0	32.3	17.2	9.7
砧	46	6.5	37.0	34.8	17.4	4.3
烏山	33	12.1	36.4	33.3	15.2	3.0

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

防犯活動の居住地域別では、活動を「したことがない」がいずれの居住地域でも高く、「したことがある」では「烏山」の22.7%の他は一桁台である。「北沢」は2.2%であった。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「北沢」の49.2%であった。

■『e) 地域のイベントの有無』 居住地域割合



■『e) 地域のイベントの希望』 居住地域割合

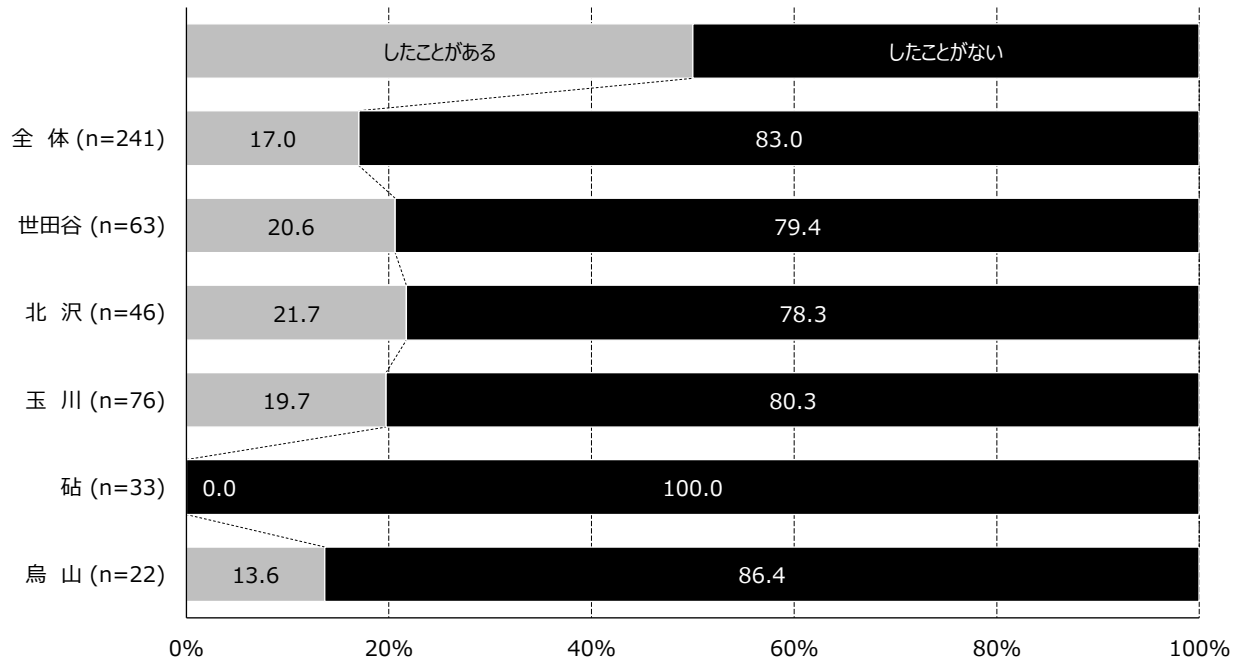
居住地域	n	1	2	3	4	5
		積極的にしたい	機会があればしたい	どちらともいえない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全体	315	15.6	53.0	18.1	10.5	2.9
世田谷	79	17.7	49.4	20.3	10.1	2.5
北沢	63	17.5	58.7	14.3	7.9	1.6
玉川	93	14.0	53.8	18.3	9.7	4.3
砧	46	13.0	52.2	19.6	13.0	2.2
烏山	34	14.7	50.0	17.6	14.7	2.9

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

地域のイベントの居住地域別では、いずれの居住地域でも「したことがない」が高いが、他活動に比べると「したことがある」の割合は高い。「したことがある」では「世田谷」の37.5%が最も高かった。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「北沢」の76.2%であった。

■ 『f) 文化交流の有無』 居住地域割合



■ 『f) 文化交流の希望』 居住地域割合

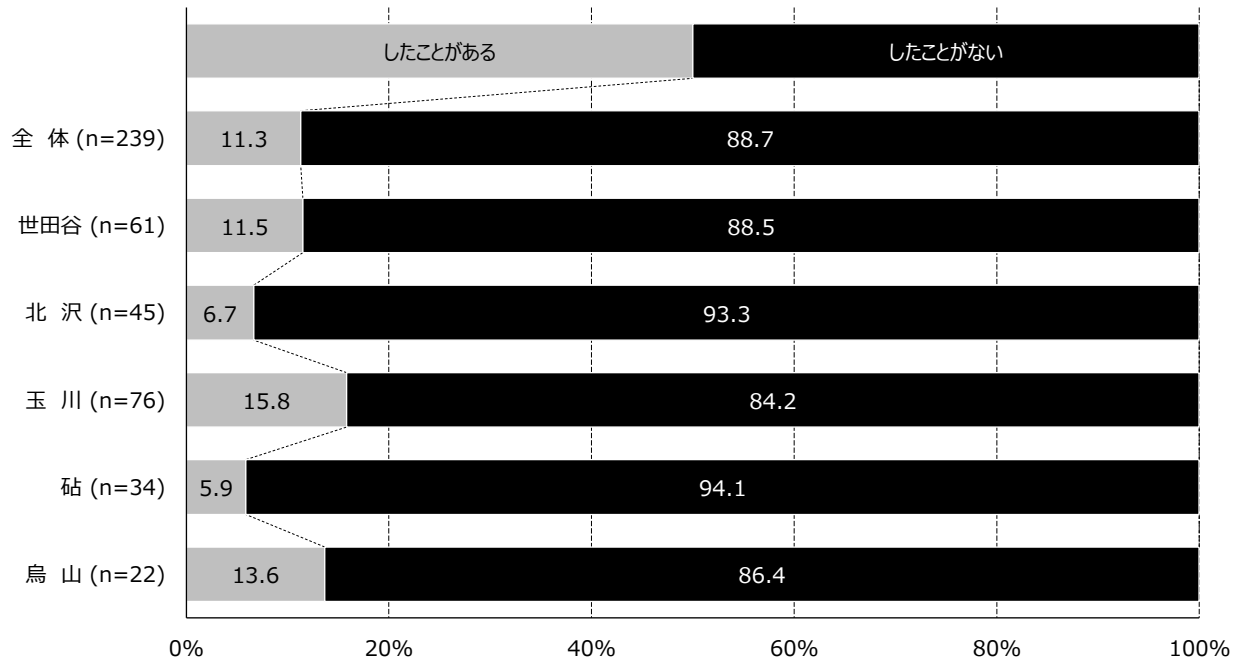
居住地域	n	1	2	3	4	5
		積極的にしたい	機会があればしたい	どちらともいえない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全体	313	16.6	47.0	21.1	11.5	3.8
世田谷	80	21.3	48.8	20.0	6.3	3.8
北沢	63	22.2	44.4	17.5	12.7	3.2
玉川	91	12.1	45.1	24.2	14.3	4.4
砧	45	11.1	42.2	26.7	15.6	4.4
烏山	34	14.7	58.8	14.7	8.8	2.9

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

文化交流の居住地域別では、いずれの居住地域でも「したことがない」が高く、「砧」では100.0%であった。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「世田谷」の70.1%であった。

■『g) スポーツ交流の有無』居住地域割合



■『g) スポーツ交流の希望』居住地域割合

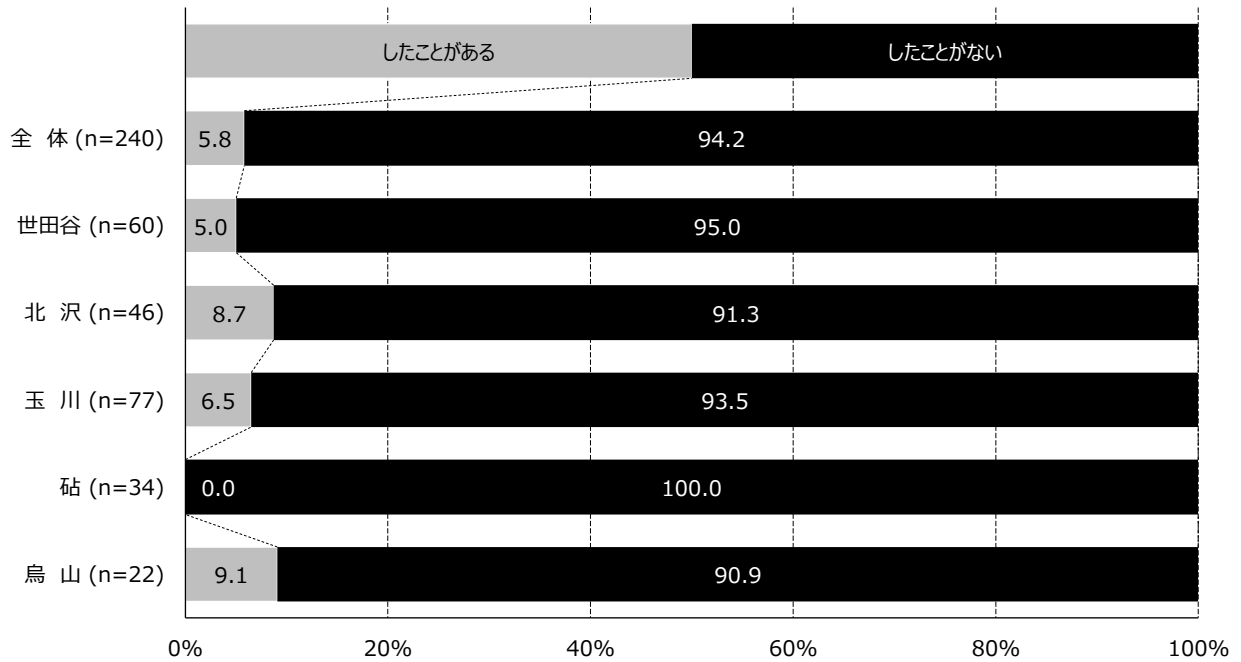
居住地域	n	1	2	3	4	5
		積極的にしたい	機会があればしたい	どちらともいえない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全体	317	12.3	33.1	25.2	19.6	9.8
世田谷	83	12.0	33.7	36.1	14.5	3.6
北沢	63	11.1	33.3	20.6	27.0	7.9
玉川	93	15.1	30.1	23.7	17.2	14.0
砧	45	6.7	40.0	22.2	15.6	15.6
烏山	33	15.2	30.3	15.2	30.3	9.1

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

スポーツ交流の居住地域別では、いずれの居住地域でも「したことがない」が高く、「したことがある」では「玉川」の15.8%が最も高い。

活動の希望では、「世田谷」では「どちらともいえない」が36.1%で最も高く、「北沢」「玉川」「砧」では「機会があればしたい」が最も高い。「烏山」では「機会があればしたい」と同率で「あまりしたいと思わない」が最も高かった。

■『h) 外国人支援活動の有無』 居住地域割合



■『h) 外国人支援活動の希望』 居住地域割合

居住地域	n	1	2	3	4	5
		積極的にしたい	機会があればしたい	どちらともいえない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全体	317	16.7	37.5	28.7	12.3	4.7
世田谷	82	18.3	32.9	32.9	13.4	2.4
北沢	63	23.8	34.9	22.2	14.3	4.8
玉川	93	11.8	35.5	34.4	11.8	6.5
砧	46	10.9	45.7	26.1	10.9	6.5
烏山	33	21.2	48.5	18.2	9.1	3.0

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

外国人支援活動の居住地域別では、いずれの居住地域でも「したことがない」が90%以上で、「砧」では100.0%である。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「烏山」の69.7%であった。

(2) している（してみたい）交流や活動 【Q25-1. その他、している（してみたい）交流や活動があれば以下に書いてください。】

■ 「している交流や活動」記述回答の主な内容件数

	件数
教室、交流会	8
イベント	4
ボランティア	4
スポーツ、音楽	4
語学、教育	3
防災活動	2

■ 『してみたい交流や活動』記述回答の主な内容件数

	件数
教室、交流会	10
語学、教育	7
イベント	5
ボランティア	3
スポーツ、音楽	3
育児支援	3

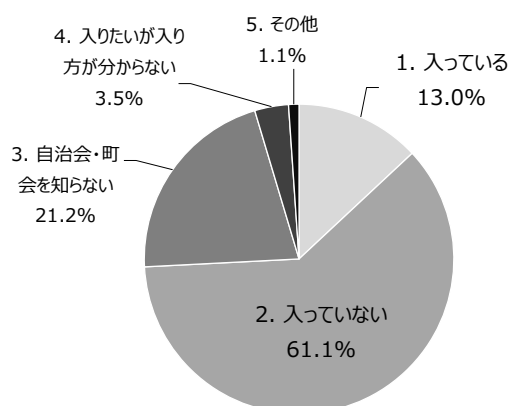
(3) 自治会・町会の加入状況 【Q26. あなた（あなたの世帯）は自治会・町会に入っていますか（1つに○）。】

■ 『自治会・町会の加入状況』件数割合

	件数	割合
1. 入っている	48	13.0
2. 入っていない	225	61.1
3. 自治会・町会を知らない	78	21.2
4. 入りたいが入り方がわからない	13	3.5
5. その他	4	1.1
全 体	368	100.0

※無回答 10

自治会・町会の加入状況（n=368）無回答10



■ 「その他」4件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
マンションなので入っていない	2	0.5	マンションなので情報がこない	1	0.3

※割合は（n=368）で算出

自治会・町会の加入状況では、「入っていない」が225件・61.1%で最も多く、「入っている」は48件・13.0%であった。「自治会・町会を知らない」が78件・21.2%、「入りたいが入り方がわからない」が13件・3.5%であった。

■『自治会・町会の加入状況』年齢割合

年 齢	n	1	2	3	4	5
		入 っ て い る	入 っ て い な い	自 治 会 ・ 町 会 を 知 ら な い	入 り た い が 入 り 方 が 分 か ら な い	そ の 他
全 体	368	13.0	61.1	21.2	3.5	1.1
18～19 歳	5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	74	0.0	56.8	35.1	8.1	0.0
30～39 歳	114	7.0	57.9	30.7	3.5	0.9
40～49 歳	84	15.5	71.4	10.7	2.4	0.0
50～59 歳	51	27.5	60.8	9.8	0.0	2.0
60～69 歳	22	27.3	54.5	9.1	4.5	4.5
70～79 歳	11	45.5	45.5	0.0	0.0	9.1
80 歳以上	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢。

自治会・町会の加入状況の年齢別では、「18～19 歳」から「60～69 歳」では全て「入っていない」が高く、「40～49 歳」71.4%が年齢間では最も高かった。「70～79 歳」では「入っている」「入っていない」が同率の45.5%であった。

■『自治会・町会の加入状況』居住地域割合

居住地域	n	1	2	3	4	5
		入 っ て い る	入 っ て い な い	自 治 会 ・ 町 会 を 知 ら な い	入 り た い が 入 り 方 が 分 か ら な い	そ の 他
全 体	368	13.0	61.1	21.2	3.5	1.1
世田谷	97	11.3	60.8	23.7	4.1	0.0
北 沢	70	14.3	57.1	21.4	5.7	1.4
玉 川	106	11.3	62.3	22.6	2.8	0.9
砧	56	12.5	67.9	16.1	1.8	1.8
烏 山	38	21.1	57.9	18.4	2.6	0.0

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

自治会・町会の加入状況の居住地域別では、いずれの居住地域においても「入っていない」が最も高く、居住地域間では「砧」が67.9%で最も高く、「北沢」が57.1%で最も低い。「入っている」でみると、「烏山」の21.1%が他居住地域に比べ約7～10%高い。「自治会・町会を知らない」でみると「世田谷」の23.7%が最も高かった。

■ 『自治会・町会の加入状況』 **日本在住期間割合**

日本在住期間	n	1	2	3	4	5
		入っている	入っていない	知らない 自治会・町会を知	方が分からない 入りたいが入り	その他
全 体	368	13.0	61.1	21.2	3.5	1.1
1 年未満	25	0.0	56.0	36.0	8.0	0.0
1 年以上～3 年未満	54	0.0	57.4	38.9	3.7	0.0
3 年以上～5 年未満	53	1.9	64.2	26.4	5.7	1.9
5 年以上～10 年未満	61	6.6	72.1	18.0	3.3	0.0
10 年以上～20 年未満	77	18.2	62.3	16.9	2.6	0.0
20 年以上	61	27.9	57.4	9.8	3.3	1.6
生まれた時からずっと	32	37.5	46.9	9.4	0.0	6.3

※網掛けは各日本在住期間で最も割合が高い選択肢。

■ 『自治会・町会の加入状況』 **世田谷区在住期間割合**

世田谷区在住期間	n	1	2	3	4	5
		入っている	入っていない	知らない 自治会・町会を知	方が分からない 入りたいが入り	その他
全 体	368	13.0	61.1	21.2	3.5	1.1
1 年未満	71	2.8	67.6	25.4	4.2	0.0
1 年以上～3 年未満	86	4.7	55.8	32.6	5.8	1.2
3 年以上～5 年未満	57	5.3	61.4	26.3	5.3	1.8
5 年以上～10 年未満	55	21.8	67.3	9.1	1.8	0.0
10 年以上～20 年未満	55	20.0	61.8	16.4	1.8	0.0
20 年以上	40	37.5	52.5	5.0	0.0	5.0
生まれた時からずっと	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは各世田谷区在住期間で最も割合が高い選択肢。

自治会・町会の加入状況の在住期間別では、日本在住期間、世田谷区在住期間いずれにおいても「入っていない」が最も高く（n=1 は除く）、約 50% から 70% の高さである。

日本在住期間の「入っている」でみると、「生まれた時からずっと」が 37.5% で最も高く、世田谷区在住期間では、「20 年以上」の 37.5% が最も高い（n=1 は除く）。日本在住期間、世田谷区在住期間いずれも居住年数が長くなるにつれ「入っている」が高くなっている傾向にある。

「自治会・町会を知らない」でみると、居住年数が短いほど高い傾向にある。

(4) 団体（コミュニティ・グループ）への参加状況

【Q27. あなたは仕事や学校以外で何らかの団体（自治会・町会を除く、コミュニティやグループなど）に入っていますか（主なもの3つ以内に○）。】

■ 『団体（コミュニティ・グループ）への参加状況』 件数割合

	件数	割合		件数	割合
1. 日本人との交流団体	15	4.2	5. ボランティア団体	18	5.0
2. 同国人団体	27	7.5	6. 娯楽・趣味の団体	21	5.8
3. 宗教団体	27	7.5	7. 特に団体に参加していない	256	71.1
4. スポーツ団体	19	5.3	8. その他	22	6.1
			全 体	360	100.0

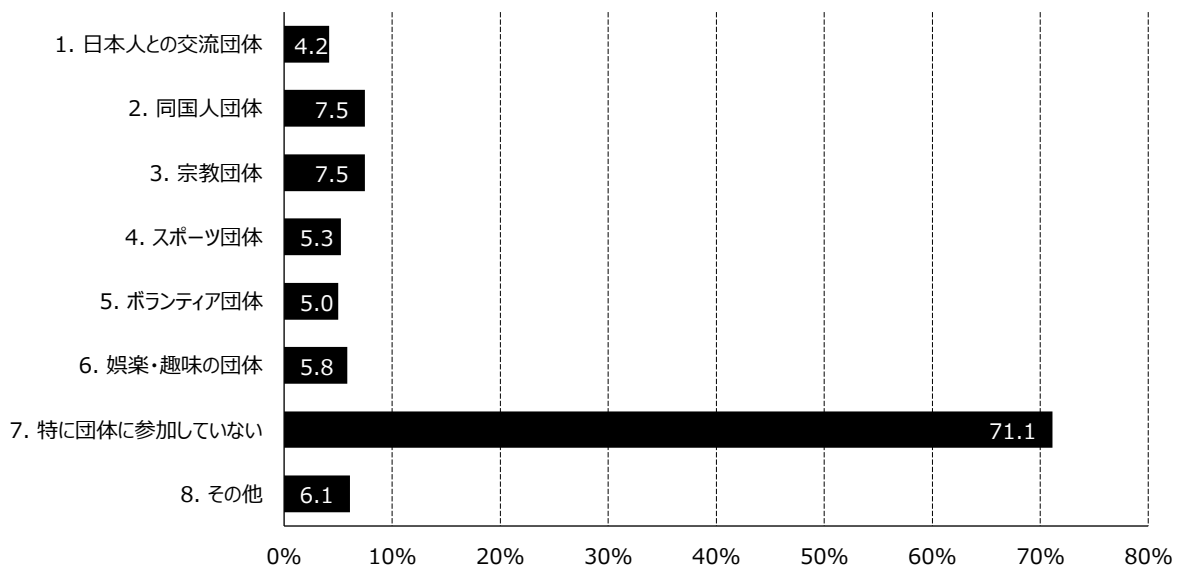
※無回答 18 ※累計 (n) : 405 / 累計 (%) : 112.5

■ 「その他」 22 件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合
保護者仲間、ママ友	6	1.7

※割合は (n=360) で算出

団体（コミュニティ・グループ）への参加状況 (n=360) 無回答18



団体（コミュニティ・グループ）への参加状況では、「特に団体に参加していない」が 256 件・71.1%であった。他選択肢はいずれも 10%未満で、「同国人団体」「宗教団体」がともに 27 件・7.5%で最も多かった。「娯楽・趣味の団体」は 21 件・5.8%、「スポーツ団体」は 19 件・5.3%、「ボランティア団体」18 件・5.0%、「日本人との交流団体」は 15 件・4.2%であった。

「その他」記述回答には、「保護者仲間、ママ友」が 6 件あった。

■ 『団体（コミュニティ・グループ）への参加状況』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	1	2	3	4	5	6	7	8
		日本人との交流団体	同国人団体	宗教団体	スポーツ団体	ボランティア団体	娯楽・趣味の団体	特に団体に参加していない	その他
全 体	360	4.2	7.5	7.5	5.3	5.0	5.8	71.1	6.1
中 国	86	2.3	1.2	1.2	1.2	3.5	4.7	83.7	5.8
韓 国	70	4.3	7.1	12.9	4.3	2.9	4.3	67.1	5.7
米 国	37	5.4	5.4	10.8	13.5	21.6	18.9	48.6	5.4
台 湾	26	7.7	7.7	3.8	11.5	0.0	11.5	73.1	3.8
フィリピン	16	0.0	12.5	6.3	0.0	6.3	0.0	87.5	0.0
英 国	15	6.7	6.7	13.3	6.7	13.3	6.7	60.0	6.7
ベトナム	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
フランス	9	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1	55.6	0.0
その他	94	3.2	12.8	8.5	5.3	2.1	2.1	72.3	7.4

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「特に団体に参加していない」は除く）。※無回答は除く。

団体（コミュニティ・グループ）への参加状況の国籍・地域別では、いずれの国籍・地域でも「特に団体に参加していない」が最も高い。

参加している団体（コミュニティ・グループ）でみると、「中国」では「娯楽・趣味の団体」が4.7%で最も高く、「韓国」では「宗教団体」の12.9%、「米国」では「ボランティア団体」の21.6%、「台湾」では、「スポーツ団体」「娯楽・趣味の団体」の各11.5%がそれぞれ最も高い。

「日本人との交流団体」でみると、いずれの国籍・地域も一桁台で、「台湾」の7.7%が最も高い（n=20未満の国籍・地域を除く）。

【Q27. (A) あなたが参加しているコミュニティやグループについて教えてください。】

■『参加しているコミュニティやグループ／活動内容』記述回答のあった主な内容（順不同）

- ・軟式野球連盟：審判
- ・スポーツ交流：ランニング、バドミントン、バスケット、太極拳、サッカー、剣術、居合術、弓道、ダンス、スキー、体操、ソフトボール、登山
- ・バリスタ交流会：コーヒーに関する情報共有や練習
- ・サロン：ビジネスの勉強セミナー、生け花
- ・交流会、サークル：語学勉強（日本語教室、フランス語）、日常のコミュニケーション、情報交換、コーラスグループ、子育て、文化、メンタルヘルス、ビデオゲーム、料理、手芸、ボーイスカウト、野外活動、ファンクラブ、コンサート鑑賞、子ども食堂
- ・マッサージ協会：国際イベントのマッサージ紹介
- ・大学生協院生ミーティング：イベント開催、生活を充実させる活動
- ・ガイド：オリンピックに向けて、外国人案内
- ・ボランティア団体：図書、入院患者へのサポート、刑務所奉仕活動
- ・宗教団体：礼拝、聖書勉強、宗教活動、布教活動
- ・ママ友会：生活情報交換
- ・女性に権限を与える会：海外及び英語を話す日本人女性を励ます
- ・PTA 保護者会
- ・LGBT 関連ネットワーク
- ・NPO 法人
- ・政治
- ・幼稚園親睦会
- ・消防団

(5) 地域活動時に必要なサポート 【Q28. 地域での活動を行うとき、どのようなサポートが必要だと思いますか（主なもの3つ以内に○）。】

■『地域活動時に必要なサポート』件数割合

	件数	割合
1. 地域活動の情報を提供してほしい	160	44.1
2. 多言語で資料をつくってほしい	120	33.1
3. 通訳がほしい	33	9.1
4. 積極的に声をかけてほしい	87	24.0
5. 文化や生活習慣の違いをわかってほしい	77	21.2
6. その他	7	1.9
7. 特にサポートの希望はない	93	25.6
全体	363	100.0

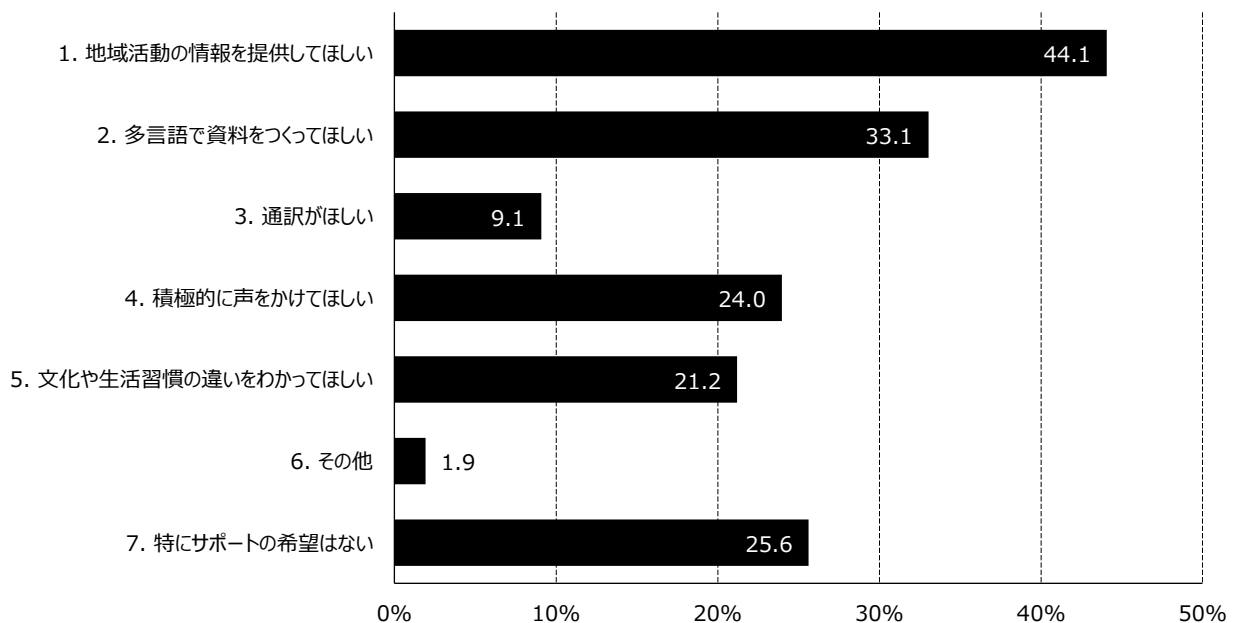
※無回答 15 ※累計 (n) : 577 / 累計 (%) : 159.0

■「その他」7件内記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合
外国人という先入観を持たない	2	0.6

※割合は (n=363) で算出

地域活動時に必要なサポート (n=363) 無回答15



地域活動時に必要なサポートでは、「特にサポートの希望はない」は25.6%で約75%はサポートを希望している。「地域活動の情報を提供してほしい」が160件・44.1%と最も多く、次いで「多言語で資料をつくってほしい」が120件・33.1%、「積極的に声をかけてほしい」が87件・24.0%と続いている。

■ 『地域活動時に必要なサポート』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	1	2	3	4	5	6	7
		地域活動の情報を提供してほしい	多言語で資料をつくってほしい	通訳がほしい	積極的に声をかけてほしい	文化や生活習慣の違いをわかってほしい	その他	特にサポートの希望はない
全 体	363	44.1	33.1	9.1	24.0	21.2	1.9	25.6
中 国	86	41.9	24.4	9.3	36.0	29.1	0.0	26.7
韓 国	71	39.4	16.9	4.2	14.1	21.1	2.8	35.2
米 国	38	39.5	23.7	7.9	26.3	15.8	5.3	34.2
台 湾	26	34.6	19.2	7.7	34.6	26.9	11.5	26.9
フィリピン	17	47.1	82.4	11.8	17.6	17.6	0.0	11.8
英 国	15	60.0	46.7	6.7	26.7	13.3	0.0	6.7
ベトナム	4	25.0	75.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
フランス	9	33.3	44.4	11.1	11.1	33.3	0.0	22.2
その他	94	51.1	46.8	12.8	19.1	16.0	0.0	21.3

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢。

地域活動時に必要なサポートの国籍・地域別では、全ての国籍・地域において「地域活動の情報を提供してほしい」が最も高い（n=20 未満の国籍・地域を除く）。地域活動に関する情報が外国人には届いていないことがうかがえる。

「中国」では、「地域活動の情報を提供してほしい」に次いで「積極的に声をかけてほしい」36.0%が高く、「米国」でも同じ傾向がみられる。「台湾」では「地域活動の情報を提供してほしい」と「積極的に声をかけてほしい」が同じ割合で最も高かった。「韓国」では、「地域活動の情報を提供してほしい」39.4%に次いで「文化や生活習慣の違いをわかってほしい」が21.1%で高い。

Ⅲ. その他

Ⅲ. その他

「Ⅲ. その他」では、Q29 記述回答のあった 110 件の内容から『言語』『生活環境』『イベント・交流』『法律・税制』『住宅』『窓口対応』『申請書類、手続き』『参政権』『保育（園）』『LGBT』『就労』『世田谷区への感謝』『その他』のカテゴリーに分類し、抜粋して掲載した。

Ⅲ-2. として今回調査で使用した 4 言語調査票のうち日本語調査票を掲載した。

Ⅲ-1. 世田谷区への意見要望（自由記述まとめ）

【Q29. 世田谷区の区政について意見や要望がありましたら自由に書いてください。】

■言語について 12 件

- 日本語教室の情報がほしい。(男性/20代)
- 公共の場所では英語の情報がほしい。(女性/70代)
- 英語の援助に感謝している。(30代)
- 区内ボランティア団体主催の日本語教室は素晴らしい。(男性/40代)
- 広東語の資料などが少ない。(女性/40代)
- 公共施設、病院、銀行に通訳の配置希望。(女性/30代)
- 区役所の日本語教室を幅広く色々な地域でやってほしい。(女性/40代)
- 子どもにも日本語を学ばせたい。(男性/40代)
- 外国人の重要書類は多言語で提供してほしい。(男性/40代)
- 日本語やその他の情報をパンフレットにして配布して。(女性/20代)
- 通訳の方がほしい。(女性/60代)
- 病院の書式に英語版を加えてほしい。(女性/30代)

■生活環境について 8 件

- もっと公園、樹木、公的施設を増やしてほしい。(男性/30代)
- サッカー場などオープンスペースがもっとほしい。(男性/50代)
- 世田谷区育ちの東京都エコ農産物を守って。(男性/30代)
- 遊び場、公園、ごみ箱設置希望。(女性/40代)
- コミュニティバスが便利。(女性/60代)
- 駐輪場、自転車レーンの整備(男性/30代)
- 交通安全、自転車のマナーの周知。(女性/40代)
- 外国人に日本の生活習慣を周知させることを希望。ゴミ出しルールなど。(女性/30代)

■イベント・交流について 6 件

- 相互理解の為の共存できるベースを区が作ってほしい。(女性/40代)
- 日本の大学生など通じて国際交流イベントを増やしてほしい。(女性/30代)
- 若い世代の方々との意見交流。(女性/40代)

- ランニングイベントの開催。(女性／40代)
- 多様な言語の方々と交流したい。(女性／30代)
- 交流の場を多数設けてほしい。(男性／20代)

■ 法律・税制について 5件

- 住民税が高い。(男性／30代)
- 外国人向けの法律相談窓口がほしい。(男性／30代)
- 多くの外国人は税制のことを全く知らない。(男性／40代)
- 税金の支払いに外国人相談窓口が役立っている。(女性／50代)
- 税、死亡、銀行、遺言などについての情報がほしい。(男性／80代)

■ 住宅について 6件

- 住宅公団の申し込み情報がほしい。(女性／50代)
- 区営住宅に入居したい。(男性／50代)
- 外国人の家賃を安くしてほしい。(女性／50代)
- 低所得者で身体障害者である、優先的に住宅にいれてほしい。(女性／60代)
- 保証人問題での障害がある。(男性／30代)
- 住宅を探せない、偏見あり困っている。(男性／20代)

■ 窓口対応について 3件

- 親切な職員の方が多いが、決定、決裁となると判断しかね時間がかかる。(男性／50代)
- サービスが親切、良好であるが、もう少し簡単に処理できないものか。(無回答)
- 職員が敬語で話す外国人は余り理解出来ない、シンプルな日本語を希望。(女性／30代)

■ 申請書類、手続きについて 3件

- 全てオンラインで出来れば助かる。(男性／40代)
- 医療クーポンは使えたが、その他のクーポンは提供する業者、サービスが日本語なので使えなかった。(女性／20代)
- 住民票などの書類は24時間年中無休でATMからプリントアウト出来るとよい。(男性／20代)

■ 参政権について 4件

- 選挙権がほしい。(女性／40代)
- 特別永住者に選挙権がほしい。(女性／40代)

■ 保育(園)について 3件

- 娘が入園出来ず困っている。(男性／50代)
- もっと増やして入園させてほしい。(男性／40代)
- 一時保育所がもっとほしい。(女性／30代)

■ LGBT について 2 件

- LGBT 問題に積極的に取り組んでほしい (男性／30 代)
- 結婚の平等、性への理解。(女性／40 代)

■ 就労について 2 件

- 就労、バイトの機会を増やす。(女性／20 代)
- 女性が働きづらい。(女性／30 代)

■ 世田谷区への感謝 19 件

- いつもありがとうございます。(女性／30 代)
- 業務に感謝、いつも役立っている。(男性／30 代)
- 世田谷区の多文化社会形成の取組みに感謝。(女性／60 代)
- アンケートに感謝している。(男性／30 代)
- 世田谷区の外国人相談窓口に感謝。(男性／30 代)

■ その他 37 件

- 日が浅く、まだ不便感じてない。(女性／50 代)
- 英語を第二公用語とする。(男性／50 代)
- 自然災害への不安。(女性／40 代)
- ボランティア活動に参加したいので情報、パンフレットがほしい。(女性／30 代)
- 在留期間を考慮してアンケートを作成してほしい。(男性／70 代)
- 今回のアンケートを活用し改善してほしい。(女性／20 代)
- 調査をオンラインでしてほしい。(女性／30 代)
- 外国籍だが日本で生まれて育っている、アンケートは不必要では。(男性／50 代)
- サポート紹介を SNS で発信してほしい。(女性／40 代)
- 障害など抱えた外国人への支援。(40 代ジェンダー)
- 成人のワクチン接種の無償化。(男性／50 代)
- 来日 3 年以内の外国人のサポートが重要。(男性／50 代)
- 世田谷区にある美術館、博物館、公園の情報の拡散。(男性／40 代)
- 税務署での英語対応。(男性／30 代)
- 住みやすい土地である。(男性／50 代)
- PTA がありえない。(女性／40 代)
- 鳩に餌を与えない。(女性／20 代)
- 世田谷区で抱えている問題は日本全体の問題である。
- 国際的ビジネスマンに友好的、もっと奨励してほしい。(男性／60 代)

Ⅲ-2. 調査票（※日本語調査票のみ掲載）

この調査は世田谷区役所が行っています

世田谷区における外国人区民の意識・実態調査

この調査用紙は、質問の回答を書いて、令和元年（2019年）10月11日（金）までに、一緒に
 に入れてある小さい封筒に入れて、切手を貼らずに郵便ポストに入れてください。ご協力を願
 います。

令和元年（2019年）9月

調査目的

世田谷区は、国籍を問わず誰もが暮らしやすい多文化共生社会を目指しています。
 この調査は、区内に住んでいる外国人区民の皆さんに生活の様子や世田谷区に対する意見や要望を聞き、
 その結果を多文化共生社会を目指す施策のために活用します。

調査項目

- あなた（回答者）について（F1～9）
- 日常生活について（Q4～20）
- 交流活動について（Q25～28）
- ことばについて（Q1～3）
- 行政サービスについて（Q21～24）
- その他（Q29）

※ 分からないことがあったら、以下に電話してください。

世田谷区生活文化部国際課

電話番号 03-5432-2070（午前8時30分～午後5時）※土、日、祝日を除く

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒に名前が書かれてある方が答えてください。
2. 黒のボールペンまたは鉛筆で書いてください。
3. 最初から1問ずつ、最後まで答えてください。
4. 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
5. （1つに○）（あてはまるもの全てに○）など、質問によって○をつける数が異なりますので、その範囲内で答えてください。
6. それぞれの質問をよく読んでから答えてください。
7. 記入日時点での情報で答えてください。

この調査票は日本語のほか、英語、中国語、ハンガルの

3言語があります。

必要な方はQRコードから印刷して使ってください。



English



中文



한국어

外国人区民の皆さん、調査にご協力ください。

皆さんの声が、外国人にとっても暮らしやすいまちづくりに役立ちます。

あなた（回答者）について

F 1. あなたの性別はどれですか（1つに○）。

1. 男 2. 女 3. その他（ ） 4. 答えたくない

F 2. あなたの年齢はどれですか（1つに○）。

1. 18～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上

F 3. あなたの国籍・地域はどれですか。

1. 中国 2. 韓国 3. 朝鮮 4. 米国
5. 台湾 6. フィリピン 7. 英国 8. ベトナム
9. フランス 10. ネパール 11. インド 12. その他（ ）

F 4. あなたの日本での在留資格はどれですか（1つに○）。

1. 定住者 2. 日本人の配偶者等 3. 永住者
4. 永住者の配偶者等 5. 特別永住者 6. 技術・人文知識・国際業務
7. 留学 8. 家族滞在 9. 特定活動
10. 技能 11. 特定技能 12. その他（ ）

F 5. あなたは日本にどのくらいの期間住んでいますか。来日（転入・転出）を繰り返している場合は、日本に住んでいる期間の合計を教えてください（1つに○）。

1. 1年未満 2. 1年以上～3年未満 3. 3年以上～5年未満
4. 5年以上～10年未満 5. 10年以上～20年未満 6. 20年以上
7. 生まれたときからずっと

F 6. あなたは世田谷区にどのくらいの期間住んでいますか。来日（転入・転出）を繰り返している場合は、世田谷区に住んでいる期間の合計を教えてください（1つに○）。

1. 1年未満 2. 1年以上～3年未満 3. 3年以上～5年未満
4. 5年以上～10年未満 5. 10年以上～20年未満 6. 20年以上
7. 生まれたときからずっと

Q9. あなたは次の事柄 a) ~ j) についての情報を、これまでどのように入手してきましたか。
 それぞれについて、1~12のうちあてはまる番号（主なもの3つ以内）に○をつけてください。

- 1. テレビ、ラジオ
- 2. 新聞、雑誌
- 3. インターネット
- 4. SNS →1つでも選んだ方は(A)の質問にも答えてください。
- 5. 家族、親戚
- 6. 日本人の友人、知人
- 7. 外国人の友人、知人
- 8. 行政機関（窓口、広報誌）
- 9. 学校、職場
- 10. 外国人向けのボランティア組織
- 11. 入手方法がわからず困っている
- 12. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	ことば 事柄
		○					○	○				a) 住宅
												b) 買い物
												c) 趣味・遊び
												d) 仕事
												e) 保健・医療
												f) 日本での生活習慣
												g) 災害・防災情報
												h) コミュニティ・グループの紹介
												i) 地域でのイベントやおまつり
												j) 行政サービス・手続き

(A) あなたが普段利用しているSNSは次のどれですか（あてはまるもの全てに○）。

- 1. Facebook
- 2. Twitter
- 3. LINE
- 4. Instagram
- 5. WeChat
- 6. Kakao Talk
- 7. その他 ()

Q 10. 行政からほしい情報はどのようなものですか (主なもの3つ以内に○)。

1. 住宅
2. 買い物
3. 趣味・遊び
4. 仕事
5. 保健・医療
6. 日本での生活習慣
7. 災害・防災情報
8. コミュニティ・グループの紹介
9. 地域でのイベントやおまつり
10. 行政サービス・手続き
11. その他 ()
12. 特にない

Q 11. あなたは住むところを探すときに困ったことはありますか (主なもの3つ以内に○)。

1. 外国人であることを理由に住むことを断られた
2. 保証人が見つからなかった
3. 相談できる窓口がなかった
4. 電気・ガス・水道などの手続きがわからなかった
5. その他 ()
6. 特にない

Q 12. あなたは病院を利用する際に困ったことはありますか (主なもの3つ以内に○)。

1. 外国人であることを理由に診察を断られた
2. どの病院に行けばいいのかわからなかった
3. 診察時間など、病院の仕組みがわからなかった
4. ことが通じず医者や看護師などとコミュニケーションがとれなかった
5. 病院で出される薬の使い方がわからなかった
6. 診断結果や治療方法がわからなかった
7. その他 ()
8. 特にない

Q13. あなたは出産や子育てで困ったことはありますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 母子健康手帳の内容がわからなかった
2. 通院・入院中にことばが通じなかった
3. 相談できる人がいなかった
4. 受けられるサービスの情報（予防接種や健診など）がわからなかった
5. これまで出産や子育てをしたことがない
6. その他（ ）
7. 特にない

Q14. あなたが保育園、幼稚園、小学校、中学校に子どもを通わせる（通わせた）うえで、困ったことはありますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 子どもを保育園や幼稚園に通わせたいが入れなかった
2. 保育園であずかってもらえる時間が短かった
3. 入園、入学のための手続きの情報が得られなかった
4. ことばが通じず保育士や先生などとコミュニケーションがとれなかった
5. ルールや行事、授業の内容などがわからなかった
6. 子どもが外国人であることを理由に仲間はずれにされた
7. 文化の違いや宗教などの理由で給食が食べられなかった
8. これまで子どもを保育園、幼稚園、小学校、中学校に通わせたことがない
9. その他（ ）
10. 特にない

Q 15. あなたが働くうえで困ったことはありますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 外国人であることを理由に働くことを断られた
2. 仕事を探す方法がわからなかった
3. 募集や採用が少なかった
4. 正社員など、安定した立場で働けなかった
5. 日本人と比べ、給料や働く時間に差があった
6. 働く時間が長い
7. 社会保険・労働保険に加入できなかった
8. ことが通じず職場でコミュニケーションがとれなかった
9. ルールや制度などがわからなかった
10. 相談できる人がいなかった
11. 働いたことがない
12. その他（ ）
13. 特にない

Q 16. あなたは地震などの災害が発生したときに自分が避難できる場所を知っていますか（1つに○）。

1. 知っている
2. 知らない
3. 聞いたことがあるが場所は知らない

Q 17. あなたは地震などの災害に備えてどのような対策をとっていますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 家族との連絡方法を決めている
2. 食べるもの、飲み物などを準備している
3. 消火器や水バケツなどを準備している
4. 避難するときに必要なもの（懐中電灯、薬など）を準備している
5. 家具などを固定して倒れないようにしている
6. 防災訓練に参加している
7. その他（ ）
8. 特にない

Q18. あなたは地震などの災害に備えて世田谷区にどのような対策を望みますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 避難場所を多言語で案内する
2. 多言語による防災パンフレットを配る
3. 外国人区民を支援する災害ボランティアを育てる
4. 日本人と一緒に外国人も参加できる防災訓練を行う
5. 地域内の外国人・日本人が連絡・協力しあえる体制づくりを進める
6. SNSやインターネットを通じた情報発信を行う
7. 災害が起こったときに多言語による放送や誘導を行う
8. 災害が起こったときに多言語で対応できる相談窓口をつくる
9. その他（ ）
10. 特にない

Q19. 世田谷区では、外国人が安心して地域で生活するために、教育、住宅、就労など、生活全般にわたっての支援を行っています。あなたは外国人に対する生活支援が充実していると思いますか（1つに○）。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

Q20. 世田谷区では、多様な文化を理解し合える交流イベントなどを開催し、区民一人ひとりが互いの文化について理解を深め、偏見や差別を解消することで、多文化共生社会の実現を目指しています。あなたは、区内において外国人に対する偏見や差別が減っていると思いますか（1つに○）。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

Q23. あなたは世田谷区が行っている以下の外国人向け出版物やサービスを知っていますか。また、利用したことがありますか。a～gまでのサービスについて、1～3のうちあてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。(それぞれ1つに○)。

1. 利用している・したことがある
 2. 知っているが利用したことはない
 3. 知らない

1	2	3	出版物やサービス
---	---	---	----------

<出版物>

1	2	3	a) 外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」
1	2	3	b) 資源とごみの出し方・分け方
1	2	3	c) 災害時区民行動マニュアル (マップ版)

<サービス>

1	2	3	d) 日常生活や行政に関することを相談できる外国人相談窓口
1	2	3	e) 世田谷区ホームページの外国人向けページ
1	2	3	f) 外国人向けの日本語教室
1	2	3	g) 帰国・外国人児童・生徒のために教育や相談指導を行う教育相談室

Q24. あなたはどのような外国人相談窓口であれば、利用したいと思いますか(主なもの3つ以内に○)。

1. 多言語に対応している
2. 相談できる内容が充実している
3. 利用しやすい場所にある
4. 休日や祝日に利用できる
5. 窓口があいている時間が長い
6. メールやSNSで相談できる
7. その他 ()

交流活動について

Q25. あなたは次のような交流や活動a)～h)をしたことがありますか。1か2のどちらかを選んで○をつけてください。また、今後、次のような交流や活動をしていきたいと思いませんか。3～7のうち、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. したことがある

2. したことがない

3. 積極的にしたい

4. 機会があればしたい

5. どちらともいえない

6. あまりしたいと思わない

7. 絶対したくない

①	2	③	4	5	6	7	交流や活動
1	2	3	4	5	6	7	a) 母語や日本語を教える活動
1	2	3	4	5	6	7	b) 学校の授業への協力
1	2	3	4	5	6	7	c) 防災訓練
1	2	3	4	5	6	7	d) 防犯活動
1	2	3	4	5	6	7	e) 地域のイベント
1	2	3	4	5	6	7	f) 文化交流
1	2	3	4	5	6	7	g) スポーツ交流
1	2	3	4	5	6	7	h) 外国人支援活動

Q25-1. その他、している(してみたい)交流や活動があれば以下に書いてください。

している交流や活動	してみたい交流や活動

Q26. あなた(あなたの世帯)は自治会・町会に入っていますか(1つに○)。

- 1. 入っている
- 2. 入っていない
- 3. 自治会・町会を知らない
- 4. 入りたいが入り方が分からない
- 5. その他()

Q 2 7. あなたは仕事や学校以外で何らかの団体（自治会・町会を除く、コミュニティやグループなど）に入っていますか（主なもの3つ以内に○）。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 日本人との交流団体 | 2. 同国人団体 |
| 3. 宗教団体 | 4. スポーツ団体 |
| 5. ボランティア団体 | 6. 娯楽・趣味の団体 |
| 7. 特に団体に参加していない | |
| 8. その他（ | ） |

→7以外を1つでも選んだ方は（A）の質問にも答えてください。

（A）あなたが参加しているコミュニティやグループについて教えてください。

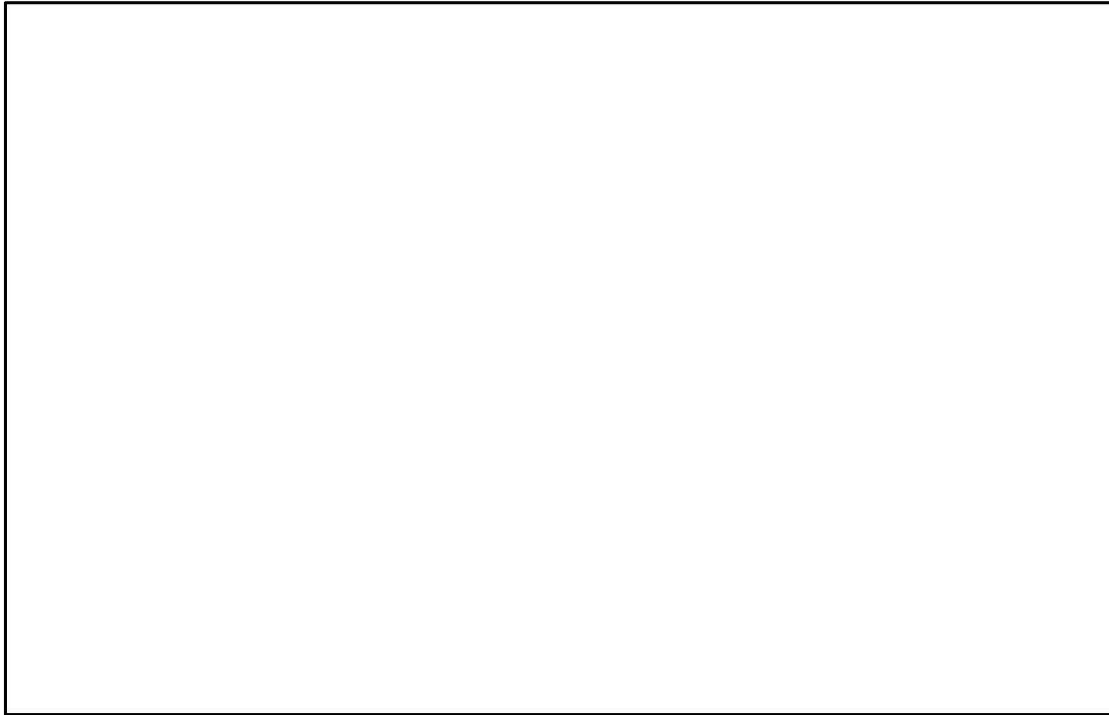
<コミュニティ・グループの名前>
<活動内容>

Q 2 8. 地域での活動を行うとき、どのようなサポートが必要だと思えますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 地域活動の情報を提供してほしい
2. 多言語で資料をつくってほしい
3. 通訳がほしい
4. 積極的に声をかけてほしい
5. 文化や生活習慣の違いをわかってほしい
6. その他（
7. 特にサポートの希望はない

そ の た

Q29. 世田谷区の区政について意見や要望がありましたら自由に書いてください。



ご協力ありがとうございました。

世田谷区における外国人区民の意識・実態調査 報告書

令和2年3月

実施・発行 世田谷区生活文化部 国際課

〒154-8504

東京都世田谷区世田谷四丁目21番27号

電話 03(5432)2070

FAX 03(5432)3005

集計・分析 株式会社ステージワン

〒108-0075

東京都港区港南二丁目16番8号ストーリーア品川23階

電話 03(6712)0771

世田谷区広報印刷物登録番号／第1838号



古紙配合率80%再生紙を使用しています
石油系溶剤を含まないインキを使用しています

リサイクル適正

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。